

地域の明日を医療で支える

令和元年度（平成31年度）

長野県立病院機構

NAGANO PREFECTURAL HOSPITAL ORGANIZATION

年報

信州医療センター

こころの医療センター駒ヶ根

阿南病院

阿南介護老人保健施設

木曽病院

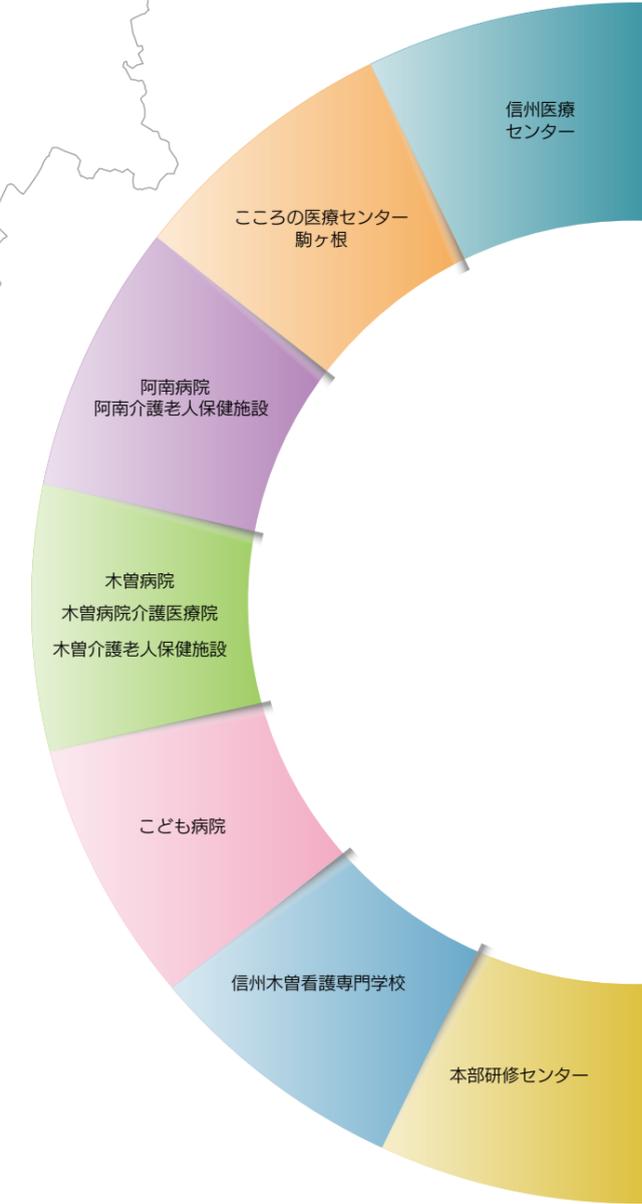
木曽病院介護医療院

木曽介護老人保健施設

こども病院

信州木曽看護専門学校

本部研修センター



地域の明日を医療で支える

地方独立行政法人 長野県立病院機構

〒380-8570 長野県長野市大字南長野字幅下 692-2 長野県庁4階

TEL. 026-235-7160 FAX. 026-235-7161



地域の明日を医療で支える

令和元年度（平成31年度）

長野県立病院機構

NAGANO PREFECTURAL HOSPITAL ORGANIZATION

年報

第5号

信州医療センター

こころの医療センター駒ヶ根

阿南病院

阿南介護老人保健施設

木曽病院

木曽病院介護医療院

木曽介護老人保健施設

こども病院

信州木曽看護専門学校

本部研修センター

目次

4	基本理念
5	理事長挨拶
7	地方独立行政法人化からの10年を振り返る寄稿文
26	代表者メッセージ
28	長野県立病院機構 機構の概要・役員の状況・組織図
29	法人が運営する病院及び介護老人保健施設等の概要
30	長野県立病院機構 沿革 ●県立病院・看護専門学校・研修センター
32	信州医療センター
38	こころの医療センター駒ヶ根
44	阿南病院
50	木曾病院
56	こども病院
62	信州木曾看護専門学校
66	本部研修センター
70	阿南介護老人保健施設 木曾介護老人保健施設
71	県立病院の概況
79	患者の状況
80	1 患者の状況
	①入院・外来患者数(病院別患者延べ数)
81	②月別1日平均入院患者数
83	③診療科別入院延患者数
87	④老人医療の状況
89	⑤診療圏の状況
92	⑥救急及び緊急診療の状況
94	2 病床利用等の状況
	①病床利用率
95	3 訪問医療の状況
97	診療の状況
98	1 治療の状況
	①診療科別の手術件数
99	②分娩件数
100	③調剤の状況
102	④放射線の利用状況

104	⑤検査の状況
107	⑥人工透析患者の状況
108	⑦診療科別内視鏡の状況（検査のみ）
110	⑧公衆衛生活動の状況
112	⑨医療社会事業相談の状況
114	⑩理学・作業・言語療法の状況
116	⑪心理及び言語検査の状況
117	⑫栄養管理の状況
121	職員の状況
	1 職種別職員構成
123	経理の状況
124	1 収益・費用の構成
136	2 貸借対照表
138	3 資本的収入及び支出
143	4 損益の推移
147	5 運営費負担金の推移
154	6 未収金の推移
155	介護老人保健施設の状況
156	1 利用者の状況
	①入所・通所の状況
	②性別・年齢階級別の状況
157	③退所者の入所期間状況
158	④退所者の入退所の経路
161	看護師養成所の状況
162	1 学生の状況
163	研修・研究の状況
164	1 県立病院等合同研究会の状況
165	2 公開講座の開催状況
166	3 出前講座の状況
170	4 学会等における研究発表状況
192	5 研究論文について
200	6 本部研修センターによる研修会開催状況
206	7 医療の質の評価指標



地域の明日を医療で支える

基本理念

県民の皆様により安心して質の高い医療サービスを安定的に提供していきます。

目標

- 1 基幹病院として地域の医療を支えるとともに、人口減少や少子・高齢化を見据えた医療を提供します。
- 2 医療・保健・福祉との連携を深め、地域全体の医療機能を向上します。
- 3 医療従事者の確保・育成機能の充実と看護人材の安定的かつ継続的な育成を図ります。
- 4 安全・安心な医療を提供し、患者サービスを一層向上します。
- 5 地方独立行政法人の強みを活かした確実な病院経営を継続します。

シンボルマーク

5枚のハートは5つの県立病院を表し、5つの県立病院が一体となって、地域の医療を支えていくことを表しています。マークのグリーンの色は、生まれ変わった県立病院の清新なイメージと自然豊かな長野県の地域を表しています。





ご挨拶

地方独立行政法人 長野県立病院機構

理事長 久保 恵嗣

長野県、関係市町村、信州大学医学部附属病院をはじめとする関係医療機関及び県立5病院や信州木曽看護専門学校が立地する地域の皆様には、長野県立病院機構に対しまして多大なるご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。

2019年（令和元年）度は、5年間の第2期中期計画の最終年度となりますので、最初に、この期間中に機構本部、県立5病院及び信州木曽看護専門学校が取り組んだ主なものを紹介させていただきます。

機構本部は、病院が運営・経営するに相応しい組織となることを目指し、全職員が自身の所属する病院の運営や経営に関心を持てるよう「魅力再発見・組織発展プロジェクト」に取り組みました。この結果が2018年（平成30年）度の大幅な経営改善に繋がったのではないかと考えています。また、今後の人口減少を踏まえると、病床数を削減させざるを得ない状況が予想されるため、看護職員の適正人員の配置に取り組みました。今後は事務職などでも検討したいと存じます。更には、年功序列ではなく、病院に相応しい人事評価制度の取り組みを開始し、第3期中期計画期間中には仕上げたいと考えています。

本部研修センターは、シミュレーションを用いた医学生や初期研修医の医学教育、医療職や事務職の育成やレベル向上のための研修、セミナーや講座などを機構内のみならず、県内の病院などと連携しながら実施するとともに、県民の皆様を対象とした病院が実施する様々な取り組みを支援してきました。

信州医療センターは、病院名を須坂病院から変更し、県立5病院の中核的な病院としての位置付けを明確にしました。また、東棟を増築し外来化学療法、内視鏡センター及び健康管理センターを充実し、更には、産科常勤医師の確保により産科を再開し、産科医療提供体制を強化することができました。

こちらの医療センター駒ヶ根は、信州大学医学部精神医学教室と連携大学院を開講し、精神科医の安定的な確保とともに精神科診療のレベルアップに繋げることができました。また、児童・思春期のみならず20歳未満の青年期を対象に発達障がい、ゲーム依存症、摂食障害、自殺企図者などに対する医療を展開する「子どものこころ診療センター」を開設しました。更には、DPAT（災害派遣精神医療チーム）を登録することができました。

阿南病院は、下伊那南部地域のへき地医療拠点病院として、診療機能を維持するとともにリハビリテーションの充実、訪問診療や訪問看護を強化しました。また、訪問看護ステーションの開設に向け準備を進め2020年（令和2年）4月から開設しました。

木曽病院は、木曽医療圏唯一の総合病院として地域がん診療病院の認定を受けるなど診療機能の充実に努めました。また、地域医療構想に則り、病床数を199床にするとともに地域包括ケア病棟や介護医療院を開設しました。

こども病院は、長野県のみならず甲信越・北陸地域唯一の小児医療の専門病院としての機能をより一層強化するため、小児集中治療室（PICU）の増床（8床から12床へ）、小児がん連携病院の指定、アレルギー科の新設などのほか、信州大学医学部と連携大学院を開講しました。更には、世界最小で生まれた258gの男子が無事成長し、退院することができました。

信州木曽看護専門学校は、2016年（平成28年）度から卒業生を計100名輩出し、その内99名が看護師国家試験に合格するとともに、殆どの看護師が県内の医療機関に就職し、地域医療に貢献できる人材を輩出できるようになってきました。

2019年（令和元年）度の経営状況については、2018年（平成30年）度の大幅な改善（4億1,600万円強の黒字）に比し、休日数が例年より多く、4月からの「働き方改革関連法」の施行に伴い出退勤時刻の刻時が開始されたことによる超過勤務増加の懸念や消費増税など、計画の段階で経営が厳しくなることが予想されていたことから、1,700万円程度の黒字の計画でスタートしました。年末の時点では計画を達成できると予想しましたが、年明け早々から中国武漢市で発生した新型肺炎があっという間に世界中に拡がりパンデミック（世界的大流行）となりました。この武漢肺炎（新型コロナウイルス感染症、COVID-19）の影響で、長野県の感染症診療の中心的な役割を担う信州医療センターの収益が伸びなかったこと、職員数が多く「働き方改革関連法」の影響で超過勤務が増えたこと、子ども病院で計画を下回る収支となったこと、その他患者数が昨年度より減少したことなどにより、機構全体で1億4,794万円の赤字となってしまいました。この結果、第2期中期計画を通しての収支は9,275万円の赤字となりました。

COVID-19の蔓延化が医療に及ぼす影響は大変大きい。受診控えにより、診療所や病院の外来受診患者数や入院患者数も以前より明らかに低下していて、多くの病院で経営が厳しくなっております。更に、感染症指定医療機関やCOVID-19患者を受け入れている病院については風評被害なども加わり、より経営が悪化してきています。

COVID-19が終息するまでには今後1～2年は要すると思われれます。COVID-19患者を受け入れながら病院の運営や経営を維持していくという、今までにない経験を強いられるようになりますが、機構本部と県立5病院が一丸となって病院運営に取り組み、県民の皆様を引き続き安心・安全で良質な医療を提供していく所存です。長野県立病院機構に対しまして、県民の皆様のご理解とご支援を今まで以上にお願いたく存じます。

（令和2年9月記）



地方独立行政法人化からの 10年を振り返る寄稿文





「地方独立行政法人の10年」

丸子中央病院 病院長 勝山 努
(前長野県立病院機構理事長)

気候変動などでただでさえ落ち着かない世の中に、COVID-19 という黒船が襲来し、文字通り夜の平安な眠りが妨げられています。県立病院も患者さん対応でご苦労が多いと聞いています。私の勤務する丸子中央病院のある上小医療圏では過日70名余りの症例が発生しました。医療圏だけでは解決できず、なんと阿南病院へも患者さんをお願いしたと漏れ伝え聞き、たいへん恐縮し、感謝しています。

この数か月、わが国の医療体制が抱えていた矛盾が様々な形で露わとなりました。問題は多岐にわたりますが、傷口に絆創膏を貼って取り敢えず乗り越える従来型の対応はこの際止めたいものです。

1. 私が地方独立行政法人化に関わった経緯

私は平成20年8月18日付で、信州大学から県の病院事業局長として赴任しました。事前に村井知事、板倉副知事にお目には掛けてお考えを伺ったところ、県立病院の運営について強い危機感をお持ちであり、新しい運営体制の構築に向けて全面的に任せるからというお話でした。事業局長のポジションについては、当時の諏訪赤十字病院長であった小口寿夫先生に最初にお話があったそうで、彼は仕事の関係で断られたとのことでした。小口先生は病院経営者として非常に優れた方であり、彼が就任されていればまた違ったスタイルの県立病院運営組織ができていたのではないかと思います。また、信州大学医学部附属病院長時代の田中康夫元知事とのバトルが無ければ多分私の出番はなかったので、人生は面白いものです。

2. 国立大学の独立法人化のこと

私の場合、県立病院の運営組織を考えるにあたり、信州大学における独立法人化の過程で学んだことが反映されていますので、まずそれについてお話ししましょう。

信州大学は平成16年4月、小宮山淳学長の元で独立法人信州大学となりました。私は平成15年7月に附属病院長に就任し、その後人事担当理事を兼務して、独立法人化の流れをつぶさに体験しました。

国立大学の独立法人化は平成14年の小泉内閣の「聖域なき構造改革」方針に盛り込まれ、翌年には国立大学法人法等関係6法が成立、16年4月に発足というあわただしい日程でした。法人化の理由として「競争的環境の中で世界最高水準の大学を育成するため、国立大学法人化などの施策を通して大学の構造改革を進める。」と示されましたが、説明文書には常に危機的な国家財政についての文書がついていたので、補助金の削減の手段でもあったと言えるでしょう。

3. 独立法人化前の国立大学

それまでの国立大学は文部科学省の出先行政機関と言う面を多分に持っていました。

予算は細部まで文科省レベルで決定されていました。人事面では、教職員は国家公務員でしたから、定数も給与体系も法律で定められていました。病院の様な現業部門からすると不自由極まりない制度ですが、この体制に馴染み、前年踏襲型で安住できれば快適な制度であったとも言えます。さらに教官は教育公務員特別法で守られており、各学部の自治権が尊重されていましたから、教官の評価は無きに等しかったと言えます。事務職員の人事については事務局長が取り仕切っていました。予算編成権限、執行権限がなく、人事権がない学長が、創造的なビジョンを提示し、その実現に向かって邁進できるはずありません。附属病院長も同様にその権限は限定的で、医療上の都合で診療体制が決定されるというより、文科省の予算と定員の範囲内で、前年の踏襲を基本とする運営が行われていました。

4. 国立大学法人化による変化

国立大学法人法で、学長へのすべての権限の集中、理事会と経営協議会（半数は外部委員）の設置、企業会計の導入などが定められました。「行政機関」から「教育機関」へ脱皮すると言う大きな機会が与えられたことは間違いありません。

すべての大学職員は非公務員化され、「文部教官」は「大学教員」に、「文部事務官」は「大学職員」になりました。同時に労働基準法が適応されるようになりました。また、文部省からの補助金と言う大枠があるにせよ、予算を編成する権限、それを執行する権限、人事権は学長の元に一元化され、教育・研究組織の改編も学長権限で行われるようになりました。信州大学の場合、事務局長職を廃止して事務職員の人事権を学長に集中させた結果、教学組織職員としての自覚は著しく高まりました。現在では信州大学で採用された職員が課長職・部長職に昇格しています（独法化前には課長職以上は文科省人事）。

なお、国立大学法人では、学長の選任や中期目標の作成に大学の自主性が大幅に尊重されており、知事により理事長が任命され、中期目標が県から示される独立行政法人と異なっています。

信州大学医学部附属病院について言えば、非公務員化によって定員制の軛から逃れることができましたから、医療機能の強化に伴って医師、看護師などの常勤職員は大幅に増加しました。看護師は平成15年度に非常勤職員を合わせて480名だった定員が現在ほぼ全員が常勤職員となり、840名ほどに増加しました。診療内容も充実して、診療収入は殆ど倍増しました。

5. 病院長・理事として苦しかったこと

- 1) 何とんでも、非公務員化に伴って労働基準法が適用になったこと、教官が教員となり、教育公務員特例法の適応から外れたことです。ただし、医師を単純労働者と見做すのでは附属病院の経営は成り立ちません。労働基準監督署に日参し、資料（特に英文の症例研究）を提示してご説明した結果、附属病院における診療は臨床研究の一部でもあり、教員の診療は他学部教員の業務と同様、裁量労働制が適用される職とご理解いただきました。
- 2) 医師の兼業も大きな問題でした。職務専念義務をそのまま適用すると、兼業は禁止するか、あるいは兼業した場合、大学からの給与を削減することになります。これについては、大学病院医師の兼業が県内各地の医療レベルの均霑化に大きな役割を演じていることなどを縷々訴えて、就業規則にも兼業規程が盛り込まれました。
- 3) 田中康夫元知事との救命救急センター問題をめぐるバトルも大きな課題でしたが、また別の機会にします。

6. 国立大学法人のその後

大学は独法化されて17年目となりますが、大学運営の自由度が圧倒的に増した結果、教職員に教学組織としての自覚が高まり、教育機能、診療機能は飛躍的に高まったと思います。

ただし、運営費交付金や人件費の年率1%削減は第一期（6年間）のみという話でした。ところが17年目の現在まで年率1%削減が継続されています。また、第一期では大幅に認められていた剰余金の積み立てが制限されるなど、大学の自主性を損ない、角を矯めて牛を殺すような政策が実施されています。また、内部的にも、行政機関的なセンスに戻っているのではないかと思います。面が見受けられるのは残念なことです。



7. 平成20年当時の県立病院

小生の目から見た当時の県立病院は、当時の国立大学と非常に似通った組織で、すなわち、県庁の出先行政機関でした。

1) 職員は地方公務員ですから、当然ながら定員の厳重な縛りがありました。

コメディカル、事務職員の人事は病院事務部長-県立病院課-総務部人事課ラインで取り仕切られており、コメディカル職員は、その多くが医療的な理由がはっきりしないままに数年で漫然と転勤させられていました。事務職員は行政部門との交流人事で、病院に特化した職員はいません。高度専門職業人集団であることが病院の最大の特徴であり、良い病院の条件なのに、これでは病院に特化した専門的能力を持った職員が育つはずがありません。実際、各分野の専門的資格を持った職員は少数で、専門資格の取得に反対すると言う時代錯誤的主張が蔓延していました。給与体系も当時の行政職と同様に年功序列制であり、能力、権限、給与水準はそれぞれ乖離していました。医師の人事はもともと派遣元の医局で行われていました。

2) 予算は県議会で承認され、複数年に渡る計画的な予算編成はできませんでした。

すなわち、病院長にはほとんど何も権限がないと言ってよい状態でした。赴任当初、当時の病院長さんに将来ビジョン、計画を提出してもらいましたが、当然ながら非常に貧弱な内容でした。人事権も予算編成権も執行権もないのだから、ビジョンを持たないのは当然と言えます。病院長の役割は大学医局に医師の派遣の依頼に行く程度だったと言われても仕方ありません。

8. 公立病院である県立病院の役割と地方独立行政法人

県民の財産である県立病院の運営を県民から任され、地域が必要とし、民間医療機関・介護機関が対応できない医療サービス、介護サービスを提供することにつきます。補助金は、民間病院ができない医療サービス・介護サービスを提供するという理由で配分されています。医療・介護サービス面から見ると民間病院とほとんど変わらず、民間病院との違いは職員の給与水準の高さだけと思わせる公立病院が存在することは残念と言わざるを得ません。行政から独立し、真の医療機関へ脱皮するためには、それを実行するための権限が病院側に与えられることが絶対条件となります。当然ながら非公務員型の地方独立行政法人化は最有力の選択枝です。

9. 県立病院事業局

赴任当時の県立病院事業局には、多分知事の肝入りと北原県立病院課長（現国立大学法人信州大学監事）の凄腕のお蔭と思いますが、20名ほどの非常に優秀な、選りすぐりの、そして個性豊かな行政マンが集められており、少々梁山泊的でもありました。その際のスタッフの多くが現在、県庁内でしかるべき要職に就いていることは、当時優れた人材が集まっていたことの何よりの証と言えましょう。村井知事に地方独立行政法人化の方針を承認していただいてからは、人事、会計制度などを中心に文字通り夜を日に継いで制度設計が行われました。今思い返しても好漢諸氏との日々は非常に充実していました。

1100人の県職員の非公務員化は、村井知事、板倉副知事の決断無くしては実現しませんでした。県議会でも反対意見が多くありましたが、最終的には平成22年3月、満場一致で承認していただき、無事に地方独立行政法人長野県立病院機構の発足に漕ぎ付けました。

10. 国立大学法人化、独立行政法人化は成功か、失敗か

国立大学法人化や県立病院の地方独立行政法人化について、成功だった、失敗だった、など様々な意見があります。私は、組織としての将来ビジョン・目的が明確であれば、独立（行政）法人化は非常に良い選択肢であり、必ず良い結果が生まれると思っています。

一般的に、独立（行政）法人化当初、職員は将来ビジョン・目的を共有していますが、歳月とともにビジョンは色褪せ、固定化した組織だけが残ることになりがちです。そうすると再び行政機関と何も変わりなくなります。法人のプロパー職員を育てられるかが成否のカギを握っています。

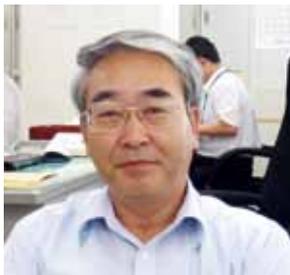
地方独立行政法人長野県立病院機構の評価委員会の報告書を拝見していると、各病院の院長以下職員の皆さんの苦勞が手に取るようにわかることが多くあります。長野県に必要な医療機能を県立病院だけが担い、次第に充実の度合いを高めている領域も多数あります。さらに、急激な人口減少に直面している木曾地区、阿南地区の医療を担う皆さんのご苦勞は大変なものと思います。地方独立行政法人としての自由度や可塑性を活かした医療機能、介護機能の充実を考えると、地方独立行政法人化した意味が十分あったと言えるでしょう。一方、私立病院に籍を置いている立場から正直に申し上げると、お手盛りで甘いなという項目も散見されます。特にプロパー人材育成については、努力不足と苦言を呈せざるを得ません。

11. 最後に

理事長をはじめ職員の皆さんは、地方独立行政法人の発足時のあの燃えるようなエネルギーを維持できているでしょうか。理念と目標は明確でしょうか。時代とともに見直していますか。単なる行政機関に墮してはいませんか。10年は単なる通過点です。ご苦勞が多いと思いますが、県民から大変な資産を預かっていることを忘れずに前進し続けてほしいと願っています。



長野県立病院機構発足当初の写真



「あれから 10 年」

大田 安男

(元長野県立病院機構副理事長)

病院機構発足後、早 10 年を過ぎたのか・・・

病院機構設立準備期間中（平成 21 年度）の事務室内は、まさに喧騒のなかで仕事をしている状況であった。

病院職員・地域への説明会のほか、組織体制・就業規則・会計規程など数多くの各種規程について、先に独法化した府県の資料を取り寄せ参考にしなが、担当が作成した素案についてほぼ毎日遅くまで内容について検討を重ねてきた。

発足までの 1 年間の短い期間の中で規程整備をしてくれた事務局職員の奮闘ぶりは素晴らしいものであった。

なお、役員構成については、勝山理事長と私のほか理事に各病院長を、監事は八十二銀行出身の笠原氏と県監査委員の東方氏にお会いし内諾を得たほか、会計監査人は当初県外大手の会計法人を予定していたが予算面で折り合いがつかず、県の初代外部監査人であった旧知の小林公認会計士に無理をお願いして引き受けていただき機構発足の体制づくりができた。

機構発足後、早急に外部理事を選任することとし、当時の村井知事や板倉副知事らに相談し、自治省出身の石田氏とみずほ銀行元頭取の山本氏に就任依頼し了解が得られた。

特に山本氏については知事が執務室から直接本人に電話し、了解を取り付けていただいた。

お二人とも幅広い見識をお持ちの方でしたので、ほぼ毎月開催された理事会では病院から報告される月次決算の内容等について積極的に意見や提言をいただき、常に緊張感ある理事会となっていた。

その後、理事は島崎氏、河野氏に、監事は柳澤氏、山中氏に交代したが、いずれの方々も豊富な経験と知識をお持ちの方々であって、病院運営に対し大きな力添えをいただき感謝している。

（業務運営について）

機構発足当初から各病院等との経営情報を共有するため、理事長及び局長等と手分けして各病院の管理者会議や運営会議に参加し、会議で出された課題等について本部で検討し迅速に対応するなど、病院との意思疎通を図ってきた。

第 1 期中期目標期間中の実績については業務実績報告書に記載されているとおり、県から示された「経常収支比率 100% 以上」「資金収支の均衡」を何とか達成することができたが、この間、25 年度において、阿南病院の改築に伴い、会計監査人から残された東館の減損処理が必要で、このまま処理すれば年度末決算で債務超過に陥る恐れがあるとの指摘があり苦慮したことがあった。

この対応のため、病院側と東館の活用方法について検討を重ね、「地域医療総合支援センター」として地域住民が利用しやすい施設に改造し利用することを決めたほか、従前から進めてきた医薬品・診療材料の統一化や一括購入及び経費削減策の一層の強化等を図り、債務超過を免れることができた。

懸案であった看護師不足に対応するために、奨学金制度を創設したほか、県内の高校を回り看護師を目指す学生の把握に努めるとともに信州木曾看護専門学校の開校を行うなど看護師確保策に一定の成果が出せたと思う。なお、学校の開設が木曾地域の活性化にも十分役割を果たしたと思っている。（後日、第一期生が看護師国家試験に全員合格したとの報をいただき、熱心な教育指導を行ってきた教員達の努力の賜と思っている。）

また、県職員からの派遣に依存していた医療技術職員や事務職員について、割愛採用やプロパー職員を積極的に採用しながら組織体制づくりを進めてきた。

半面、職員体制の強化による職員増を図ったことなどによって、人件費率が他の公的病院や私立病院に比べ高くなり、病院経営上大きな課題となっていた。

県に準じた給与体系のため、一定年数が経過すると職位と関係なしに上位級に昇任するいわゆる「わたり」制度なども残っており、責任ある職位の職員から不満の声が出されていた。

これらの課題等を解消するため、看護職・医療技術職を中心に研修体制の充実や多様な勤務形態を導入するとともに、職分類の見直しを行い職務の困難性と責任の度合いにあった給与体系に改正するなど、職員には痛みを伴う改正でもあったが職員や職員組合等との話し合いを重ねるなかで同意が得られた。

(市町村等の協力)

病院所在地の関係市町村・地域関係者には物資両面でお世話になり感謝している。

こども病院はじめ各病院には、行政や企業などからの支援をいただいたほか、須坂病院の内視鏡センターの建設にあたっては、須坂市、小布施町、高山村、中野市及び山ノ内町から財政援助をいただいた。

また、信州木曽看護専門学校の開校にあたっては、広域連合や商工会などから財政支援をいただくとともに、木曽町には学生宿舎用地の提供など多大な協力をしていただいた。

今後も、行政や地域としっかり連携して機構運営を行っていただきたいと思います。

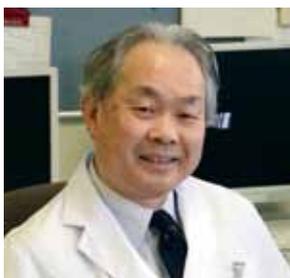
年々疲れが取れにくくなったこの頃ですが、好きな渡辺淳一氏の小説「熟年革命」の一節、「世間体にこだわらず常に好奇心いっぱい好きなものを追いかけて、年相応に老いず、いつまでも元気なちょい悪爺さん」を目指して人生をエンジョイしております。

新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、久保理事長はじめ病院長ほか機構職員が防止対策や治療に大変なご労苦をいただいていることに対し敬意を表するとともに、この影響によって厳しい病院経営を強いられていることもお聞きしており懸念しているところであります。

コロナウイルスの早期終息を願うとともに、病院機構の益々のご発展と皆様のご健康とご活躍を心から祈念申し上げます。



第1回 理事会の様子



「独法化移行10年を迎えて、 独法化の中で思うこと、教えられたこと」

やすらぎクリニック須坂 院長 齊藤 博

(長野県立信州医療センター名誉院長、元長野県立病院機構元本部研修センター長)

序：

独立行政法人移行10年を迎えた。準備段階からすれば経過は15年程になろう。今、独法化の木は深く根を張り大きく育った。今日に至るまでに関係された多くの方々に心からの敬意と感謝を捧げたい。

準備段階の頃（2010年4月以前の話）：

各県立病院の経営状況は一部の病院を除き赤字基調が解消されず青息吐息の状況が続いていた。須坂病院も同様でいくら頑張っても最終の収支は赤字が続いていた。毎年行われる衛生部長との面談では常に大変厳しい話で終始していた。提出する改革案も効果の確証もないことからなかなか採用はされなかった。当時から全国の自治体病院の多くが赤字であり、総務省からも統合、再編、事業形態の変更など様々な経営改善を求められていた。前任の小口寿夫病院長時代には公営企業法全部適用への移行がトレンドでその議論も真剣になされていて、院長室にはその分厚い資料が置かれていたことを覚えている。私の時代になり独立行政法人化の話が浮上してきた。理由は様々あったと思うが、新しい経営形態というところや県立6病院を1グループとしようとの方向に、私自身も変革や合理性の響きを感じていた。やがて理事長として勝山努先生が信州大学から赴任されてきた。各病院長が集められ新体制で何ができ何をしたいかの話し合いが複数回持たれた。当時独法化始め医療経営体制を最も理解されていたのはこども病院の院長であったと思う。問題点の指摘や希望など数多くの発言をされていたことを覚えている。さて、その準備が始まり様々な課題が具体的にになるに従い、これは大変な作業だと気付かされた。まず全く機能の異なる6病院をそれぞれの特徴を維持しつつどのように一つにまとめるのかという医療の根本的問題がある。また職員は非公務員に移行するのであるが、そもそも公務員制度の給与や将来の昇級問題をどのように変更し解決するのかなど、これまで考えもしなかったことが課題として見えてきた。また当時全国的にみても独法化に移行した公立病院がほとんどなく、ましてや機能の違う複数病院の独法化の成功例はないとも言われ、これは相当の覚悟を持ってやらないうとできないことだと思った。当初は6病院での独法化であるとみんな思っていたが、独法化に対する激しい反対もあり、理事長も再三再四関係者との話し合いを行ったが合意は得られず、最終的に5病院での独法化となった。

準備段階の2009年は新型インフルエンザが流行し、私は県の感染症対策委員会の委員長を任された。行動指針の作成など経験したこともない仕事を担うこととなり大変戸惑ったが、委員の一人には現在の久保恵嗣理事長が信州大学医学部代表メンバーでおられ色々助言をいただいた。現在の新型コロナ対策と同じような感染対策案を取りまとめた。2009年4月から5月の善光寺ご開帳の頃には日本でも患者が出始めていた。長野県では6月ごろから出始め11月をピークに多くの患者さんが発生した。当時も新型インフルエンザ感染症流行による医療の逼迫が問題にされていたが、多くの患者さんが中等症から軽症であったことや、検査キットの普及、タミフル、リレンザの治療薬が保険適用になっていたことなどから、実際には季節インフルエンザと同様な対応で乗り切ることができた。現在の新型コロナ感染症の混乱ぶりを見るにつけ、あの時は大変幸いな状況であったと思う。

独法化後（2010年4月以降）：

「最終決定は各理事である病院長が行う」という根本原則を、勝山理事長は常に掲げていた。そのことは強い権限を与えるが重い責任もあるのだということを各院長が自覚することになったと思う。毎月の理事会で各病院の収支を報告し経営指標や病院毎の問題点を洗いざらい審議することとなった。同時に各理事（病院長）や外部理事の厳しい評価をその都度受けることとなった。更に年に2回ほど評価委員会の審議もある。

常に自分の病院の経営状況を把握して、他の病院と比較し評価され続けるのは実に大変な作業でもあり精神的にも辛いものであった。月に一度というスケジュールサイクルはあつという間に巡ってきて息のつく暇もなかった。今振り返るとよくやれたと思う。そんな作業を2、3年続けるうちに色々分かってきたことがある。前年度の立てた経営計画の結果は、翌年の経営状況に反映されるわけだが、年度末まで待つことなくおおよそ4月から6月までの四半期でほぼ見えてくること。それゆえ前年度から真剣に具体的な計画を立て、新年度はその目標に向かって4月当初から全速力で突っ走る必要がある。毎年真剣な経営企画作りを求められたことでやがて病院経営が何かということを理解出来るようになった。その意味で理事会は院長、事務部長のための厳しくも実践教育の場であったと思う。

退職後：

2015年3月退職後は本部研修センターで3年間働かせてもらった。研修センターは医師確保や初期研修医や総合医の指導、各職種の教育など様々な総合的教育を担う部門である。大きな組織になるほど教育を専らとする仕組みが必要であり、企業の多くがその仕組みを持っている。教育の効果が目に見えるようになるには10年以上の期間が必要であると良く言われる。まだ形の見えない以前から研修センターを立ち上げた理事長の先見の明と情熱には感服する。当初は本部研修センターをどこに置くか、何をするのかなど色々議論されたが、研修医の指導が最優先であることから須坂病院内に設置され、当初は現在の第2種感染症病棟の一室を借りてスタートした。その後は休棟していた7階病棟、次に医局棟へ。現在は以前の健診センターを全面改装して講義室や複数のシミュレーションルーム、スタッフルームを完備した全国でもトップクラスの施設に生まれ変わっている。スタッフ達の熱心な議論を踏まえ、毎年総合的な研修プログラムが作成され実践されている。県内各地に研修支援や機構の5病院が参加した医学生向けセミナー、研修医中心のシミュレーション教育やハワイ SimTiki 研修センター参加など様々な事業を行っている。独立行政法人の更なる発展や継続に於いて研修センターの役割はいよいよ高まるものと確信している。

機構組織を離れて：

2018年4月から須坂市にある社会福祉法人やすらぎの園に附設された「診療所」に勤めている。病院医療とは環境も仕事内容も180度異なる高齢者施設の医療である。一般外来患者さんも2割ほど来院されるが大半は施設入所者である。委嘱され回診など行うのは特別養護老人ホームの入所者で、平均年齢90歳、寝たきりの方8割。認知症9割以上、自分で訴えることができる入所者は2、3人という構成である。まずは認知症の入所者との付き合いから学んでいる。発熱したり具合が悪そうだと連絡が来ると入所者のこれまでの経過や症状、触診、聴診など限られた所見から医療推論を大いに駆使し病態を考えて、近隣の救急病院に送るかどうかを決めることになる。搬送の最終的な判断は家族の希望によるが急性期の疾患に対して大半の家族は救急搬送を希望する。これまで信州医療センターには大変お世話になっている。更に特別養護老人ホームは自宅を兼ねた施設でもある（入所は5年待ち！）。最後まで施設で見て欲しいと家族は希望するので「施設看取り」も当然行う。救急対象患者はデイサービスに通ってくるお年寄りや児童クラブの子供さん達、保育園児、その他の施設入所者や職員など合わせると700人以上である。年齢も0歳児から100歳以上までと幅広い。内科の知識の他に独法化の中で教えてもらった総合医療、在宅診療、健診医療、地域医療、産業医活動、病院運営の知識など沢山の経験がここでの医療に役立っている。

新しく出会う医療に心をワクワクさせながら暮らしている毎日である。

終





前院長のつぶやき

長野県立こども病院 こころの診療科 部長 樋掛 忠彦
(長野県立こころの医療センター駒ヶ根名誉院長)

今は世界中が COVID-19 災害に巻き込まれている。現時点では特異的な治療法がないので、単なるウイルスによる感染症の領域を越えて政治経済上の大問題へと発展している。中世のペストまで遡っていろんな論説がなされている。以前から世界の将来課題として、①人口減少社会、② AI（人工知能）の導入、③脱グローバル化（自国第一主義の動き）の問題が指摘されていた。しかし、日常的に我々は、過去・現在・未来は連続していて、昨日のルールは明日も通用するだろうという常識で生きている。戦争ではないが、COVID-19 災害はそんな常識をひっくり返して未来への道のりを加速してしまいそうである。特に①、②が病院経営へ与えるインパクトは非常に大きいだろう。

さて、私が院長職を務めたのは 2002 年からの 16 年間と長く、他にあまり例がないかもしれない。長いことに特別の意味はないが、病院改築と独立行政法人化、さらには電子カルテ導入、病院機能評価受審までと現場の動きは慌ただしかった。着任した時にはすでに整備検討委員会が始まっていた。しかし答申書は陽の目を見ず、2006 年からの「県立駒ヶ根病院マスタープラン委員会」によりようやく改築の方向性が定まった。（他の府県でも病院改築の基本計画がありながら、種々の理由で実行できない例を見聞きする。公立病院は社会・政治の影響から決して無関係ではない。）日本の精神科病院は他科にはない特別な問題を抱えている。それは 20 世紀の隔離収容政策の結果として生まれた長期在院者の存在である。欧米では第二次世界大戦後に精神科病院からの脱施設化が始まったが、日本では主として民間の精神科病院の病床数が急速に伸びたのは高度成長期の裏面史と言える。現在でも 30 万床を越えていて世界に類を見ない。（当時の首長に将来ビジョンを聞かれて、日本では精神科病院の民営化が進みすぎていると答えたことがある。）駒ヶ根病院でも多くの長期入院者がいたが、「こころの医療センター駒ヶ根」として改築後は 120 床台への大幅な減床を目指すことになり、院内に多職種による委員会やチームを立ち上げて、1 年以上の在院患者の退院支援に取り組んだ。退院不安を和らげるために集団プログラムや外泊体験などを実施し、その結果、約 70 名の長期入院者が地域に定着した。新病院の運営方針は、①危機介入と急性期治療の提供、②専門医療の提供（アルコール・薬物依存症病棟、児童精神科病棟、医療観察法ユニット）、③包括的精神保健サービスの中核機能の提供、④病病連携と病診連携の強化、となった。改築の前年、2010 年に県立 5 病院がまとまって地方独立行政法人化したため、精神保健福祉士、臨床心理士、作業療法士などのコメディカルスタッフ（現在、この呼称は廃止された）を大幅に増員することが可能になり③、④の活動が具体化して「ひらかれた病院づくり」に役立った。

改築から数か月してホームページに「院長のつぶやき」という短文を連載した。始めて何回かはドラッカーの言葉を引用したので面食らった人もいただろう。いわく「うまくいかなくなるきっかけは、成功しているときである」、「良き意図を詰め込みすぎないこと」、「強みと弱みを知る」、「組織のために重要なことは何か」、「判断基準が多様な中で真摯 (INTEGRITY) に取り組める」、「ひとり一人の人と社会を変える存在」（「ドラッカー名著集 4 非営利組織の経営」より）。病院の構造や機能が変わったことによる管理上の不安があった。「20 世紀前半は不況と戦争の時代、後半は消費と情報化の時代といわれる。所有と欲望の時代という人もいる。21 世紀は『災害 一人的災害を含めて— とコミュニティ復活の時代』になるのでしょうか?」とも書いた。実際には初年度には 1 億 1 千万円の赤字となって、患者さんから慰めの言葉をいただいた。結局、黒字化するのに 6 年の年月を必要とした。病床数は減っても、先駆けて専門病棟体制を整備することにより、後の保険点数改定が追い風になり、入院患者数は減少しても病床単価が上昇し経営が安定したのである。国の保健

医療政策の先を読むことは難しいが、将来ビジョンを持つことは管理者の仕事である。

最初の1年間に50回余りもつぶやいたのは病院改築の初年度であり同時に東日本大震災の影響により、精神的に高揚していたからかもしれない。話題は電子カルテ導入、認知症問題、司法精神医学、グループ療法、ホスピタルアート、将来ビジョンなど多岐に及んだが、反響が多かったのは趣味や旅行についてである。ゴールドウィークに出かけたウルグアイ旅行では、夕方のぶらぶら歩き、友達づきあい、そして休日の過ごし方から、ゆっくりした時間の流れを記した。水泳教室の送別会から褒め言葉のいろいろを書いてみた。「長く続けてゴールドスイマーになった。」「言われたことをすぐに実行できる。」「練習に熱心である。」「まわりの人に気を配る。」「前向きに取り組む。」「コーチを助けてくれる。」「年をとっても記録が落ちない。」「新記録を達成した。」「フォームがリラックスして泳ぎがのびる。」「教わったことは自主練習をする。」「

独立行政法人化により、院長は理事として理事会に定期的に出席することになった。最初に話題になったのは、報告事項と審議事項の区別、そして経営報告の迅速化である。監事や外部からの理事からの経営的観点はもちろんであるが、医療関係者ではないユーザーとしての声にも私はとても関心があった。残念ながら精神科医療では、県立精神科病院が保険診療収入だけではとても中核的センターとして、臨床、教育・訓練、研究そして調整とコンサルテーションといった機能を果たすことができない。県民や地域住民の支持そして関係機関との連携は不可欠なのである。法人が中期計画に従って運営することになり、職員はより自律的な意識を持つようになったが、あえて問題点を二点あげれば、重要な意思決定は従来と変わらず時間がかかり病院の独自性を出しにくい、県立5病院のそれぞれの機能に違いがあり共通認識を得にくいことがある。長野県は地理的にも広く人事交流の難しさがあったが、昨今の通信技術の発達や働き方の変化により改善策がありそうだ。

現在、私はこども病院の一医師として、主に周産期のこころのケアや緩和ケアにかかわっている。総合病院で働くことは若い頃からの希望だったが、今頃になるとは思わなかった。臨床心理士と精神看護専門看護師と一緒にリエゾンチームとして活動している。こども病院においてもこころのケアは必須であるが、他科からの依頼内容と精神的に見たケアの必要性との間のズレが生じることがある。専門的な知識の有無だけでなく、偏見という壁があると感ずることもある。かつて海外ボランティアの「援助しない技術」についてつぶやいたことがある。自分の立ち位置を理解する、対話による理解、事実と解釈の区別、共通課題の発見、実行可能な計画と同意などのプロセスは臨床実践とも共通しているので参考になる。こども病院で出会う症例は精神的にみれば症状が軽くても、その他の変数のとても多い込みいった方程式であり、問題解決には多職種チームなくして対処できない。また専門医療では患者・家族をみるだけでなく職員間の意見の調整が難しく、メンタルヘルス問題が発生しやすいとも言われている。

過去について書きはじめたこの文章も「生きることは変化し続けること」(ムヒカ前ウルグアイ大統領)なので、ついに現在に至ってしまった。病院のスローガンの一つに「つくり続ける病院」を掲げたが、独立行政法人化して10年が経過して各病院は新たな課題に直面している。「改善は必ず失敗する。しかし改善し続けることにより成功する」という言葉があるが、漸進的な改革は常に求められる。公立病院としての自身のアイデンティティを失わずに、変化する社会に今後もコミットして欲しい。



「阿南病院の地域医療への思い」

長野県立阿南病院 院長 田中 雅人

この長野県下伊那南部地域で診療に携わることとなったのは平成5年でした。

総合的な診療を勉強することは、今後、医師として大切になるのではないかと考え、静岡県から県立阿南病院へ短期間の研修の予定で勤務を開始しました。この地域には、豊かな自然環境の中で、自然と共存しながら、住民が互いに信頼し、助け合いながら生きており、ぬくもりのある生活感が感じられました。また、地域住民の、阿南病院への信頼、期待が強く感じられ、阿南病院は地域と密着した病院だと強く感じました。

当時から、高齢化比率は高く、診療は医学的な側面のみでなく、患者様ご本人の人生観、社会観、生活背景、家族環境などを考慮して診療を進めていく必要があり、想像した以上に総合診療の難しさに気づき、逆に、興味を惹かれました。

予定の期間を過ぎ、大学、その他の先輩方からの誘いもありましたが、地域の状況、住民、患者様等の思い、自分自身の役割も感じて勤務を延長することになりました。

下伊那南部地区の一般の総合病院の機能に含め、生理的機能の衰えた高齢者に対する診療、無医地区へのへき地巡回診療や地域の福祉施設の嘱託医としての診療、また、高齢で地理的条件のため通院できない患者様への訪問診察、公衆衛生的な活動など、地域と密着し、地域に思いやりをもった医療に取り組んできました。また、ほぼ病院と宿舎を行き来するだけの生活となり、家族には大変な迷惑をかけたと感じ、感謝しています。

現在は病院長ですが、医師からスタートして様々な立場で診療を続けて来ましたが、診療に対する基本姿勢は20数年前とあまり変わらないと思います。前院長の故温田信夫先生の、「全人的医療」の考えを引き継ぎながら、病気のみでなく患者様の生きていることの満足感の向上に努めるように診療を続けて来ました。

宿舎が病院に近いこともあり、内科医でありながら前病院の経験を生かして手術等の麻酔を担当し、また、在宅への看取りも行うなど、休日夜間を問わず診療業務に携わっていたように感じています。さらに長い時間を共に過ごすことになった住民の皆さん方から、医療以外の多くの知識を頂いたことに感謝します。普通の方々が、医療に対して何を求めているのか、率直な意見を自由に話していただき、感謝しています。

また、若手の医師、看護師教育、現場指導等も行い様々なことを経験させていただいたことに感謝しています。

阿南病院に勤務して大きな転換期を迎えたのが、県行政から独立行政法人化したことです。実質は長野県とは繋がりが続くわけですが、体質は大きく変わったと思います。

病院の建物や医療機器の老朽化による改築工事や機器の入れ替えと投資経費が膨らみ、さらに、人口減少で患者数が減少、収支も悪化するなど課題の対応に迫られました。経費削減や病棟の再編、業務改善、また、この地域に必要な医療を提供するために医師の確保が必要であるなど課題が山積でした。

特に法人化して阿南病院で大きな事は、本館棟の耐震化改築工事これに併せた病棟の見直し、また、電子カルテの導入をしたことです。法人化して、県の予算の枠の中でしかできなかった状況が、必要な事業への投資の自由度が増して事業化できたことです。この改築で大きかったのが、当時の県知事の法人化した後の

病院の役割を考えて、大災害時に重要な役割のある病院として、これに対応できる免震構造でヘリポート付きの本館棟の改築工事を決断いただいたことがあり、法人化に伴い災害時に継続して医療の提供できる病院に生まれ変わることができました。その他、人材確保や医療機器の購入など県の枠中での運用となっていた事が、自由度が増して収支バランスを考えながら、大型医療機器の更新や長年常勤医がいなかった診療科へ常勤医を確保するための活動ができるようになったなどが大きく変革したと考えます。

最後になりますが、人口減少が進み少子高齢化の過疎化が進む地域で、どのように病院経営をしたらよいか、今後地域に信頼される病院運営の姿はどうあるべきか、収益を上げて経費を節約して収支バランスを取り、かつ住民の満足度を向上させながらどのような規模でどのような病院を運営するかと課題は多いと考えますが、引き続き地域の行政や医療機関等との連携を図りながら、患者様にやさしく思いやりのある病院を目指して一層努力していきたいと思っています。



平成 26 年 2 月 20 日

鈴ヶ沢巡回診療

大雪のため患者宅を
巡回の様子



平成 26 年 2 月 6 日

訪問診療



令和 3 年 1 月 7 日

現在の訪問診療





「地方独立行政法人化移行の葛藤と内情」

長野県立木曽病院 外科 久米田 茂喜
(長野県立木曽病院名誉院長)

長野県立木曽病院には新人医師として1977年10月より1年間、外科トップとして1998年4月より15年間勤務しました。木曽病院は、それ以前は累積赤字を20数億円抱え、赤字体質は当たり前の病院でしたが、1997年に小口先生が赴任、1998年4月より院長となり、そこに小生が赴任し、木曽谷にきらりと光る病院でありたいと、病院改革意識改革も進み、1999年度から、17年間黒字経営という奇跡を起こしました。小口先生が5年後須坂病院に移られ、2年間宮坂院長のあと、2004年4月から院長を引き受け8年間外科医兼院長として働かせていただきました。全国的に奇異的興味をもって注目を集めた田中知事時代、病院医師給与は10%程度下げられ、そこに病院長になったとたん超過勤務なしとのことで数百万円程度年俸が減り、そのまま8年間を過ごしました。外科医として患者さんの役に立ち、自ら上げた収益が病院経営に役立てば、院長給与は研修医含めた医師給与のなかで下から5番目というのもありかと当時は半分本気で満足していました。

そんななか、小泉内閣の構造改革政策で、公務員を減らせという総務省にしつぽを振ったのが地方独立行政法人化でした。時代の流れで、国立大学病院が独立法人化され、郵政民営化も済、仕方のない状況はみんな肌で感じ取っていましたが、木曽病院には特殊な事情があり、これは木曽の医療にメリットはないと判断できました。木曽の事情とは、某木曽出身の医師に木曽病院に帰ってこないかと誘いをかけた折の返答“木曽を出るために医師になったんですよ”に象徴されるように、人材がないことで、自由裁量で人を集められるという独法化のメリットが全くないことが第一でした。またそれまで木曽病院の頑張りに対して、県も大いにバックアップしてくれ、CT MRI、血管造影装置、放射線治療設備、電子カルテ等、他の県立病院に先んじて整備補助してくれていました。独法化しなくても頑張りによりメリハリ着けた温かみのある予算配分があったのです。木曽病院にとっては独法化で何のメリットもなく、当時大きな赤字体質から脱却できなかった信州医療センター（旧：須坂病院）をまとめて救済するための独法化でしかなかったのです。県としては、総務省への忠誠を誓い、交付金をいただく方便でしかなかったかもしれませんが、僻地で頑張っている木曽病院を無視したものでした。

国立大学病院機構移行に信大病院長として乗り切った勝山先生をトップに方針ありきのやり方には木曽病院長としてははかない抵抗を試みるしかなかったのです。そこで独法化するようなら木曽病院長を辞めると公言し、独法化された3年後に早期退職制度を利用できるかと辞めさせていただきました。きっかけは後任に井上先生を院長とすることで、信大第3内科より神経内科医師を増員してくれること（木曽の脳血管緊急医療体制は、脳神経外科が権兵衛峠の開通を機に引き上げられた後、神経内科医を複数体制にすることが急務でした）でした。自分としては、一時は伊那中央病院をしのいだ診療内容－2.5次医療を木曽で完遂することをできる範囲で応援したかったわけです。しかしながら、時代の流れもあり、木曽の医療を減私奉公で支えようとか、一流にしようといった医師をはじめとするスタッフを集めたり定着させることは難しく、時代錯誤かもしれません。逆に今は独法化で、信州医療センター（旧：須坂病院）をはじめとする4病院に木

曾病院が助けられているようです。今後少子高齢化人口減少の木曾でこういった医療サービスを提供できるか、するべきか、濱野院長はじめスタッフの頑張りに期待したいと思います。

医療の原点は、患者さんのためにあるもので、そのための医療人であり、病院です（これは自分にとっては学生運動で学んだ揺るぎのない信念です）この軸がぶれないよう最善最良の選択をしてもらえたらと応援しています。

なお病院長を早めに辞めて、早期退職制度の適応となるかと思いきや、医師には適用しないとのこと、しかも自己都合退職扱いということで、30%退職金減額との厳しい処置でした。

つくづく県からは報酬面での冷遇を受けましたが、県から木曾病院に派遣された人材の中には、本当に優秀な人材が多く、僻地で木曾病院を支え続けてくれました。ひとのつながりやサポートに感謝しかありません。また木曾病院スタッフも院長時代は、院長がこれだけ働いているのだから、もっと働けと無理強いしたのに、訴えられることなく、よく働き頑張ってくれました。本当にありがとうございました。



森林セラピー 久米田医師



「地方独立行政法人移行時や 在職中の思い出」

長野県立木曽病院 神経内科 井上 敦
(長野県立木曽病院名誉院長)

上記のテーマで地方独立行政法人化10年を振り返る特集を組むということで、寄稿を依頼されましたので、思いつくまま、書かせていただきます。

まずは、県民の方々に様々な医療サービスを提供するため、機構の立ち上げから、10年間にわたって機構の維持運営に努力されてきた多くの皆様に、敬意と感謝を申し上げます。県立5病院や信州木曽看護専門学校といったそれぞれ役割も性格も異なった施設をまとめ上げ、厳しい医療情勢のなかで採算を考えつつ、一体となって運営していくことは大変な苦勞の賜物であると思います。

さて地方独立行政法人移行時に感じた事を記載していきたいと思います。

地方独立行政法人長野県立病院機構が発足したのは平成22年4月1日だと思いますが、その頃の当院の院長は久米田先生で、私は副院長として病院の運営に関与していました。私自身は小口先生が院長をされていた時に当院に赴任し、約10年が経過していました。赴任当初は脳神経外科があったため神経疾患に加え、内科の新患外来や検診の内視鏡、健康診断、訪問診療など幅広く診療していましたが、権兵衛峠のトンネルが開き、それを契機に信大の脳外科医の派遣打ち切りとなったため、脳神経外科のない2次救急医療病院で脳卒中、交通外傷、脳腫瘍、髄膜炎、ギランバレー症候群などすぐ命にかかわる疾患を24時間365日一人で担当することになりました。木曽郡の人口も現在より1万5000人ほど多く、夜間の救急車も多く病棟は常にいっぱい、現在の入院患者数からは考えられない忙しさでした。診療以外でも副院長としての経営面でも仕事も多くありました。特に小口院長の頃は県内では初めて受審することになった日本医療機能評価機構による病院機能評価受審のための準備、療養病棟開設準備、電子カルテ導入準備、院内研究会の発足などで会議や視察も多くありました。小口先生は多くのアイデアを出される方で、それを実現するために色々指示を出されましたがその対応は結構大変でした。しかし病院の経営は劇的に改善しその成果には嬉しい思いをしました。平成15年に宮坂先生が院長で来られた6月に病院機能評価の結果が報告され、全国でも有数の高い評価で認定され受審の苦勞も報われたような気分になりました。

さて独立行政法人化移行時の院長であった久米田先生は熱心に手術される方でしたので、移行前は代理で運営委員会の司会をしたり、また病院長会議にも何度か出席しました。院長会議には村井知事さんがいつも来られて各病院の状況について熱心に聞いておられたのが印象的でした。この頃の事を振り返ると現在は各病院長と知事さんとの距離がはるか遠くになったという感じがしています。

独立行政法人化移行については木曽病院内でもいろいろ議論され、メリット、デメリットについての意見があったと記憶しています。しかし全国的に病院の統廃合の流れがありましたし、地方公務員の定数削減機運、将来人口減、少子高齢化が急速に進むであろう木曽地区の状況を考えると独法化してよかったのではないかと思います。ただ独法化したどんな点が変わったかについてはあげておきたいと思います。

良かった点としては、5病院間の協力がスムーズにいくようになった点でしょうか。当院も看護師や助産師、リハビリテーションスタッフなどの多くの職種で、種々の事情で人員が足りなくなり、施設基準に到達できなくなりそうなおことがありました。そのような時期に短期間ではありますが、他の病院から人員を派遣していただいて、急場を凌ぐことが何回かありました。もちろん当院も他の病院に協力させていただきました。

た。また人員に限らず5病院間の交流も以前よりはよくできるようになり、機構の中での一体感は増したと思います。機構本部の方々も県からの補助金獲得、国の医療政策や保険制度などの情報交換、病院運営面での援助などで非常によくやっただいていてと思います。できればそうした機構本部の貢献度を病院職員がもっと知ってもらえる機会が多ければいいと思っています。

さて職員の方から見ると独法化後は地方公務員ではなくなったことでしょうか。今でも県から派遣の方もいるにはいますが、独法化以前は“県職”という意識や自負が強かったように思います。なお待遇や福祉は県職員の頃と変わらないという合意がなされていたようで、その合意が今も強く残っている気がします。ただ独法化後も事務の幹部の方は県職のまま病院に出向されてきている方もいて、その方々の意識はどうしても機構よりも県のほうに向いていて、その言動にモヤモヤすることもありました。

人材確保の点でもいくつかあります。医師については、特に変化はなかったように思います。しかし他の医療職の方々については、県の頃は病院以外の施設にも勤務され、病院に転勤されてきた方もかなりいました。転勤についてはあまりこだわりがなかったように思いましたが、独法化後は特に医療職の方の病院以外の部署からの転勤の方はほとんどいなくなったように思います。また機構に採用されても、特に都市部の方のなかでは「木曽病院へ行くのはちょっとー」という理由で当院に来ない例も目立ってきました。そのため現地での人材確保により一層努力せざるをえなくなりました。しかし木曽町で種々の医療資格を持った方は少ないか、ほとんどいない。それなのに病院経営に必要な種々の資格が新たに次々とでてきて、必要な施設基準を満たすことに苦慮する状況は続いています。病院内で人材を育てようと努力もしてきました。例えば看護師については、認定看護師の養成。スーパー助産師の育成などに力をいれ、それなりに成果は上がりました。

しかし資格を取っても十分生かせず病院を辞めてしまう職員もいるという問題もありました。他の職種でも地元の方での補充はなかなか難しいことには変わりはありません。また地元の方で仕事はでき病院にも貢献されている非常勤の方を正職員に採用しようとしても、資格試験になかなか合格できないということもありました。こういった人材の獲得については機構と協力して進めていってほしいものです。

院長職は平成25年から7年間務めさせていただきました。その間2回の病院機能評価受審、御岳山噴火、病院開院50周年記念式典、老人保健施設アイライフの開設20周年記念式典、地域がん診療病院の認定、地域包括ケア病棟運用開始と病棟再編成、介護医療院運用開始、病床数の変更などいろいろ課題はありました。幸い木曽病院の守る会の方々や、木曽地域の町村長の方々から地域の医療を守る病院として多くの信頼と期待を得ることができ、種々のご支援や励ましをいただきながら、今日に至っていることをとても嬉しく思います。

マスコミ対応は御岳山噴火の時だけで、マスコミの方々を前に頭を下げるほどの医療事故や不祥事などがなくて済んだことにはほっとしています。お世話になった病院職員をはじめ、多くの関係者の方々に感謝いたします。木曽病院が今後とも地域医療の中心となって住民の方が安心して暮らせる医療サービスを提供し続けていくよう期待しています。



「独立行政法人化と病院長職」

長野県立病院機構
理事・改革統括医療監 原田 順和
(長野県立こども病院名誉院長)

私は、地方独立行政法人長野県立機構が発足して2年目の平成23年4月より、7年間にわたり独立行政法人化された長野県立こども病院の病院長として病院運営に携わることになりました。それまでは、平成5年に開設された県立病院時代の長野県立こども病院で心臓血管外科部長として、病院経営のことなどお構いなしに、自由にやっていたというのが正直なところです。

長野県立こども病院は、他の県立病院と同時に平成22年4月に独立行政法人化されました。副病院長として、機構理事長と兼務されて病院長の職に就かれた勝山努先生の後姿を見ながら、日々“門前の小僧習わぬ経を読む”の段でまさに on the job training での勉強をしたのを思い出します。今振り返ると、この時の一年間に学んだことが、その後の病院長の職務を行う上で、一番役に立ったと思っています。

さて、その後の病院長職を行うにあたって、独立行政法人化された利点が十分に生かされたことを二つばかり挙げてみたいと思います。

一つ目に挙げたいことは、第二期中期計画でははっきりとは予定していなかった小児集中治療室の増床工事です。私が心臓血管外科部長としてこども病院で手術を行っていた時期に、手術の朝になって、緊急患者のため集中治療室が満室となり、当日の朝になって手術を延期せざるを得ないことが、しばしば生じていました。仕事や、学校の都合をつけ、ようやく手術日を迎えたにも関わらず、当日の朝になって手術日の変更を伝えられた患者さんやその家族のことを思うと、小児集中治療室の拡張を実現できないものかと考えていました。

独立法人化されて以降、収入と支出を考えながら、事業を新しく始めなければならないと前病院長からきつい申し送りがありました。そのため、当時の松井彦郎小児集中治療科部長と必要な病床数、設備、人員などをシミュレーションし、収支のバランスを検討しながら、機構本部の方々とやり取りを繰り返し、最終的には当時の眞鍋馨健康福祉部長にも理解していただくことができました。平成28年4月から工事が開始され、工事中にも地中から廃棄されたコンクリートの塊が出てくるなど、紆余曲折はありましたが、平成29年7月に、新しく12床に増床された小児集中治療室がオープンしました。

次に挙げることができるのは、寄附プログラムの実現です。県立病院時代は、たとえ病院宛の寄附があったとしても、一度は県に入れてから、その後減額された額が病院会計に回ってくるということになっていました。独立行政法人化された後は、直接病院会計に繰り入れることができるようになったため、この点を大いに利用できないかと考えていました。幸い、安曇野に立地している自動車関連部品のメーカーの社長さんと知り合うことができ、毎年決まった額の寄附をしてくださるようになりました。その寄附を利用して、図書室や患者ラウンジの改装など、毎年の予算には繰り入れることが難しい案件を実現させていただきました。

また、サッカーチームが地元で根差し、多くのサポーターに応援してもらっていることにヒントを得て、こども病院にもサポーターを作ろうということで、寄附プログラムを立ち上げ、サポーター制度を発足させることができました。このことが、後のドクターカーを更新するための費用を集めるクラウドファンディングの立ち上げにもつながっていきました。寄附プログラムは、ただ単に経済的なメリットをもたらすだけでなく、多くの人たちにこども病院を支えていただき知っていただき、ともすれば孤立しがちな病院と社会とのつながりを深めることができたという点で、独立法人化された利点の一つであったと考えています。

私の病院長の任期は平成30年3月で無事に終了しました。7年間にわたり、多くの方々に支えていただきましたが、その中でも病院が独立法人化され、病院長としての職務と責任を考えながら、自分の考えを実現できたことは、大変幸せなことでありました。県立病院からの独立法人化を実現された勝山努前理事長、北原政彦前副理事長をはじめ、多くの方々に感謝したいと思います。



PICU 増床改修工事竣工記念式典

地域の明日を

●メッセージ

信州医療センター



病院長
寺田 克

当院は「患者中心のチーム医療を実践し、信頼される病院を目指す」を基本理念とし、医療の質の向上や安全な医療の提供、地域の健康増進への寄与、医療人の育成、政策医療としての感染症医療の充実に努めています。

平成27年度から始まった第2期中期計画も、令和元年度で終了しました。この間、東棟の新築（健康管理センター、内視鏡センター、外来化学療法室、地域医療福祉連携室）、産婦人科小児科病棟、地域包括ケア病棟の改修と総合診療科診療室の移設設置など地域包括ケアシステムに密接に関わる部門の拡充を図りました。また、県の政策医療を担う感染症センターの設置、遺伝子診療部門の拡充をはじめ、本部研修センターの移設を行うとともに、病院名を「長野県立信州医療センター」に変更しました。

令和2年度から第3期中期計画の開始となります。同期間では、第2期での取り組みを生かし、これらの機能と運用を活性化させます。地域の基幹病院として、医療・福祉・行政の方々との連携のもと、外来一般診療はもとより、時間外救急患者さんの診療、急性期から回復期の入院患者さんや退院後の在宅の方の診療を行うとともに、疾病予防や健康増進などについての取り組みを積極的に行います。また、災害医療への対応（昨年台風水害では他施設からの患者さんの受け入れ）や医療機器の整備とその共同利用の推進を図ります。県立病院機構の中核・政策医療を担う取り組みとしては、特定行為に係る看護師の養成事業の開始と総合診療医の新専門医制度に対応した信州大学との連携講座を開設します。また、感染症指定医療機関として、COVID-19を含めた感染症の診療・治療に積極的に関与します。

こころの医療センター駒ヶ根



病院長
埴原 秋晃

当院は「あなたの手の届くところに」をキャッチフレーズに地域に開かれた病院を目指しています。長野県精神科医療の中核病院として常時対応型の精神科救急医療ならびに児童精神科医療、依存症医療、司法精神医療などの専門性の高い精神科医療を提供しています。

令和元年度においては、子どものこころ診療センターを設置し、長野県のアルコール依存症専門医療機関及び依存症治療拠点機関の指定を受け、認知症疾患医療センターの開設に向けて体制を整えるなど、精神科専門医療

の充実や強化を進めて参りました。また、復職支援や思春期デイケアなど多様なデイケアプログラムの提供、多職種による訪問看護など地域包括ケアにも積極的に取り組んでいます。精神科研修・研究センターを中心に人材育成にも注力するとともに、多職種チーム医療の実践のもと地域および県民の皆様のごころの健康に貢献できるよう努力して参ります。

阿南病院



病院長
田中 雅人

～地域住民の暮らしと絆を支え続け
地域に寄り添う医療の実現へ～

阿南病院は、下伊那南部唯一の中核病院として、地域の医療・保健・福祉機関との連携のもと、患者様中心に優しさと思いやりのある医療を提供しており、また、へき地医療拠点病院として無医地区への巡回診療、診療所への医師派遣などを行っております。

当院の診療圏である下伊那南部地域は、老年人口割合が44%を超え、県下2番目の高齢化先進地域という状況の中で当院は、高齢者医療を中心に小児医療・精神医療など地域医療を推進しております。また、地域包括ケアシステムの後方支援病院として訪問診療、訪問看護及び訪問リハビリ等の在宅医療にも力を入れるとともに、介護老人保健施設を運営して介護サービス提供にも努めています。さらに「地域医療総合支援センター」を設置し、健診活動・認知症対応またへき地医療に携わる医療技術

者の育成にも力を注いでおります。当地域が東南海地震強化地域であることから、耐震化改築工事の施工により、本館棟は免震構造でヘリポートを備えた、災害においても医療機能を継続できる病院となり、どんな時でも地域で安心して暮らせる医療を提供してまいります。

超高齢化の下伊那南部地域において、地域医療構想に基づき当院の役割を明確化にして、行政、基幹病院等と連携をする中で中核病院として地域医療を推進するとともに、地域の診療所への支援や課題となっている認知症への対応（相談、診療）にも力をいれていきます。また、高齢者世帯などが多い地域事情に対応するために、訪問看護ステーションを開設するなど、一層の在宅医療の推進に努めます。

今後も引き続き、患者様中心の優しさと思いやりのある地域医療を推進してまいります。

木曽病院



病院長
濱野 英明

木曽医療圏は木曽郡6町村から成り、面積は大阪府の約80%、東京都の約70%に及び、木曽病院が唯一の有床医療機関です。国内に344ある二次医療圏の中で有床医療機関が一施設しかないという例はここだけです。

木曽郡全体の人口は1960年には6万人弱でしたが、2020年には2万6000人余と半減しており、県内にある10の二次医療圏の人口の中でも最少です。更に2040年には2万人を切ると予測されており、過疎化の進行は今後も続きます。また、65歳以上の人口割合は既に40%を超え、最高となっています。

木曽病院は、急性期から慢性期まで、かつ妊娠出産から終末期まで、全てを対応する地域完成型の医療を提供し、救急告示医療機関・災害拠点病院・へき地医療拠点病院などの指定も受けています。さらに、介護老人保健施設も併設しており、令和2年3月からは介護療養病床

を転換し、介護医療院を開設しました。介護医療院は、医療の必要な介護者の長期療養・生活施設であり、高齢化と過疎化が進む木曽地域でまさに求められているものです。

本年報は、木曽病院を含め県立病院機構各施設の歴史を刻む資料です。木曽医療圏における高齢化と過疎化に歯止めをかけることは難しいとの現状を冷静に受け止め、今後の木曽地域の医療と介護のあり方を真剣に議論すべき段階にあると考えています。患者数増加が安定した経営に繋がることは明らかですが、それを求めていくことは現実的ではないことを客観的データは明確に示しています。このような状況下で木曽地域の住民の皆さんに安心して生活していただける医療・介護環境を継続して提供するためにはどうすべきなのか、明確なビジョンを示すべき重要な任務が私達には課せられていると感じています。

医療で支える

こども病院



病院長
中村 友彦

医療的ケアを必要のまま在宅医療を継続する子ども達への診療・支援は益々重要になってきており、2019年10月1日に「訪問診療センター」を全国の小児医療施設に先駆けて開設しました。こども病院の近隣の在宅人工呼吸をおこなっている患者さんを中心に、週一度の医師と看護師による訪問診療と別の日に理学療法士による訪問リハビリを開始しました。今後、さらに訪問する件数を増加し、いずれは栄養指導、薬剤指導等もおこない、小児訪問診療のモデルになれるように考えています。

こども病院は、開設して30年近くとなり、先天性または小児期に病気を発症して思春期・成人への移行期医

療を必要とするお子さんが増えています。就学、就労の支援を必要とするお子さんも多く、長野県の「移行期医療支援センター」と連携して支援していきます。

小児訪問診療の必要性、思春期・若年成人になられた患者さんの増加、さらにこどもが入院した際には、「家族も一緒に医療に参加」するのが当たり前になった小児医療の変化に対して、こども病院は、ハード面、ソフト面で適応できなくなってきました。本格的に「こども病院建て替え」について、患者さんとご家族からご意見を伺って、新しい時代に即した進化したこども病院について議論をすすめます。

本部研修センター



センター長
上沢 修

本部研修センターは機構設立と同時に設立され、そのミッションは「よき医療人の育成」です。「職員の知識・技術・資質の向上」「県内外の医療機関と連携し、シミュレーション教育を活かす」「医師確保、育成支援」「県内医療水準向上への貢献」の4本の柱を基に事業を展開しています。全職員を対象とした課程別研修や選択研修、職種毎の専門研修、平成30年度からは「キャリア形成研修」の企画・運営をしています。今年度はCOVID-19のため、中止したのもありますが、実現しようと再度予定を立て直した次第です。

発足当時から重点的に取り組んできたシミュレーション研修ですが、短期海外派遣が困難となりハワイ SimTiki 研修は中止しております。初期臨床研修医の皆様には大変御迷惑をおかけしました。

当センターには「長野県医師確保総合支援センター長野県立病院機構分室」が設置されており、長野県の医師確保・育成に関与することは重要な業務となっています。初期研修医・医学生への定期的シミュレーション教育の実施、今年4回を迎える病院合同説明会今年から名前を変更し「長野県立5病院 Joint セミナー」となりますが、新しい企画等を用意しています。信大生をはじめとして医学部学生諸君、是非ともエントリーしてください。

当センターの理念である「県民が求める安心で質の高い医療を提供できる医療人育成」の実現にますます努めて参ります。

信州木曽看護専門学校



学校長(理事長兼務)
久保 恵嗣

2014年(平成26年)4月に開校した信州木曽看護専門学校は7年目を迎え、第4期生を卒業生として送り出しました。

外部講師・実習施設との連携及び地域との交流を図りながら、より良い学校創りを進めるとともに、教職員が一丸となって卒業生の看護師国家試験合格を目指しサポートする体制を充実させており、開校以来、第1期生から第3期生まで全員が合格するなど高い合格率を誇っております。卒業後の進路では、県内の病院に勤務した者が第1期生25名(内、木曽病院5名)、第2期生15名(内、木曽病院4名)、第3期生21名(内、木曽病院8名)、第4期生23名(内、木曽病院5名)であり、木曽地域や上伊那地区を中心とした看護師不足に対応するという本校の設立目的が果たされていると思います。

課題は、少子化に向かう中での学生の確保ですが、実習の充実等当校の強みを積極的にアピールするなど、広報活動を積極的に進めます。もう一点は教員の確保・育成と指導教員の養成ですが、県立病院から新任教員を迎え研修に積極的に参加させるなど、安

定的な教員の確保、ノウハウの継承に努めてまいります。

今後も学生及び教育水準の確保に尽力してまいりますので医療機関、行政や地域の皆様には、日頃のご助力に感謝申し上げますとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。





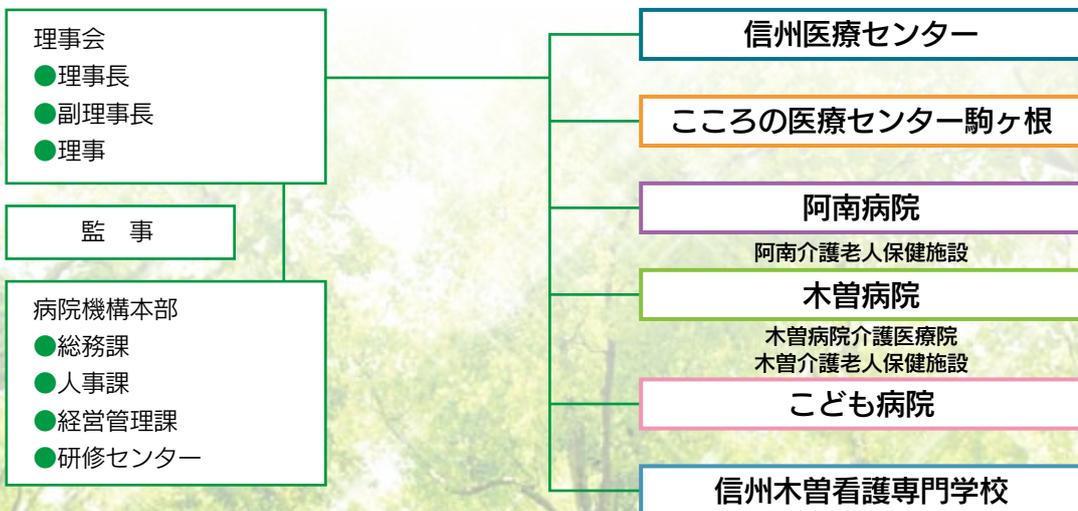
●機構の概要

名 称	地方独立行政法人長野県立病院機構
所 在 地	長野市大字南長野幅下 692 番地 2
法人の設立年月日	平成 22 年 4 月 1 日
設 立 団 体	長野県
資 本 金	305,621,763 円 (令和2年3月 31 日現在)
目 的	長野県の医療政策として必要な地域医療、高度医療及び専門医療を提供すること等により、県民の健康の維持及び増進並びに県内医療水準の向上に寄与する。

●役員の状況

理 事 長	く ぼ けい し 久 保 恵 嗣
副 理 事 長	きた はら まさ ひこ 北 原 政 彦
理 事	てら だ まさる 寺 田 克 (信州医療センター院長)
	はに はら とし じ 埴 原 秋 児 (こころの医療センター駒ヶ根院長)
	た なか まさ と 田 中 雅 人 (阿南病院長)
	いの うえ あつし 井 上 敦 (木曽病院長)
	なか むら とも ひこ 中 村 友 彦 (こども病院長)
	はら だ より かず 原 田 順 和 (改革統括医療監)
	しま げん じ 島 崎 謙 治 (政策研究大学院大学教授)
	こ ばやし み ち こ 小 林 美智子 (医師 (元伊那保健所長))
監 事	やなぎ さわ いさむ 柳 沢 勇 (損害保険ジャパン日本興亜株式会社 長野支店 顧問)
	やま なか たかし 山 中 崇 (公認会計士)

●組織図



法人が運営する病院及び介護老人保健施設等の概要

こども病院 (小児専門)

安曇野市



- 開設許可年月日 平成4年3月31日
- 診療開始年月日 平成5年5月28日
- 診療科目等
小児科(総合小児科・血液腫瘍科・新生児科、小児集中治療科・遺伝科・臨床検査科)、神経小児科・循環器小児科・小児外科・心臓血管外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・放射線科・麻酔科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・リハビリテーション科・産科・こころの診療科・泌尿器科・アレルギー科
- 病棟別許可病床数 一般200床 計200床
- 運用病床数 180床
- 職員数 医師53人 研修医26人 看護師282人
その他87人 計448人

信州医療センター (一般)

須坂市



- 開設許可年月日 昭和23年6月1日
- 診療開始年月日 昭和23年6月1日
- 診療科目等
内科・脳神経内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・小児科・感染症内科・血液内科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・呼吸器外科・血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション科・精神科・病理診断科・救急科
- 病棟別許可病床数 一般292床 結核24床 感染症4床 計320床
- 運用病床数 215床
- 職員数 医師39人 研修医6人 看護師236人
その他104人 計385人



信州木曽看護専門学校

木曽町

- 設置許可年月日 平成25年12月25日
- 開設年月日 平成26年4月1日
- 課程
医療専門課程 看護学科3年課程
- 入学定員 30人(総定員90人)



本部研修センター

須坂市

- 開設年月日 平成22年4月1日



木曽病院 (一般)

木曽町

- 開設許可年月日 昭和38年9月12日
- 診療開始年月日 昭和39年4月20日
- 診療科目等
内科・精神科・神経内科・消化器内科・循環器内科・小児科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科
- 病棟別許可病床数 一般176床 感染症4床 療養19床 計199床
- 運用病床数 151床
- 職員数 医師21人 看護師132人 その他86人 計239人



こころの医療センター 駒ヶ根 (精神)

駒ヶ根市

- 開設許可年月日 昭和31年7月16日
- 診療開始年月日 昭和31年9月15日
- 診療科目等
精神科
- 病棟別許可病床数 精神129床 計129床
- 運用病床数 129床
- 職員数 医師13人 看護師106人
その他58人 計177人

木曽病院介護医療院

木曽町

- 診療開始年月日 令和2年3月1日
- 施設サービス(入所)、居宅サービス(短期入所療養介護)
- 定員 入所20人
- 職員数 看護師9人 その他13人 計22人



木曽介護老人保健施設

木曽町

- 診療開始年月日 平成7年5月15日
- 施設サービス(入所)、居宅サービス(短期入所療養介護・通所リハビリテーション・介護予防短期入所療養介護・介護予防通所リハビリテーション)
- 定員 入所50人 通所10人
- 職員数 看護師4人 その他14人 計18人

阿南病院 (一般)

阿南町



- 開設許可年月日 昭和23年6月1日
- 診療開始年月日 昭和23年6月1日
- 診療科目等
内科・精神科・小児科・外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・婦人科・眼科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科
- 病棟別許可病床数 一般85床 計85床
- 運用病床数 77床
- 職員数 医師9人 看護師63人 その他46人 計118人(派遣、代行員除く)



阿南介護老人保健施設

阿南町

- 診療開始年月日 平成6年5月30日
- 施設サービス(入所)、居宅サービス(短期入所療養介護・通所リハビリテーション・介護予防短期入所療養介護・介護予防通所リハビリテーション)
- 定員 入所50人 通所10人
- 職員数 看護師7人 その他19人 計26人



	昭和20年	昭和30年	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成元年	平成10年
機構			<ul style="list-style-type: none"> ●昭和37年4月地方公営企業法の財務規定についてのみ適用 ●昭和41年4月衛生部医務課に病院管理室が付置 ●昭和44年4月県立病院室に改称 ●昭和49年4月医務課から独立 			<ul style="list-style-type: none"> ●平成元年4月県立病院課に改称 	<ul style="list-style-type: none"> ●平成11年4月医務課県立病院係に改称
信州医療センター	<ul style="list-style-type: none"> ●昭和23年6月日本医療団解散に伴い県に移管され県立須坂病院となる 	<ul style="list-style-type: none"> ●昭和37年4月総合病院承認 ●昭和39年8月救急告示病院 			<ul style="list-style-type: none"> ●昭和60年1月運動療法施設認定 ●昭和62年5月夜間人工透析開始 		<ul style="list-style-type: none"> ●平成7年1月エイズ治療の拠点病院に選定 ●平成10年4月更生医療(免疫に関する医療)担当医療機関指定 ●平成11年12月介護保険法の規定に基づく指定居宅サービス事業者の指定 ●平成14年5月 ●平 ●平
こころの医療センター 駒ヶ根	<ul style="list-style-type: none"> ●昭和31年7月長野県立駒ヶ根病院開設許可 ●昭和31年9月診療開始 		<ul style="list-style-type: none"> ●昭和46年6月全病棟開放 ●昭和49年2月作業療法承認実施 			<ul style="list-style-type: none"> ●平成3年4月訪問看護開始 ●平成5年10月デイケア承認実施 ●平成9年4月精神科救急病棟の指定 ●平成14年6月 ●平成15 	<ul style="list-style-type: none"> ●平成11年4月病院群による臨床研修指定病院の指定
阿南病院	<ul style="list-style-type: none"> ●昭和20年6月千葉医科大学附属医学専門部・旧大下條村へ戦時疎開 ●昭和21年3月日本医療団阿南病院として、地元熊谷医院の建物を借り受け診療開始 ●昭和21年9月下伊那阿南ブロック9か村病院組合が結成され、阿南9か村の組合立病院となる。 ●昭和23年6月日本医療団から県立へ移管 	<ul style="list-style-type: none"> ●昭和34年9月総合病院指定 ●昭和36年7月へき地巡回診療開始 ●昭和39年8月救急告示医療施設承認(4床) ●昭和39年10月精神科病棟完成(平成22年3月休床、平成25年3月廃止) 		<ul style="list-style-type: none"> ●昭和56年4月へき地中核病院に指定 ●昭和58年1月結核病棟廃止 ●昭和61年11月人工透析開始 		<ul style="list-style-type: none"> ●平成3年4月訪問看護事業開始 ●平成5年5月阿南介護老人保健施設開設所 ●平成9年2月訪問医療開始 ●平成10年10月創立50周年記念祭開催 	
木曽病院			<ul style="list-style-type: none"> ●昭和38年9月病院開設許可 ●昭和39年4月診療開始 ●昭和40年6月総合病院認可救急告示医療機関承認 	<ul style="list-style-type: none"> ●昭和52年4月人工透析開始 ●昭和54年8月第二次救急医療実施 		<ul style="list-style-type: none"> ●平成4年5月新病院診療開始 ●平成7年5月木曾老人保健施設開設所 	<ul style="list-style-type: none"> ●平成11年4月第二種感染症指定医療機関 ●平成12年4月木曾老人保健施設 ●平成14年4月 ●平成15 ●平成15 ●平成15
こども病院						<ul style="list-style-type: none"> ●平成5年5月開院 ●平成5年5月母子保健法に基づく医療機関の指定 ●平成5年5月結核予防法に基づく医療機関の指定 ●平成5年5月身体障害者指定厚生医療機関の指定 ●平成7年4月院内保育所開設 ●平成7年5月院内学級開級式 	<ul style="list-style-type: none"> ●平成14年3月 ●平成15 ●平成12年9月総合周産期母子医療センター指定
信州木曾看護専門学校							
本部 研修センター							

- 平成18年4月 県立病院チームに改称
- 平成18年11月 県立病院課に改称
- 平成20年4月 病院事業局を設置
- 平成25年4月 第2代理事長久保恵嗣就任
- 平成27年4月第二期中期計画開始

平成22年4月1日地方独立行政法人長野県立病院機構発足

- 平成22年4月第一期中期計画開始 初代理事長勝山努就任

- 平成17年1月(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価認定
- 平成19年1月第一種感染症指定医療機関に指定
- 平成19年7月エイズ治療の中核拠点病院に選定
- 平成21年7月DPC対象病院へ移行
- 平成22年2月(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価認定
- 平成22年4月内視鏡センターを設置
- 平成23年4月ピロリ菌専門外来の診療開始
- 平成23年5月電子カルテシステム稼働
- 平成24年4月院内保育所「カンガルーのぼっけ」開所
- 平成26年8月地域包括ケア病棟を開設
- 平成27年1月(公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価認定(3rdG:Ver.1.1)
- 平成27年9月(公社)日本人間ドック学会による施設機能評価人間ドッグ健診施設機能評価認定(Ver3.0)
- 平成28年8月新棟(東棟)建設開始
- 平成28年12月MRI装置を更新・稼働開始
- 平成29年7月新棟(東棟)完成
- 平成29年7月病院名を「長野県立信州医療センター」に改称
- 平成29年10月感染症センター開設
- 平成31年1月電子カルテシステムの更新
- 令和2年2月看護師特定行為研修の指定研修機関に指定
- 令和2年3月(公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価認定(3rdG:Ver.2.0)



第二種感染症指定医療機関に指定
成16年1月SARS対応の外来診察室を新設
成16年3月臨床研修病院に指定

児童・思春期専門外来の開始
年10月臨床研修病院(協力型)の指定

- 平成17年7月医療観察法による指定入院医療機関の指定
- 平成18年1月(社)日本精神神経学会精神科専門医制度による研修施設に認定

- 平成20年9月精神科救急情報センターの設置
- 平成22年3月医療観察法による指定入院医療機関の指定

- 平成23年2月精神科救急病院(常時対応型施設)の指定
- 平成23年1月病院名称を「長野県立こころの医療センター駒ヶ根」に改称
- 平成23年12月新テイクア棟オープン
- 平成24年2月体育館オープン



- 平成26年12月長野県看護大学と看護連携型ユニフィケーション事業基本協定の締結
- 平成27年12月(公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価認定(3rdG:Ver.1.1)
- 平成28年4月(公財)日本老年精神医学会専門医制度認定施設に認定
- 平成28年9月児童多職種初診の開始
- 平成28年10月もの忘れ外来(認知症専門外来)の開始
- 平成28年10月信州大学と連携大学院教育に関する協定を締結
- 平成28年11月病院開設60周年記念式典の開催
- 平成29年4月精神科研修・研究センター開設

- 平成29年4月信州大学との連携大学院教育の開始
- 平成29年9月厚生労働省にDPAT先遣隊(災害派遣精神医療チーム)を組織できる病院として登録
- 平成30年10月電子カルテシステムをリプレイスし本稼働
- 平成30年11月第16回公共建築賞「公共建築賞・特別賞」受賞
- 令和元年11月子どものこころ診療センター開設
- 令和2年1月アルコール依存症専門医療機関・治療拠点機関に指定

- 平成29年9月認知症専門医による診療の開始
- 平成29年10月へき地医療センター・信州型総合医療養成プログラムに基づき総合診療医養成開始
- 平成29年11月内視鏡的機能検査(VE)開始
- 平成30年4月小児科日曜診療開始

- 平成23年2月精神科救急病院(常時対応型施設)の指定
- 平成23年1月病院名称を「長野県立こころの医療センター駒ヶ根」に改称
- 平成23年12月新テイクア棟オープン
- 平成24年2月体育館オープン

- 平成29年4月信州大学との連携大学院教育の開始
- 平成29年9月厚生労働省にDPAT先遣隊(災害派遣精神医療チーム)を組織できる病院として登録
- 平成30年10月電子カルテシステムをリプレイスし本稼働
- 平成30年11月第16回公共建築賞「公共建築賞・特別賞」受賞
- 令和元年11月子どものこころ診療センター開設
- 令和2年1月アルコール依存症専門医療機関・治療拠点機関に指定

- 平成29年9月認知症専門医による診療の開始
- 平成29年10月へき地医療センター・信州型総合医療養成プログラムに基づき総合診療医養成開始
- 平成29年11月内視鏡的機能検査(VE)開始
- 平成30年4月小児科日曜診療開始

- 平成29年9月厚生労働省にDPAT先遣隊(災害派遣精神医療チーム)を組織できる病院として登録
- 平成30年10月電子カルテシステムをリプレイスし本稼働
- 平成30年11月第16回公共建築賞「公共建築賞・特別賞」受賞
- 令和元年11月子どものこころ診療センター開設
- 令和2年1月アルコール依存症専門医療機関・治療拠点機関に指定

- 平成29年9月認知症専門医による診療の開始
- 平成29年10月へき地医療センター・信州型総合医療養成プログラムに基づき総合診療医養成開始
- 平成29年11月内視鏡的機能検査(VE)開始
- 平成30年4月小児科日曜診療開始

- 平成17年4月療養病棟開設(平成20年3月廃止)
- 平成24年10月阿南病院の愛称「和み(なごみ)の医療センター」に決定
- 平成20年11月 創立60周年記念行事開催
- 平成25年9月電子カルテシステム稼働
- 令和2年4月訪問看護ステーションさくら開設

- 平成20年11月 創立60周年記念行事開催



- 平成25年9月電子カルテシステム稼働
- 令和2年4月訪問看護ステーションさくら開設

- 平成26年4月耐震化改築工事全面竣工地域医療総合支援センター開設(健康管理センター・へき地医療研修センター・認知症なんでも相談室)
- 平成29年9月認知症専門医による診療の開始
- 平成29年10月へき地医療センター・信州型総合医療養成プログラムに基づき総合診療医養成開始
- 平成29年11月内視鏡的機能検査(VE)開始
- 平成30年4月小児科日曜診療開始

- 平成29年9月認知症専門医による診療の開始
- 平成29年10月へき地医療センター・信州型総合医療養成プログラムに基づき総合診療医養成開始
- 平成29年11月内視鏡的機能検査(VE)開始
- 平成30年4月小児科日曜診療開始

- 平成29年9月認知症専門医による診療の開始
- 平成29年10月へき地医療センター・信州型総合医療養成プログラムに基づき総合診療医養成開始
- 平成29年11月内視鏡的機能検査(VE)開始
- 平成30年4月小児科日曜診療開始

療養型病棟開設
設から木曾介護老人保健施設に名称変更

療養型病棟開設
年6月(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価認定(Ver.4.0)

年10月 臨床研修病院に指定

- 平成18年4月上松町巡回診療開始
- 平成18年5月森林セラピー健康相談開始
- 平成19年4月へき地医療拠点病院指定
- 平成20年6月(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価認定
- 平成20年7月電子カルテシステム稼働
- 平成21年3月 長野県DMAT指定病院に指定
- 平成22年4月DPC対象病院へ移行
- 平成23年3月東日本大震災被災地へDMAT派遣
- 平成25年5月医師と歩く森林セラピー開始
- 平成25年6月(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価認定
- 平成26年3月320列X線CT装置使用開始
- 平成26年11月開院50周年記念式典、記念講演会の開催、木曾病院マスコット「きそっぴい」決定
- 平成27年11月木曾介護老人保健施設開設20周年式典開催
- 平成28年2月地域がん診療病院に指定
- 平成28年4月熊本地震被災地へ医療救護班派遣
- 平成30年3月地域包括ケア病棟(48床)運用開始
- 平成30年4月患者サポートセンターを設置
- 平成30年4月在宅医療・介護連携支援センター設置(木曾広域連合より運営委託)
- 令和2年3月介護療養病床を転換し、介護医療院「ユライフきそ」を開院(定員20名)

- 平成20年6月(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価認定
- 平成20年7月電子カルテシステム稼働
- 平成21年3月 長野県DMAT指定病院に指定
- 平成22年4月DPC対象病院へ移行

- 平成23年3月東日本大震災被災地へDMAT派遣
- 平成25年5月医師と歩く森林セラピー開始
- 平成25年6月(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価認定
- 平成26年3月320列X線CT装置使用開始
- 平成26年11月開院50周年記念式典、記念講演会の開催、木曾病院マスコット「きそっぴい」決定
- 平成27年11月木曾介護老人保健施設開設20周年式典開催
- 平成28年2月地域がん診療病院に指定
- 平成28年4月熊本地震被災地へ医療救護班派遣
- 平成30年3月地域包括ケア病棟(48床)運用開始
- 平成30年4月患者サポートセンターを設置
- 平成30年4月在宅医療・介護連携支援センター設置(木曾広域連合より運営委託)
- 令和2年3月介護療養病床を転換し、介護医療院「ユライフきそ」を開院(定員20名)

- 平成20年6月(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価認定
- 平成20年7月電子カルテシステム稼働
- 平成21年3月 長野県DMAT指定病院に指定
- 平成22年4月DPC対象病院へ移行

長期入院患者家族滞在施設(愛称「たんぼほのおうち」)開設

年5月創立10周年記念事業

- 平成17年10月(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価(Ver5)認定
- 平成19年11月カリヨンのちと平和の鐘設置初音式
- 平成22年9月電子カルテシステム稼働
- 平成23年7月エコセンター開設
- 平成24年2月3Dモデル造形センター開設
- 平成24年4月生命科学センター開設
- 平成24年10月予防接種センター開設
- 平成25年5月創立20周年記念事業
- 平成25年7月口唇蓋裂センター開設
- 平成26年4月循環器センター開設
- 平成26年4月DPC対象病院へ移行
- 平成27年12月(公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価認定(3rdG:Ver.1.1)
- 平成28年4月小児股関節センター(～平成29年3月)
- 平成29年7月PICU病棟8床から12床に増床
- 平成30年2月地域医療支援病院の承認
- 平成30年4月検査麻酔センター(～令和2年3月)
- 平成30年9月信州大学との連携大学院教育の協定を締結
- 平成31年4月感染症科、アレルギー科開設
- 平成31年4月信州大学との連携大学院開講
- 令和元年10月訪問診療センター、訪問ケア科開設

- 平成19年11月カリヨンのちと平和の鐘設置初音式
- 平成22年9月電子カルテシステム稼働
- 平成23年7月エコセンター開設
- 平成24年2月3Dモデル造形センター開設
- 平成24年4月生命科学センター開設
- 平成24年10月予防接種センター開設
- 平成25年5月創立20周年記念事業
- 平成25年7月口唇蓋裂センター開設

- 平成24年2月3Dモデル造形センター開設
- 平成24年4月生命科学センター開設
- 平成24年10月予防接種センター開設
- 平成25年5月創立20周年記念事業
- 平成25年7月口唇蓋裂センター開設

- 平成24年2月3Dモデル造形センター開設
- 平成24年4月生命科学センター開設
- 平成24年10月予防接種センター開設
- 平成25年5月創立20周年記念事業
- 平成25年7月口唇蓋裂センター開設

- 平成24年2月3Dモデル造形センター開設
- 平成24年4月生命科学センター開設
- 平成24年10月予防接種センター開設
- 平成25年5月創立20周年記念事業
- 平成25年7月口唇蓋裂センター開設

- 平成24年2月3Dモデル造形センター開設
- 平成24年4月生命科学センター開設
- 平成24年10月予防接種センター開設
- 平成25年5月創立20周年記念事業
- 平成25年7月口唇蓋裂センター開設

- 平成24年2月3Dモデル造形センター開設
- 平成24年4月生命科学センター開設
- 平成24年10月予防接種センター開設
- 平成25年5月創立20周年記念事業
- 平成25年7月口唇蓋裂センター開設

- 平成24年2月3Dモデル造形センター開設
- 平成24年4月生命科学センター開設
- 平成24年10月予防接種センター開設
- 平成25年5月創立20周年記念事業
- 平成25年7月口唇蓋裂センター開設

- 平成24年2月3Dモデル造形センター開設
- 平成24年4月生命科学センター開設
- 平成24年10月予防接種センター開設
- 平成25年5月創立20周年記念事業
- 平成25年7月口唇蓋裂センター開設

- 平成24年2月3Dモデル造形センター開設
- 平成24年4月生命科学センター開設
- 平成24年10月予防接種センター開設
- 平成25年5月創立20周年記念事業
- 平成25年7月口唇蓋裂センター開設

- 平成24年2月3Dモデル造形センター開設
- 平成24年4月生命科学センター開設
- 平成24年10月予防接種センター開設
- 平成25年5月創立20周年記念事業
- 平成25年7月口唇蓋裂センター開設

- 平成24年2月3Dモデル造形センター開設
- 平成24年4月生命科学センター開設
- 平成24年10月予防接種センター開設
- 平成25年5月創立20周年記念事業
- 平成25年7月口唇蓋裂センター開設

- 平成24年2月3Dモデル造形センター開設
- 平成24年4月生命科学センター開設
- 平成24年10月予防接種センター開設
- 平成25年5月創立20周年記念事業
- 平成25年7月口唇蓋裂センター開設

- 平成24年2月3Dモデル造形センター開設
- 平成24年4月生命科学センター開設
- 平成24年10月予防接種センター開設
- 平成25年5月創立20周年記念事業
- 平成25年7月口唇蓋裂センター開設

- 平成24年2月3Dモデル造形センター開設
- 平成24年4月生命科学センター開設
- 平成24年10月予防接種センター開設
- 平成25年5月創立20周年記念事業
- 平成25年7月口唇蓋裂センター開設

- 平成24年2月3Dモデル造形センター開設
- 平成24年4月生命科学センター開設
- 平成24年10月予防接種センター開設
- 平成25年5月創立20周年記念事業
- 平成25年7月口唇蓋裂センター開設

- 平成24年2月3Dモデル造形センター開設
- 平成24年4月生命科学センター開設
- 平成24年10月予防接種センター開設
- 平成25年5月創立20周年記念事業
- 平成25年7月口唇蓋裂センター開設





信州医療センター

〒382-8577 (住所記載不要)

長野県須坂市大字須坂 1332 TEL 026-245-1650 (代表) FAX 026-248-3240

● 指定医療機関

- ・ 保険医療機関
- ・ 更生医療指定病院
- ・ 結核指定医療機関
- ・ 育成医療指定病院
- ・ 原爆被爆者指定病院
- ・ 養育医療指定病院
- ・ 母体保護法指定医
- ・ 労災保険指定病院
- ・ 生活保護法指定病院
- ・ 療育取扱機関
- ・ 公害医療指定病院
- ・ エイズ治療中核拠点病院
- ・ 救急指定病院
- ・ 戦傷病者更生医療指定病院
- ・ 第一種感染症指定医療機関
- ・ 第二種感染症指定医療機関
- ・ 臨床研修病院指定病院
- ・ がん・重症肝硬変治療研究促進事業指定医療機関

信州医療センターは、患者中心のチーム医療を理念に掲げ、須坂市、小布施町、高山村からなる須高地域の地域基幹病院として、地域医療ならびに専門医療の提供を行っています。

また、県立病院機構の中核の病院としての役割とともに、政策医療としての、県内唯一の第一種感染症指定医療機関、結核指定医療機関、エイズ治療中核拠点病院としての責務を担っています。

日々の診療では、25の診療科のほか、専門外来、在宅診療部、内視鏡センターや健康管理センター等を設け、地域の保健・医療・福祉関係機関との連携のもと、多面的な診療機能を発揮しています。

特に、感染症指定医療機関として感染症センターの機能を活かし、行政や他の医療機関との連携の下、新型コロナウイルス感染症の早期終息に向けての取り組みに可能な限り対応していきます。

また、当院は、自治医科大学卒業生を含めた初期臨床研修指定病院として、他の県立病院のほか、信州大学医学部附属病院や近隣病院とも連携し、豊富な選択肢による研修プログラムを組み、研修医の育成を行うとともに、呼吸器、感染症、消化器、総合診療などを中心に、各分野の専門医の養成に積極的に参画しています。

理念

私たちは患者中心のチーム医療を実践し、信頼される病院を目指します。

基本方針

- 1 人と人とのつながりを大切にし、心が満たされる医療を提供します。
- 2 医療の質の向上を図り安全な医療を行います。
- 3 医療・保健・福祉との結びつきを強化し、地域住民の健康増進に寄与します。
- 4 地域医療を担う優れた人材を育成します。
- 5 感染症医療の拠点病院として、先端医療を提供します。
- 6 病院機能の維持発展のため、健全な経営を行います。

倫理要綱

私たちは、人に対する深い愛と生命の尊厳に対する畏敬の念を持ち人類の幸福に寄与するため、下記に掲げる倫理要綱を遵守します。

- 1 全ての人の生命、自律、尊厳、権利を尊重し、公正公平に接します。
- 2 人に有益な行為だけを行い、人に危害を及ぼすあるいは不要な負担を強いる行為は一切行いません。
- 3 医療の専門家として常に必要な知識と、技術の習得に努め最善の医療を行います。
- 4 社会の一員として法規範を遵守し、地域の発展に寄与します。

教育施設等の指定

- ・ 日本内科学会認定医制度教育関連病院
- ・ 日本呼吸器学会認定施設
- ・ 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ・ 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・ 日本血液学会認定血液研修施設
- ・ 日本感染症学会認定研修施設
- ・ 日本環境感染学会認定教育施設
- ・ 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・ 日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・ 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・ 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- ・ 呼吸器外科専門医制度基幹施設
(がん・感染症センター 都立駒込病院)の
関連施設
- ・ 看護師特定行為研修指定研修機関
- ・ 日本産婦人科学会専門医制度卒業後研修指導施設
- ・ 日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・ 日本麻酔科学会認定麻酔科認定病院
- ・ 日本プライマリ・ケア連合学会認定後期家庭医プログラム
- ・ 人間ドック健診専門医研修施設

主な医療機器設置状況

- 多項目自動血球分析装置システム
- 生化学自動分析装置
- 心臓超音波診断装置
- 全自動免疫染色装置
- 筋電図・誘発電位検査装置
- 臨床用ポリグラフ
- マルチスライスCT (64列)
- MRI (1.5テスラ)
- 核医学検査装置 (RI)
- 連続血管撮影装置 (DSA)
- 全自動錠剤分包機
- 自動注射薬抽出システム
- 人工膝関節手術用ナビゲーションシステム
- 3D腹腔鏡下手術装置
- 人工関節手術装置 (股関節、膝関節)
- 関節鏡下装置
- 網膜硝子体手術装置
- 超音波白内障手術装置
- 眼科用内視鏡システム
- Cアーム X線テレビ装置
- 消化器内視鏡システム及び上部、下部、十二指腸ビデオスコープ
- 気管支超音波内視鏡システム
- 超音波内視鏡
- カプセル内視鏡
- 人工透析装置
- 高気圧酸素治療装置

施設基準

【入院基本料】

- 急性期一般入院料2
- 結核病棟入院基本料
(10対1入院基本料)

【入院基本料等加算】

- 臨床研修病院入院診療加算
- 救急医療管理加算
- 妊産婦緊急搬送入院加算
- 診療録管理体制加算1
- 医師事務作業補助体制加算1
(30対1補助体制加算)
- 急性期看護補助体制加算
(25対1急性期看護補助体制加算
看護補助者5割未満)
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 栄養サポートチーム加算
- 医療安全対策加算1
- 医療安全対策地域連携加算1
- 感染防止対策加算1
- 感染防止対策地域連携加算
- 無菌治療室管理加算2
- 患者サポート体制充実加算
- 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ハイリスク妊娠管理加算

- 入退院支援加算
- 入院時支援加算
- 認知症ケア加算2
- 呼吸ケアチーム加算
- 病棟薬剤業務実施加算1
- データ提出加算
- 提出データ評価加算
- 後発医薬品使用体制加算1

【特定入院料】

- 一類感染症患者入院医療管理料
- 地域包括ケア病棟入院料2

【医学管理等・在宅医療】

- 小児科外来診療料
- 高度難聴指導管理料
- がん性疼痛緩和指導管理料
- 地域連携夜間・休日診療料
- ニコチン依存症管理料
- 開放型病院共同指導料(II)
- ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)
- 薬剤管理指導料
- 医療機器安全管理料1
- 糖尿病透析予防指導管理料
- 院内トリアージ実施料
- 乳腺炎重症化予防ケア・指導料

- 夜間休日救急搬送医学管理料
- 在宅療養後方支援病院
- がん治療連携指導料
- 造血管腫瘍遺伝子検査
- 持続血糖測定器加算

【検査・画像診断】

- HPV核酸検出及びHPV核酸検出
(簡易ジェノタイプ判定)
- 検体検査管理加算(Ⅰ)(Ⅳ)
- コンタクトレンズ検査料1
- 時間内歩行試験
- CT撮影及びMRI撮影
- ヘッドアップティルト試験
- 小児食物アレルギー負荷検査

【投薬・注射】

- 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 外来化学療法加算1
- 無菌製剤処置料

【リハビリテーション】

- 心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
- 脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
- 廃用症候群リハビリテーション料(Ⅰ)
- 運動器リハビリテーション料(Ⅰ)

- 呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
- がん患者リハビリテーション料

【処置・手術・麻酔・病理】

- 医科点数表第2章第10部手術の
通則の5及び6に掲げる手術
- 輸血管理料II
- 輸血適正使用加算
- 麻酔管理料(Ⅰ)
- 透析液水質確保加算2
- 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- 病理診断管理加算1
- 胃瘻造設術
- 人工肛門・人工膀胱増設術前処置加算
- 経皮的冠動脈ステント留置術
- 経皮的冠動脈形成術
- ペースメーカー移植術及びペース
メーカー交換術
- 大動脈バルーンパンピング法

【入院時食事療養】

- 入院時食事療養(Ⅰ)

特色

●感染症指定医療機関

感染症センターでは、感染症医療の県内拠点病院として、常勤の感染症専門医が適切な診療を行うとともに、県内の病院からのコンサルテーションに応じています。長野県内唯一の第一種感染症指定医療機関として患者受入訓練を定期的に実施し、感染症発生時に適切な対応ができる体制を維持しているほか、エイズ治療中核拠点病院として各種研修等を実施し、人材の育成を図っています。

●内視鏡検査の積極的な実施

平成29年7月に竣工した東棟への移設に伴い、より充実した診療環境において、疾病の早期発見・早期治療のため、内視鏡検査を積極的に実施しています。

●地域包括ケア病棟

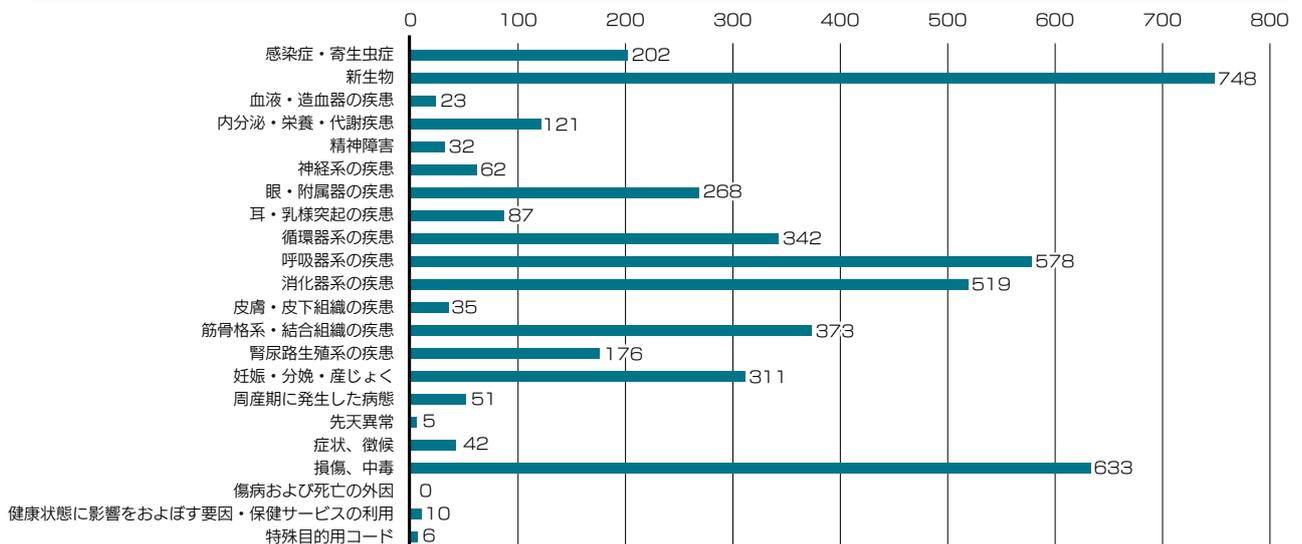
地域の病院、診療所、訪問看護ステーション及び行政でつくる「須高在宅ネットワーク」に参加し、「地域みんなで支える在宅医療」の実現に寄与しています。加えて、地域包括ケア病棟は、急性期病院との連携のほか、慢性期対応病院や介護施設及び訪問看護ステーションとの連携を図り地域包括ケアシステムの中核的役割を果たしています。

●人材育成

人材育成研修機能として、本部研修センターのスキルスラボを活用したシミュレーション研修や総合診療専門医の育成などを有するほか、医師臨床研修病院としての機能と自治医科大学卒業医師の臨床研修病院としての機能も果たしています。

●疾病統計大分類 令和元年度(平成31年度)

(単位：人)



令和元年度の 信州医療センター

医療

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応

- ・新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の発生を受け、全職員を対象とした患者受入れのための研修会及び个人防护具着脱訓練を実施するとともに、感染症病棟へ患者の受け入れを行いました。また、県内の感染症指定医療機関に向けて、COVID-19に対する最新の診療情報を発信し、協力して感染予防対策を実施しました。



地域包括ケア病棟の改修

- ・地域包括ケア病棟について、トイレ段差解消等の病室内部改修及び在宅復帰訓練用家庭用浴室設置による患者の在宅復帰支援のための療養環境整備を行いました。

病院機能評価(3rdG:Ver.2.0)の認定

- ・地域に根ざした安全・安心、信頼される質の高い医療を効果的に提供するため、病院機能評価(3rdG:Ver.2.0)を11月に受審し、認定となりました。



地域

市民公開講座の開催

- ・令和元年5月25日(土)に、須坂市文化会館メセナホールにて、須高医師会との共催で市民公開講座を開催しました。前回の参加者から要望が多かった「肺疾患」をテーマとして当院医師2名による講演が行われ、197名の皆さんに聴講いただきました。



出前講座の実施

- ・地域住民の健康増進に寄与するため、多種多様なテーマで55回開催し、須高地域をはじめ、近隣市町村の住民2,779人に参加いただきました。



TOPICS

須坂モデル最優秀賞受賞



『第8回 健康寿命をのばそう！アワード(母子保健分野)』において、須坂市の多職種連携地域母子保健システム(須坂モデル)が厚生労働大臣最優秀賞を受賞しました。当院もこの須坂市の取り組みに立ち上げ当初からかわり、妊婦健診においてケアが必要な妊婦を早い段階で見つけ、多職種による検討会で情報共有しています。こうして、多職種連携による「須坂モデル」が地域の産前産後の母親のメンタルヘルスを向上させ、産後うつ予防、子どもへの虐待防止につながっています。

養護学校の生徒さんとの交流

長野養護学校すざか分教室の生徒さんに窓ふき掃除と作品展示を、長野養護学校木工班の生徒さんに正面玄関のベンチを制作していただきました。様々な場面で長野養護学校の皆さんをはじめ、地域のボランティアの皆さんにご協力をいただいています。



第18回 信州医療センター病院祭 (同時開催 第26回須坂健康まつり)

令和元年10月5日(土) 9:00~15:00

医療講演会

「リビング・ウィル(生前の意思表示)とACP(アドバンス・ケア・プランニング)」

講師：信州医療センター副院長 上沢 修

内容

StarLightsコンサート、
須坂エクササイズ、
スムージーコンテスト、
ダンスチーム演技、
バザー、
餅つきなど



地方独立行政法人化後(平成22年以降)の主な出来事

平成 22 年 4 月 内視鏡センター設置

- ・がん診療機能の向上のため、内視鏡検査室を3室に増やし、内視鏡センターとして4月から診療を開始した。また、内視鏡医師も2人増員し、様々な疾患の早期発見と内視鏡治療を行いました。



平成 23 年 5 月 電子カルテシステム導入



- ・安全・安心な医療の提供、効率的な病院経営を図るため、電子カルテシステムを導入しました。

平成 26 年 8 月 地域包括ケア病棟開設

- ・在宅復帰に向けた患者の診療、看護、リハビリテーションを目的とした地域包括ケア病棟を開設しました。急性期病院との連携・強化のほか、慢性期対応病院や介護施設及び訪問介護ステーションとの連携を強化し、入院から在宅に向けた地域包括ケアシステムの中核的役割を果たしていきます。



○ 平成 29 年 7 月 東棟開設

- ・ 東棟を開設し、がんの早期発見・治療機能の充実、予防医療充実及び在宅復帰支援機能の強化を図りました。



○ 平成 29 年 7 月 病院名称を「信州医療センター」に改称

- ・ 病院名を「長野県立信州医療センター」に改称しました。長野県の政策医療を担う当院の役割や長野県立病院機構の中核病院としての位置付けを明確にするとともにその責務を果たそうという思いが込められています。



○ 平成 29 年 10 月 感染症センター開設

- ・ 感染症医療の県内拠点病院としての役割を発揮するため、感染症の専門治療と研究及び教育機能を有する感染症センターを開設しました。



こころの医療センター駒ヶ根

〒399-4101

長野県駒ヶ根市下平 2901 TEL 0265-83-3181 (代表) FAX 0265-83-4158

● 指定医療機関

- ・精神科救急病院（常時対応型施設）の指定
- ・精神保健福祉法に基づく応急入院指定病院
- ・医療観察法に基づく指定入院医療機関及び指定通院医療機関



こころの医療センター駒ヶ根は、質の高い専門医療、患者さんに信頼される医療の提供、思いやりのある病院づくりを基本理念に掲げ、長野県の精神科医療の中核として「ひらかれた病院」を目指し、病院のキャッチフレーズである「あなたの手の届くところに」のもと、治す医療に加え、癒す医療、そして寄り添って患者さんの人生を支える医療を推し進めています。

また、24時間365日体制による精神科救急への対応をはじめとして、児童精神科やアルコール・薬物依存症等に対しては質の高い専門医療を提供し、難治性患者さんにはm-ECT（修正型電気けいれん療法）やクロザピン治療等の治療効果の高い医療を提供しています。退院後も、患者さんの状態に合わせた多機能デイケアや在宅患者さんを支える訪問看護を行うとともに、利用しやすい医療福祉相談等により、早期治療と社会復帰に力をいれています。

多職種チームによる専門性を活かした取組として、児童精神科において専門チームによる初診診療と、行政や地域の医療機関等と連携した「もの忘れ外来」を行っています。

基本理念

- 1 私たちは、患者さんの人権を尊重し、信頼される医療サービスを提供します。
- 2 私たちは、長野県の精神科医療の中核病院として、質の高い専門医療を提供します。
- 3 私たちは、思いやりのある病院を目指します。

基本方針

- 1 患者さん一人ひとりと向き合い、権利の尊重と個別性への配慮に努めます。
- 2 救急・急性期を始めとする地域のニーズに応えるとともに、長野県の精神科医療の中核を担います。
- 3 良質で安全な精神科医療を提供すべく、専門知識の習得と医療技術の向上に努めます。
- 4 多職種チーム医療を実践します。
- 5 保険・医療・福祉・教育機関と連携して、患者さんの地域生活を支援します。
- 6 精神科医療を担う人材育成と医療の質の向上のための研究・研修に取り組みます。

患者さんの権利と責任について

私たちは、次に掲げる患者さんの権利を大切に考えています。また、安全かつ効果的な医療サービスを受受するために、患者さんとご家族は、治療に参加・協力をしていただく責任があります。

- 1 必要な医療情報の提供とその説明を受ける権利
- 2 プライバシーを保護される権利
- 3 良質かつ適切な医療・福祉サービスを受ける権利
- 4 個人の尊厳が守られる権利
- 5 セカンドオピニオンを求める権利

職員倫理綱領

- 1 私たちは、公平・公正に最善の専門医療を提供します。
- 2 私たちは、日ごろから信頼関係の構築に努め、患者さん中心の医療を推進します。
- 3 私たちは、職務上知り得た秘密を守ります。
- 4 私たちは、精神障害に対する差別と偏見を解消するための啓発活動に取り組みます。

教育施設等の指定

- ・病院群による臨床研修指定病院
- ・新医師臨床研修制度による臨床研修病院（協力型）
- ・日本精神神経学会精神科専門医制度による研修施設
- ・日本老年精神医学会専門医制度認定施設

主な医療機器設置状況

- パルス波治療器サイマトロン（m-ECT（修正型電気けいれん療法））
- 治療抵抗性統合失調症治療薬「クロザピン」の使用承認（平成26年）など

施設基準

- 精神病棟入院基本料（15対1）
看護配置加算
看護補助加算1
 - 療養環境加算
 - 精神科応急入院施設管理加算
 - 精神病棟入院時医学管理加算
 - 精神科身体合併症管理加算
 - 重度アルコール依存症入院医療管理加算
 - 入院時食事療法
 - 薬剤管理指導料
 - CT撮影およびMRI撮影
 - 通院・在宅精神療法（児童思春期精神科専門管理加算）
 - 依存症集団療法
 - 精神科作業療法
 - 精神科ショート・ケア（大規模なもの）
 - 医療安全対策加算2
 - 精神科救急搬送患者地域連携紹介加算
 - 精神科急性期医師配置加算
 - 後発医薬品使用体制加算1
 - 精神科救急入院料1
 - 精神科急性期治療病棟入院料1
 - 児童・思春期精神科入院医療管理料
 - 精神科デイ・ケア（大規模なもの）
 - 抗精神病特定薬剤治療指導管理料
（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る）
 - 医療保護入院等診療料
- 【医療観察法に係わるもの】
- 入院対象者入院医学管理料
 - 退院対象者通院医学管理料

特色

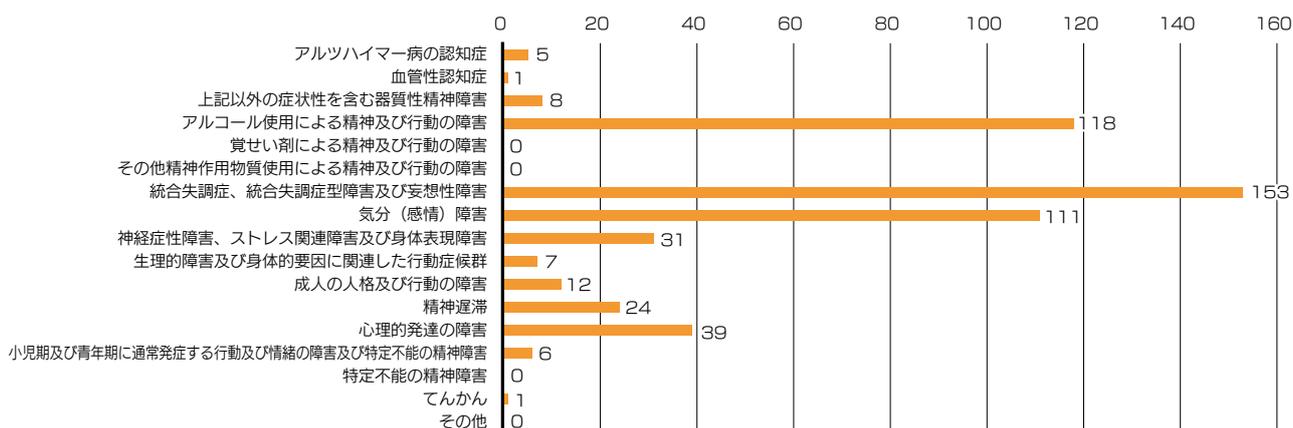
●多彩な精神科専門医療

県内における精神科の公的中核病院として、365日24時間体制での「精神科救急・急性期医療」、独自の治療プログラムによる「依存症医療」、県内唯一の専門入院病棟を有する「児童精神科医療」、「医療観察法における専門治療」、地域の医療機関や市町村と連携した「認知症治療」など、県民ニーズに即した専門的な精神医療サービスを提供しています。

●豊富な知識・経験者による人材育成

精神科研修・研究センターでは、当院の幅広い患者層と専門医療を活かして、県内外の医療機関の医師、看護師、薬剤師、公認心理師、精神保健福祉士等の精神医学・医療に係わる方の資質向上を図るとともに、臨床で活かせる研究を行っています。

●疾病統計大分類 令和元年度(平成31年度)



令和元年度の

こころの医療センター駒ヶ根

医療

○ 児童・思春期精神科医療の充実

- ・児童精神科診療機関として質の高い医療を提供するため、11月に「子どものこころ診療センター」を開設し、1月から親、家族等を支援するペアレントトレーニングを開始しました。
- ・思春期デイケアにおけるSST(ソーシャルスキルトレーニング)プログラムの見直しや学習支援の導入など、内容を強化しました。

○ 依存症治療の推進

- ・1月に、県からアルコール依存症専門医療機関・治療拠点機関の指定を受けました。
- ・令和2年度の薬物依存症、ギャンブル等依存症専門医療機関・治療拠点機関の指定に向けて体制を整備しました。

○ 人材育成の推進

- ・信州大学との協定により平成29年度に開始した連携大学院教育では医師2名が臨床業務に携わりながら研究活動を進め、学位の取得を目指しています。
- ・精神科研修・研究センターにおいて、地域の薬局から研修生3名を受け入れ、精神科薬剤師研修プログラムを実施しました。

○ 地域における連携とネットワークの構築

- ・地域連携室の体制を強化するため、前方連携チームと後方連携チームに分け、関係機関と連携して緊急性の高い入院患者の受け入れや、退院患者の地域移行をしました。

地域

○ 出前講座

- ・依存症やうつストレスケア、精神疾患など4つのメニューを展開し、計7回、延べ250人が参加しました。

○ 情報発信

- ・院外広報誌「ここ駒通信」の隣組回覧範囲を駒ヶ根市から伊南4市町村(駒ヶ根市、飯島町、宮田村、中川村)にまで広げた他、公共施設などに配置し、当院の取り組みを周知しました。



TOPICS

DPAT(災害派遣精神医療チーム)を派遣

2月に、新型コロナウイルス感染症対応のため、厚生労働省の要請を受けて、チーム員4名を関東地方に派遣し、中国からの帰国者の健康観察等を実施しました。



NST 稼働施設に認定



精神科病院では取り組みが少ないNST(栄養サポートチーム)により、病棟ラウンドを行い、低栄養、摂食障がい、アルコール障がいなどへ介入しました。この取り組みにより、日本臨床栄養代謝学会から「NST稼働施設」の認定を受けました。

第11回 ここ駒祭 きて、みて、体験、ここ駒祭

令和元年10月5日(土) 9:45~15:00

講演会

「子どもの生きる力を高めるために」

講師：副院長 原田 謙



内容

「うちの子はやる気がない」、「ちょっとしたことでくじけてしまう」、「いつもケンカばかり」…。子どもがのびのびと育つために何が大切か、児童精神科医がわかりやすく講演しました。



地方独立行政法人化後(平成22年以降)の主な出来事

- 平成 23 年 1 月
本館棟竣工、病院名称を「長野県立こころの医療センター駒ヶ根」に変更



- ・新病院のコンセプトを「風が流れ 光あふれる 癒しの空間」としました。

- 平成 23 年 12 月
新デイケア棟オープン



- 平成 26 年 12 月
長野県看護大学と看護連携型ユニフィケーション事業基本協定を締結

- ・看護の実践・教育・研究面において連携を図っています。



- 平成 27 年 12 月
「病院機能評価 3rd:Ver1.1 主機能：精神科病院」認定取得

- ・継続的に医療の質の向上に取り組んでいます。



- 平成 28 年 10 月
信州大学と連携大学院教育に関する協定を締結

- ・教育、臨床研究において連携し、博士号取得を目指す人材の育成を行っています。



○ 平成 28 年 11 月 病院開設 60 周年記念式典

- ・ 記念講演として、辻村深月氏のトークショーを開催しました。



○ 平成 29 年 4 月 精神科研修・研究センター開設

- ・ 精神医療、介護・福祉等に従事する方へ研修を行い、臨床研究及び人材育成を行っています。

○ 平成 29 年 9 月 DPAT (災害派遣精神医療チーム) 先遣隊の登録

- ・ 大規模災害発生時に被災地域等において精神医療及び精神保健活動の支援を行う体制を整えました。

○ 平成 30 年 11 月 第 16 回公共建築賞 「公共建築賞・特別賞」受賞

- ・ 「従来の精神科病院の常識を超える新しい精神科病院である」として評価されました。



○ 令和元年 11 月 子どものこころ診療センター 開設

- ・ 児童・思春期精神科医療の充実を図るため開設しました。



○ 令和 2 年 1 月 アルコール依存症専門医療 機関・治療拠点機関に指定

- ・ 「依存症専門医療機関及び依存症治療拠点機関の整備について」(平成 29 年 6 月 13 日付厚労省通知) に基づき、長野県から選定されました。





阿南病院 (地域医療総合支援センター)

〒399-1501

長野県下伊那郡阿南町北條 2009-1 TEL 0260-22-2121 (代表) FAX 0260-31-1014

- 指定医療機関
- 救急告示病院
- へき地医療拠点病院



阿南病院は、下伊那南部地域唯一の中核病院として、地域の医療・保健・福祉機関との連携のもと、地域住民の暮らしと絆を支え続け、地域に寄り添う医療を提供し、さらに地域医療に携わる人材を育成する病院を目指しています。

当地域は、全国的に見ても高齢化（率 44.0%）が進み、さらに少子化による人口減少地域であることから、無医地区への巡回診療や、訪問診療・看護・リハビリ、服薬指導等の在宅医療を推進するとともに、介護老人保健施設も併設して運営しており、さまざまな活動を通じて高齢者への手厚い医療支援の推進に努めています。

これからの地域の医療ニーズに適切に対応するために、町村や医師会と連携して「下伊那南部の包括ケアシステム」の構築を進めるなかで、「地域医療総合支援センター」において在宅医療、地域の健康管理事業、認知症への対応、さらに町村の小児健診などへの支援にも取り組んでいきます。

基本理念

- 1 私たちは、地域の中核病院として質の高い医療を提供します。
- 2 私たちは、患者さんの人権を尊重し、明るくやさしさと思いやりのある医療を提供します。
- 3 私たちは、地域の保健・医療・福祉の連携のもと地域に根ざした医療を提供します。

患者さんの権利に関する宣言

私達、阿南病院職員一同は、患者さんとの信頼関係に基づく、患者さんを中心の医療を行っていきます。全ての患者さんには、次のような権利があります。

- 1 人間として尊重される権利
患者さんは、どんな場合でもひとりの人間として大切に扱われる権利があります。
 - 2 平等に良質な医療を受ける権利
患者さんは、誰でも、どのような病気にかかった場合でも、平等に良質な医療を受ける権利があります。
 - 3 インフォームドコンセント（説明と同意）
患者さんは、自分の病気のことや自分が受けている治療方法について、わかりやすい言葉で、理解できるまで、説明を受ける権利があります。
 - 4 医療行為を選択する権利
患者さんは、治療、検査の方法等を決めるときは、自分の意見を述べ自ら決定する権利があります。また、別の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞く権利があります。
 - 5 プライバシーが守られる権利
患者さんの個人情報の秘密の保持やプライバシーが保護される権利があります。
- 本院は、患者さんの基本的な権利を明確にし、患者さん主体の医療を地域に根付かせる目的でこの権利宣言をしました。
なお、患者さんには、当院のルールを守り、当院職員の診療や他の患者さんの治療の妨げとならないよう協力する責任があります。

倫理要綱

使命

地域住民によってつくられた自治体病院である県立阿南病院は、下伊那南部地域に不足している医療に積極的に取り組むとともに、地域の医療機関や行政機関等との連携を図りながら、公平・公正な医療を提供し、地域住民の健康の維持・増進を図り、地域の発展に貢献することを使命とする。

行動指針

- 1 地域医療の確保
阿南病院は、地域住民のニーズに対応した適正な医療を提供する。
- 2 医療水準の向上
阿南病院は、総合的医療機能を基盤に、へき地医療、高度・特殊医療、先駆的医療及び介護老人保健施設等を担い、さらに医療従事者の研修の場としての役割を果たし、地域の医療水準の向上に努める。
- 3 患者中心の医療の確立
阿南病院は、患者に対し十分な説明と同意のもとに医療を提供し、かつ、診療情報を積極的に公開し、患者の権利を遵守する患者中心の全人的医療を確立する。
- 4 安全管理の徹底
阿南病院は、安心して医療を受けられる環境を整備し、職員の安全教育を推進する。
- 5 健全経営の確保
阿南病院は、公共性を確保するとともに、合理的かつ効率的な病院経営に努めることにより、健全で自立した経営基盤を確立する。

主な医療機器設置状況

- 生化学自動分析装置
- 光干渉断層計
- マルチカラーレーザー光凝固装置
- 個人用透析装置
- 全身麻酔器
- 上部消化管ビデオスコープ（経鼻用）
- 下部消化管ビデオスコープ
- ポータブル超音波診断装置
- 携帯用エックス線撮影装置（訪問診療用）
- 人工呼吸器（Vera、他）
- 磁気共鳴断層診断装置（MRI）
- 超音波診断装置（一般用・心臓用）
- BO列マルチスライスCT装置
- 乳房撮影装置
- 特殊浴槽
- 全自動血液凝固測定装置

施設基準

- 急性期一般病棟入院基本料6
- 救急医療管理加算
- 診療録管理体制加算2
- 医師事務作業補助体制加算1
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 医療安全対策加算1
- 感染防止対策加算2
- 患者サポート体制充実加算
- 後発医薬品使用体制加算2
- 病棟薬剤業務実施加算1
- がん性疼痛緩和指導管理料
- 小児科外来診療料
- 外来リハビリテーション診療料
- ニコチン依存症管理料
- がん治療連携指導料
- 薬剤管理指導料
- 検査画像情報提供加算
- 電子的診療情報評価料
- 医療機器安全管理料1
- 検体検査管理加算(Ⅰ)
- 小児食物アレルギー負荷検査
- CT撮影及びMRI撮影
- 80列以上のマルチスライスCT MRI(1.5T以上)
- 無菌製剤処理料
- 脳血管疾患リハビリテーション料(Ⅱ)
- 運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
- 呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
- がん患者リハビリテーション科
- 透析液水質確保加算1
- 胃瘻造設術
- 輸血管理料(Ⅱ)
- 輸血適正使用加算
- 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- 保険医療機関の連携による病理診断
- 入院時食事療養(Ⅰ)
- 特別食加算
- 食堂加算
- 認知症ケア加算2
- 総合評価加算
- データ提出加算
- 人工腎臓
- 導入期加算1

特色

●へき地巡回診療

昭和36年7月から無医地区解消のためへき地巡回診療が開始されました。当時は木曾郡開田村、新開村、日義村、檜川村や上伊那郡箕輪村の各無医村地区と飯田市松川へ入り、大平地区を3泊4日かけてジープで医師、看護師、運転手兼事務職員で巡回診療を行っていましたが、昭和38年に木曾病院の発足により木曾地区への役割を終え、阿南町3地区と下條村の1地区となり、昭和45年からは薬剤師を加え、令和元年11月からは1地区となり阿南町日吉地区を隔週で行っています。

平成26年から、モバイル端末を用いて電子カルテシステムによる処方オーダーや画像データ等のやりとりを開始し、また、携帯型X線装置や超音波診断装置を活用して、検査体制も充実させています。

●在宅医療の推進

平成9年から訪問医療を開始し、現在、訪問診察、訪問看護、訪問リハビリ、訪問薬剤管理指導、訪問栄養指導を行っています。

高齢になって通院できない患者さんが自宅で暮らすために医療スタッフ(医師、看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士等)が自宅に伺って診療等を行いながら支えています。

また、平成26年から、モバイル端末を用いて電子カルテシステムによる処方オーダーや画像データ等のやりとりを開始し、また、携帯型X線装置や超音波診断装置を活用して、検査体制も充実させています。

ゆっくり流れる時間の中で病気だけを診るのではなく、患者・家族・地域の視点に立った診療の提供を目指し、患者さんにじっくり関わる診療を行っています。

●地域医療総合支援センター

①健康管理センター

人間ドックや各種健診を中心に健康管理事業に取り組んでいます。また、町村と連携し小児健診を受託し、専門スタッフによるフォローアップなどにより公衆衛生活動の充実を図っています。

②認知症相談室

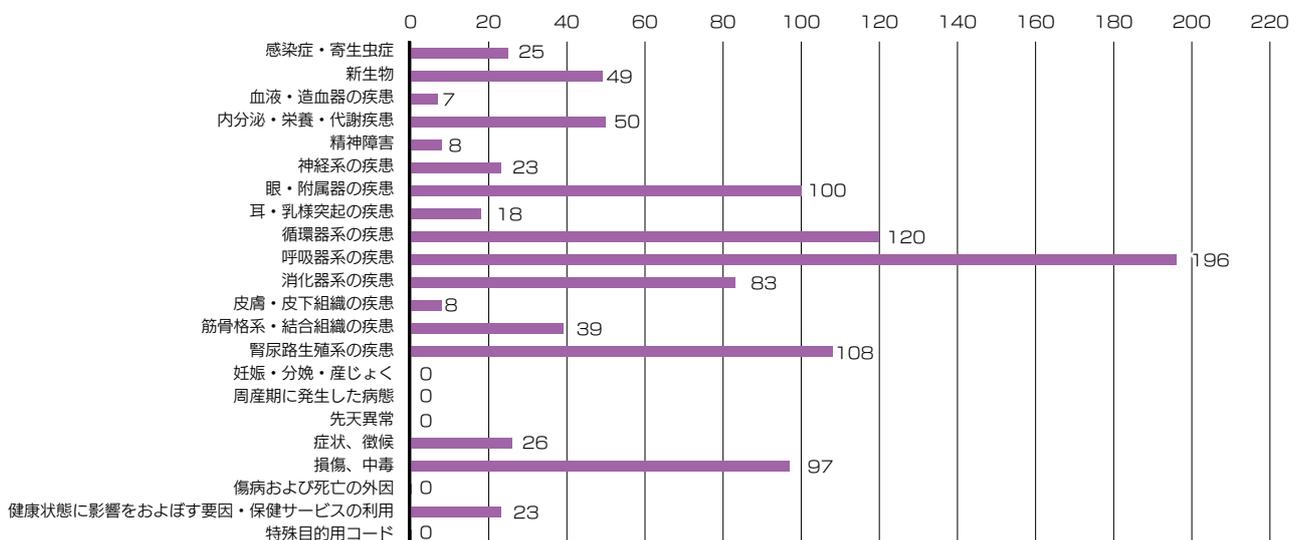
認知症なんでも相談室では、認知症を地域で支える取り組みとして、「相談業務」「院内デイサービス」「認知症カフェ」などを行うとともに、平成29年9月から専門医師による認知機能障害のある患者さんへのコンサルトをスタートして診療を開始し、高齢者が地域で安心して暮らせる手助けをしています。

③へき地医療研修センター

平成29年10月から信州型総合医療養成プログラムによる後期研修医1名を受け入れ総合診療専門医養成が開始しました。

●疾病統計大分類 令和元年度(平成31年度)

(単位:人)



令和元年度の阿南病院

医療

診療体制の充実

- ・ 外科医の常勤体制を整え、内科、整形外科、小児科及び眼科の診療体制の充実により住民のニーズに応える地域医療を推進しました。眼科診療では、平成28年度に導入したOCT(光干渉断層計)を用いて加齢とともに多くなる網膜系の眼疾患の早期発見、治療にあたりました。また、昨年に引き続き小児科の日曜診療、インフルエンザ予防接種の土曜日の接種を実施し、泌尿器外来を毎週水曜日体制の充実により患者さんの利便性、安心感の向上と地域からの信頼感を醸成しました。

日曜診療の継続

- ・ 小児科では、平成30年から毎月第1日曜日に小児科日曜診療を実施し令和元年度では、診療日数13日間で計162名を診療しました。また、インフルエンザ予防接種の土曜日の接種を2回実施し、延べ172名となり、地域の患者さんの利便性・安心感の向上と地域からの信頼感を醸成しました。

地域の医療機関への連携

- ・ J Aみなみ信州阿南歯科診療所と連携し、入院患者の嚥下機能評価のため、平成29年11月から診療所歯科医師の訪問診察により内視鏡的機能検査(VE)を実施し当院の摂食嚥下障害患者への診療に役立てています。

「地域医療総合支援センター」の充実

- ・ 専任スタッフと認知症看護認定看護師を配置し相談業務を積極的に行うとともに、認知症専門外来の開診に向けて、専門医師による認知機能障害のある患者さんへのコンサルトをスタートするなど、診療を開始しました。地域住民のボランティアスタッフの協力を得ながら認知症を併発した入院患者を対象にした院内デイサービス、認知症カフェ「かふえ なごみ」を継続実施しています。また、啓発活動として、地域住民や関係団体等への認知症サポーター研修も継続実施しています。



地域

出前講座の実施

- ・ 住民の皆さんの健康保持増進や生活習慣予防に役立てるよう、また、病院への信頼感と共にPRにつなげるために実施しています。認知の方を理解する、低栄養を防ぐための食事、薬との正しい付き合い方についてなど3講座を4回実施し184名の参加がありました。



地域の関係機関との連携

- ・ 阿南消防署及び本部研修センターと連携した中学生に対するBLS(1次救命処置)講習会を継続し診療圏内全中学校で実施しました。過疎、高齢地域において1次救命の重要な担い手になるよう中学生に救命処置の大切さを伝えるとともに、地域と関係機関との連携を深めました。





TOPICS

高校生のための医療体験

飯田・下伊那地域の高校生を対象とした病院での職業体験を開催しました。参加者9名の高校生が院内見学、各職種別医療体験、職員との交流会に参加しました。病院内の様々な職種を知ることによって進路選択の参考に、医療系の職業への関心が高まることを期待しています。



職員経営状況説明会の実施

経営等に関する情報を共有し、職員の経営に対する意識を高めるため、決算、計画の説明会をセクションごとに開催しました。また、クリニカルインディケーターの項目を見直し、対策が必要な重点項目について担当科で更に検討し、職員の意識向上を図りました。

院内情報交換会の実施

平成26年度より院内で、常日頃行っている調査研究や業務改善の取組み等について発表および情報交換を実施しています。今年度は、2回にわたり6題発表し職員間の情報共有を図るとともに今後の業務改善に役立てます。

2019 阿南病院・アイライフあなん 南宮祭

令和元年10月26日(土) 9:30~14:30

講演会

講師：信州大学医学部附属病院

高度救命救急センター 岡田 まゆみ 先生

講演：「信州ドクターヘリ松本の一日」

内容

- ◎イベント：ドクターヘリ見学、大下條小金管バンド、下條ATOSよさこいソーラン踊り、職員コンサート、カッセイカマンショー、阿南高校吹奏楽部演奏&ダンス、豚汁無料サービス
- ◎体験：健康ミニチェック、CT体験、ドクターヘリ見学、エコー体験、手洗い体験、スライム作り、調剤体験、阿南高校お茶会、なごみコーナー、スタンプラリー、ゲームコーナー、パトカー・白バイ展示、フリーマーケット
- ◎展示：作品展示(保育園・アイライフあなん利用者、なごみ作品、写真クラブ、阿南高校華道部)



地方独立行政法人化後(平成22年以降)の主な出来事

平成 24 年 10 月 阿南病院の愛称「和み(なごみ)の医療センター」に決定

- ・下伊那南部の中核病院として、また地域に寄り添う医療の実現を目指し、地域に愛され親しまれる病院となるよう愛称を募集しました。人の「和」と地域の「和」を大切に、1人ひとりに寄り添った医療を提供することで、健やかな毎日を過ごすことができるようにとの思いが込められています。



平成 25 年 5 月 本館棟完成 (4,719.32 m²) 使用開始 (免震構造・ヘリポート付き) (一般病床 85 床)



- ・平成23年3月から始めました改築工事が地震などの災害に備え耐震性のある免震構造で本館(地上4階、地下1階、屋上ヘリポート設置)が完成しました。

平成 25 年 9 月 電子カルテシステムスタート、 併せて院外処方発行開始

- ・医療サービスのさらなる向上とより安全な医療の提供を目的として電子カルテシステムをスタートしました。



○ 平成 26 年 4 月
耐震化改築工事 全面竣工 地域医療総合支援センター開設
(健康管理センター、へき地医療研修センター、認知症なんでも相談室)

- ・新本館棟の改築工事に引き続き東館の改修工事が完了しました。人間ドックや各種健診を中心に健康管理事業に取り組んでいます。また、町村と連携し小児健診を受託し、専門スタッフによるフォローアップなどにより公衆衛生活動の充実を図っています。



○ 平成 26 年 6 月
中学生を対象に B L S 講習会を開催



- ・救急車到着までに20分以上かかる山村へき地においては、命を守るためにAEDの使用も含めた確な蘇生術が必要になります。本部研修センターと阿南消防署と連携して、中学生を対象に、『生命の維持の仕組みと救命の役割を知り、心肺蘇生を正しく実施することができる。友人と協力して確実な心肺蘇生やAEDを実施出来る。』ことを目標に講習会を開催しています。

○ 平成 28 年 5 月
認知症なんでも相談室
認知症カフェ「かふえ なごみ」
運営開始

- ・認知症を地域で支える取り組みとして、「相談業務」「院内デイサービス」「認知症カフェ」などを行い、高齢者が地域で安心して暮らせる手助けをしています。



○ 令和 2 年 4 月
長野県立阿南病院訪問看護ステーションさくらを開設

- ・下伊那南部地域の町村からの要望により訪問看護ステーションを開設しました。地域の保健・医療・福祉機関と連携のもと地域に根ざした訪問看護を提供してまいります。



木曽病院 (木曽病院介護医療院)

〒397-8555 長野県木曽郡木曽町福島 6613-4 TEL 0264-22-2703 (代表) FAX 0264-22-2538

木曽病院マスコットキャラクター「きそっぴい」



- 指定医療機関
- 救急告示医療機関
- 第2種感染症指定医療機関
- 地域がん診療病院
- 災害拠点病院
- 更生医療指定機関
- へき地医療拠点病院
- 臨床研修指定病院

木曽病院は、木曽二次医療圏唯一の病院として、24時間365日体制で救急に対応するとともに、がん診療を中心とした急性期医療から里帰り分娩や在宅医療まで、都市部の病院と比較しても標準以上の医療の質とサービスを提供することを目指し、職員一同日々取り組んでいます。

また、院内の療養病棟はもとより、併設している介護医療院、介護老人保健施設と連携しながら、医療と福祉の切れ目のないサービスを提供しているほか、県内病院では唯一DMAT（災害派遣医療チーム）を組織しています。

このほか赤沢自然休養林での森林セラピードックや無医地区への巡回診療などの独自の取り組みも展開しています。

基本理念

私たちは、患者さんの立場にたち、信頼と満足が得られて、心のふれ合いのある医療サービスを実践します。

基本方針

- 1 木曽で唯一の病院として、いつでも安心してかかることができる地域に信頼される病院を目指します。
- 2 人権を尊重し、十分な説明と同意（インフォームドコンセント）に基づいた医療サービスを提供します。とりわけチーム医療に取り組みます。
- 3 つねに新しい知識と技術の習得に努め、地域に根ざした質の高い医療を提供します。とりわけ救急医療の充実に努めます。
- 4 町村や他の医療・福祉・保健・介護施設と連携を強化して、地域の要望に応えられるよう努めます。とりわけ在宅医療を充実します。
- 5 清潔、快適で安らぎのある療養環境の整備改善に努めます。
- 6 人間性にあふれた、働きがいのある病院運営に努めます。
- 7 健全経営の維持に努めます。

職員倫理規程

- 1 患者の権利・義務憲章を認識し、擁護・指導する共同の責任を担うこと。
- 2 患者さんの健康を、自らの第一の関心事として、良心と尊厳をもって自らの専門職を実践すること。
- 3 生涯学習の精神を保ち、常に必要な知識と技術の習得に努め、患者さんに奉仕すること。
- 4 医療の公共性を重んじ、医療を通じて社会の発展につくすとともに、法規範の遵守に努めること。

教育施設等の指定

- 日本内科学会認定医制度教育関連施設
- 日本透視医学会教育関連施設
- 日本消化器病学会関連施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本神経学会専門医制度教育関連施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本整形外科学会認定研修施設
- 日本眼科学会専門医制度研修施設
- 日本臨床細胞学会認定施設
- 日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
- 日本脳卒中学会専門医研修教育病院
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設

主な医療機器設置状況

- ＜放射線＞
 - X線テレビ装置
 - 骨密度測定装置
 - 血管撮影装置 (心臓専用 / 汎用)
 - CTスキャナー (320列X線CT)
 - MRI (1.5テスラ)
 - ガンマカメラ
 - 乳房撮影装置
 - 高エネルギー放射線治療装置
 - 治療計画装置 (64列X線CT)
 - 核医学検査装置
 - ＜臨床検査科＞
 - 多項目自動赤血球分析装置
 - 超音波診断装置
 - 超音波心臓診断装置
 - 自動尿分析装置
 - 生化学自動分析装置
 - 病理検査システム
 - 全自動血液ガス分析装置
 - 内視鏡システム
 - ＜手術室・中央材料室＞
 - クリーンゾーンシステム
 - 手術用双眼顕微鏡
 - 集中型患者監視システム
 - 低温プラズマ滅菌システム
 - 高圧蒸気滅菌機・麻酔器
 - 高解像LCDモニター
 - X線テレビ装置およびビューイングシステム
 - 人工透析装置
 - 人工透析中央監視システム
 - 持続的血液濾過透析装置
 - 逆浸透水処理装置
 - 全身麻酔装置
 - 真空超音波洗浄機
 - ＜病棟＞
 - 集中型患者監視システム
 - 新生児モニターシステム
 - 成人用モニターシステム
 - ＜その他＞
 - 院内総合情報システム
 - 分娩監視装置
 - ヘリポート

施設基準

- 急性期一般入院料5
- 療養病棟入院基本料2
- 地域包括ケア病棟入院料1
- 看護職員配置加算
- 入院時食事療養(1)・入院時生活療養(1)
- 診療録管理体制加算1
- 医師事務作業補助体制加算2
- 急性期看護補助体制加算
- 重傷者等療養環境特別加算
- 療養病棟療養環境加算1
- 医療安全対策加算1
- 医療安全地域連携加算1
- 感染防止対策加算1
- 感染防止対策地域連携加算
- 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ハイリスク妊娠管理加算
- データ提出加算2
- 認知症ケア加算2
- 後発医薬品使用体制加算2
- 入退院支援加算1
- ハイリスク妊産婦共同管理料(1)
- 救急搬送看護体制加算糖尿病合併症管理料
- 糖尿病合併症管理料
- がん性疼痛緩和指導管理料
- がん患者指導管理料(イ)(ロ)(ハ)
- ニコチン依存症管理料
- 麻酔管理料(1)
- 薬剤管理指導料
- 検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
- 医療機器安全管理料1
- HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
- 検体検査管理加算(1)(II)
- 持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
- 神経学的検査
- コンタクトレンズ検査料1
- 小児食物アレルギー負荷検査
- CT撮影及びMR1撮影
- 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 外来化学療法加算1
- 無菌製剤処理料
- 脳血管疾患等リハビリテーション料1
- 運動器リハビリテーション料1
- 呼吸器リハビリテーション料1
- がん患者リハビリテーション料
- 集団コミュニケーション療法料
- 人工腎臓(慢性医事透析を行った場合1)
- 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
- 導入期加算1
- 下肢抹消動脈疾患指導管理加算
- 輸血管理料II
- 輸血適正使用加算
- 人工肛門・人工膀胱増設前処置加算
- 医科点数表第2章第10部門手術の通則の16に上げる手術(胃瘻増設術・胃瘻増設時嚥下機能評価加算)

特色

●災害拠点病院

木曽地域唯一の災害拠点病院として、災害時の医療の提供を行うため、広域連合と連携した木曽病院総合防災訓練を毎年行っています。また、DMATも保有しており、平成26年の御嶽山噴火災害の際にはDMATが中心となって災害対応にあたりました。

●森林セラピー事業

木曽病院では、木曽の地域医療を守り、地域の活性化に貢献するために平成18年度より森林セラピー事業を行っています。事業内容としては、毎週木曜日の上松町の赤沢自然休養林にて観光客のストレスチェックを行う「森のお医者さん」、5月～10月の第3週の日曜日に行う「医師と歩く森林セラピーロード」、上松町とタイアップした「森林セラピードック」の3種類を実施しています。

●救急告示医療機関

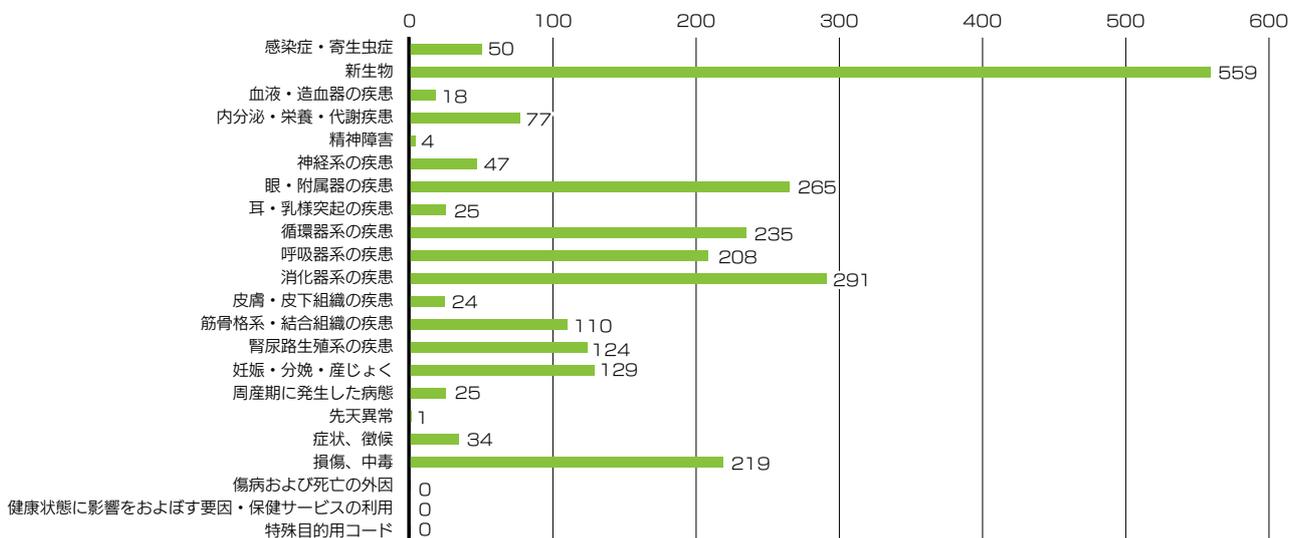
地域完結型の病院を目指し、救急に関しては24時間365日体制で全診療科がオンコール体制を敷いているほか、急性期から慢性期までの疾患、訪問診療、健診と幅広く診療活動を行っています。

●へき地医療の提供

上松町の無医地区である「台(だな)」、「才児(さいちご)」地区に毎月第2、第4木曜日に、医師・看護師・薬剤師・事務職員が赴き、巡回診療を行うことにより、無医地区の医療確保に貢献しています。

●疾病統計大分類 令和元年度(平成31年度)

(単位:人)



令和元年度の **木曽病院**

医療

○ 人間ドックに心臓検査コースを新設

- ・人間ドックに心臓検査コースを新設し、循環器系疾患予防への対応を拡充しました。

○ 介護医療院「ユーライフきそ」開院

- ・長期療養のための医療と日常生活上の介護を一体的に提供する体制を整え、令和2年3月に介護療養病床を転換し、介護医療院「ユーライフきそ」を開院しました。（定員20名）



地域

○ 出前病院

- ・令和元年10月27日(日)に南木曽町で開催された「南木曽町ふれあい福祉祭り」に木曽病院として参加し、各種測定や健康相談を行いました。



○ 糖尿病教室

- ・病院スタッフが講師となり、治療、運動、薬物療法、検査、日常生活、食事会と幅広い内容で行いました。（計6回 参加者延75名）そのうち7月には地域住民も対象とした糖尿病に関する一般公開講座(病院機構第2回公開講座)を行い、住民の健康に対する意識向上を図りました。

○ 出前講座

- ・地域の皆さんの健康保持増進のため、「性教育」「褥瘡・スキンケア」「感染対策」「病院薬剤管理・病院薬剤師の役割」「自殺・企図者支援」「移乗・移送」「腰痛予防」「口腔体操」等、多種多様なテーマで開催しました。



TOPICS

リレーフォーライフジャパンに参加

がんチャリティーイベント「リレーフォーライフジャパン松本」にチームとして参加し、地域がん診療病院としてPRを図りました。



地域の駅伝大会に参加

木曽病院チームとして9月の木曽町駅伝で1チーム、11月の木祖村駅伝で2チーム出場しました。木祖村駅伝ではAチームが優勝しました。



台風19号被災地にDMATを派遣

10月に発生した台風19号災害の被災地（長野市）にDMAT1隊を派遣しました。

木曽病院祭 ～平成から令和に繋ぐ 地域に優しい木曽の医療～

令和元年11月9日(土) 9:30～15:00

医療講演会

「地域にやさしい木曽の医療

～木曽地域の医療について共に考えよう～

講師：川島 実 先生
(元プロボクサー フリーランス医師)

主催：木曽病院祭実行委員会

共催：木曽広域連合、木曽地域・木曽病院を守る会



内容

イベント：木曽消防隊講演、峰丈流護身武道、健康体操、太鼓演奏、吹奏楽演奏

体験：看護師体験、手術室劇場、スライム作り、野菜量チェック

各種検診(無料)：体力測定、動脈硬化指数測定、骨密度測定、メタボ検診、血管年齢測定

相談関係：がん相談センター相談、おくすり相談

その他：射的、ヨーヨー釣り、風船、バザー、園児の絵展示、出店販売ほか



地方独立行政法人化後(平成22年以降)の主な出来事

平成 22 年 4 月 DPC 対象病院へ移行

- ・地方独立行政法人化を機にDPC対象病院へ移行しました。

平成 22 年 6 月 「木曽病院・木曽地域の医療を守る会」発足

- ・木曽広域連合の発案で、住民組織として発足されました。病院の各種イベントへの協力や、賛同される会員の募集等を通して病院を支えていただいています。



平成 23 年 3 月 東日本大震災被災地へ DMAT 派遣

- ・5名の隊員が震災当日の3月11日に病院を出発し、翌12日朝から岩手県立中部病院にて支援に当たりました。同日午後には花巻空港に移動し、全国から集まった約60チームと共に13日午後まで活動しました。



平成 25 年 5 月 医師と歩く森林セラピー開始

- ・森林浴の前後に健康相談や各種測定をし、森林セラピーの効果を実感してもらう企画が初開催されました。(5月～10月までの毎月第3日曜日開催)



平成 26 年 3 月 320 列 X 線 CT 装置使用開始

- ・新CTの導入で撮影時間の短縮や画質、安全性向上など、高水準の医療の提供が可能になりました。



平成 26 年 9 月 御嶽山噴火



- ・ 県の要請によりDMAT 1 チームを御嶽山黒沢口の御岳ロープウェイ山麓駅に派遣し、現場救護所を設置しました。また、当院にDMAT活動拠点本部が設置され、県内外のDMATの協力により被災者の受け入れを行いました。

平成 26 年 11 月 開院 50 周年記念式典開催、 木曽病院マスコットキャラクター「きそっぴい」決定

- ・ 11月1日に開院50周年の記念式典が開催され、地域医療を支えてきた病院の半世紀を振り返りながら、さらなる地域貢献を誓いました。50周年に際し、マスコットキャラクターを公募し、75作品の中から外来患者と職員の投票により、決定しました。後日職員から名前を募集し投票の結果「きそっぴい」と名付けられました。



平成 30 年 4 月 在宅医療・介護連携支援センターを設置

- ・ 従来の地域連携室を強化した患者サポートセンターを設置し、入院支援係・医療福祉相談係・医療連携係を設け、各係が連携することで患者支援体制の充実を図りました。



平成 30 年 6 月

- ・ 質の高い医療を効率的に提供するため、日本医療機能評価3rdG:Ver.2.0を受審し、認定を受けました

平成 31 年 3 月 高校生医療体験実施

- ・ 県内高校生を対象に「病院医療体験」を開催。予想をはるかに超える募集があり、受け入れ人数を調整し41名の参加で実施されました。各部門ごとの仕事紹介や、医療体験が行われました。





こども病院

〒399-8288
長野県安曇野市豊科3100 TEL 0263-73-6700 (代表) FAX 0263-73-5432

こども病院マスコットキャラクター「ちるくま」



● 指定医療機関

- ・保険医療機関
- ・指定自立支援医療機関（更生医療）
- ・指定自立支援医療機関（育成医療）
- ・指定自立支援医療機関（精神通院医療）
- ・身体障害者福祉法指定医の配置されている医療機関
- ・生活保護法指定医療機関
- ・特定疾患治療研究事業委託医療機関
- ・指定養育医療機関
- ・小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関教育施設等の指定

こども病院は、一般の医療機関では対応が困難な、高度で専門的な治療を必要とする小児の疾患を主たる対象として、診断・治療・相談及び指導を行う小児医療施設です。また、周産期医療の中核病院、県の総合周産期母子医療センターとしての機能を担い、出生前後の母体・胎児から新生児に至る一貫した高度専門医療を提供しています。24時間体制での救急・ドクターカーで地域の医療施設に重症患者さんを出迎えに行く体制の整備、重症な患者さんを診療する小児集中治療室（PICU）など受け入れ態勢も整備しています。

生命科学研究センターをはじめとしてエコーセンター、3Dモデル造形センター、予防接種センター、口唇口蓋裂センターを設置し、小児周産期医療における先進的分野への役割も担っています。こども病院は小児医療の研修にも力を入れ、全国から病院の魅力を感じて集まった多くの医師の養成に貢献しています。

理念

わたし達は、未来を担う子ども達とその家族のために、質が高く、安全な医療を行います。

5つの基本方針

- 1 こどもと家族の権利の尊重
- 2 療育環境の充実
- 3 チーム医療の実践
- 4 医療従事者の育成
- 5 健全な病院経営

職員の倫理要綱

- 1 職員は、すべての患者さんに対し、常に平等に、温かく接しなければならない。
- 2 職員は、十分な情報を提供した上で、医療を受ける者の知る権利、自己決定の権利を尊重しなければならない。
- 3 職員は、守秘義務を厳守し、個人情報の保護に努めなければならない。
- 4 職員は、常に患者さん中心の医療を効率的に提供しなければならない。
- 5 職員は、自己研鑽に努め医学の進歩・発展に尽くし、安全で信頼される医療の提供に努めなければならない。
- 6 職員は、長野県立病院機構職員としての自覚を持ち、お互いに協力して病院の健全な運営に努めなければならない。

教育施設等の指定

- ・小児科専門研修施設
- ・日本小児感染症学会認定指導医（専門医）教育プログラム施設
- ・日本血液学会認定血液研修施設
- ・日本小児血液・がん専門医研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本小児循環器専門医研修施設
- ・日本循環器学会循環器専門医研修施設
- ・日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度（新生児領域）暫定基幹研修施設
- ・日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度（母体・胎児領域）暫定基幹研修施設
- ・日本麻酔学会麻酔科認定病院
- ・日本小児神経学会小児神経専門医研修認定施設
- ・日本小児外科学会専門医認定施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
- ・日本成人先天性心疾患認定成人先天性心疾患専門医連携修練施設
- ・日本脳神経外科学会専門医研修プログラム連携施設
- ・日本形成外科学会認定施設
- ・日本整形外科学会専門医研修施設
- ・日本超音波医学会超音波専門医研修施設
- ・日本病理学会病理専門医研修登録施設
- ・日本産科婦人科学会専攻医指導施設
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- ・日本集中治療学会専門医研修施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・認定臨床微生物検査技師研修施設
- ・日本周産期・新生児学会新生児蘇生法（NCPFR）トレーニングサイト
- ・日本医療薬学会認定薬物療法専門薬剤師研修施設
- ・日本臨床衛生検査技師会・日本臨床検査標準協議会制度保証施設認定

主な医療機器設置状況

- 包括的遺伝子解析機器
- 臨床検査システム
- 総合生理検査システム
- 回診用 X 線撮影装置
- バイプレーン血管撮影装置
- MR I (超電導磁気共鳴診断装置)
- 多目的デジタル X 線テレビシステム
- 3D 超音波診断装置
- 経腹超音波診断装置
- 色素性疾患治療用レーザー
- 血管腫治療用レーザー
- 皮膚良性血管病変治療用レーザー装置
- 先天性スクリーニングネットワークシステム
- 汎用超音波画像診断装置
- 外科用イメージングシステム
- 心電図データマネジメントシステム
- 手術室・ICU 等モニタリングシステム
- 内視鏡手術 TV システム
- 電子カルテシステム
- 画像管理システムサーバ
- 地域医療連携システム
- ドクターカー
- ロボットスーツ「HAL」

施設基準

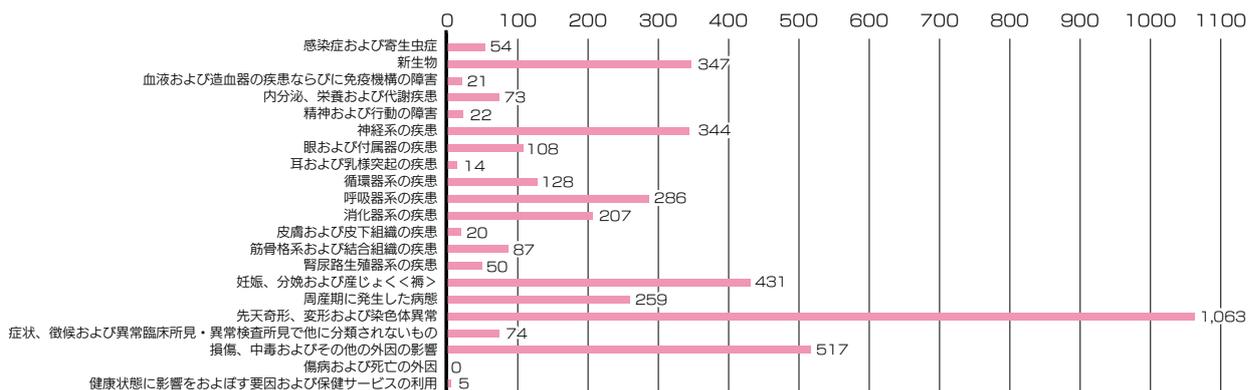
- 一般病棟入院基本料 急性期一般入院料 1
- 診療録管理体制加算 1
- 医師事務作業補助体制加算 1 15 対 1
- 急性期看護補助体制加算 1 (25 対 1 看護補助者 5 割以上)
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 無菌治療室管理加算 2
- 緩和ケア診療加算
- 栄養サポートチーム加算
- 医療安全対策加算 1 (医療安全対策地域連携加算 1)
- 感染防止対策加算 1
- (感染防止対策地域連携加算 1・抗菌薬適正使用支援加算 1)
- 患者サポート体制充実加算
- 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ハイリスク妊娠管理加算
- ハイリスク分娩管理加算
- 病棟薬剤業務実施加算 1
- 病棟薬剤業務実施加算 2
- データ提出加算 2
- 入退院支援加算 1・3
- 排尿自立支援加算
- 小児特定集中治療室管理料
- 総合周産期特定集中治療室管理料 (母体・胎児集中治療室、新生児集中治療室)
- 小児入院医療管理料 1
- 心臓ペースメーカー指導管理料の「注 5」に掲げる遠隔モニタリング加算
- がん性疼痛緩和指導管理料
- 外来排尿自立指導料
- ハイリスク妊産婦共同管理料 (I)
- ハイリスク妊産婦連携指導料 1・2
- 薬剤管理指導料
- 検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
- 医療機器安全管理料 1
- 在宅患者訪問看護・指導料
- 在宅経肛門の自己洗腸指導管理料
- 持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
- 遺伝学的検査
- 骨髄微小残存病変測定
- 先天性代謝異常検査
- ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
- 検体検査管理加算 (I)・(IV)
- 遺伝カウンセリング加算
- 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
- 胎児心エコー法
- ヘッドアップティルト試験
- 長期継続頭蓋内脳波検査
- 乳腺炎重症化予防ケア・指導料
- 脳波検査判断料 I
- 神経学的検査
- 補聴器適合検査
- ローション検査判断料
- コンタクトレンズ検査料 1
- 小児食物アレルギー負荷検査
- 画像診断管理加算 1・2
- CT 撮影及び MR I 撮影
- 冠動脈 CT 撮影加算
- 心臓 MR I 撮影加算
- 小児鎮静化 MR I 撮影加算
- 抗悪性腫瘍処方管理加算
- 外来化学療法加算 1
- 無菌製剤処理料
- 脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)
- 運動器リハビリテーション料 (I)
- 呼吸器リハビリテーション料 (I)
- 障害児 (者) リハビリテーション料
- 歩行運動処置 (ロボットスーツによるもの)
- 頭蓋骨形成手術 (骨移動を伴うものに限る)
- 脳刺激装置植込術 (頭蓋内電極植込術を含む) 及び脳刺激装置交換術
- 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- 上顎骨形成術 (骨移動を伴う場合に限る) 及び下顎骨形成術 (骨移動を伴う場合に限る)
- ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- 大動脈バルーンパンピング法 (I ABP 法)
- 胎児胸腔・羊水腔シャント術
- 手術の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1 (新生児科)
- 胃瘻造設術
- 輸血管理料 (I)
- 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- レーザー機器加算
- 麻酔管理料 (I)
- 高エネルギー放射線治療
- 入院時食事療養 (I)

特色

- **小児専門病院**
長野県唯一のこども専門の病院として、一般の医療機関では対応できない疾患の治療など高度な小児医療の後方支援病院としての役割を担っています。
- **総合周産期母子医療センター**
県内産科医療機関と連携を図りながら、合併症妊娠、胎児・新生児異常等リスクの高い妊娠に対する高度医療や、外科的治療を含む高度の新生児医療を提供し、全国トップクラスの低い水準で推移する県の周産期死亡率・新生児死亡率に貢献しています。
- **小児総合診療体制**
高度専門医療体制を横断的に統合し、重症患者に対応できる総合診療体制を整備しています。
- **小児医療に関わる医師、医療従事者の研修育成体制**
こども病院の特徴である新生児・小児の救急集中医療、麻酔、神経、リハビリテーション、循環器、血液腫瘍、在宅医療ならびに外科系医療の研修を通じて、周産期・小児の学際的医療 (Interdisciplinary Medicine) を学ぶことを目的としています。また、こども病院独自の支援制度により職員の研修研究体制を充実させ、職員の資質向上に努めています。
- **患者とその家族に優しい病院**
医療相談員やチャイルドライフスペシャリストを配置し、患者とのその家族に優しい病院を目指しています。
- **プレホスピタルケア、ポストホスピタルケアの取組み**
生命科学研究センターを開設し、小児がん、先天性疾患、遺伝性疾患及び産科疾患を対象とした、高度先進的検査・解析及び情報提供を実施しています。また、先天性代謝異常の早期発見・早期治療のための先天性代謝異常検査 (タンデムマス法) を県から受託しています。さらに長野しろくまネットワーク (在宅電子連絡帳等) などの IT を活用した地域の医療・福祉・行政関係者との連携促進を図り、小児在宅医療のネットワーク構築を進めています。また、成人移行期支援について、病院全体の委員会を設置、多職種が連携し、成人移行期支援外来 (成人移行) の開始などの体制づくりを行っています。

● 疾病統計大分類 令和元年度 (平成 31 年度)

(単位:人)



令和元年度の **こども病院**

医療

○ 訪問診療センターの開設

- ・ 医療的ケアを必要なまま在宅医療を継続する子どもたちの診療・支援のため、こども病院近隣の在宅人工呼吸患者を中心に、週一度の医師と看護師による訪問診療と理学療法士による訪問リハビリを開始しました。

○ 小児がん連携病院の指定

- ・ 信州大学医学部附属病院、信州がんセンター及び相澤病院と連携し、小児がんの診療治療体制を強化するなど小児がんの診療機能の向上に取り組んでいます。

○ 地域医療支援病院

- ・ 地域の医療従事者に対する研修や高度医療機器の共同利用など、地域に開かれた病院として地域の医療機関との連携を推進しました。

○ 小児、思春期・若年がん患者の妊よう性温存に係る 卵巣組織等の凍結・保存の協定を締結



- ・ 諏訪マタニティークリニックと連携し、小児、思春期・若年がん患者の妊よう性温存に係る卵巣組織等の凍結・保存を実施するため、両病院間で協定を締結しました。このことにより、原疾患の治療後に妊娠の可能性が残ります。

○ 小児向けロボットスーツ「HAL® 医療用下肢タイプ」を導入

- ・ 下肢の障害や筋ジストロフィーなどの患者を対象とした機能改善治療用ロボットスーツHAL(医療用下肢タイプ)を導入し、8月より使用を開始しました。小児の分野では長野県立こども病院が県内初の導入となります。





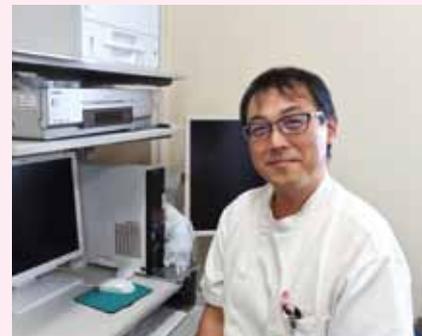
TOPICS

第11回こども病院祭中止

10月13日(日)に開催を予定していたが、台風19号による県内の大規模な災害発生を受け、急遽中止となりました。

母子保健奨励賞を受賞しました

廣間武彦総合周産期母子医療センター長兼新生児科部長は、長年の新生児医療、母子保健への取組みが認められ、第41回母子保健奨励賞(公益財団法人 母子衛生研究会主催)及びNHK賞を受賞しました。



新型コロナウイルスへの対応

2月26日：事業者向けに院内立入制限をホームページに掲載

3月4日：地域のお子さんと保護者向けに新型コロナウイルスへの対応方法をホームページに掲載

地域

公開講座の開催

- ・9月7日『「とにかく簡単♪誰でもできる！アレルギー料理教室」』を松本市エムウイングで開催し、10名の参加がありました。
- ・口唇口蓋裂センター：12月8日、上田市の創造館にて県内外患者およびその家族、言語聴覚士、ことばの教室を担当される教師らを対象とした市民公開講座を開催し約85名の参加者がありました。“これからの治療を、どのように進めていくのかを事前に知ることが出来ました。形成外科での治療、言語のリハビリだけでなく歯科矯正の必要性など、かなり長期にわたる治療が必要である事を初めて知りました。”“治療スケジュールを各分野の先生から聞き、再確認できた。”などの声が聞かれました。
- ・予防接種センター：12月14日、「さあ、風疹を止めよう！」をテーマにこども病院で開催し、23名の参加がありました。



地方独立行政法人化後(平成22年以降)の主な出来事

平成 23 年 6 月 23 日 国際宇宙ステーション 古川聡さんとの交信イベント



- ・国際宇宙ステーション滞在中の古川宇宙飛行士と入院中のこども達11人は、衛星回線を使用して交信イベントを行いました。医師でもある古川さんは、宇宙航空研究開発機構(JAXA)のイベントに応募した循環器小児科部長瀧間医師の中高時代の野球部の先輩。

平成 25 年 5 月 25 日 創立 20 周年記念行事

- ・慰霊式、こども病院で治療を受けられた方々からの話、米良美一さんの歌と話などの行事を行いました。(写真は初代院長 川勝岳夫先生)



平成 25 年 10 月 1 日 タンデムマス法を用いた 新しい新生児マススクリーニングを開始

- ・長野県より委託を受け、先天性代謝異常症の20疾患の検査を実施しています。早期に発見し適切な治療を受けることで障がいの多くを未然に防ぐことができます。



平成 29 年 7 月 小児集中治療病床(PICU) 12 床オープン

- ・平成28年に第一期の増築工事に着手、翌年3月に第二期工事が完了し運用を開始しました。内装にはパステルカラーで山や花を彩り、全国でも珍しいホスピタルアートを施しました。



○ 平成 30 年 3 月 ドクターカーの更新

- ・平成18年から11年間使用してきたドクターカーの更新費用の一部をクラウド・ファンディングを通じて寄附を募り、多くの皆さまの温かいご協力により、目標金額を大きく上回るご支援をいただきました。



○ 令和元年 4 月 20 日 男児世界最小の赤ちゃんが退院

- ・昨年10月に258グラムで生まれた男の子が無事に成長し、退院しました。元気に退院する男児としては世界最小。点滴を入れるのに難渋し、腸閉塞をおこすなど様々な困難を乗り越えての退院でした。写真は記者会見と新生児病棟の様子。



○ 令和 2 年 3 月 27 日 文部科学省科学研究費助成事業の研究機関に指定

- ・生命科学研究センターは、文部科学大臣から科学研究費補助金取扱規程第2条に規定する研究機関として指定を受けました。
- ・今後は一層研究活動を推進し、最先端の小児医療に貢献していきます。

○ こども病院オリジナルグッズ ミネラルウォーターとフェイスタオル

- ・ミネラルウォーターは北アルプス常念岳のふもとに広がる安曇野の水を水源としたナチュラル水。ラベルには宮越由貴奈さんの「命」の詩が書かれています。フェイスタオルはこども病院のロゴ入りです。

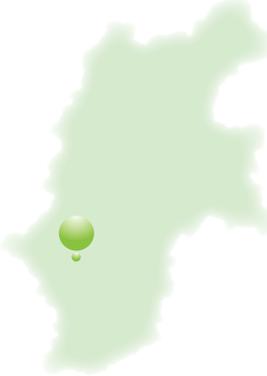




信州木曾看護専門学校

〒397-8567

長野県木曾郡木曾町新開 4236 TEL 0264-24-0020 (代表) FAX 0264-22-4070



長野県では、平成23年度に健康福祉部が設置した「長野県の看護人材養成に係る検討会」において検討、木曾看護専門学校2年課程を閉科し、新たに3年課程の看護専門学校を木曾地域に設置し、その運営主体を地方独立行政法人長野県立病院機構(以下「県立病院機構」)とすることにより、県のへき地医療を担う県立病院機構の機能強化並びに地域内での看護師の養成・定着の推進を図る方針が示されました。平成25年12月25日に厚生労働省から看護師養成所設置指令書の交付を受けると共に、県知事から専修学校設置認可書が交付され、平成26年4月開校に至りました。

県立病院機構が運営する5つの県立病院がそれぞれの特徴を生かしつつ、そのカリキュラムを充実させるため全面的に支援する中、特に地域との結びつきを重視した教育、へき地医療の現実を見据えた教育を行い、地域医療の明日を担う看護師を養成することを目指しています。

基本理念

本校は、地域医療、高度・専門医療、県民の視点に立った医療を提供するという公的使命をもつ長野県立病院機構立の学校として、看護の社会的役割を担うことのできる専門職者の育成を目指す。

恵まれた自然と歴史ある環境のもとで、人間の生命や生活の質を多角的に理解し尊重できる豊かな人間性を育み、科学的思考に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養成する。さらに生涯にわたって学び続ける態度を身につけ、地域における保健・医療・福祉の発展充実に貢献する人材を育成する。

教育目的

人々の生命と暮らしのありのままを理解することのできる幅広い視野を育み、看護に必要な知識・技術・態度を身に付け、保健・医療・福祉の領域において貢献し得る看護実践者を育成する。

特色

●看護師国家試験 100% 合格への支援

1年生から学年ごとに学習目標をたて、必要な学習支援を行う。適宜、業者模擬試験を行い、苦手分野の把握やその克服に努め、また、実習での学びと国家試験対策をリンクさせ、幅広い学習を支援し、開校以来、平均を上回る合格率を維持している。

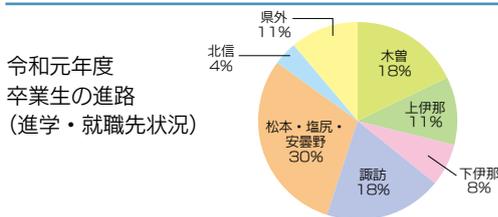
●自治会活動

年間を通して自治会活動が行われており、活動を通じて地域の方々との交流が図れている。また、学年間の絆を強くしている。

●キャリア形成の支援

早期からのインターンシップ参加を勧め、各病院からのパンフレットの展示や専門看護師、認定看護師からの講義などでキャリア形成のイメージができるように支援をする。

●入学生の概要



●長野県立病院機構病院はじめ各所での実習

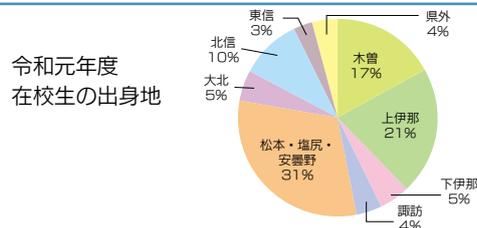
専門性の高い実習施設において、専門看護師、認定看護師、医師、実習担当指導者、担当教員からの細やかな実習指導を行う。実習前後には十分時間をとり、準備や実習の振り返りを充実させている。また、遠方での実習に備え、スクールバスを備えている。

●木曾の郷土食の食育活動

ほお葉まきづくり、そば打ちを近隣の主婦から教わっている。郷土食づくりを通して木曾の文化の理解と、食育に役立っている。

●卒業後の支援

年1回「ホームカミングデイ」を主催し、互いの情報交換をしてリフレッシュとなるような場をつくっている。



令和元年度の 信州木曾看護専門学校

カリキュラム

- ・ 3学年分の科目 1年生38単位1,050時間、2年生36単位1,020時間、3年生30単位945時間を展開しました。

地域との交流

- ・ 森林セラピーや里山散策を通して木曾の自然や歴史に触れながら、人々の暮らしに関心を寄せ、感性を磨く体験学習を続けています。また、地域行事(木曾郡障がい者ふれあいスポーツ交流会、地区の文化祭、長野県立木曾病院祭、冬の町中イベント「雪灯りの散歩道」など)に積極的に参加し、地域の方々と交流ができました。

学内演習や実習

- ・ 学内演習を重ね、各看護学実習をしました。機構の病院はじめ、市立大町総合病院、安曇野赤十字病院、桔梗ヶ原病院、伊那中央病院で実習をしました。



木曾病院での実習の様子



授業では、グループワークが重要です。



地域の防災訓練にも参加しました。



第5回文化祭(白凜祭)

特色ある教育環境

木曾の環境が持つ強み

- ①木曾の文化と豊かな自然環境を生かした人間力育成
- ②地元の暮らしの実態を学ぶ

小規模校の強み

- ①学生一人ひとりの学習進度を支え、促進する丁寧な指導
- ②学生と教職員が共に学び、成長する環境

近隣校を持つ強み

- ①近隣地域にある保育園・学校との交流

病院機構が支える強み

- ①経験豊かな講師陣による講義
- ②木曾地域の基幹病院である木曾病院が主たる実習施設
- ③専門性の高い実習施設
- ④本部研修センターのバックアップ(質の高いシミュレーション教育)

- 第106回 看護師国家試験 受験 平成26年度入学生(1期生)が全員合格した。
- 第107回 看護師国家試験 受験 平成27年度入学生(2期生)が全員合格した。
- 第108回 看護師国家試験 受験 平成28年度入学生(3期生)が全員合格した。
- 第1回 同窓会総会 開催 令和元年6月に、同窓会発足以来はじめての総会が開催された。



TOPICS

第1回の同窓会総会が開催される

本校を卒業した皆さんには、これまでも国家試験対策としての学習支援、高校生への進路相談等でご協力をいただいておりますが、今後とも一層の支援が期待されます。

学校祭(白凜祭)のバザーの売上金の一部を寄付

バザーの売上金の一部を木曾町を通じて台風19号災害の被災者の皆様への義援金として贈りました。



信州木曾看護専門学校開校式テープカット



信州木曾看護専門学校入学式



本部研修センター

〒382-8577 (住所記載不要)

長野県須坂市大字須坂 1332 長野県立信州医療センター内 TEL 026-246-5540 (代表) FAX 026-246-5559



県立病院の診療機能の維持・発展のために、機構全職員の知識・技能レベルの向上を図るとともに、優れた指導者の育成を目指します。また、長野県全体の医療水準の向上に寄与するため、開かれた研修施設となります。その目標実現のために、以下のように取り組んでいます。

- ①機構のみならず、県内の医療水準向上のため、シミュレーション教育のレベルアップを外部指導者とも協力し推進します。
- ②地域医療ならびに専門医療を提供できる医療人の育成を支援します。
- ③多職種連携に関する教育の推進と研修を実践します。
- ④県内中核病院との連携強化による人材育成ネットワークを構築します。
- ⑤各種の職員研修を通じてキャリア形成支援をします。
- ⑥職種別専門研修の開催・支援をします。

また、当センターは県の信州医師確保総合支援センター・県立病院機構分室として位置づけられており、人材の確保と育成にも力を入れています。

基本理念

県民が求める「安心で質の高い医療」を提供できる医療人の育成に努めます。

基本方針

- 1 地域医療および専門医療を提供できる医療人を育成します。
- 2 県立5病院の特色を活かした研修体制を構築します。
- 3 社会が求める医療人を育成できる指導者を養成します。
- 4 多職種の連携教育によりチーム医療を推進します。
- 5 キャリアアップを図る研修システムを構築し、広く地域の医療人育成に貢献します。

特色

●シミュレーション教育とは

医療者教育における「シミュレーション教育」とは、臨床現場・臨床場面を模擬的に再現した環境で、課題を体験し、シミュレーション教育の核である振り返り（デブリーフィング）を行うことで、知識や技能を向上させる学習方法です。

次のように分類されます。

- ①疑似体験（高齢者体験、視覚障がい者体験など）
- ②模擬医療面接（ロールプレイによる医療面接など）
- ③簡易なシミュレータによるトレーニング（採血、縫合手技、聴診、触診、中心静脈穿刺など）
- ④高度なシミュレータによるトレーニング（総合的な問題解決能力が必要なコンピュータ制御の高機能シミュレータなど）
- ⑤チーム医療のトレーニング（上記の組み合わせにより、患者急変、事故など模擬的状況）

●シミュレーション研修の指導者育成と実践

シミュレーション教育指導スキルアップシリーズを開催し、指導者育成やシミュレーション教育の普及に取り組んでいます。

●医師確保・育成

全国の医学生を対象に県立5病院と連携し、「長野県立病院機構病院説明会」を開催しています。医師・研修医・医学生向けのシミュレーション研修を実施しています。

●課程別・選択研修の開催

社会人としての基礎知識や、キャリア形成をしていく上で必要な知識、スキルを身につけるための研修を開催しています。

●専門研修の開催

各職種で必要とする知識、スキルを身につけるための研修を開催しています。

令和元年度の 本部研修センター

医療

第3回長野県立病院機構病院説明会の開催

- ・ 医師の確保と定着に貢献するため、信州大学医学部の協力のもと、県立5病院と連携し、医学生を対象に体験型の説明会を開催しました。



初期研修医シミュレーション研修

- ・ 信州医療センターの初期研修医に、気管挿管、C Vカテーテル挿入等の手技やシナリオを通したシミュレーション研修を毎月(年20日間)行いました。



医学生シミュレーション研修

- ・ 信州大学で実施している“150通りの選択肢からなる参加型臨床実習”の信州医療センターのプログラム参加者等に、採血、気道確保、医療面談などの研修を定期的に行いました。



シミュレーション教育指導スキルアップシリーズ①～③

- ・ 県内2会場で計6回の研修を開催し、機構以外の参加者を含め、シミュレーション教育指導者のスキルアップを行いました。



地域

中学生 BLS 講習開催の協力

- ・ 阿南病院、阿南消防署と協力し6校の中学生へのBLS(一次救命処置)講習会を実施しました。



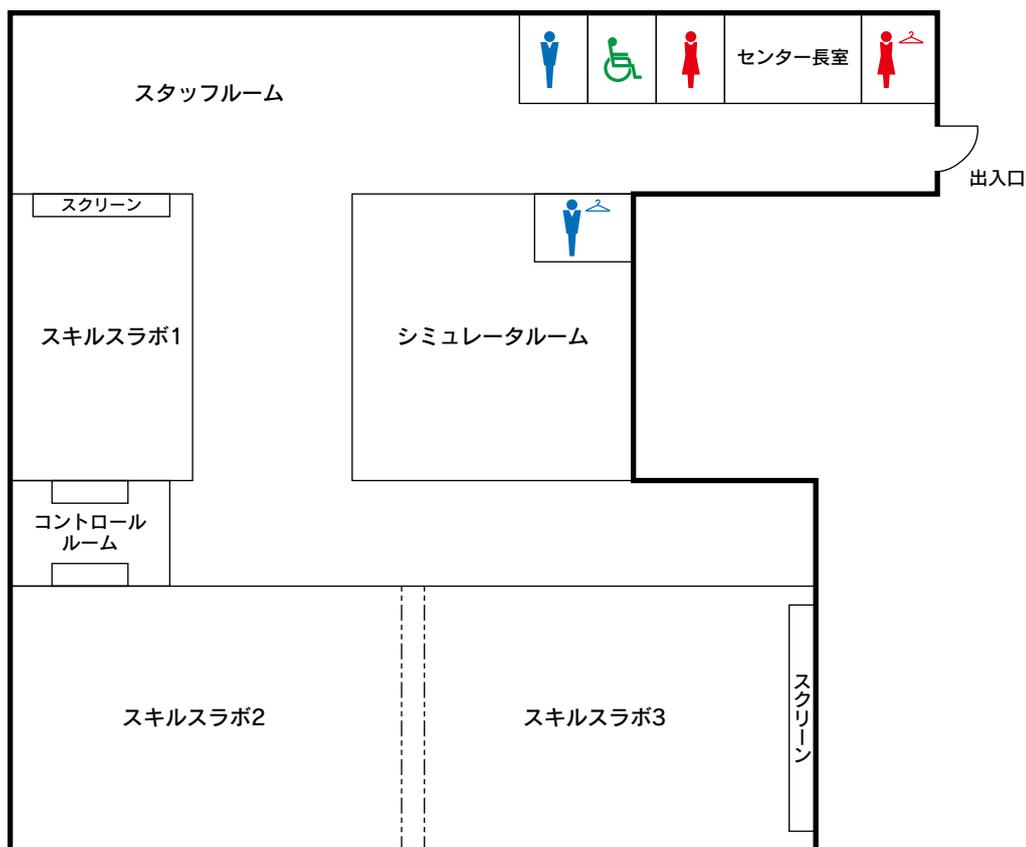
特別支援学校医療的ケア研修の協力

- ・ 県教育委員会が開催する松本養護学校医療的ケア緊急時対応訓練研修会に講師として参加しました。

スキルスラボ

スキルスラボ紹介

- ・平成29年9月に移転リニューアルした本部研修センターの3つのスキルスラボはいずれもシミュレーション研修、講義形式の研修が可能です。また、スキルスラボ1と2はコントロールルームを設置し、シミュレーション研修の受講生が、より集中できる環境を提供しています。



スキルスラボ1



コントロールルーム



スキルスラボ2



スキルスラボ3

過去の主な出来事

○ 職員の知識・スキルアップを図るための研修の実施《平成22年度～》

- ・平成22年4月の機構発足とともに本部研修センターが開設され、職員の知識や技能の向上を目指し、各種の課程別研修・選択研修・専門研修等を実施しています。機構発足10年目を迎えた平成31年4月の新規採用職員研修Ⅰには92人の職員が参加しました。



○ ハワイ大学SimTikiシミュレーションセンターへの研修派遣の実施《平成23～29年度》

- ・平成23年度から29年度まで、全米屈指のシミュレーション教育施設であるハワイ大学医学部SimTikiシミュレーションセンターへ機構職員を派遣し、指導者の育成を行いました。



○ ハワイSimTikiフォローアップ研修の実施《平成25～27年度》

- ・平成27年度には、ハワイSimTiki研修受講者を対象としたフォローアップ研修を3回開催し、指導者のスキルアップを行いました。



○ シミュレーション指導者研修の実施《平成27年度》

- ・平成27年度には、県内の医療機関及び看護職養成機関の教育担当者を対象に、シミュレーション研修に必要な知識やスキルを学ぶ研修会を開催しました。



○ シミュレーション教育指導スキルアップシリーズの実施《平成28年度～》

- ・平成28年度からSimTikiフォローアップ研修の名称を変更し、シミュレーション教育指導者等の一層のレベルアップを目指して開催しています。



○ 長野小児救急セミナー(NPEC)の実施《平成26年度～》

- ・平成26年度から令和元年度まで、長野県小児救急医療に携わる医師の育成・交流を目的とし、こども病院と協力してセミナーを6回開催しました。



○ 初期研修医シミュレーション研修の実施《平成28年度～》

- ・平成28年度から、信州医療センター(須坂病院)の初期研修医に向けたプログラムを構築し、毎月定期シミュレーション研修を実施しています。



○ リニューアルオープン企画《平成29年度》

- ・平成29年9月に信州医療センター南棟3階へ移転リニューアルし、新しくなったスキルスラゴでシミュレーション教育指導スキルアップシリーズ①～④、第4回長野小児救急セミナー(NPEC)を開催しました。





阿南介護老人保健施設

アイライフあなん

〒399-1501 長野県下伊那郡阿南町北條 2009-1
TEL 0260-22-3800 (代表) FAX 0260-31-1085



目的

長野県立阿南病院に併設の介護老人保健施設は、看護・介護・機能訓練などを必要とする介護保険証をお持ちの方々に適切な医療サービスと日常生活上のサービスを行っています。また、自立を支援し、家庭生活への早期復帰を目指すとともに、在宅生活を支えることを目的とした施設です。

「アイライフあなん」は、「愛(あい)」といたわりの精神をモットーに看護・介護にあたり、「私(アイ)の生活(ライフ)」を尊重したいと考えています。

運営方針

要介護者に対し、介護保険法の趣旨に基づき、適切な施設療養その他サービスを提供し、利用者の自立と家庭復帰を図るため、機能訓練を中心に明るい家庭的な雰囲気のもとでの生活の場を提供するとともに、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行う。

●施設の特徴

- 県立阿南病院に併設しているため緊急な治療に直ちに対応できるため安心して生活を送ることができます。
- 機能訓練は理学療法士が個人毎のプログラムに沿って行い機能回復を図ります。また、生活全般のリハビリを通じ自立を支援します。
- 療養室・浴室からは天竜川や南宮大橋を眼下に見下ろすことができ、快適な生活を送ることができます。
- おいしく、楽しく、ゆとりの食事で健康回復を図ります。
- 専門の支援相談員が入所、施設療養上、退所後の生活相談などを行います。

TOPICS

動物ふれあい訪問活動

7月10日、10月24日に長野県動物愛護センターから可愛い動物たち(犬8匹、猫1匹、うさぎ1羽)がやってきました。動物を飼っていたことがあって昔を懐かしむ利用者さんもあり、中には怖がって触るのを拒んだりする人もいましたが、利用者さんは動物たちとの触れ合いの機会を楽しんでいました。さらに犬はそれぞれ一芸も披露してくれて、会場にいた人は大きな歓声と拍手で応え感謝していました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後に「ワン!」とお別れの挨拶をしてくれました。可愛い動物たちを前に利用者さんも職員も癒されました。



木曾介護老人保健施設

アイライフきそ

〒397-8555 長野県木曾郡木曾町福島 6613-4
TEL 0264-22-2677 (代表) FAX 0264-22-2781



基本理念

私達は、利用者様と真摯に向き合い、信頼と満足のある家族の様な心のふれ合いのなか、常に利用者様のニーズを満たす介護サービスを実践します。

基本方針

- 1 私達のできる最良の医療・介護サービスを行って、家庭生活への早期復帰を目指し、また在宅生活が円滑に送れるよう、日常生活に役立つ機能訓練を行います。
- 2 私達は、利用者様お一人お一人の人権を尊重し、ご家族を含めての十分な説明と、ご理解ご同意に基づいた介護サービスを提供します。
- 3 私達は、常に最先端の知識、技術の習得に努め、地域に根ざした質の高い介護サービスを提供します。
- 4 私達は、町村や他介護・福祉施設との連携を強化することにより、地域になくてはならない施設になることを目指します。

●施設の特徴

木曾の素晴らしい環境に囲まれた中で、利用者様が生きがいを感じながら安心した生活が送れるようにスタッフ全員が人と人とのふれ合いを大切に、利用者様とゆったりとした時間を過ごせるように努めてまいります。

TOPICS

介護予防教室を開催

地域貢献活動として「介護予防教室」を開催し、地域住民との良好な関係づくりに努めました。

外部の方々の訪問

6月20日には、「出羽海部屋」の力士が来訪、また、8月30日には「セイジ・オザワ・松本フェスティバル(OMF)」の特別コンサートが開かれ、利用者様の生活に彩りを添えていただきました。

県立病院の概況



法人が運営する病院及び介護老人保健施設等の概要

(令和2年3月31日現在)

区分	信州医療センター(一般)	こころの医療センター駒ヶ根(精神)	阿南病院(一般)	阿南介護老人保健施設	木曽病院(一般)	木曽病院介護医療院	木曽介護老人保健施設	こども病院(小児専門)	
	所在地	須坂市	駒ヶ根市	阿南町	同左	木曽町	同左	同左	安曇野市
開設許可年月日	S23.6.1	S31.7.16	S23.6.1		S38.9.12			H4.3.31	
診療開始年月日	同上	S31.9.15	同上	H6.5.30	S39.4.20	R 2.3.1	H7.5.15	H5.5.28	
診療科目等	内科 脳神経内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 感染症内科 血液内科 小児科 外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 呼吸器外科 血管外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科 精神科 病理診断科 救急科	精神科	内科 精神科 小児科 外科 整形外科 皮膚科 泌尿器科 婦人科 眼科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科	施設サービス(入所) 居宅サービス(短期入所療養介護・通所リハビリテーション・介護予防短期入所療養介護・介護予防通所リハビリテーション)	内科 精神科 神経内科 消化器内科 循環器内科 小児科 外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科	施設サービス(入所) 居宅サービス(短期入所療養介護)	施設サービス(入所) 居宅サービス(短期入所療養介護・通所リハビリテーション・介護予防短期入所療養介護・介護予防通所リハビリテーション)	小児科 麻酔科 産科 循環器小児科 心臓血管外科 神経小児科 小児外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 放射線科 リハビリテーション科 精神科 眼科 泌尿器科 耳鼻咽喉科 皮膚科 アレルギー科	
病床別許可病床数	一般	292床		85床		176床		200床	
	結核	24床							
	感染症	4床			(定員)入所50人 通所10人	4床	(定員)入所20人	(定員)入所50人 通所10人	
	精神療養		129床			19床			
	計	320床	129床	85床		199床		200床	
運用病床数	292床	129床	77床		151床			180床	
職員数	医師	38人	13人	9人		21人		60人	
	研修医	6人						29人	
	看護師	236人	106人	52人	4人	132人	9人	4人	286人
	その他	101人	58人	35人	13人	86人	13人	17人	87人
	計	381人	177人	96人	17人	239人	22人	21人	462人

患者数

(単位：人、%)

病院	区 分		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
信州医療センター	入 院	計 画	84,234	93,939	89,937	91,051	90,261
		実 績	93,727	86,214	90,537	90,876	88,942
		達成度	111.3%	91.8%	100.7%	99.8%	98.5%
	外 来	計 画	127,155	127,347	131,201	121,155	123,535
		実 績	127,005	121,387	122,540	120,801	120,749
		達成度	99.9%	95.3%	93.4%	99.7%	97.7%
医療センター 駒ヶ根	入 院	計 画	37,515	37,595	37,668	37,668	38,228
		実 績	36,963	36,431	37,848	37,515	37,400
		達成度	98.5%	96.9%	100.5%	99.6%	97.8%
	外 来	計 画	39,900	43,380	45,927	41,310	37,200
		実 績	42,537	41,095	41,024	40,051	41,189
		達成度	106.6%	94.7%	89.3%	97.0%	110.7%
阿南病院	入 院	計 画	16,040	17,840	22,000	21,500	21,300
		実 績	16,732	19,265	20,818	19,272	17,053
		達成度	104.3%	108.0%	94.6%	89.6%	80.1%
	外 来	計 画	44,680	46,680	52,900	48,988	49,254
		実 績	49,893	48,718	48,562	47,667	46,882
		達成度	111.7%	104.4%	91.8%	97.3%	95.2%
木曽病院	入 院	計 画	58,170	53,036	51,538	46,107	49,037
		実 績	51,162	50,713	46,554	48,709	43,681
		達成度	88.0%	95.6%	90.3%	105.6%	88.6%
	外 来	計 画	136,700	130,053	132,873	129,256	125,475
		実 績	135,694	131,909	128,076	127,418	125,512
		達成度	99.3%	101.4%	96.4%	98.6%	100.0%
こども病院	入 院	計 画	52,901	55,767	53,902	52,797	54,675
		実 績	54,382	54,060	53,560	55,723	52,647
		達成度	102.8%	96.9%	99.4%	105.5%	96.3%
	外 来	計 画	58,561	59,867	61,623	63,113	66,557
		実 績	59,651	61,138	62,842	64,946	66,776
		達成度	101.9%	102.1%	102.0%	102.9%	100.3%

(※木曽病院は介護医療院を含む)



1人1日当たり診療単価

(単位：円)

病院	区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
信州医療 センター	入院	計画	41,897	39,487	41,761	42,204	42,311
		実績	39,832	41,868	40,799	41,785	43,549
	外来	計画	11,821	11,051	11,057	12,800	12,800
		実績	10,954	11,472	12,359	13,042	14,887
こころの 医療センター 駒ヶ根	入院	計画	27,670	28,917	28,870	27,150	27,260
		実績	27,183	26,821	27,120	27,093	27,432
	外来	計画	7,777	6,363	6,380	6,545	6,539
		実績	6,363	6,234	6,576	6,747	6,986
阿南病院	入院	計画	26,586	28,383	27,050	29,455	28,357
		実績	28,097	27,734	27,568	28,373	28,291
	外来	計画	6,898	8,011	7,218	6,821	6,731
		実績	7,101	7,170	7,106	6,910	7,066
木曾病院	入院	計画	36,907	36,861	35,174	37,217	35,659
		実績	35,777	34,771	35,398	35,594	37,189
	外来	計画	10,068	10,419	10,588	10,965	10,654
		実績	12,754	11,582	10,891	10,601	10,040
こども病院	入院	計画	93,875	89,876	96,820	96,367	97,411
		実績	90,538	94,721	95,627	96,687	102,667
	外来	計画	13,690	11,999	11,698	12,000	12,700
		実績	11,702	12,267	12,532	12,735	12,681

※診療単価の計画値は、各年度計画の数値

※1人1日当たり診療単価算出方法 入院収益税抜（外来収益税抜）/入院患者数（外来患者数）

※本部で記載

入院外来収益

令和元年実績

(税抜：円)

	信州医療センター	こころの医療センター駒ヶ根	阿南病院	木曽病院	こども病院
入院収益	3,873,353,684	1,025,972,765	482,442,545	1,615,866,466	5,405,108,432
外来収益	1,797,622,238	287,733,270	331,253,743	1,260,113,009	846,806,435
計	5,670,975,922	1,313,706,035	813,696,288	2,875,979,475	6,251,914,867

令和元年計画

(税抜：円)

	信州医療センター	こころの医療センター駒ヶ根	阿南病院	木曽病院	こども病院
入院収益	3,819,030,000	1,042,095,000	604,002,000	1,748,623,000	5,325,926,000
外来収益	1,581,240,000	251,100,000	331,531,000	1,336,797,000	845,278,000
計	5,400,270,000	1,293,195,000	935,533,000	3,085,420,000	6,171,204,000

対目標比

入院収益	101.4%	98.5%	79.9%	92.4%	101.5%
外来収益	113.7%	114.6%	99.9%	94.3%	100.2%
計	105.0%	101.6%	87.0%	93.2%	101.3%

平成30年実績

(税抜：円)

	信州医療センター	こころの医療センター駒ヶ根	阿南病院	木曽病院	こども病院
入院収益	3,797,262,286	1,016,383,071	546,811,230	1,733,739,475	5,387,717,503
外来収益	1,575,435,209	270,213,432	329,358,886	1,350,738,971	827,063,019
計	5,372,697,495	1,286,596,503	876,170,116	3,084,478,446	6,214,780,522

対前年度比

入院収益	102.0%	100.9%	88.2%	93.2%	100.3%
外来収益	114.1%	106.5%	100.6%	93.3%	102.4%
計	105.6%	102.1%	92.9%	93.2%	100.6%



紹介率及び逆紹介率

(単位：%)

病 院	区 分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
信州医療 センター	紹介率	計 画	45.0	61.4	62.5	63.7	59.4
		実 績	56.9	57.9	59.4	59.6	66.2
	逆紹介率	計 画	22.4	15.8	16.0	18.0	16.7
		実 績	14.7	16.5	15.7	15.4	13.0
阿南病院	紹介率	計 画	13.0	14.0	20.0	21.0	20.0
		実 績	14.9	19.5	18.8	20.3	22.5
	逆紹介率	計 画	15.0	12.0	15.0	15.0	15.0
		実 績	12.0	13.3	14.1	13.0	15.3
木曾病院	紹介率	計 画	17.0	21.0	21.0	21.0	25.0
		実 績	19.8	20.2	24.6	27.0	28.1
	逆紹介率	計 画	12.5	10.0	14.0	14.0	17.0
		実 績	13.8	13.1	17.1	18.1	21.5
こども病院	紹介率	計 画	-	-	65.0	70.0	77.0
		実 績	-	-	77.0	73.2	75.4
	逆紹介率	計 画	-	-	40.0	90.0	80.0
		実 績	-	-	80.7	73.9	75.1

※紹介率及び逆紹介率の計画値は、各年度計画の数値

医療材料費／医業収益比率

(単位：%)

病 院	区 分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
信州医療 センター	計 画	22.6	22.6	24.0	25.2	26.8
	実 績	22.6	23.4	23.9	24.3	27.4
こころの医療センター 胸ヶ根	計 画	9.3	5.9	5.3	9.3	6.1
	実 績	5.7	5.5	5.9	5.7	5.9
阿南病院	計 画	16.5	17.7	17.7	16.1	16.6
	実 績	17.2	15.2	15.3	15.5	16.1
木曾病院	計 画	25.5	25.3	23.3	23.5	23.0
	実 績	31.0	26.4	23.9	22.4	21.4
こども病院	計 画	20.8	20.0	20.0	20.0	20.0
	実 績	20.3	21.1	20.6	21.3	21.9

経常収支比率（病院機構全体）

（単位：百万円、％）

	区 分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	合計
経常収益	計 画	23,325	23,192	23,540	23,453	23,720	117,230
	実 績	23,222	23,095	23,201	23,763	23,863	117,143
経常費用	計 画	22,916	23,180	23,508	23,432	23,703	116,739
	実 績	23,185	23,358	23,324	23,346	24,006	117,220
経常損益	計 画	409	12	32	21	17	491
	実 績	37	△ 263	△ 123	417	△ 143	△ 76
経常収支比率	計 画	101.8	103.2	100.1	100.1	100.1	100.4
	実 績	100.2	98.9	99.5	101.8	99.4	99.9

※経常収支比率の計画値は、各年度の予算の数値

※係数は、端数をそれぞれ四捨五入しており、内訳と合計が一致しない箇所がある。

経常収支（病院等別）

（単位：千円）

病 院	区 分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	合計
信州医療 センター	計 画	207,060	213,273	247,375	219,246	307,747	1,194,701
	実 績	91,371	7,148	△ 102,361	132,341	10,799	139,298
こころの医療センター 駒ヶ根	計 画	40,875	50,803	95,470	11,022	△ 32,381	165,789
	実 績	36,360	△ 41,106	25,185	△ 33,708	△ 10,192	△ 23,461
阿南病院	計 画	△ 60,197	△ 56,644	△ 40,077	△ 37,005	△ 39,656	△ 233,579
	実 績	84,517	160,086	207,725	172,282	87,212	711,822
木曽病院	計 画	310,886	311,656	328,160	288,276	285,755	1,524,733
	実 績	25,306	△ 38,590	△ 60,955	84,524	26,338	36,623
こども病院	計 画	179,853	148,265	334,464	300,726	439,413	1,402,721
	実 績	65,573	6,382	137,152	373,728	96,179	679,014
阿南・木曽介護 老人保健施設	計 画	△ 2,486	10,701	16,878	19,211	18,946	63,250
	実 績	259	△ 6,196	22,416	10,111	△ 13,159	13,431
信州木曽看護 専門学校	計 画	△ 22,426	△ 23,797	△ 21,534	△ 23,027	△ 21,526	△ 112,310
	実 績	△ 16,680	△ 26,031	△ 26,838	△ 24,590	△ 22,471	△ 116,610
本部事務局 (研修センターを含む)	計 画	△ 244,461	△ 235,415	△ 252,517	△ 248,357	△ 244,571	△ 1,225,321
	実 績	△ 250,131	△ 325,492	△ 325,826	△ 297,391	△ 317,804	△ 1,516,644
計	計 画	409,104	418,842	708,219	530,092	713,727	2,779,984
	実 績	36,575	△ 263,799	△ 123,500	417,367	△ 143,098	△ 76,455



患者の状況



1 患者の状況

① 入院・外来患者数（病院別患者延べ数）

（単位：人）

病院名	年度 区分	(2015年)	(2016年)	(2017年)	(2018年)	(2019年)
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
信州医療センター	入院	93,727	86,214	90,537	90,876	84,075
	外来	127,005	121,387	122,540	120,801	120,749
	合計	220,732	207,601	213,077	211,677	204,824
こころの医療センター 駒ヶ根	入院	36,963	36,431	37,848	37,515	37,400
	外来	42,537	41,095	41,024	40,051	41,189
	合計	79,500	77,526	78,872	77,566	78,589
阿南病院	入院	16,732	19,265	20,818	19,272	17,053
	外来	49,893	48,718	48,562	47,667	46,882
	合計	66,625	67,983	69,380	66,939	63,935
木曽病院	入院	51,162	50,713	46,554	48,709	43,681
	外来	135,694	131,909	128,076	127,418	125,512
	合計	186,856	182,622	174,630	176,127	169,193
こども病院	入院	54,382	54,060	53,560	55,723	52,647
	外来	59,651	61,138	62,842	64,946	66,776
	合計	114,033	115,198	116,402	120,669	119,423
合計	入院	252,966	246,683	249,317	252,095	234,856
	外来	414,780	404,247	403,044	400,883	401,108
	合計	667,746	650,930	652,361	652,978	635,964

② 月別 1 日平均入院患者数

(単位：人)

病院名	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
信州医療センター	平成27年度	237	233	251	250	263	249	247	266	261	261	285	272	256.3
	平成28年度	252	247	221	221	218	219	204	210	245	264	275	261	236.4
	平成29年度	246	239	242	217	226	228	249	264	250	266	281	271	248.3
	平成30年度	258	238	239	243	247	248	238	254	240	244	274	267	249.2
	令和元年度	241	238	225	226	231	219	231	244	229	227	232	213	229.8
こころの医療センター駒ヶ根	平成27年度	97	93	98	104	106	98	99	101	102	106	108	100	101.0
	平成28年度	97	102	97	94	103	105	99	102	102	93	100	104	99.8
	平成29年度	103	97	110	98	112	111	98	99	103	104	106	103	103.7
	平成30年度	99	100	99	101	101	107	107	102	99	107	106	105	102.8
	令和元年度	104	99	97	102	108	109	96	104	96	102	107	104	102.2
阿南病院	平成27年度	51	47	40	39	44	45	48	47	44	49	48	46	45.7
	平成28年度	55	59	51	53	49	42	45	53	62	56	58	51	52.8
	平成29年度	56	57	52	54	57	59	58	59	53	58	59	62	57.0
	平成30年度	53	54	46	57	60	52	52	46	52	58	61	44	52.9
	令和元年度	51	50	43	47	51	47	36	41	49	48	53	43	46.6
木曾病院	平成27年度	134	132	144	135	140	125	134	131	147	150	158	148	139.8
	平成28年度	144	152	142	140	141	131	136	147	137	130	132	134	138.8
	平成29年度	129	127	127	138	128	124	124	121	128	124	132	128	127.5
	平成30年度	126	125	121	124	137	139	131	143	140	143	143	129	133.4
	令和元年度	116	120	118	107	124	119	119	137	128	127	117	102	119.5
いづも病院	平成27年度	160	146	156	152	146	145	148	151	156	136	135	145	148.0
	平成28年度	144	142	152	154	156	146	153	146	140	141	152	151	148.1
	平成29年度	144	143	136	145	150	146	141	140	145	154	161	157	146.8
	平成30年度	139	141	145	155	154	156	165	159	152	150	157	161	152.8
	令和元年度	147	140	151	158	151	149	142	132	145	137	144	131	143.9



月別 1 日平均外来患者数

(単位：人)

病院名	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
信州医療センター	平成27年度	477	531	483	503	493	551	516	549	582	539	531	534	524.1
	平成28年度	505	530	479	508	503	498	492	482	539	511	477	480	500.3
	平成29年度	482	521	455	493	481	500	492	495	540	557	506	513	502.9
	平成30年度	476	487	451	499	470	518	492	481	539	554	491	495	496.1
	令和元年度	466	493	490	480	520	522	507	503	552	551	500	461	503.8
こころの医療センター駒ヶ根	平成27年度	170	174	161	170	170	186	178	178	183	184	178	181	176.1
	平成28年度	174	168	164	175	163	180	155	173	162	169	165	175	168.6
	平成29年度	159	165	159	168	172	167	173	176	176	175	170	167	168.9
	平成30年度	163	166	160	167	165	169	159	160	168	169	163	170	164.9
	令和元年度	169	172	162	172	160	180	175	171	177	178	177	169	171.6
阿南病院	平成27年度	185	192	182	192	186	211	205	282	246	206	200	189	206.3
	平成28年度	187	188	174	198	183	197	200	248	255	203	195	186	201.2
	平成29年度	186	189	176	189	168	193	192	263	233	220	195	192	199.7
	平成30年度	179	173	184	189	166	185	196	245	250	198	186	199	195.8
	令和元年度	175	176	175	182	192	193	187	259	235	214	186	166	195.0
木曽病院	平成27年度	527	584	519	529	531	569	567	651	617	553	544	534	560.4
	平成28年度	537	562	521	543	522	525	540	598	605	544	510	516	543.6
	平成29年度	502	538	502	522	529	502	524	578	553	536	519	498	525.3
	平成30年度	503	513	497	507	494	512	518	554	587	553	518	520	523.0
	令和元年度	498	535	508	514	553	529	533	564	562	531	518	439	523.7
いづも病院	平成27年度	221	230	230	234	237	239	241	243	246	245	244	246	238.0
	平成28年度	239	241	237	262	262	259	245	244	258	255	243	273	251.5
	平成29年度	239	248	238	254	269	258	246	265	269	266	256	283	257.6
	平成30年度	247	255	246	257	265	285	252	266	285	273	271	298	266.7
	令和元年度	270	268	267	278	290	287	266	275	282	278	277	287	277.1

③ 診療科別入院延患者数

(単位：人)

病院名	年 度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		診療科	患者数 (退院患者含まない)	1日平均	患者数 (退院患者含まない)	1日平均	患者数 (退院患者含まない)	1日平均	患者数 (退院患者含まない)	1日平均	患者数 (退院患者含まない)
信州医療センター	内 科	34,808	95	28,859	79	27,717	76	32,785	90	30,855	84
	呼吸器・感染症内科	9,992	27	9,352	26	13,913	38	9,718	27	6,539	18
	脳神経内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	循環器内科	4,571	12	4,341	12	6,283	17	5,930	16	4,974	14
	脳神経外科	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	小児科	1,926	5	1,167	3	794	2	1,093	3	702	2
	外 科	7,253	20	5,587	15	4,538	12	6,172	17	5,253	14
	整形外科	21,326	58	22,441	61	21,592	59	23,949	65	23,395	64
	形成外科	195	1	97	0	18	0	6	0	0	0
	皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	泌尿器科	271	1	218	1	153	0	113	0	222	1
	産婦人科	4,396	12	1,794	5	2,953	8	4,483	12	4,535	12
	眼 科	996	3	473	1	553	2	810	2	496	1
	耳鼻咽喉科	1,189	3	770	2	825	2	724	2	780	2
	精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	麻酔科	118	0	216	1	221	1	128	0	57	0
	呼吸器外科	1,254	3	832	2	869	2	568	2	1,220	3
	歯科口腔外科	227	1	269	1	38	0	0	0	0	0
	計	88,522	242	76,416	209	80,467	220	86,481	236	79,028	216
結 核	5,205	14	4,921	13	5,167	14	4,395	12	5,047	14	
こころの医療センター胸ヶ根		36,963	101	36,431	100	37,848	103	37,515	103	37,400	102
阿南病院	内 科	13,410	37	15,873	43	14,631	40	16,216	44	10,972	30
	小児科	61	0	63	0	52	0	30	0	11	0
	外 科	72	0	44	0	2,994	8	14	0	2,789	8
	整形外科	2,900	8	2,701	7	2,734	7	2,609	7	2,937	8
	泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	眼 科	289	1	584	2	407	1	403	1	344	1
	精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	16,732	46	19,265	53	20,818	57	19,272	53	17,053	47	



診療科別入院延患者数

(単位：人)

病 院 名	年 度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		
		診療科	患者数 (退院患者含まない)	1日平均	患者数 (退院患者含まない)	1日平均	患者数 (退院患者含まない)	1日平均	患者数 (退院患者含まない)	1日平均	患者数 (退院患者含まない)	1日平均
木曾病院	内 科	16,451	45	22,087	60	18,861	52	20,624	56	18,246	50	
	神経内科	8,281	23	7,591	21	7,976	22	8,456	23	6,817	19	
	小児科	889	2	794	2	500	1	339	1	226	1	
	外 科	8,044	22	8,506	23	7,906	22	7,160	20	6,832	19	
	整形外科	6,940	19	6,647	18	7,083	19	7,808	21	7,399	20	
	皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	泌尿器科	1,116	3	1,260	3	828	2	801	2	798	2	
	消化器内科	99	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦人科	4,126	11	3,273	9	2,810	8	2,862	8	2,772	8	
	放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	眼 科	400	1	494	1	590	2	659	2	591	2	
	循環器内科	4,447	12	0	0	0	0	0	0	0	0	
	麻酔科	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
リハビリテーション科	366	1	61	0	0	0	0	0	0	0		
計		51,162	140	50,713	139	46,554	127	48,709	133	43,681	119	
いづも病院	総合小児科	4,113	11	4,133	11	3,865	11	4,466	12	3,064	8	
	小児科	血液腫瘍科	4,470	12	4,376	12	4,704	13	5,083	14	4,079	11
	新生児科	13,856	38	14,101	39	13,887	38	14,510	40	14,381	39	
	遺伝科	2,324	6	2,287	6	1,777	5	1,612	4	1,257	3	
	小児外科	3,274	9	4,196	11	3,235	9	3,473	9	3,107	8	
	整形外科	2,465	7	1,950	5	2,102	6	1,610	4	1,605	4	
	形成外科	2,312	6	2,234	6	2,386	7	2,399	7	2,153	6	
	脳神経外科	1,258	3	1,308	4	1,086	3	890	2	1,227	3	
	循環器小児科	5,986	16	7,117	19	7,584	21	8,831	24	8,410	23	
	皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	眼 科	265	1	221	1	285	1	302	1	368	1	
	神経小児科	5,149	14	3,978	11	4,014	11	5,155	14	5,684	16	
	耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産 科	7,886	22	7,021	19	7,567	21	6,622	18	6,108	17	
	リハビリテーション科	585	2	749	2	649	2	301	1	0	0	
	泌尿器科	439	1	389	1	419	1	460	1	514	1	
	アレルギー科	0	0	0	0	0	0	0	0	690	2	
救急科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計		54,382	149	54,060	148	53,560	146	55,714	152	52,647	144	
合 計		252,966	691	241,806	661	244,414	668	252,086	689	234,856	642	
診療日数		365		365		365		365		366		

注：総合小児科
+予防接種
センター+
感染症科+
訪問ケア科

注：母体附属
児を含ん
だ患者数

○「1日平均」欄は、患者数を年間日数で除し、小数第一位を四捨五入。1人以下の時、無記載の場合あり。

診療科別外来延患者数

(単位：人)

病院名	年 度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		診療科	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数
信州医療センター	内 科	35,654	147	37,606	155	38,101	156	37,164	152	32,869	137
	呼吸器・感染症内科	6,123	25	6,344	26	6,572	27	6,491	27	5,853	24
	脳神経内科	189	1	136	1	136	1	135	1	289	1
	循環器内科	3,596	15	4,209	17	4,706	19	5,521	23	5,170	22
	脳神経外科	1,126	5	1,041	4	1,172	5	982	4	840	4
	小児科	12,093	50	10,574	44	9,358	38	7,820	32	6,574	27
	外 科	6,805	28	6,830	28	6,263	26	6,803	28	6,850	29
	整形外科	18,720	77	17,002	70	18,457	76	16,424	67	16,248	68
	形成外科	2,911	12	1,709	7	1,661	7	889	4	603	3
	皮膚科	2,606	11	2,613	11	2,838	12	2,618	11	2,153	9
	泌尿器科	3,925	16	3,061	13	2,793	11	2,527	10	2,871	12
	産婦人科	7,263	30	4,814	20	7,420	30	8,763	36	10,831	45
	眼 科	9,154	38	8,851	36	9,968	41	9,476	39	8,122	34
	耳鼻咽喉科	7,433	31	7,275	30	7,204	30	6,859	28	6,247	26
	精神科	331	1	315	1	447	2	472	2	497	2
	放射線科	925	4	917	4	919	4	894	4	659	3
	麻酔科	2,808	12	2,888	12	2,882	12	2,702	11	2,598	11
	呼吸器外科	1,044	4	939	4	1,000	4	919	4	1,124	5
	救急科		0		0	0	0	3,342	14	10,351	28
	歯科口腔外科	4,299	18	4,263	18	643	3	0	0	0	0
計	127,005	523	121,387	500	122,540	502	120,801	495	120,749	503	
こころの医療センター 胸ヶ根		42,537	176	41,095	170	41,024	169	40,051	165	41,189	172
阿南病院	内 科	30,193	124	29,414	121	27,836	114	27,181	111	25,973	108
	小児科	5,416	22	4,670	19	4,836	20	5,319	22	4,570	19
	外 科	1,124	5	1,183	5	2,714	11	1,664	7	3,187	13
	整形外科	5,386	22	5,337	22	5,140	21	5,266	22	5,085	21
	泌尿器科	336	1	377	2	616	3	775	3	716	3
	婦人科	560	2	595	2	546	2	570	2	543	2
	眼 科	4,785	20	5,322	22	5,134	21	5,327	22	5,424	23
	精神科	2,093	9	1,820	7	1,740	7	1,565	6	1,384	6
計	49,893	205	48,718	200	48,562	199	47,667	195	46,882	195	



診療科別外来延患者数

(単位：人)

病院名	年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		
		診療科	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均
木曾病院	内科	48,090	198	52,739	217	50,909	209	50,847	208	51,108	213	
	循環器内科	6,522	27	0	0	0	0	0	0			
	神経内科	4,589	19	4,375	18	4,354	18	4,402	18	4,228	18	
	小児科	10,962	45	11,780	48	10,114	41	10,103	41	9,004	38	
	外科	10,185	42	9,725	40	9,505	39	9,538	39	9,467	39	
	整形外科	15,108	62	14,809	61	14,558	60	15,057	62	14,201	59	
	皮膚科	4,213	17	4,153	17	4,758	20	4,113	17	3,870	16	
	形成外科	574	2	767	3	572	2	464	2	427	2	
	消化器内科	645	3	0	0	0	0	0	0			
	泌尿器科	5,128	21	5,382	22	5,232	21	5,488	22	5,945	25	
	耳鼻咽喉科	2,789	11	2,566	11	2,414	10	2,556	10	2,476	10	
	精神科	5,340	22	4,925	20	4,962	20	4,979	20	4,966	21	
	産婦人科	5,243	22	4,545	19	4,753	19	4,501	18	4,705	20	
	放射線科	407	2	337	1	331	1	304	1	496	2	
	眼科	13,143	54	13,216	54	13,221	54	13,123	54	13,102	55	
	脳神経外科	729	3	734	3	755	3	729	3	469	2	
	麻酔科	574	2	755	3	701	3	647	3	618	3	
	リハビリテーション科	1,453	6	1,101	5	937	4	567	2	430	2	
	計		135,694	558	131,909	543	128,076	525	127,418	522	125,512	523
	いしづき病院	総合小児科	4,928	20	5,276	22	6,035	25	6,070	25	4,707	19
小児科												
血液腫瘍科		1,638	7	1,665	7	1,699	7	1,776	7	1,717	7	
新生児科		2,384	10	2,093	9	1,990	8	1,821	7	1,931	8	
遺伝科		1,036	4	1,015	4	480	2	977	4	1,135	5	
小児外科		3,502	14	3,635	15	3,544	15	3,420	14	3,508	14	
麻酔科		349	1	383	2	332	1	308	1	221	1	
整形外科		3,443	14	3,593	15	4,006	16	4,025	16	4,020	16	
形成外科		4,793	20	4,833	20	4,580	19	4,622	19	4,604	19	
脳神経外科		1,881	8	2,052	8	1,960	8	1,900	8	1,905	8	
循環器小児科		7,721	32	7,723	32	7,734	32	7,440	30	7,745	32	
皮膚科		152	1	121	0	54	0	11	0	74	0	
眼科		3,677	15	3,870	16	4,077	17	4,259	17	4,402	18	
神経小児科		5,876	24	6,670	27	7,427	30	7,347	30	7,436	30	
耳鼻咽喉科		1,552	6	1,707	7	1,771	7	1,941	8	2,269	9	
精神科		236	1	477	2	532	2	750	3	853	4	
産科		2,898	12	3,073	13	3,202	13	3,528	14	4,148	17	
放射線科		719	3	992	4	1,010	4	1,523	6	1,789	7	
リハビリテーション科		8,745	36	7,804	32	8,264	34	8,853	36	8,493	35	
泌尿器科		2,166	9	2,402	10	2,451	10	2,621	11	2,636	11	
アレルギー科	0	0	0	0	0	0	0	0	1,673	7		
救急科	1,955	8	1,754	7	1,694	7	1,754	7	1,510	6		
計		59,651	245	61,138	252	62,842	258	64,946	266	66,776	273	
合計		414,780	1,707	404,247	1,664	403,044	1,652	400,883	1,643	401,108	1,671	
診療日数		243		243		244		244		244		

※「1日平均」欄は、患者数を年間診療日数で除し、小数第一位を四捨五入。1人以下の時、無記載の場合あり。

④ 老人医療の状況

●診療科別入院延患者数（65歳以上）

（単位：人、％）

病院名	診療科	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
		延患者数	65歳以上	割合	延患者数	65歳以上	割合									
信州医療センター	内科	34,808	31,752	91.2%	28,859	24,100	83.5%	27,717	24,125	87.0%	32,785	27,026	82.4%	30,855	27,052	87.7%
	呼吸器・感染症内科	9,992	8,925	89.3%	9,352	8,047	86.0%	13,913	11,945	85.9%	9,718	8,051	82.8%	6,539	5,745	87.9%
	脳神経内科	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
	循環器内科	4,571	4,457	97.5%	4,341	4,071	93.8%	6,283	5,590	89.0%	5,930	5,031	84.8%	4,974	4,528	91.0%
	脳神経外科	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	2	0	0.0%			0.0%
	小児科	1,926	0	0.0%	1,167	0	0.0%	794	0	0.0%	1,093	0	0.0%	702		0.0%
	外科	7,253	5,317	73.3%	5,587	3,246	58.1%	4,538	2,938	64.7%	6,172	3,941	63.9%	5,253	3,947	75.1%
	整形外科	21,326	17,493	82.0%	22,441	17,250	76.9%	21,592	15,057	69.7%	23,949	17,777	74.2%	23,395	18,127	77.5%
	形成外科	195	79	40.5%	97	82	84.5%	18	14	77.8%	6	1	16.7%			0.0%
	皮膚科	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%			0.0%
	泌尿器科	271	238	87.8%	218	188	86.2%	153	87	56.9%	113	50	44.2%	222	164	73.9%
	産婦人科	4,396	80	1.8%	1,794	8	0.4%	2,953	213	7.2%	4,483	182	4.1%	4,535	244	5.4%
	眼科	996	867	87.0%	473	266	56.2%	553	376	68.0%	810	375	46.3%	496	339	68.3%
	耳鼻咽喉科	1,189	448	37.7%	770	202	26.2%	825	299	36.2%	724	225	31.1%	780	387	49.6%
	精神科	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%			0.0%
	放射線科	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%			0.0%
	麻酔科	118	114	96.6%	216	23	10.6%	221	128	57.9%	128	125	97.7%	57	57	100.0%
	呼吸器外科	1,254	1,038	82.8%	832	536	64.4%	869	491	56.5%	568	355	62.5%	1,220	1,043	85.5%
	歯科口腔外科	227	163	71.8%	269	153	56.9%	38	38	100.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
	計	88,522	70,971	80.2%	76,416	58,172	76.1%	80,467	61,301	76.2%	86,481	63,139	73.0%	79,028	61,633	78.0%
	結核	5,205	3,634	69.8%	4,921	3,442	69.9%	5,167	4,085	79.1%	4,395	3,607	82.1%	5,047	3,918	77.6%
こころの医療センター胸ヶ根	36,963	6,853	18.5%	36,431	7,130	19.6%	37,848	7,068	18.7%	37,515	6,871	18.3%	37,400	8,112	21.7%	
阿南病院	内科	13,410	12,648	94.3%	15,873	14,865	93.6%	14,631	14,091	96.3%	16,216	15,227	93.9%	10,972	10,630	96.9%
	小児科	61	0	0.0%	63	0	0.0%	52	0	0.0%	30	0	0.0%	11	0	0.0%
	外科	72	68	94.4%	44	44	100.0%	2,994	2,783	93.0%	14	12	85.7%	2,789	2,627	94.2%
	整形外科	2,900	2,725	94.0%	2,701	2,609	96.6%	2,734	2,595	94.9%	2,609	2,379	91.2%	2,937	2,868	97.7%
	泌尿器科	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%			0.0%
	婦人科	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%			0.0%
	眼科	289	282	97.6%	584	568	97.3%	407	392	96.3%	403	364	90.3%	344	339	98.5%
	精神科	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%			0.0%
計	16,732	15,723	94.0%	19,265	18,086	93.9%	20,818	19,861	95.4%	19,272	17,982	93.3%	17,053	16,464	96.5%	
木曾病院	内科	20,898	19,421	92.9%	22,087	20,874	94.5%	18,861	17,967	95.3%	20,624	19,464	94.4%	18,246	17,042	93.4%
	循環器内科	99	99	100.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%			0.0%
	神経内科	8,281	7,468	90.2%	7,591	6,633	87.4%	7,976	7,437	93.2%	8,456	7,744	91.6%	6,817	6,406	94.0%
	小児科	889	0	0.0%	794	0	0.0%	500	0	0.0%	339	0	0.0%	226	0	0.0%
	外科	8,044	6,961	86.5%	8,506	7,252	85.3%	7,906	7,002	88.6%	7,160	6,226	87.0%	6,832	5,698	83.4%
	整形外科	6,940	5,418	78.1%	6,647	4,971	74.8%	7,083	6,230	88.0%	7,808	6,827	87.4%	7,399	6,718	90.8%
	皮膚科	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%			0.0%
	形成外科	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%			0.0%
	泌尿器科	1,116	1,074	96.2%	1,260	1,058	84.0%	828	760	91.8%	801	724	90.4%	798	734	92.0%
	耳鼻咽喉科	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
	精神科	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
	産婦人科	4,126	374	9.1%	3,273	145	4.4%	2,810	282	10.0%	2,862	275	9.6%	2,772	453	16.3%
	放射線科	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
	眼科	400	386	96.5%	494	408	82.6%	590	523	88.6%	659	599	90.9%	591	504	85.3%
	脳神経外科	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
	麻酔科	3	3	100.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
リハビリテーション科	366	366	100.0%	61	61	100.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	
計	51,162	41,570	81.3%	50,713	41,402	81.6%	46,554	40,201	86.4%	48,709	41,859	85.9%	43,681	37,555	86.0%	
合計	193,584	138,751	69.9%	187,746	128,232	68.3%	190,854	132,516	69.4%	196,372	133,458	68.0%	182,209	127,682	70.1%	

※信州医療センターは70歳以上。



老人医療の状況

●診療科別外来延患者数（65歳以上）

（単位：人、％）

病院名	診療科	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
		延患者数	65歳以上	割合	延患者数	65歳以上	割合									
信州医療センター	内科	35,654	13,909	39.0%	37,606	14,983	39.8%	38,101	16,118	42.3%	37,164	16,024	43.1%	32,869	15,395	46.8%
	呼吸器・感染症内科	6,123	3,197	52.2%	6,344	3,393	53.5%	6,572	3,555	54.1%	6,491	3,494	53.8%	5,853	3,267	55.8%
	脳神経内科	189	103	54.5%	136	73	53.7%	136	89	65.4%	135	104	77.0%	289	228	78.9%
	循環器内科	3,596	2,422	67.4%	4,209	2,862	68.0%	4,706	3,267	69.4%	5,521	3,889	70.4%	5,170	3,818	73.8%
	脳神経外科	1,126	592	52.6%	1,041	532	51.1%	1,172	595	50.8%	982	538	54.8%	840	482	57.4%
	小児科	12,093	0	0.0%	10,574	0	0.0%	9,358	0	0.0%	7,820	0	0.0%	6,574		0.0%
	外科	6,805	3,274	48.1%	6,830	3,037	44.5%	6,263	3,107	49.6%	6,803	3,491	51.3%	6,850	3,588	52.4%
	整形外科	18,720	9,409	50.3%	17,002	8,741	51.4%	18,457	9,509	51.5%	16,424	8,230	50.1%	16,248	8,541	52.6%
	形成外科	2,911	1,059	36.4%	1,709	554	32.4%	1,661	628	37.8%	889	349	39.3%	603	276	45.8%
	皮膚科	2,606	1,120	43.0%	2,613	1,126	43.1%	2,838	1,296	45.7%	2,618	1,248	47.7%	2,153	1,111	51.6%
	泌尿器科	3,925	2,630	67.0%	3,061	2,071	67.7%	2,793	1,950	69.8%	2,527	1,711	67.7%	2,871	1,950	67.9%
	産婦人科	7,263	510	7.0%	4,814	512	10.6%	7,420	1,105	14.9%	8,763	1,267	14.5%	10,831	1,564	14.4%
	眼科	9,154	5,934	64.8%	8,851	5,668	64.0%	9,968	6,458	64.8%	9,476	6,165	65.1%	8,122	5,616	69.1%
	耳鼻咽喉科	7,433	3,118	41.9%	7,275	3,119	42.9%	7,204	3,075	42.7%	6,859	3,067	44.7%	6,247	3,021	48.4%
	精神科	331	150	45.3%	315	180	57.1%	447	260	58.2%	472	292	61.9%	497	319	64.2%
	放射線科	925	472	51.0%	917	451	49.2%	919	430	46.8%	894	473	52.9%	659	348	52.8%
	麻酔科	2,808	1,468	52.3%	2,888	1,337	46.3%	2,882	1,517	52.6%	2,702	1,590	58.8%	2,598	1,578	60.7%
	呼吸器外科	1,044	562	53.8%	939	515	54.8%	1,000	604	60.4%	919	608	66.2%	1,124	829	73.8%
	救急科	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	3,342	679	20.3%	10,351	2,552	24.7%
	歯科口腔外科	4,299	1,720	40.0%	4,263	2,302	54.0%	643	333	51.8%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
計	127,005	51,649	40.7%	121,387	64,478	53.1%	122,540	53,896	44.0%	120,801	53,219	44.1%	120,749	54,483	45.1%	
こころの医療センター胸ヶ根	42,537	8,115	19.1%	41,095	7,869	19.1%	41,024	7,597	18.5%	40,051	7,227	18.0%	41,189	4,749	11.5%	
阿南病院	内科	30,193	22,371	74.1%	29,414	22,025	74.9%	27,836	22,881	82.2%	27,181	22,198	81.7%	25,973	19,043	73.3%
	小児科	5,416	0	0.0%	4,670	0	0.0%	4,836	0	0.0%	5,319	0	0.0%	4,570	0	0.0%
	外科	1,124	374	33.3%	1,183	554	46.8%	2,714	1,731	63.8%	1,664	938	56.4%	3,187	2,212	69.4%
	整形外科	5,386	3,958	73.5%	5,337	4,040	75.7%	5,140	3,903	75.9%	5,266	3,927	74.6%	5,085	4,024	79.1%
	泌尿器科	336	308	91.7%	377	340	90.2%	616	543	88.1%	775	690	89.0%	716	644	89.9%
	婦人科	560	176	31.4%	595	242	40.7%	546	164	30.0%	570	164	28.8%	543	203	37.4%
	眼科	4,785	4,314	90.2%	5,322	4,757	89.4%	5,134	4,575	89.1%	5,327	4,566	85.7%	5,424	4,789	88.3%
	精神科	2,093	1,398	66.8%	1,820	1,181	64.9%	1,740	1,099	63.2%	1,565	919	58.7%	1,384	820	59.2%
計	49,893	32,899	65.9%	48,718	33,139	68.0%	48,562	34,896	71.9%	47,667	33,402	70.1%	46,882	31,735	67.7%	
木曽病院	内科	50,046	35,668	71.3%	52,739	35,485	67.3%	50,909	36,634	72.0%	50,847	36,525	71.8%	51,108	36,929	72.3%
	消化器内科	632	632	100.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
	神経内科	4,346	3,292	75.7%	4,375	3,213	73.4%	4,354	3,421	78.6%	4,402	3,503	79.6%	4,228	3,351	79.3%
	小児科	8,678	1	0.0%	11,780	0	0.0%	10,114	0	0.0%	10,103	0	0.0%	9,004	0	0.0%
	外科	9,554	6,435	67.4%	9,725	6,530	67.1%	9,505	6,599	69.4%	9,538	6,632	69.5%	9,467	6,722	71.0%
	整形外科	15,101	9,949	65.9%	14,809	9,465	63.9%	14,558	9,527	65.4%	15,057	10,015	66.5%	14,201	9,465	66.7%
	皮膚科	4,213	2,083	49.4%	4,153	2,165	52.1%	4,758	2,420	50.9%	4,113	2,113	51.4%	3,870	2,061	53.3%
	形成外科	574	303	52.8%	767	440	57.4%	572	263	46.0%	464	295	63.6%	427	217	50.8%
	泌尿器科	5,127	4,388	85.6%	5,382	4,607	85.6%	5,232	4,411	84.3%	5,488	4,722	86.0%	5,945	5,169	86.9%
	耳鼻咽喉科	2,789	1,425	51.1%	2,566	1,324	51.6%	2,414	1,288	53.4%	2,556	1,384	54.1%	2,476	1,335	53.9%
	精神科	5,340	2,266	42.4%	4,925	1,995	40.5%	4,962	2,025	40.8%	4,979	2,089	42.0%	4,966	2,125	42.8%
	産婦人科	2,903	802	27.6%	4,545	730	16.1%	4,753	1,345	28.3%	4,501	1,188	26.4%	4,705	1,397	29.7%
	放射線科	407	271	66.6%	337	254	75.4%	331	201	60.7%	304	188	61.8%	496	382	77.0%
	眼科	13,143	9,847	74.9%	13,216	9,908	75.0%	13,221	9,938	75.2%	13,123	9,850	75.1%	13,102	9,902	75.6%
	脳神経外科	729	580	79.6%	734	594	80.9%	755	564	74.7%	729	531	72.8%	469	356	75.9%
	麻酔科	574	343	59.8%	755	499	66.1%	701	476	67.9%	647	446	68.9%	618	410	66.3%
リハビリテーション科	1,452	782	53.9%	1,101	646	58.7%	937	553	59.0%	567	294	51.9%	430	219	50.9%	
計	125,608	79,067	62.9%	131,909	77,855	59.0%	128,076	79,665	62.2%	127,418	79,775	62.6%	125,512	80,040	63.8%	
合計	345,043	171,730	49.8%	460,233	219,109	47.6%	340,202	176,054	51.7%	335,937	173,623	51.7%	334,332	171,007	51.1%	

※信州医療センターは70歳以上。

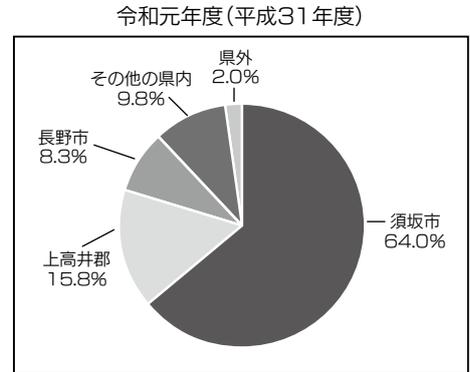
⑤ 診療圏の状況

●信州医療センター

地域別退院実患者数

(単位：人)

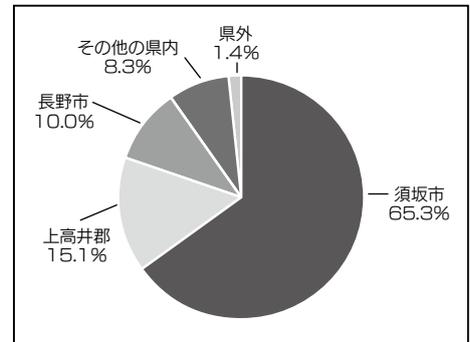
年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
地域	患者数	構成比(%)		患者数		構成比(%)		患者数		構成比(%)	
		須高地区	須坂市	3,359	66.1	3,072	64.6	3,146	65.3	3,212	65.5
	上高井郡	885	17.4	824	17.3	796	16.5	730	14.9	731	15.8
	小計	4,244	83.5	3,896	81.9	3,942	81.8	3,942	80.4	3,692	79.8
県内	長野市	371	7.3	356	7.5	354	7.3	392	8.0	385	8.3
	その他	383	7.5	445	9.4	424	8.8	449	9.2	453	9.8
	計	4,998	98.4	4,697	98.7	4,720	97.9	4,783	97.5	4,530	98.0
県外		83	1.6	61	1.3	99	2.1	123	2.5	94	2.0
合計		5,081	100.0	4,758	100.0	4,819	100.0	4,906	100.0	4,624	100.0



地域別外来延患者数

(単位：人)

年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
地域	患者数	構成比(%)		患者数		構成比(%)		患者数		構成比(%)	
		須高地区	須坂市	89,406	67.3	86,775	67.0	80,579	65.8	79,798	66.1
	上高井郡	21,080	15.9	20,412	15.9	19,454	15.9	18,083	15.0	18,253	15.1
	小計	110,486	83.2	106,187	82.9	100,033	81.6	97,881	81.0	97,057	80.4
県内	長野市	11,511	8.7	11,399	8.9	11,647	9.5	11,688	9.7	12,031	10.0
	その他	9,511	7.2	9,434	7.4	9,516	7.8	9,577	7.9	9,970	8.3
	計	131,548	99.0	127,020	99.2	121,196	98.9	119,146	98.6	119,058	98.6
県外		1,288	1.0	1,068	0.8	1,344	1.1	1,655	1.4	1,691	1.4
合計		132,836	100.0	128,088	100.0	122,540	100.0	120,801	100.0	120,749	100.0

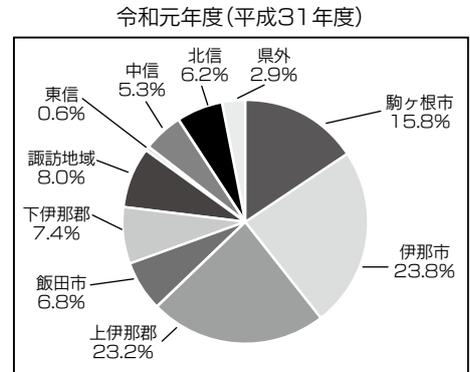


●こころの医療センター駒ヶ根

地域別退院実患者数

(単位：人)

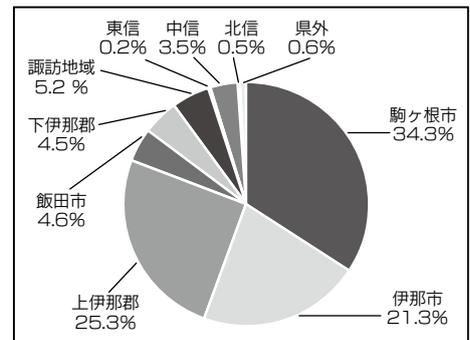
年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
地域	患者数	構成比(%)		患者数		構成比(%)		患者数		構成比(%)	
		南信	駒ヶ根市	115	20.4	106	18.8	115	20.4	109	20.3
	伊那市	91	16.1	91	16.1	117	20.7	123	22.9	122	23.8
	上伊那郡	143	25.3	143	25.3	118	20.9	110	20.5	119	23.2
	飯田市	45	8.0	45	8.0	39	6.9	39	7.3	35	6.8
	下伊那郡	31	5.5	31	5.5	37	6.5	33	6.1	38	7.4
	諏訪地域	58	10.3	58	10.3	46	8.1	49	9.1	41	8.0
	東信	3	0.5	3	0.5	8	1.4	3	0.6	3	0.6
	中信	44	7.8	44	7.8	52	9.2	40	7.4	27	5.3
	北信	25	4.4	25	4.4	23	4.1	21	3.9	32	6.2
県外		10	1.8	10	1.8	8	1.4	10	1.9	15	2.9
合計		565	100.0	556	100.0	563	100.0	537	100.0	513	100.0



地域別外来延患者数

(単位：人)

年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
地域	患者数	構成比(%)		患者数		構成比(%)		患者数		構成比(%)	
		南信	駒ヶ根市	15,106	34.6	631	29.3	13,944	33.8	13,809	34.4
	伊那市	9,784	22.4	479	22.2	8,892	21.5	9,060	22.6	8,783	21.3
	上伊那郡	11,640	26.7	595	27.6	10,894	26.4	10,126	25.2	10,414	25.3
	飯田市	1,816	4.2	109	5.1	2,150	5.2	1,918	4.8	1,876	4.6
	下伊那郡	1,950	4.5	112	5.2	1,730	4.2	1,713	4.3	1,841	4.5
	諏訪地域	1,543	3.5	116	5.4	1,786	4.3	1,744	4.3	2,162	5.2
	東信	91	0.2	8	0.4	101	0.2	80	0.2	80	0.2
	中信	1,190	2.7	76	3.5	1,307	3.2	1,228	3.1	1,439	3.5
	北信	192	0.4	13	0.6	248	0.6	218	0.5	222	0.5
県外		320	0.7	15	0.7	263	0.6	251	0.6	250	0.6
合計		43,632	100.0	2,154	100.0	41,315	100.0	40,147	100.0	41,189	100.0



※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、必ずしも合計が100とはならない。



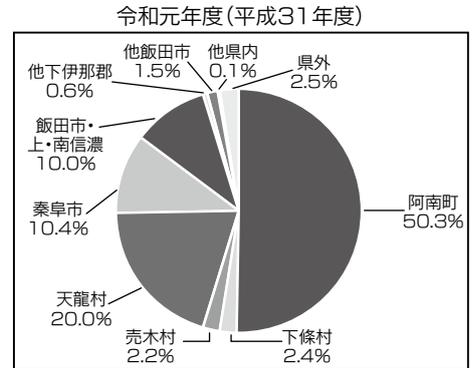
診療圏の状況

●阿南病院

地域別退院実患者数

(単位：人)

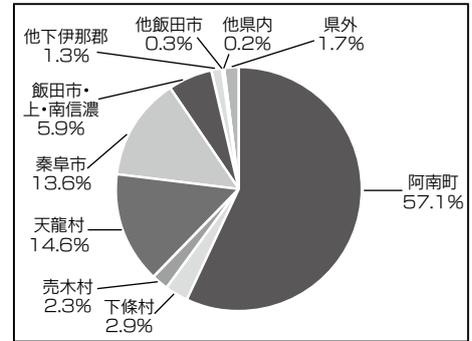
年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		
	患者数	構成比(%)	患者数	構成比(%)	患者数	構成比(%)	患者数	構成比(%)	患者数	構成比(%)	
下伊那南部	阿南町	531	57.3	562	53.1	562	53.1	490	50.0	439	50.3
	下條村	18	1.9	22	2.1	22	2.1	22	2.2	21	2.4
	売木村	15	1.6	29	2.7	29	2.7	22	2.2	19	2.2
	天龍村	122	13.2	163	15.4	163	15.4	174	17.8	174	20.0
	秦阜村	91	9.8	106	10.0	106	10.0	99	10.1	91	10.4
	細市・上・南信濃	111	12.0	140	13.2	140	13.2	135	13.8	87	10.0
他下伊那郡	6	0.6	4	0.4	4	0.4	6	0.6	5	0.6	
他飯田市	14	1.5	12	1.1	12	1.1	11	1.1	13	1.5	
他県内	1	0.1	4	0.4	4	0.4	4	0.4	1	0.1	
県外	17	1.8	17	1.6	17	1.6	17	1.7	22	2.5	
合計	926	100.0	1,059	100.0	1,059	100.0	980	100.0	872	100.0	



地域別外来延患者数

(単位：人)

年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		
	患者数	構成比(%)	患者数	構成比(%)	患者数	構成比(%)	患者数	構成比(%)	患者数	構成比(%)	
下伊那南部	阿南町	26,930	61.2	25,526	59.4	25,962	60.5	24,146	57.9	23,417	57.1
	下條村	1,086	2.5	1,154	2.7	1,080	2.5	1,145	2.7	1,184	2.9
	売木村	914	2.1	873	2.0	770	1.8	869	2.1	950	2.3
	天龍村	5,885	13.4	5,926	13.8	5,692	13.3	5,950	14.3	6,002	14.6
	秦阜村	5,198	11.8	5,415	12.6	5,769	13.5	5,732	13.8	5,579	13.6
	細市・上・南信濃	2,865	6.5	2,894	6.7	2,401	5.6	2,521	6.0	2,436	5.9
他下伊那郡	109	0.2	137	0.3	95	0.2	122	0.3	542	1.3	
他飯田市	395	0.9	458	1.1	543	1.3	516	1.2	120	0.3	
他県内	66	0.2	81	0.2	67	0.2	50	0.1	64	0.2	
県外	542	1.2	488	1.1	512	1.2	627	1.5	716	1.7	
合計	43,990	100.0	42,952	100.0	42,891	100.0	41,678	100.0	41,010	100.0	



※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、必ずしも合計が100とはならない。

診療圏の状況

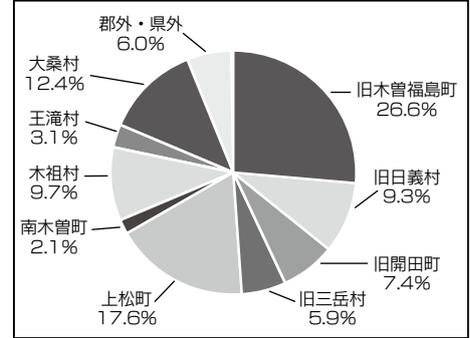
●木曽病院

(単位：人)

地域別退院実患者数

年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
地域	患者数	構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)	
		木曽町	旧木曽福島町	705	26.5	642	24.7	608	24.6	653	25.5
	旧日義村	220	8.3	208	8.0	233	9.4	204	8.0	228	9.3
	旧開田村	195	7.3	214	8.2	226	9.1	199	7.8	180	7.4
	旧三岳村	169	6.4	140	5.4	146	5.9	155	6.1	144	5.9
	上松町	530	19.9	533	20.5	477	19.3	512	20.0	430	17.6
	南木曽町	30	1.1	37	1.4	49	2.0	54	2.1	51	2.1
	木祖村	266	10.0	280	10.8	220	8.9	247	9.7	238	9.7
	王滝村	81	3.0	92	3.5	85	3.4	89	3.5	75	3.1
	大桑村	259	9.7	266	10.2	270	10.9	292	11.4	303	12.4
	郡外・県外	202	7.6	192	7.4	156	6.3	151	5.9	146	6.0
	合計	2,657	100.0	2,604	100.0	2,470	100.0	2,556	100.0	2,445	100.0

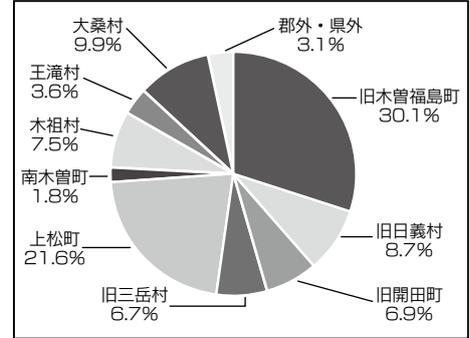
令和元年度(平成31年度)



地域別外来延患者数

(単位：人)

年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
地域	患者数	構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)	
		木曽町	旧木曽福島町	41,399	30.5	40,796	30.9	38,242	29.9	37,888	29.7
	旧日義村	12,328	9.1	11,270	8.5	10,413	8.1	10,583	8.3	10,914	8.7
	旧開田村	10,335	7.6	9,753	7.4	9,212	7.2	8,915	7.0	8,667	6.9
	旧三岳村	9,839	7.3	9,071	6.9	8,880	6.9	8,838	6.9	8,466	6.7
	上松町	30,140	22.2	29,683	22.5	29,206	22.8	28,528	22.4	27,158	21.6
	南木曽町	1,439	1.1	1,505	1.1	1,931	1.5	1,938	1.5	2,321	1.8
	木祖村	10,768	7.9	10,251	7.8	9,890	7.7	9,716	7.6	9,402	7.5
	王滝村	4,201	3.1	4,178	3.2	4,066	3.2	4,468	3.5	4,526	3.6
	大桑村	10,856	8.0	11,113	8.4	11,837	9.2	12,226	9.6	12,428	9.9
	郡外・県外	4,389	3.2	4,289	3.3	4,378	3.4	4,318	3.4	3,887	3.1
	合計	135,694	100.0	131,909	100.0	128,075	100.0	127,418	100.0	125,512	100.0



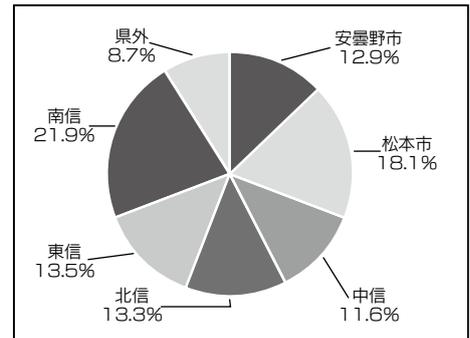
●こども病院

(単位：人)

地域別退院実患者数

年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
地域	患者数	構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)	
		安曇野市	273	11.0	284	11.3	270	10.7	330	13.3	343
松本市	476	19.2	443	17.6	442	17.5	447	18.0	483	18.1	
中 信	333	13.4	270	10.8	298	11.8	301	12.1	309	11.6	
北 信	370	14.9	425	16.9	398	15.7	345	13.9	356	13.3	
東 信	306	12.3	325	12.9	317	12.5	319	12.8	360	13.5	
南 信	507	20.4	514	20.5	542	21.4	512	20.6	585	21.9	
県 外	220	8.9	250	10.0	260	10.3	232	9.3	232	8.7	
合 計	2,485	100.0	2,511	100.0	2,527	100.0	2,486	100.0	2,668	100.0	

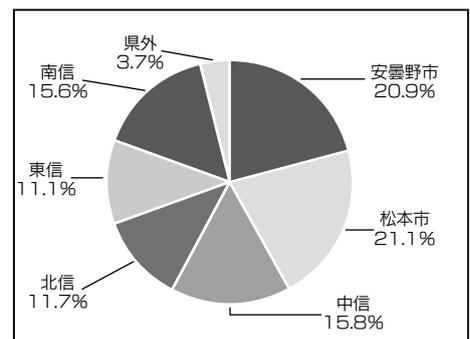
令和元年度(平成31年度)



地域別外来延患者数

(単位：人)

年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
地域	患者数	構成比(%)									
		安曇野市	9,880	16.6	10,834	17.7	11,871	18.9	13,572	20.9	13,973
松本市	13,327	22.3	13,451	22.0	13,711	21.8	13,605	20.9	14,086	21.1	
中 信	9,797	16.4	9,748	15.9	10,031	16.0	10,793	16.6	10,557	15.8	
北 信	7,729	13.0	7,944	13.0	7,803	12.4	7,499	11.5	7,787	11.7	
東 信	6,938	11.6	6,895	11.3	6,896	11.0	7,078	10.9	7,426	11.1	
南 信	9,567	16.0	9,894	16.2	10,026	16.0	9,846	15.2	10,446	15.6	
県 外	2,413	4.0	2,372	3.9	2,504	4.0	2,553	3.9	2,501	3.7	
合 計	59,651	100.0	61,138	100.0	62,842	100.0	64,946	100.0	66,776	100.0	



※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、必ずしも合計が100とはならない。



⑥ 救急及び緊急診療の状況

●時間外診療科別延べ件数

(単位：人)

年 度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
病院名	診療科	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数
信州医療センター	内 科	4,532	4,710	4,673	5,156	5,463
	呼吸器・感染症内科	473	492	704	429	106
	脳神経内科	4	3	3	5	17
	循環器内科	50	37	52	69	94
	脳神経外科	134	172	174	161	89
	小児科	2,550	2,293	2,504	1,558	1,282
	外 科	454	526	531	632	1,257
	整形外科	1,449	1,428	1,479	1,576	1,329
	形成外科	514	399	316	318	123
	皮膚科	388	356	383	389	218
	泌尿器科	186	170	153	126	101
	産婦人科	244	116	165	214	40
	眼 科	140	107	127	107	58
	耳鼻咽喉科	274	241	222	169	205
	精神科	1	0	0	6	20
	放射線科	0	0	0	1	
	麻酔科	2	4	2	2	31
	呼吸器外科	14	9	20	8	56
	救急科	0	0	0	1,035	1,701
	歯科口腔外科	17	9	1	0	0
	計	11,426	11,072	11,509	11,961	12,190
こころの医療センター駒ヶ根		258	291	262	250	292
阿南病院	内 科	925	978	978	958	926
	小児科	312	241	241	390	354
	外 科	128	132	132	144	198
	整形外科	86	127	127	98	124
	泌尿器科	3	1	1	2	2
	婦人科	0	0	0	0	0
	眼 科	3	7	7	4	9
	精神科	11	10	10	11	32
	計	1,468	1,496	1,496	1,607	1,645
木曽病院	内 科	1,905	1,936	1,773	1,932	1,782
	循環器内科	0	0	0	0	
	神経内科	186	155	173	186	184
	小児科	939	892	660	831	745
	外 科	715	614	596	603	593
	整形外科	709	633	600	615	569
	皮膚科	4	226	194	188	163
	形成外科	156	5	5	2	4
	泌尿器科	102	103	97	111	109
	精神科	10	3	9	64	1
	産婦人科	137	137	134	5	120
	放射線科	1	0	0	101	
	眼 科	70	78	64	0	57
	耳鼻咽喉科	61	68	84	55	80
	脳神経外科	58	43	58	56	40
	麻酔科	2	0	0	0	
リハビリテーション科	0	0	0	0		
	計	5,055	4,893	4,447	4,749	4,447

救急及び緊急診療の状況

(単位：人)

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
病院名	診療科	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数
こども病院	総合小児科	100	134	136	134	113
	血液腫瘍科	0	0	123	156	114
	新生児科	404	362	309	292	277
	小児集中治療科	0	0	136	160	151
	小児外科	108	122	168	110	103
	整形外科	0	0	94	116	113
	形成外科	83	99	109	108	108
	脳神経外科	0	0	60	54	40
	循環器小児科	104	161	167	187	181
	皮膚科	0	0	3	3	4
	眼科	0	0	77	62	68
	神経小児科	84	123	124	118	103
	耳鼻咽喉科	0	0	96	113	141
	産科	350	476	484	523	690
	泌尿器科	0	0	31	21	29
	救急科	2,051	1,746	1,706	1,695	1,662
	リハビリテーション科	0	0	0	29	22
	麻酔科	0	0	0	3	7
	遺伝科	0	0	0	4	7
	精神科	0	0	0	13	10
	放射線科	0	0	0	0	3
	アレルギー科	0	0	0	0	34
	その他	673	631	51	0	0
		計	3,957	3,854	3,874	3,901
	合計	22,164	21,606	21,588	22,468	22,554

●救急車受入台数

年度	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	救急車 受入台数	ドクター ヘリ 受入台数	ドクター カー 出動回数												
信州医療センター	1,629	-	-	1,688	-	-	1,890	-	-	1,902	-	-	1,796	-	-
こころの医療 センター駒ヶ根	11	-	-	6	-	-	12	-	-	12	-	-	13	-	-
阿南病院	318	3	-	319	7	-	325	6	-	337	0	-	308	2	-
木曽病院	937	3	-	625	1	-	900	3	-	1,040	5	-	1,010	2	-
こども病院	397	26	458	385	29	345	358	20	393	370	28	379	366	38	253



2 病床利用等の状況

① 病床利用率

(単位：%)

病院	区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
信州医療センター	計画	73.4	81.8	81.5	80.9	83.8(76.4)
	実績	82.1	76.0	79.3	81.2	79.9
こころの医療センター 駒ヶ根	計画	79.5	79.8	80.0	80.0	80.0(82.2)
	実績	77.1	77.4	79.2	78.5	78.1
阿南病院	計画	51.5	60.0	67.7	70.0	70.0(51.5)
	実績	50.8	58.7	63.7	60.4	57.4
木曽病院	計画	85.4	78.1	72.3	72.6	78.6(84.0)
	実績	71.1	70.7	64.3	78.1	69.4
こども病院	計画	74.4	74.3	75.8	73.4	77.5(75.1)
	実績	76.1	76.0	74.6	78.0	73.1

※病床利用率の計画値は、各年度計画の数値。R元年度()のみ中期計画の数値

- ・信州：H26.8～運用病床数226床、H30.12～同215床(一般稼働数264-地域包括49)に基づき算出
- ・駒ヶ根：H23.1～新病棟129床
- ・阿南：H25.6～新病棟85床、H31.1～運用病床数77床に基づき算出
- ・木曽：H25.4～運用病床数186床、H30.4～同154床、R2.3～151床に基づき算出
- ・こども：H25.10～運用病床数180床に基づき算出

●運用病床

年度 病院名	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	運用病床数 内訳 (単位：床)	平均在院 日数内訳 (単位：日)	病床 利用率 (単位：%)												
信州医療センター	296	15.7	82.1	296	15.2	76.0	226	15.7	79.3	215	16.5	81.2	215	14.9	79.9
こころの医療センター 駒ヶ根	129	65.9	77.1	129	65.7	77.4	129	67.6	79.2	129	69.3	78.5	129	72.7	78.1
阿南病院	85	18.2	50.8	85	19.1	58.7	85	19.6	63.7	77	20.4	60.4	77	19.9	57.4
木曽病院	186	16.7	71.1	186	17.5	70.7	181	17.6	64.3	175	14.9	78.1	151	14.8	69.4
こども病院	180	14.5	76.1	180	14.7	76.0	180	13.5	74.6	180	14.1	78.0	180	12.3	73.1

3 訪問医療の状況

(単位：件)

病院名	年度	訪問診療	訪問看護	訪問リハビリ	訪問薬剤指導	訪問栄養指導
信州医療センター	平成27年度	258	3,596	1,974	-	3
	平成28年度	319	4,394	1,984	3	1
	平成29年度	251	4,692	2,086	3	0
	平成30年度	283	4,359	2,946	2	0
	令和元年度	259	4,240	4,326	2	0

病院名	年度	訪問診療	訪問看護	訪問リハビリ	訪問薬剤指導	訪問栄養指導
こころの医療センター駒ヶ根	平成27年度	-	1,970	-	-	-
	平成28年度	-	1,880	-	-	-
	平成29年度	-	1,658	-	-	-
	平成30年度	-	1,681	-	-	-
	令和元年度	-	1,982	-	-	-

病院名	年度	訪問診療	訪問看護	訪問リハビリ	訪問薬剤指導	訪問栄養指導
阿南病院	平成27年度	300	1,060	954	60	-
	平成28年度	291	979	878	50	0
	平成29年度	228	1,052	826	78	0
	平成30年度	197	1,037	968	91	0
	令和元年度	192	1,006	879	27	0

病院名	年度	訪問診療	訪問看護	訪問リハビリ	訪問薬剤指導	訪問栄養指導
木曽病院	平成27年度	611	2,986	1,477	-	-
	平成28年度	503	3,033	1,572	0	0
	平成29年度	502	3,232	867	0	0
	平成30年度	548	3,706	664	0	0
	令和元年度	712	3,957	769	0	0

病院名	年度	訪問診療	訪問看護	訪問リハビリ	訪問薬剤指導	訪問栄養指導
こども病院	平成27年度	-	-	-	-	-
	平成28年度	-	-	-	-	-
	平成29年度	-	-	-	-	-
	平成30年度	-	-	-	-	-
	令和元年度	24	0	0	0	0



診療の状況



1 治療の状況

① 診療科別の手術件数

(単位：件)

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
病院名	診療科	件数	件数	件数	件数	件数
信州医療センター	内科	10	3	0	1	1
	呼吸器・感染症内科	0	0	0	1	0
	脳神経内科	0	0	0	0	0
	循環器内科	0	0	0	0	0
	脳神経外科	0	0	0	0	0
	小児科	0	0	1	0	0
	外科	290	282	269	296	279
	整形外科	615	690	692	681	765
	形成外科	58	9	11	5	2
	皮膚科	0	0	0	0	0
	泌尿器科	45	30	30	26	37
	産婦人科	62	36	118	135	140
	眼科	533	341	406	419	460
	耳鼻咽喉科	20	31	23	18	22
	精神科	0	0	0	0	0
	放射線科	0	0	0	0	0
	麻酔科	0	0	1	0	0
	呼吸器外科	30	29	35	31	29
	血管外科	5	7	8	0	4
	歯科口腔外科	35	88	9	0	
計		1,703	1,546	1,603	1,613	1,739
こころの医療センター駒ヶ根		-	-	-	-	-
阿南病院	内科	1	3	1	1	0
	小児科	0	0	0	0	0
	外科	0	0	9	1	3
	整形外科	36	23	15	35	25
	泌尿器科	0	0	0	0	0
	婦人科	0	0	0	0	0
	眼科	75	149	100	98	87
	精神科	0	0	0	0	0
計		112	175	125	135	115
木曽病院	内科	1	0	0	0	0
	神経内科	0	0	0	0	0
	小児科	0	0	0	0	0
	外科	195	215	198	192	179
	整形外科	207	233	255	261	234
	皮膚科	0	0	0	0	0
	形成外科	1	7	2	0	0
	泌尿器科	68	83	50	44	60
	耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0
	精神科	0	0	0	0	0
	産婦人科	52	39	47	50	30
	放射線科	0	0	0	0	0
	眼科	233	261	248	274	260
	脳神経外科	0	0	0	0	0
	麻酔科	0	0	0	0	0
	リハビリテーション科	0	0	0	0	0
	透析科	0	0	0	0	1
計		757	838	800	821	764

診療科別の手術件数

(単位：件)

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
病院名	診療科	件数	件数	件数	件数	件数	
いづも病院	総合小児科	6	9	4	4	8	
	小児科	血液腫瘍科	5	15	15	42	7
	新生児科	0	0	0	0	0	
	小児集中治療科	0	0	3	3	0	
	小児外科	429	446	397	387	345	
	整形外科	62	82	98	86	118	
	形成外科	401	397	367	382	302	
	心臓血管外科	159	146	123	138	193	
	脳神経外科	80	94	68	61	72	
	循環器小児科	272	319	308	310	297	
	皮膚科	0	0	0	0	0	
	眼科	63	53	67	70	90	
	神経小児科	1	0	0	2	1	
	耳鼻咽喉科	0	0	1	10	7	
	産科	123	125	121	122	139	
	泌尿器科	103	91	96	102	107	
	計	1,704	1,777	1,668	1,719	1,685	
	合計	4,276	4,336	4,196	4,288	4,303	

② 分娩件数

(単位：件)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
病院名	件数	件数	件数	件数	件数
信州医療センター	192	82	123	186	230
こころの医療センター駒ヶ根	-	-	-	-	-
阿南病院	-	-	-	-	-
木曽病院	146	140	115	105	103
こども病院	277	273	290	295	331

妊娠22週以降



③ 調剤の状況

(単位：件、%)

病院名	信州医療センター														
	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
処方箋枚数	70,704	15,218	85,922	42,209	63,462	105,671	22,277	64,128	86,405	25,086	61,897	86,983	22,567	56,761	79,328
院内製剤件数	1,851			1,830			1,290			1,524			1,487		
注射薬個人払出数	149,804			43,258			40,650			40,598			33,804		
無菌調剤 件数	1,611			1,133			911			624			353		
TPN 抗がん剤	1,081			1,260			1,511			1,602			2,025		
薬剤管理指導料算定件数 (服薬指導件数)	入院	訪問		入院	訪問		入院	訪問		入院	訪問		入院	訪問	
	10,259	0		11,982	0		11,976	0		10,631	0		10,808	0	
ジェネリック使用率	20.5%			83.0%			87.0%			91.0%			91.7%		
院外処方箋率	71.4%			93.0%			93.0%			93.5%			93.3%		

(単位：件、%)

病院名	こころの医療センター駒ヶ根														
	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
処方箋枚数	11,975	1,005	12,980	12,648	954	13,602	12,338	984	13,322	11,409	24,148	35,557	11,413	24,176	35,589
院内製剤件数	0			0			0			0			0		
注射薬個人払出数	2,788			2,367			2,638			2,375			2,722		
無菌調剤 件数	-			-			-			-			0		
TPN 抗がん剤	-			-			-			-			0		
薬剤管理指導料算定件数 (服薬指導件数)	入院	訪問		入院	訪問		入院	訪問		入院	訪問		入院	訪問	
	19	0		697	0		1,149	22		1,190	26		1,401	29	
ジェネリック使用率	15.0%			21.3%			70.1%			85.1%			88.3%		
院外処方箋率	86.8%			96.3%			96.1%			96.1%			95.9%		

(単位：件、%)

病院名	阿南病院														
	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
処方箋枚数	3,999	6,013	10,012	5,082	6,196	11,278	5,596	6,323	11,919	5,359	32,148	37,507	4,680	6,439	11,119
院内製剤件数	2			2			6			244			652		
注射薬個人払出数	39,528			36,051			44,675			38,468			34,295		
無菌調剤 件数	0			0			-			-			0		
TPN 抗がん剤	20			11			2			3			14		
薬剤管理指導料算定件数 (服薬指導件数)	入院	訪問		入院	訪問		入院	訪問		入院	訪問		入院	訪問	
	611	60		649	50		767	78		796	98		713	18	
ジェネリック使用率	20.2%			64.4%			79.0%			86.2%			87.0%		
院外処方箋率	71.8%			81.0%			80.6%			81.4%			79.0%		

調剤の状況

(単位：件、%)

病院名	木 曽 病 院														
	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
処方箋枚数	12,071	15,386	27,457	12,355	15,348	27,703	11,829	15,471	27,300	11,878	80,583	92,461	10,088	78,770	88,858
院内製剤件数	546			480			442			347			477		
注射薬個人払出数	48,115			47,678			39,716			48,893			39,764		
無菌調剤 件数	235			251			182			109			120		
TPN 抗がん剤	815			1,060			706			877			935		
薬剤管理指導料算定件数 (服薬指導件数)	入院	訪問		入院	訪問		入院	訪問		入院	訪問		入院	訪問	
	2,165	0		2,070	0		1,925	0		2,059	0		2,566	0	
ジェネリック使用率	25.6%			77.0%			80.7%			82.4%			81.9%		
院外処方箋率	66.6%			80.8%			80.4%			83.6%			88.2%		

(単位：件、%)

病院名	こ だ も 病 院														
	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
処方箋枚数	15,871	18,183	34,054	16,596	19,016	35,612	18,145	19,657	37,802	19,776	19,419	39,195	18,953	20,180	39,133
院内製剤件数	5,344			4,651			4,567			3,425			1,626		
注射薬個人払出数	62,064			62,716			60,061			57,703			53,135		
無菌調剤 件数	2,938			3,173			2,777			3,624			3,258		
TPN 抗がん剤	1,295			1,433			1,206			1,444			1,270		
薬剤管理指導料算定件数 (服薬指導件数)	入院	訪問		入院	訪問		入院	訪問		入院	訪問		入院	訪問	
	947	0		1,392	0		2,055	0		1,846	0		1,655	0	
ジェネリック使用率	14.0%			79.0%			83.0%			86.1%			88.4%		
院外処方箋率	15.6%			91.7%			92.5%			93.5%			95.1%		



④ 放射線の利用状況

●画像診断

病院名		信州医療センター					こころの医療センター駒ヶ根					阿南病院
年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成27年度
撮影部門	撮影人数	31,012	31,263	26,746	28,907	26,352	522	472	509	501	492	4,139
	一般撮影											
	頭 部	963	828	1,119	1,237	1,029	1	2	1	3	0	8
	胸 部	12,502	11,934	15,480	15,593	14,537	477	424	447	457	467	2,332
	腹 部	3,254	2,707	2,508	2,691	2,430	24	31	53	56	42	196
	脊椎・四肢・骨盤・その他	24,222	23,039	15,613	14,778	16,544	53	56	48	29	33	2,900
	ポータブル病室	3,260	2,965	2,130	1,659	1,473	0	0	0	0	10	176
	撮影(再掲)手術室	0	546	814	947	1,019	0	0	0	0	0	20
	乳房撮影(マンモグラフィ)											
	撮影人数	-	-	-	857	711	-	-	-	-	-	-
件 数	1,297	333	592	1,709	1,418	-	-	-	-	-	364	
骨塩定量												
撮影人数	-	-	-	646	577	-	-	-	-	-	-	
件 数	-	-	-	1,037	923	-	-	-	-	-	-	
透視・造影撮影部門	撮影人数	1,343	1,729	1,260	1,388	1,440	-	-	-	-	-	55
	消化管系	336	239	301	311	244	-	-	-	-	-	0
	胆のう・膵臓系	125	199	152	116	160	-	-	-	-	-	0
	尿路系	4	3	0	1	4	-	-	-	-	-	0
	脊髄腔系	37	34	50	50	70	-	-	-	-	-	0
	関節腔系	12	71	4	0	3	-	-	-	-	-	0
	その他	16	197	45	61	18	-	-	-	-	-	27
	造影を伴わない透視及び撮影	388	440	240	301	204	-	-	-	-	-	13
	外科用イメージ	422	477	523	552	601	-	-	-	-	-	16
	血管撮影											
	頭頸部血管	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0
	心臓血管	51	98	135	132	108	-	-	-	-	-	0
	腹部血管	1	1	1	0	2	-	-	-	-	-	0
その他血管	47	48	47	32	35	-	-	-	-	-	0	
治療行為	43	1	73	69	80	-	-	-	-	-	0	
CT	撮影人数	10,892	11,026	8,728	8,719	8,200	292	315	324	338	369	1,291
	頭頸部	2,252	2,270	2,141	2,121	2,067	272	284	276	297	324	461
	胸 部	4,207	4,933	4,440	4,617	4,143	8	16	30	19	28	753
	腹 部	4,207	4,554	4,746	4,998	4,631	13	30	47	39	47	1,108
	脊椎・四肢	719	1,136	1,189	855	1,235	0	0	0	3	0	152
	心 臓	-	-	-	360	228	-	-	-	-	-	-
	画像処理	-	-	-	2,033	1,248	-	-	-	-	-	-
MRI	撮影人数	2,242	1,964	2,070	2,131	2,298	-	-	-	-	-	434
	頭頸部	1,047	917	842	926	882	-	-	-	-	-	583
	胸 部	19	20	18	8	14	-	-	-	-	-	1
	腹 部	420	290	446	422	525	-	-	-	-	-	21
	脊椎・四肢	940	899	945	923	1,090	-	-	-	-	-	124
	心 臓	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-	-
画像処理	-	-	-	1,556	1,279	-	-	-	-	-	-	
RI	撮影人数	116	72	89	87	55	-	-	-	-	-	-
	ガンマカメラ	70	79	48	60	8	-	-	-	-	-	-
	全身スキャン	1	0	-	29	23	-	-	-	-	-	-
	SPECT	1	0	-	67	76	-	-	-	-	-	-
負荷検査(再掲)	-	-	-	55	26	-	-	-	-	-	-	
治療	治療人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般照射	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	全身照射	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	術中照射	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	治療計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
血液照射	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
画像取込み及びコピー	-	-	-	3,607	2,587	0	0	0	0	133	0	

(単位：人、件)

阿南病院				木曽病院					こども病院				
平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
5,177	5,327	5,033	4,899	15,084	15,096	14,437	15,614	14,496	18,883	19,875	19,164	20,804	20,038
8	29	22	9	280	127	125	73	73	376	412	410	429	383
3,304	3,315	3,081	3,126	8,251	8,185	7,521	8,006	7,501	13,998	15,257	9,155	15,672	14,988
295	373	321	155	1,695	2,006	1,759	1,887	1,726	2,119	1,869	7,041	2,239	1,901
3,044	3,112	3,370	3,110	8,318	8,861	9,268	10,588	9,089	3,594	3,350	3,583	3,852	3,893
319	0	287	354	960	726	650	765	676	7,978	9,117	8,267	9,770	8,643
11	0	2	1	425	494	527	495	432	492	557	551	543	502
-	-	279	234	-	-	-	379	405	0	0	0	0	0
616	470	564	476	859	1,588	1,630	1,395	1,612	0	0	0	0	0
-	-	111	120	-	-	-	562	505	0	0	0	0	0
-	-	333	360	-	-	-	1,057	955	0	0	0	0	0
86	79	81	69	1,705	1,895	1,868	1,505	1,536	780	592	0	479	417
24	30	18	12	1,192	1,320	1,363	1,104	1,137	197	224	107	158	134
1	0	0	0	130	124	112	64	47	15	11	6	5	4
0	0	0	2	50	50	48	42	61	206	205	210	218	202
0	0	0	0	87	70	60	58	61	0	0	0	0	0
0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	11	49
22	1	1	2	30	14	23	11	18	161	224	136	121	62
28	45	39	42	98	148	117	77	73	0	0	291	57	102
12	4	23	11	130	163	183	167	160	220	248	226	215	153
0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	21	0	3	2
0	0	0	0	183	0	1	0	0	329	373	339	356	308
0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	10	3	1	1
0	0	0	0	97	26	80	101	79	417	491	454	520	467
0	0	0	0	143	59	64	64	58	77	112	103	101	102
1,878	2,165	2,119	2,120	6,597	6,466	6,352	6,897	6,503	889	923	897	887	980
532	564	435	465	2,663	2,402	2,348	2,594	2,203	337	388	380	340	397
666	845	779	728	3,052	3,373	3,335	3,222	3,219	294	489	285	294	315
691	882	738	750	3,378	3,871	3,359	3,432	3,353	158	164	150	152	162
88	151	218	228	848	753	628	666	693	1,724	77	636	87	72
-	-	0	0	-	-	-	68	68	0	-	-	161	195
-	-	1,256	1,793	-	-	-	797	744	-	-	-	421	483
503	491	484	390	1,757	1,728	1,714	915	1,610	1,550	1,551	1,616	1,609	1,769
342	336	357	268	793	748	810	57	687	1,350	1,353	1,450	1,372	1,468
1	0	0	3	65	60	56	387	9	6	203	39	21	19
19	25	19	14	225	305	311	387	356	93	103	124	166	124
150	137	115	115	774	732	633	643	637	837	330	786	363	485
-	-	0	0	-	-	-	0	0	-	-	-	150	226
-	-	312	216	-	-	-	1,520	1,225	-	-	-	232	315
-	-	-	-	86	86	49	49	34	141	186	155	126	149
-	-	-	-	86	17	22	9	5	131	144	193	157	173
-	-	-	-	0	-	-	22	29	19	29	52	24	38
-	-	-	-	-	-	-	48	33	-	-	-	88	116
-	-	-	-	-	-	-	1	0	-	-	-	33	29
-	-	-	-	-	-	-	374	548	-	-	-	142	154
-	-	-	-	-	-	-	1,163	2,226	-	-	-	1,906	2,066
-	-	-	-	-	-	-	0	0	-	-	-	0	3
-	-	-	-	-	-	-	0	0	-	-	-	0	0
-	-	-	-	-	-	-	24	35	-	-	-	99	99
-	-	-	-	-	-	-	0	0	-	-	-	0	0
0	0	429	466	0	0	0	1,179	1,289	0	0	0	2,418	2,354



⑤ 検査の状況

病院名		信州医療センター										こころの医療センター駒ヶ根			
年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平成27年度		平成28年度	
区分		院内	ドック 受託他	院内	ドック 受託他	院内	ドック 受託他	院内	ドック 受託他	院内	ドック 受託他	院内	ドック 受託他	院内	ドック 受託他
検体検査	生化学検査Ⅰ	491,734	65,217	476,016	69,685	469,111	73,509	493,436	78,668	485,575	72,398	491,734	65,217	40,721	11
	生化学検査Ⅱ	17,047	827	15,840	800	17,295	833	18,449	843	18,072	714	17,047	827	1,382	0
	薬物検査	152	0	166	0	143	0	129	0	117	0	152	0	1,061	0
	微生物学的検査(一般)	17,512	0	16,680	0	15,168	56	13,594	65	13,290	48	17,512	0	0	10
	微生物学的検査(特殊)	2,619	0	2,487	0	2,329	0	2,243	144	2,110	142	2,619	0	0	0
	免疫学的検査	46,167	11,931	42,324	12,720	42,837	13,942	43,733	15,477	42,038	14,547	46,167	11,931	1,490	44
	輸血検査	3,233	0	3,856	646	3,828	0	3,513	0	4,572	0	3,233	0	20	0
	血液学的検査	89,830	6,802	87,178	7,265	85,975	7,504	89,790	8,254	85,915	7,364	89,830	6,802	3,432	1
	一般検査	20,877	11,270	18,882	12,174	18,814	12,482	19,133	13,435	19,973	11,375	20,877	11,270	363	0
	遺伝子検査	15	0	77	0	60	63	43	58	42	24	15	0	0	0
	血液ガス	1,007	0	974	0	1,067	0	923	0	800	0	1,007	0	0	0
	採血業務	0	0	0	0	0	0	20,801	0	21,651	0	0	0	0	0
	その他	0	0	19,337	0	19,806	45	0	46	0	52	0	0	0	0
病理細胞診	病理組織検査	5,824	53	6,401	0	5,315	0	5,264	0	4,848	0	5,824	53	0	0
	細胞診検査	4,521	1,448	3,296	3,416	4,350	3,625	4,249	1,804	4,726	1,577	4,521	1,448	0	0
	剖検	24	0	0	0	36	0	18	0	36	0	24	0	0	0
生理検査	心電図	5,710	3,207	5,622	3,493	6,078	3,601	6,277	3,792	6,056	3,256	5,710	3,207	481	1
	負荷心電図	3	0	9	0	19	0	13	0	3	0	3	0	0	0
	ホルター心電図	97	0	117	0	109	0	135	0	75	0	97	0	0	0
	トレッドミル検査	25	0	12	0	16	0	8	0	13	0	25	0	0	0
	脳波	18	0	16	0	39	0	50	0	53	0	18	0	41	0
	賦活脳波	48	0	41	0	34	0	45	0	35	0	48	0	55	0
	心臓超音波	1,285	0	1,328	0	1,434	0	1,464	0	1,254	0	1,285	0	0	0
	その他の超音波	3,271	2,311	3,254	2,631	3,826	2,719	3,943	3,006	5,393	2,827	3,271	2,311	16	0
	呼吸機能検査	1,535	3,584	1,543	3,784	1,660	3,992	1,538	4,470	1,581	4,092	1,535	3,584	0	0
	誘発電位	286	0	322	0	329	0	910	0	552	0	286	0	0	0
	眼底カメラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	脈波	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	聴力	3,372	3,207	3,037	3,493	3,360	3,601	3,207	3,792	3,033	3,248	3,372	3,207	0	0
その他	293	551	376	561	426	565	641	513	356	428	293	551	0	0	
院内実施計		716,505		709,194		703,464		733,549		844,261		716,505		49,062	
委託・外注計		110,408		120,668		126,537		134,367		11,416		110,408		67	
総合計		826,913		829,862		830,001		867,916		855,677		826,913		49,129	
新生児マススクリーニング検査		-		-		-		-		-		-		-	

(単位：件)

こころの医療センター駒ヶ根						阿南病院										木曽病院			
平成29年度		平成30年度		令和元年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平成27年度		平成28年度	
院内	ドック 受託他	院内	ドック 受託他	院内	ドック 受託他	院内	ドック 受託他	院内	ドック 受託他	院内	ドック 受託他	院内	ドック 受託他	院内	ドック 受託他	院内	ドック 受託他	院内	ドック 受託他
37,203	0	33,789	0	33,776	0	148,576	25,654	143,548	8,834	146,316	24,217	121,225	22,368	118,202	23,338	487,378	20,552	482,459	19,238
1,529	0	1,405	0	1,290	0	2,724	818	3,039	541	4,183	763	4,412	1,230	3,905	796	14,599	900	14,811	802
1,002	0	870	0	750	0	367	82	340	0	360	44	354	56	268	51	168	0	168	0
0	8	0	0	0	0	1,755	20	1,647	0	3,070	24	3,060	24	2,433	24	3,187	48	3,860	48
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	0	246	0	95	0	352	0	347	0
1,591	43	1,602	56	1,638	18	6,013	1,230	6,264	1,117	8,168	1,069	7,324	1,221	6,061	1,292	24,981	4,176	25,306	3,706
0	0	0	0	0	0	200	0	212	0	193	0	174	0	93	0	1,259	0	1,241	0
3,095	0	4,306	0	4,626	0	14,023	3,214	15,516	1,773	17,254	3,098	15,241	3,131	14,939	3,185	74,607	3,726	76,582	3,505
366	0	301	0	380	0	4,260	2,187	4,107	1,818	5,861	2,186	6,125	2,219	5,677	2,325	17,723	3,317	16,645	3,215
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	103	0	255	0	313	0	279	0	268	0	568	0	387	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,270	1,020	12,384	558	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	11,631	1,117	11,516	53	14,223	991	0	0	0	0	23,250	0	23,085	0
0	0	0	0	0	0	193	11	293	0	356	18	353	3	269	5	2,743	21	3,631	5
0	0	0	0	0	0	141	437	175	475	223	403	226	426	271	395	1,813	703	2,316	531
0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
468	0	530	0	571	0	1,690	884	1,609	930	1,696	845	1,414	907	1,393	909	3,448	1,284	3,484	1,218
0	0	0	0	0	0	8	0	9	0	5	0	10	0	13	0	67	3	52	3
0	0	0	0	0	0	70	0	80	0	76	0	94	0	64	0	188	0	264	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	3	0
61	0	0	0	21	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	12	0	9	0
59	0	23	0	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	20	0
0	0	44	0	22	0	115	0	319	34	415	0	409	0	332	0	990	0	1,004	0
19	0	19	0	14	0	312	586	553	664	628	1,140	794	1,135	546	1,213	1,457	92	776	737
0	0	28	0	0	0	40	210	36	219	54	216	169	225	63	235	610	1,017	746	951
0	0	0	0	0	0	9	0	10	0	8	0	20	0	8	0	183	0	218	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	249	0	253	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82	52	395	87	256	9
0	0	0	0	0	0	26	701	31	715	41	712	25	852	27	747	1,234	511	472	1,417
0	0	0	0	0	0	17	478	14	514	21	488	41	47	3	0	207	0	0	0
45,393		42,917		43,160		192,289		189,574		203,521		175,265		202,774		661,451		658,142	
51		56		906		37,629		17,687		36,214		35,113		1,278		36,437		35,386	
45,444		42,973		44,066		229,918		207,261		239,735		210,378		204,052		697,888		693,528	
-		-		-		-		-		-		-		-		-		-	



(単位：件)

病院名		木曽病院						こども病院									
		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
区分		院内	ドック 受託他														
		検体検査	生化学検査Ⅰ	464,665	20,568	484,675	18,253	476,476	21,295	299,200	-	317,551	-	317,103	-	332,452	-
生化学検査Ⅱ	14,566		822	16,936	939	15,510	1,092	7,100	-	8,508	-	9,308	-	10,169	-	10,198	-
薬物検査	161		0	185	0	150	0	2,467	-	2,439	-	2,551	-	2,430	-	1,913	-
微生物学的検査(一般)	4,028		48	4,322	51	4,459	48	8,771	-	9,409	-	9,125	-	9,706	-	8,743	-
微生物学的検査(特殊)	340		0	282	0	274	1	1	-	5	-	4	-	4	-	69	-
免疫学的検査	22,784		4,705	26,895	4,430	23,718	4,739	32,231	-	33,369	-	34,393	-	35,313	-	33,009	-
輸血検査	925		0	789	0	697	0	4,809	-	4,982	-	4,058	-	4,756	-	5,472	-
血液学的検査	70,852		3,790	67,961	3,190	65,103	3,667	67,883	-	74,038	-	77,648	-	86,193	-	79,770	-
一般検査	16,397		3,397	18,297	3,247	16,871	3,635	13,203	-	14,002	-	15,580	-	16,176	-	16,432	-
遺伝子検査	0		0	0	0	0	0	319	-	682	-	42	-	416	-	385	-
血液ガス	338		0	497	0	601	0	23,084	-	28,673	-	27,295	-	29,180	-	25,499	-
採血業務	0		0	23,902	1,363	23,864	1,591	0	-	0	-	0	-	7,094	-	7,034	-
その他	22,367		1,241	0	0	0	0	0	-	0	-	583	-	0	-	0	-
病理細胞診	病理組織検査	3,533	112	2,497	62	2,596	94	1,280	-	1,115	-	928	-	900	-	990	-
	細胞診検査	1,999	653	2,068	667	2,085	281	164	-	95	-	61	-	84	-	88	-
	剖検	0	0	0	1	0	0	412	-	196	-	354	-	270	-	437	-
生理検査	心電図	3,456	1,324	3,676	1,363	3,119	1,591	5,534	-	5,544	-	5,364	-	5,641	-	5,925	-
	負荷心電図	45	12	54	12	51	8	10	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	ホルター心電図	218	0	278	0	324	0	744	-	838	-	946	-	926	-	908	-
	トレッドミル検査	3	0	1	0	0	0	194	-	146	-	146	-	113	-	120	-
	脳波	9	0	12	0	13	0	39	-	37	-	55	-	43	-	83	-
	賦活脳波	29	0	19	0	29	0	358	-	465	-	511	-	566	-	527	-
	心臓超音波	987	0	1,104	0	948	3	5,809	-	7,560	-	7,889	-	8,180	-	8,088	-
	その他の超音波	875	737	1,046	711	883	733	18,188	-	16,616	-	16,282	-	14,578	-	15,132	-
	呼吸機能検査	645	1,041	821	942	676	1,031	458	-	380	-	425	-	339	-	445	-
	誘発電位	165	0	168	0	156	0	349	-	214	-	374	-	341	-	420	-
	眼底カメラ	0	0	0	0	0	0	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	脈波	0	0	0	0	0	0	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	聴力	607	1,606	831	1,484	905	1,653	995	-	1,417	-	1,607	-	1,788	-	1,848	-
その他	102	70	192	81	140	86	158	-	180	-	219	-	149	-	199	-	
院内実施計		630,096		657,508		681,196		493,760		528,461		532,851		567,807		529,921	
委託・外注計		40,116		36,796		5,176		0		0		0		0		11,016	
総合計		670,212		694,304		686,372		493,760		528,461		532,851		567,807		540,937	
新生児マスキング検査		-		-		-		-		17,387		17,073		16,199		15,548	

⑥ 人工透析患者の状況

年 度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
病院名	区分	延件数	1日平均件数	延件数	1日平均件数	延件数	1日平均件数
信州医療センター	入院	342	0.9	323	0.9	250	0.7
	外来	4,544	18.7	5,921	18.9	6,485	20.7
阿南病院	入院	107	0.3	150	0.4	153	0.4
	外来	3,170	13	3,228	13.3	2,911	9.3
木曽病院	入院	460	1.3	337	0.9	337	0.9
	外来	11,101	45.7	11,006	45.3	11,006	45.3
こども病院	入院	0	0	0	0	0	0
	外来	0	0	0	0	0	0

(単位：件)

年 度		平成30年度		令和元年度	
病院名	区分	延件数	1日平均件数	延件数	1日平均件数
信州医療センター	入院	257	0.8	452	1.4
	外来	5,996	19.2	5,791	18.4
阿南病院	入院	121	0.3	148	0.4
	外来	2,188	7.0	2,460	7.8
木曽病院	入院	398	1.3	450	1.4
	外来	10,604	34.0	9,927	31.6
こども病院	入院	0	0.0	0	0.0
	外来	0	0.0	0	0.0

稼働：314日
1年間日数 314日



⑦ 診療科別内視鏡の状況(検査のみ)

年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
病院名	診療科	検査件数		検査件数		検査件数		検査件数		検査件数	
		入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来
信州医療センター	内科	342	2,636	415	2,067	699	2,047	620	2,477	471	1,764
	呼吸器・感染症内科	44	69	72	17	67	23	45	27	26	45
	脳神経内科	0	2	0	2	0	1	0	0	0	1
	循環器内科	19	15	16	19	37	24	19	13	11	7
	脳神経外科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	小児科	0	1	1	0	2	0	3	0	0	2
	外科	56	203	57	214	52	177	74	189	52	162
	整形外科	8	1	12	0	5	2	3	0	0	0
	形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	皮膚科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	泌尿器科	0	0	3	16	0	0	1	1	0	0
	産婦人科	0	1	0	12	0	1	1	5	1	1
	眼科	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	耳鼻咽喉科	0	1	20	1,518	1	1	0	2	0	0
	精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	呼吸器外科	3	13	8	5	6	4	3	12	13	2
	血管外科	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	総合診療科	62	0	0	0	0	0	0	0	99	440
	救急科	0	0	0	0	0	0	0	23	129	61
歯科口腔外科	-	-	-	-	1	0	0	0	0	0	
ドック	0	0	0	0	0	3,284	0	3,495	0	3,046	
計	534	2,946	606	3,870	870	5,565	769	6,244	802	5,532	
結核	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	
こころの医療センター駒ヶ根	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
阿南病院	内科	104	683	110	333	115	283	76	300	35	300
	小児科	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1
	外科	0	5	0	0	21	26	0	9	13	17
	整形外科	0	0	0	0	3	0	4	0	3	0
	泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	441
	ドック			0	411	0	401	0	441	0	0
	計	104	688	110	744	139	710	80	752	51	759

※治療・処置を含む

(単位：件)

年 度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		
病院名	診療科	検査件数		検査件数		検査件数		検査件数		検査件数		
		入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	
木曾病院	内 科	152	2,095	140	2,253	2,261	73	97	1,929	76	1,815	
	神経内科	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	
	小児科	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	
	外 科	0	0	30	229	241	26	18	253	23	254	
	整形外科	25	238	12	0	0	12	3	0	2	0	
	皮膚科	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	泌尿器科	4	0	12	209	204	6	6	221	1	216	
	耳鼻咽喉科	22	206	16	445	510	9	5	446	0	489	
	精神科	0	439	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦人科	2	0	1	16	23	2	0	29	0	24	
	放射線科	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	
	眼 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ドック	-	-	-	-	-	1,112	0	1,036	0	0	
	計	222	2,992	211	3,154	3,239	129	129	3,914	105	2,798	
いづみ病院	総合小児科	28	1	16	0	9	0	8	1	12	1	
	小児科	血液腫瘍科	8	0	0	0	2	0	2	0	6	0
	新生児科	39	1	5	0	2	0	5	0	2	1	
	小児集中治療科	142	0	126	0	62	0	98	0	99	0	
	小児外科	104	65	72	60	73	81	80	68	49	99	
	整形外科	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	形成外科	14	29	6	19	3	8	0	6	2	1	
	脳神経外科	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	循環器小児科	22	1	7	0	41	0	23	0	19	0	
	皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	眼 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	神経小児科	5	0	0	1	1	0	3	0	1	1	
	耳鼻咽喉科	71	584	197	280	164	352	168	515	163	784	
	産 科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	リハビリテーション科	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	
	泌尿器科	1	0	5	0	0	0	0	0	1	0	
	救急科	0	3	0	2	0	3	0	1	0	1	
	計	440	684	436	362	357	445	387	593	354	889	
合 計	1,300	7,310	1,363	8,130	4,605	6,849	1,365	11,503	1,312	9,978		



⑧ 公衆衛生活動の状況

(単位：件)

病院名		信州医療センター				
区分	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人間ドック	1泊2日	184	182	174	164	149
	日帰り	1,489	1,574	1,672	1,920	1,831
妊婦検診		2,612	1,253	1,930	2,915	4,437
健康診断		575	611	1,906	1,880	1,639
ガン検診		2,498	2,819	1,590	2,012	1,765
予防接種		2,430	2,541	2,553	3,127	4,968
その他健診		219	0	0	0	-
計		10,007	8,980	10,572	12,701	15,108

(※平成29年度から人間ドック1泊2日は2日ドック(通院))

(単位：件)

病院名		こころの医療センター駒ヶ根				
区分	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人間ドック	1泊2日	-	-	-	-	-
	日帰り	-	-	-	-	-
妊婦検診		-	-	-	-	-
健康診断		-	-	-	-	-
ガン検診		-	-	-	-	-
予防接種		-	-	-	60	67
その他健診		-	-	-	-	-
計		0	0	0	60	67

(単位：件)

病院名		阿南病院				
区分	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人間ドック	1泊2日	0	0	0	0	0
	日帰り	429	202	446	477	502
妊婦検診		0	0	0	0	0
健康診断		1,302	1,262	1,220	1,291	1,134
ガン検診		936	961	822	985	945
予防接種		3,139	3,170	3,076	3,150	3,291
その他健診		97	114	107	83	0
計		5,903	5,709	5,671	5,986	5,872

(単位：件)

病院名		木曽病院				
区分	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人間ドック	1泊2日	8	10	3	4	0
	日帰り	480	603	500	455	516
妊婦検診		2,378	1,728	1,965	1,669	1,594
健康診断		702	1,347	714	642	766
ガン検診		429	315	339	290	414
予防接種		3,271	4,672	4,223	4,069	3,919
その他健診		941	0	908	895	1,145
計		8,209	8,675	8,652	8,024	8,354

(単位：件)

病院名		こども病院				
区分	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人間ドック	1泊2日	-	-	-	-	-
	日帰り	-	-	-	-	-
妊婦検診		2,800	3,117	3,299	3,290	4,243
健康診断		-	-	-	-	-
ガン検診		-	-	-	-	-
予防接種		417	348	375	433	367
その他健診		-	-	-	-	-
計		3,217	3,465	3,674	3,723	4,610



⑨ 医療社会事業相談の状況

(単位：件)

病院名		信州医療センター				
区分	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	経済問題	31	37	11	2	9
	家庭問題	0	9	0	0	0
	心理的問題	5	3	2	0	3
	療養問題	1,564	2,061	2,369	1,789	1,532
	社会問題	125	287	18	0	0
	社会福祉制度	467	389	238	245	192
	交通事故	0	0	0	0	0
	その他	12	205	293	218	448
	計	2,204	2,991	2,931	2,254	2,184

(単位：件)

病院名		こころの医療センター駒ヶ根				
区分	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	経済問題	927	887	484	406	384
	家庭問題	193	174	250	106	45
	心理的問題	45	70	100	134	94
	療養問題	9,727	9,413	9,319	8,527	5,724
	社会問題	575	491	547	397	523
	社会福祉制度	874	1,102	887	840	903
	交通事故	0	0	0	143	0
	その他	2,627	2,562	1,047	808	1,553
	計	14,968	14,699	12,634	11,361	9,226

(単位：件)

病院名		阿南病院				
区分	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	経済問題	25	10	4	12	22
	家庭問題	0	0	2	3	2
	心理的問題	3	0	0	2	1
	療養問題	749	1,165	1,701	1,364	1,113
	社会問題	0	1	7	0	0
	社会福祉制度	663	663	361	171	218
	交通事故	1	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	計	1,441	1,839	2,075	1,552	1,356

(単位：件)

病院名		木曽病院				
区分	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	経済問題	602	340	403	382	323
	家庭問題	93	80	146	123	115
	心理的問題	264	250	358	363	243
	療養問題	4,503	420	1,312	1,461	1,578
	社会問題	30	18	20	11	8
	社会福祉制度	2,204	1,020	1,206	1,319	1,423
	交通事故	8	3	5	3	4
	その他	103	80	721	541	536
	計	7,807	2,211	4,171	4,203	4,230

(単位：件)

病院名		こども病院				
区分	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	経済問題	1,596	1,014	979	885	716
	家庭問題	44	13	18	23	26
	心理的問題	25	54	43	17	65
	療養問題	200	154	173	296	237
	社会問題	71	140	132	183	342
	社会福祉制度	697	555	512	592	911
	交通事故	0	0	0	0	0
	その他	362	540	556	719	854
	計	2,995	2,470	2,413	2,715	3,151



⑩ 理学・作業・言語療法の状況

(単位：件)

病院名		信州医療センター				
区分	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
脳血管疾患等リハビリテーション	I	0	12,561	15,561	2,642	1,945
	II	13,215	0	0	0	0
廃用症候群リハビリテーション	I	0	0	0	9,921	11,753
	II	0	0	0	0	0
運動器リハビリテーション	I	21,966	24,766	23,685	24,635	23,156
	II	0	0	0	0	0
呼吸器リハビリテーション	I	5,295	5,576	8,837	8,167	8,460
	II	0	0	0	0	0
心臓リハビリテーション	I	0	0	951	2,884	2,175
	II	0	0	0	0	0
障害児リハビリテーション	I	0	0	0	0	0
	II	0	0	0	0	0
がん患者リハビリテーション		0	0	0	2,703	3,279
訪問リハビリテーション		0	0	0	2,946	4,330
摂食機能療法		1,937	2,217	3,734	3,595	3,575
消炎鎮痛等処置		0	0	0	0	0
直達牽引・介達牽引		0	0	0	0	0
計		42,413	45,120	52,768	57,493	58,673

(単位：件)

病院名		こころの医療センター駒ヶ根				
区分	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
脳血管疾患等リハビリテーション	I	-	-	-	-	-
	II	-	-	-	-	-
廃用症候群リハビリテーション	I	-	-	-	-	-
	II	-	-	-	-	-
運動器リハビリテーション	I	-	-	-	-	-
	II	-	-	-	-	-
呼吸器リハビリテーション	I	-	-	-	-	-
	II	-	-	-	-	-
心臓リハビリテーション	I	-	-	-	-	-
	II	-	-	-	-	-
障害児リハビリテーション	I	-	-	-	-	-
	II	-	-	-	-	-
がん患者リハビリテーション		-	-	-	-	-
訪問リハビリテーション		-	-	-	-	-
摂食機能療法		-	-	-	-	-
消炎鎮痛等処置		-	-	-	-	-
直達牽引・介達牽引		-	-	-	-	-
計		0	0	0	0	0

(単位：件)

病院名		阿南病院				
区分	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
脳血管疾患等リハビリテーション	I	0	0	0	0	0
	II	6,229	6,508	1,265	2,601	1,174
廃用症候群リハビリテーション	I	0	0	0	0	0
	II	0	0	4,573	11,762	8,499
運動器リハビリテーション	I	2,614	2,673	2,933	3,742	1,845
	II	0	202	0	0	0
呼吸器リハビリテーション	I	72	105	271	333	50
	II	0	0	0	0	0
心臓リハビリテーション	I	0	0	0	0	0
	II	0	0	0	0	0
障害児リハビリテーション	I	0	0	0	0	0
	II	0	0	0	0	0
がん患者リハビリテーション		0	0	44	0	43
訪問リハビリテーション		0	0	902	968	879
摂食機能療法		2,001	4,917	4,113	5,034	0
消炎鎮痛等処置		0	318	242	236	196
直達牽引・介達牽引		38	8	7	7	54
計		10,954	14,731	14,350	24,683	12,740

(単位：件)

病院名		木曽病院				
区分	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
脳血管疾患等リハビリテーション	I	16,943	31,990	12,162	11,202	8,516
	II	0	0	0	0	0
廃用症候群リハビリテーション	I	0	0	5,904	10,840	9,500
	II	0	0	0	0	0
運動器リハビリテーション	I	7,972	17,423	10,002	10,569	9,932
	II	0	0	0	0	0
呼吸器リハビリテーション	I	2,223	2,997	1,520	1,899	994
	II	0	0	0	0	0
心臓リハビリテーション	I	0	0	0	0	0
	II	0	0	0	0	0
障害児リハビリテーション	I	0	0	0	0	0
	II	0	0	0	0	0
がん患者リハビリテーション		0	0	25	38	22
訪問リハビリテーション		0	0	747	544	774
摂食機能療法		2,645	4,213	3,980	4,330	2,646
消炎鎮痛等処置		0	12	0	0	0
直達牽引・介達牽引		53	29	52	63	52
計		29,836	56,664	34,392	39,485	32,436

(単位：件)

病院名		こども病院				
区分	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
脳血管疾患等リハビリテーション	I	11,415	20,869	23,684	24,976	27,226
	II	0	0	0	0	0
廃用症候群リハビリテーション	I	0	0	0	0	92
	II	0	0	0	0	0
運動器リハビリテーション	I	593	953	1,339	1,035	1,176
	II	0	0	0	0	0
呼吸器リハビリテーション	I	535	1,580	1,639	1,415	1,904
	II	0	0	0	0	0
心臓リハビリテーション	I	0	0	0	0	0
	II	0	0	0	0	0
障害児リハビリテーション	I	0	68	40	22	12
	II	0	0	0	0	0
がん患者リハビリテーション		0	0	0	18	405
訪問リハビリテーション		0	0	0	0	22
摂食機能療法		570	301	387	492	801
消炎鎮痛等処置		0	0	0	0	0
直達牽引・介達牽引		0	0	0	0	0
計		13,113	23,771	27,089	27,958	31,638



●精神科専門療案件数

(単位：件)

病院名 区分	こころの医療センター駒ヶ根					
	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
精神療法		28,891	27,861	29,580	29,600	33,202
精神科作業療法		10,920	10,710	10,812	10,772	11,159
その他の精神科専門療法		-	-	-	597	864
精神科デイケア		9,298	7,825	9,245	9,762	10,683
精神科訪問看護		1,958	1,860	1,658	1,681	1,981
計		51,067	48,256	51,295	52,412	57,889

(単位：件)

病院名 区分	阿南病院					
	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
精神療法		1,175	1,075	1,139	976	835
精神科作業療法		-	-	-	-	-
その他の精神科専門療法		39	-	-	-	-
精神科デイケア		-	-	-	-	-
精神科訪問看護		276	238	198	128	123
計		1,490	1,313	1,337	1,104	958

⑪ 心理及び言語検査の状況

(単位：件)

病院名 区分	こころの医療センター駒ヶ根					
	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
発達及び知能検査		217	198	238	235	239
人格検査		609	542	693	648	608
その他検査		177	323	867	645	695
標準純音聴力検査		-	-	-	-	-
遊戯聴力検査		-	-	-	-	-
その他の聴力検査		-	-	-	-	-
計		1,003	1,063	1,798	1,528	1,542

(単位：件)

病院名 区分	こども病院					
	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
発達及び知能検査		682	619	609	635	654
人格検査		32	27	60	60	51
その他検査		6	9	22	22	23
標準純音聴力検査		174	232	214	238	253
遊戯聴力検査		588	641	730	789	756
その他の聴力検査		428	547	663	761	728
計		1,910	2,075	2,298	2,505	2,465

12 栄養管理の状況

●食数

(単位：食)

病院名		信州医療センター				
区分	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
一般食		161,712	120,825	167,681	137,168	163,581
特別食		61,589	88,118	55,579	84,980	55,593
その他		-	-	-	-	-
計		223,301	208,943	223,260	222,148	219,174

(単位：食)

病院名		こころの医療センター駒ヶ根				
区分	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
一般食		88,901	87,992	90,629	91,158	85,842
特別食		16,963	15,960	17,103	13,871	15,339
その他		7,379	5,852	6,784	7,046	7,793
計		113,243	109,804	114,516	112,075	108,974

(単位：食)

病院名		阿南病院				
区分	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
一般食		37,862	35,360	35,428	33,883	29,313
特別食		10,528	14,843	19,171	17,508	14,864
その他		-	218	271	209	188
計		48,390	50,421	54,870	51,600	44,365

(単位：食)

病院名		木曾病院				
区分	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
一般食		63,655	70,184	82,128	85,317	76,015
特別食		64,903	30,840	34,704	30,393	27,237
その他		-	25,057	50	2,590	2,659
計		128,558	126,081	116,882	118,300	105,911

(単位：食)

病院名		こども病院				
区分	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
一般食		68,779	63,610	126,473	132,217	126,256
特別食		3,723	9,402	14,881	14,340	12,224
その他		61,441	72,620	-	-	-
計		133,943	145,632	141,354	146,557	138,480



●栄養食事指導件数

(単位：件)

病院名			信州医療センター					
区分	年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
入院	指導料請求	個別指導件数	270	341	351	551	454	
		集団指導	件数	0	0	0	0	-
			延人数	0	0	0	0	-
	その他	個別指導件数	110	66	131	146	111	
		集団指導	件数	0	0	0	0	-
			延人数	0	0	0	0	-
外来	指導料請求	個別指導件数	445	475	758	648	767	
		糖尿病透析予防指導	0	0	0	0	28	
		集団指導	件数	0	0	0	0	-
			延人数	0	0	0	0	-
	その他	個別指導件数	196	181	182	166	136	
		人間ドック	0	0	0	0	126	
		集団指導	件数	4	4	0	4	4
			延人数	66	68	0	42	24

(単位：件)

病院名			こころの医療センター駒ヶ根					
区分	年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
入院	指導料請求	個別指導件数	77	58	45	67	8	
		集団指導	件数	12	12	12	12	8
			延人数	68	60	58	59	8
	その他	個別指導件数	10	1	10		65	
		集団指導	件数	21	21	19	16	33
			延人数	149	152	149	143	226
外来	指導料請求	個別指導件数	2	10	5	3	5	
		糖尿病透析予防指導	0	0	0	0	-	
		集団指導	件数	0	0	0	0	0
			延人数	0	0	0	0	0
	その他	個別指導件数	7	0	7	5	4	
		人間ドック	0	0	0	0	-	
		集団指導	件数	0	0	43	50	30
			延人数	0	0	218	210	210

※令和元年度より包括分を除いた数字で計上

(単位：件)

病院名			阿南病院					
区分	年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
入院	指導料請求	個別指導件数	12	28	39	21	24	
		集団指導	件数	0	0	0	0	-
			延人数	0	0	0	0	-
	その他	個別指導件数	8	6	10	12	-	
		集団指導	件数	0	0	0	0	-
			延人数	0	0	0	0	-
外来	指導料請求	個別指導件数	36	41	43	47	41	
		糖尿病透析予防指導	0	0	0	0	-	
		集団指導	件数	0	0	0	0	-
			延人数	0	0	0	0	-
	その他	個別指導件数	233	227	204	201	135	
		人間ドック	0	0	0	0	-	
		集団指導	件数	12	11	11	11	10
			延人数	42	36	40	46	36

●栄養食事指導件数

(単位：件)

病院名			木曽病院					
区分	年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
入院	指導料請求	個別指導件数	287	197	189	123	58	
		集団指導	件数	0	2	0	0	0
			延人数	0	9	0	0	0
	その他	個別指導件数	32	26	25	25	22	
		集団指導	件数	83	72	63	54	63
			延人数	141	142	111	99	101
外来	指導料請求	個別指導件数	156	191	201	235	537	
		糖尿病透析予防指導	-	-	-	-	-	
		集団指導	件数	3	19	5	6	5
	延人数		10	23	30	35	30	
	その他	個別指導件数	12	29	12	61	4	
		人間ドック	-	-	-	-	-	
集団指導		件数	190	190	188	88	14	
	延人数	963	959	974	417	34		

(単位：件)

病院名			こども病院					
区分	年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
入院	指導料請求	個別指導件数	40	179	252	292	200	
		集団指導	件数	0	0	0	0	0
			延人数	0	0	0	0	0
	その他	個別指導件数	613	433	567	769	1,043	
		集団指導	件数	62	65	70	72	66
			延人数	438	295	352	486	368
外来	指導料請求	個別指導件数	33	119	179	251	253	
		糖尿病透析予防指導	-	-	-	-	-	
		集団指導	件数	-	-	-	-	-
	延人数		-	-	-	-	-	
	その他	個別指導件数	127	89	102	83	108	
		人間ドック	-	-	-	-	-	
集団指導		件数	1	3	11	13	12	
	延人数	24	33	69	58	39		



職員の状況



1 職種別職員構成

(単位：人)

区 分	平成22年4月1日 (機構発足時)		令和2年3月31日				(参考) 令和2年4月1日			
	職員数 a		職員数 b		対発足時増減 b-a		職員数 c		対発足時増減 c-a	
		うち 県派遣		うち 県派遣	職員数	うち 県派遣		うち 県派遣	職員数	うち 県派遣
医師	160	14	177	10	17	△4	189	12	29	△2
看護師	710	0	819	0	109	0	855	0	145	0
薬剤師	33	22	44	2	11	△20	44	2	11	△20
診療放射線技師	29	0	30	0	1	0	29	0	0	0
臨床検査技師	36	9	41	0	5	△9	43	0	7	△9
管理栄養士	14	11	15	0	1	△11	16	0	2	△11
作業療法士	9	1	20	0	11	△1	21	0	12	△1
理学療法士	20	6	46	0	26	△6	47	0	27	△6
臨床工学技士	11	0	17	0	6	0	18	0	7	0
言語聴覚士	5	1	7	0	2	△1	8	0	3	△1
視能訓練士	4	0	5	0	1	0	5	0	1	0
保健師	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0
臨床心理技師	4	4	10	0	6	△4	10	0	6	△4
歯科衛生士	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0
介護支援専門員	1	0	0	0	△1	0	0	0	△1	0
介護福祉員	25	9	30	0	5	△9	30	0	5	△9
精神保健福祉士	4	2	9	0	5	△2	9	0	5	△2
福祉相談員	8	7	12	1	4	△6	12	1	4	△6
事務(技術)職員	77	63	120	20	43	△43	136	19	59	△44
計	1,151	149	1,404	33	253	△116	1,474	34	323	△115

※有期雇用職員(パート職員を除く)を含む。

経理の状況



1 収益・費用の構成

●信州医療センター

(単位：千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収 益										
入院収益	3,510,351	3,364,122	3,420,949	3,488,238	3,295,144	3,733,327	3,609,602	3,693,806	3,797,262	3,873,354
外来診療収益	1,315,445	1,333,439	1,383,751	1,355,235	1,316,063	1,391,209	1,392,586	1,514,501	1,575,435	1,797,622
室料差額収益	20,379	17,333	17,615	12,953	12,538	13,634	11,105	13,759	13,663	28,767
公衆衛生活動収益	144,795	143,889	154,337	170,152	175,420	182,464	180,705	185,054	210,690	199,872
その他医業収益	44,153	44,270	43,373	48,743	45,270	44,570	41,389	42,796	42,754	42,076
保険等査定減	-2,749	-3,307	-5,572	-2,621	-5,580	-5,965	-5,366	-5,721	-6,397	-12,850
医業収益合計 A	5,032,375	4,899,746	5,014,453	5,072,699	4,838,855	5,359,239	5,230,021	5,444,197	5,633,408	5,928,841
医業その他営業収益	933,955	919,928	909,427	999,165	1,008,551	1,035,085	1,045,635	947,062	979,980	1,045,321
(うち)運営費負担金	921,686	905,475	893,484	980,115	986,493	1,012,895	1,026,444	928,691	956,440	995,436
営業収益合計 B	5,966,329	5,819,675	5,923,880	6,071,864	5,847,406	6,394,324	6,275,656	6,391,259	6,613,387	6,974,162
営業外収益 C	249,909	228,204	233,593	207,112	206,715	199,442	189,900	177,367	197,319	204,531
(うち)運営費負担金(利息分)	160,576	173,602	164,871	156,365	147,873	139,976	131,751	124,270	116,870	109,016
経常収益合計 D=B+C	6,216,238	6,047,878	6,157,473	6,278,977	6,054,121	6,593,766	6,465,556	6,568,626	6,810,706	7,178,692
費 用										
給与費	3,006,822	3,210,779	3,096,735	3,110,234	3,167,412	3,412,757	3,475,630	3,546,220	3,579,601	3,553,407
(うち)給料	1,169,039	1,224,302	1,174,806	1,221,719	1,256,049	1,314,296	1,330,007	1,379,803	1,357,639	1,316,840
(うち)手当	786,647	758,002	691,236	707,553	648,307	717,011	713,473	693,083	714,574	678,511
(うち)賞与	285,082	310,895	287,174	304,245	330,239	350,937	366,392	389,017	394,836	401,601
(うち)賞与引当金繰入額	150,409	160,053	149,539	153,356	167,657	176,382	194,105	198,257	196,174	194,704
(うち)報酬	141,893	210,785	239,815	221,091	239,638	257,885	224,697	243,025	231,714	302,267
(うち)賃金	54,889	69,887	69,753	64,458	51,362	50,647	62,952	65,113	67,341	48,337
(うち)退職給付引当金繰入額	118,386	137,553	151,131	76,058	98,470	126,992	131,580	123,003	162,507	150,126
(うち)法定福利費	300,478	339,301	333,282	361,754	375,689	418,606	452,423	454,921	454,816	461,021
材料費	1,246,933	1,192,479	1,233,878	1,278,438	1,148,765	1,274,843	1,282,407	1,367,263	1,431,847	1,690,477
(うち)薬品費	627,546	585,988	672,049	702,750	621,756	676,560	646,955	695,804	781,325	994,102
(うち)診療材料費	553,053	546,843	501,715	511,859	474,030	534,067	574,934	607,475	588,076	631,409
(うち)給食材料費	58,383	51,467	49,609	51,033	50,190	60,206	56,814	60,827	59,413	61,519
減価償却費	607,644	749,936	724,337	673,937	670,289	668,541	589,327	579,761	440,203	537,302
資産減耗費	0	0	0	10	0	323	167	163	0	0
経 費	855,281	844,648	767,881	833,586	864,824	821,146	799,083	859,952	904,172	1,019,080
(うち)光熱水費	64,760	68,599	71,361	74,137	81,751	75,592	67,782	82,390	87,817	81,262
(うち)修繕費	90,778	71,640	39,997	38,801	51,596	32,168	32,199	50,204	66,569	94,113
(うち)賃借料	78,144	80,704	88,792	92,340	93,374	98,343	93,533	93,524	95,094	107,466
(うち)委託料	420,590	391,659	394,575	424,435	450,484	462,433	466,634	470,872	493,182	534,156
(うち)貸倒引当金	4,409	11,233	1,442	622	2,786	4,933	354	0	0	4,119
研究研修費	23,038	18,499	14,229	23,614	15,217	13,473	13,298	15,737	18,539	13,829
雑支出	0	0	1,563	0	0	0	0	0	0	0
医業費用合計 E	5,739,718	6,016,340	5,838,624	5,919,819	5,866,507	6,191,083	6,159,912	6,369,096	6,374,362	6,814,094
医業事業損益 A-E	-707,344	-1,116,593	-824,170	-847,120	-1,027,652	-831,844	-929,891	-924,899	-740,954	-885,254
医業営業外費用	301,341	276,144	278,159	272,583	319,173	311,312	298,496	301,891	304,004	353,800
(うち)企業債支払利息	193,810	173,479	166,610	158,240	149,489	140,693	132,029	124,981	118,191	110,214
(うち)雑支出	101,181	95,666	101,612	101,775	157,000	159,162	158,105	168,804	178,498	238,609
経常費用合計 F	6,041,060	6,292,484	6,116,783	6,192,402	6,185,680	6,502,396	6,458,408	6,670,987	6,678,365	7,167,894
経常損益 G=D-F	175,178	-244,606	40,690	86,574	-131,559	91,371	7,148	-102,361	132,341	10,799
臨時損益 H	22	0	-585	0	0	0	0	-6,958	1,793	-2,088
純損益 G+H	175,200	-244,606	40,105	86,574	-131,559	91,371	7,148	-109,319	134,134	8,710

●こころの医療センター駒ヶ根

(単位：千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収 益										
入院収益	662,307	802,175	841,306	849,738	944,613	1,004,767	977,127	1,026,447	1,016,383	1,025,973
外来診療収益	337,988	394,653	419,372	449,164	466,503	270,680	256,171	269,792	270,213	287,733
室料差額収益	0	1,164	410	1,455	1,466	2,107	2,023	3,816	4,304	1,797
公衆衛生活動収益	195	159	137	169	142	230	243	232	234	404
その他医業収益	5,452	14,868	5,949	8,503	8,380	9,682	9,633	9,820	10,079	9,969
保険等査定減	-157	-219	-339	-273	-348	-294	-374	-195	-280	-181
医業収益合計 A	1,005,785	1,212,800	1,266,835	1,308,755	1,420,757	1,287,171	1,244,823	1,309,912	1,300,933	1,325,695
医業その他営業収益	748,358	516,778	515,232	528,551	566,947	634,291	636,387	638,795	638,739	645,913
(うち)運営費負担金	719,585	436,198	445,639	467,602	503,418	576,968	581,609	584,708	584,816	592,602
営業収益合計 B	1,754,143	1,729,578	1,782,067	1,837,307	1,987,704	1,921,461	1,881,209	1,948,707	1,939,672	1,971,607
営業外収益 C	15,683	49,305	57,206	56,960	56,664	58,411	52,825	52,005	47,664	45,173
(うち)運営費負担金(利息分)	8,296	40,675	47,024	46,864	46,431	45,151	43,555	41,438	39,227	37,139
経常収益合計 D=B+C	1,769,826	1,778,883	1,839,273	1,894,266	2,044,368	1,979,873	1,934,035	2,000,712	1,987,337	2,016,780
費 用										
給与費	1,084,097	1,179,068	1,212,799	1,213,490	1,284,123	1,334,148	1,374,815	1,365,825	1,388,547	1,367,771
(うち)給料	495,140	519,812	537,004	550,705	575,955	581,250	593,023	591,545	593,802	560,780
(うち)手当	168,246	196,541	203,431	208,304	210,184	226,203	226,720	210,626	206,050	239,271
(うち)賞与	117,363	133,443	134,003	139,386	153,503	160,432	169,965	176,238	178,861	173,081
(うち)賞与引当金繰入額	58,769	61,720	63,730	65,864	68,079	71,590	73,401	75,998	79,390	78,115
(うち)報酬	48,047	48,797	46,039	48,620	54,658	38,968	29,726	25,679	26,100	31,689
(うち)賃金	12,326	15,801	13,942	10,801	9,920	11,337	26,542	30,667	24,756	19,510
(うち)退職給付引当金繰入額	58,369	62,389	70,125	33,298	43,404	64,240	64,761	67,141	90,700	77,480
(うち)法定福利費	125,839	140,565	144,526	156,512	168,421	180,128	190,676	187,930	188,888	187,846
材料費	241,051	246,477	263,738	273,835	275,644	102,688	98,416	110,305	111,082	117,452
(うち)薬品費	190,805	204,855	220,784	231,675	233,337	58,745	57,228	64,358	62,716	65,947
(うち)診療材料費	14,370	14,334	15,818	16,055	16,244	14,284	11,395	13,477	11,660	12,512
(うち)給食材料費	30,961	26,489	26,435	25,724	25,954	29,333	29,247	31,969	36,240	38,686
減価償却費	60,631	153,404	179,387	181,877	179,835	178,668	177,963	149,468	173,499	187,074
資産減耗費	4,178	10,780	0	10	22	14	23	16	0	0
経 費	255,435	202,560	203,954	214,934	226,904	244,852	243,172	271,868	273,408	275,615
(うち)光熱水費	20,112	22,172	23,172	23,978	25,299	24,396	23,345	25,859	28,352	27,670
(うち)修繕費	7,466	6,148	6,144	4,310	4,613	6,638	4,433	5,067	5,998	9,141
(うち)賃借料	13,485	13,131	13,916	16,364	18,841	19,455	19,039	19,310	20,031	19,672
(うち)委託料	122,413	119,274	122,921	129,658	134,406	145,015	147,250	165,900	163,503	159,981
(うち)貸倒引当金	1,396	1,284	0	75	0	152	935	0	682	91
研究研修費	9,751	8,596	7,314	7,666	7,675	8,584	7,683	6,696	5,363	6,223
雑支出	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
医業費用合計 E	1,655,145	1,800,885	1,867,192	1,891,813	1,974,204	1,868,954	1,902,072	1,904,179	1,951,899	1,954,136
医業事業損益 A-E	-649,359	-588,085	-600,358	-583,058	-553,447	-581,783	-657,249	-594,268	-650,966	-628,441
医業営業外費用	32,985	62,707	75,296	73,891	88,915	74,559	73,069	71,348	69,145	72,837
(うち)企業債支払利息	9,742	40,989	47,559	47,263	46,718	45,334	43,623	41,452	39,235	37,041
(うち)雑支出	23,243	21,618	25,442	24,712	40,758	28,315	27,986	30,216	29,909	35,796
経常費用合計 F	1,688,129	1,863,592	1,942,488	1,965,704	2,063,120	1,943,513	1,975,141	1,975,527	2,021,044	2,026,972
経常損益 G=D-F	81,697	-84,710	-103,215	-71,437	-18,751	36,360	-41,106	25,185	-33,708	-10,192
臨時損益 H	-193,723	-113,726	-12,592	-19,241	0	0	0	0	-130	-461
純損益 G+H	-112,027	-198,436	-115,807	-90,679	-18,751	36,360	-41,106	25,185	-33,837	-10,653



●阿南病院

(単位：千円)

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収 益										
入院収益	532,051	484,498	447,944	484,959	487,246	470,119	534,294	573,920	546,811	482,443
外来診療収益	567,299	584,546	532,160	427,825	362,105	354,303	349,296	345,066	329,359	331,254
室料差額収益	50	33	55	66	12	10	67	65	127	164
公衆衛生活動収益	36,633	46,184	42,296	41,140	41,400	41,360	40,933	40,180	42,378	43,038
その他医業収益	5,289	5,004	5,652	4,985	5,422	6,121	6,249	6,573	5,922	6,390
保険等査定減	-834	-669	-1,306	-1,090	-1,189	-465	-1,101	-2,427	-5,079	-831
医業収益合計 A	1,140,489	1,119,596	1,026,802	957,886	894,996	871,449	929,738	963,377	919,519	862,457
医業その他営業収益	530,545	526,199	533,345	576,354	550,591	816,959	824,969	864,649	848,786	818,960
(うち)運営費負担金	524,111	519,463	526,756	551,741	527,926	792,904	801,868	838,683	826,976	798,689
営業収益合計 B	1,671,034	1,645,795	1,560,147	1,534,240	1,445,586	1,688,408	1,754,706	1,828,026	1,768,305	1,681,418
営業外収益 C	33,600	26,695	25,034	28,948	32,172	28,335	28,606	23,657	27,250	29,014
(うち)運営費負担金(利息分)	5,881	5,564	5,220	9,484	13,628	11,697	12,720	10,738	11,576	10,934
経常収益合計 D=B+C	1,704,634	1,672,490	1,585,181	1,563,188	1,477,758	1,716,743	1,783,312	1,851,682	1,795,555	1,710,432
費 用										
給与費	817,258	839,178	840,006	839,101	868,517	870,933	882,020	879,194	894,254	926,002
(うち)給料	353,794	350,008	353,568	341,992	361,370	348,619	356,395	356,427	359,322	365,689
(うち)手当	151,347	148,270	149,741	157,203	158,123	146,426	147,479	152,298	149,706	162,089
(うち)賞与	87,012	92,555	89,886	88,914	98,391	96,181	101,313	104,418	110,156	113,048
(うち)賞与引当金繰入額	42,832	41,321	43,155	41,780	43,692	45,133	47,847	47,912	50,050	52,465
(うち)報酬	45,967	55,094	52,562	61,082	59,107	64,351	63,069	62,279	63,479	68,868
(うち)賃金	20,803	20,486	21,014	21,116	19,965	26,601	24,461	27,493	28,323	19,164
(うち)退職給付引当金繰入額	33,492	38,111	35,916	23,014	23,526	31,781	23,558	12,159	16,372	21,311
(うち)法定福利費	82,011	93,333	94,163	104,001	104,343	111,841	117,898	116,208	116,846	123,368
材料費	372,513	370,304	339,794	251,539	162,521	163,307	156,507	163,365	158,501	152,712
(うち)薬品費	283,734	275,660	261,439	166,097	87,742	85,297	76,585	83,414	76,655	79,903
(うち)診療材料費	73,686	81,743	65,520	71,424	61,676	64,197	65,180	63,811	65,832	58,723
(うち)給食材料費	13,951	11,267	11,213	12,457	12,111	12,861	14,148	15,489	14,971	12,895
減価償却費	116,930	131,766	104,845	220,914	274,344	263,019	252,195	260,049	219,282	191,878
資産減耗費	0	0	18	10	0	93	93	0	0	0
経 費	301,475	272,313	274,105	325,071	285,245	271,826	270,369	279,591	290,420	285,736
(うち)光熱水費	24,892	25,998	28,209	37,535	36,271	29,674	27,009	29,268	31,226	30,326
(うち)修繕費	58,989	23,785	42,115	27,639	17,713	15,653	20,693	14,670	20,128	16,937
(うち)賃借料	16,406	15,322	14,394	16,251	12,978	12,806	13,612	13,944	15,872	14,528
(うち)委託料	126,314	118,040	107,351	129,194	137,270	141,653	143,715	149,003	145,623	149,576
(うち)貸倒引当金	595	0	0	0	0	0	12	0	0	127
研究研修費	4,041	6,076	5,278	6,474	5,476	4,456	4,979	4,630	3,764	6,834
雑支出	0	0	0	48	0	0	0	0	0	0
医業費用合計 E	1,612,218	1,619,638	1,564,045	1,643,157	1,596,103	1,573,634	1,566,162	1,586,829	1,566,221	1,563,163
医業事業損益 A-E	-471,729	-500,042	-537,244	-685,271	-701,108	-702,185	-636,424	-623,453	-646,702	-700,705
医業営業外費用	39,541	39,392	37,155	40,977	58,207	58,592	57,065	57,128	57,051	60,057
(うち)企業債支払利息	5,999	7,027	7,847	15,099	23,624	23,038	22,249	21,305	20,091	18,757
(うち)雑支出	31,031	30,344	27,521	23,957	33,695	32,967	32,707	34,223	34,617	39,148
経常費用合計 F	1,651,759	1,659,030	1,601,200	1,684,133	1,654,310	1,632,226	1,623,226	1,643,957	1,623,273	1,623,220
経常損益 G=D-F	52,875	13,459	-16,019	-120,945	-176,552	84,517	160,086	207,725	172,282	87,212
臨時損益 H	0	-161,418	-251,509	-33,906	0	0	0	0	-1,455	-82
純損益 G+H	52,875	-147,958	-267,529	-154,851	-176,552	84,517	160,086	207,725	170,827	87,130

●木曽病院

(単位：千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収 益										
入院収益	2,111,327	2,007,202	1,995,132	2,065,627	1,981,952	1,830,399	1,763,322	1,647,929	1,733,739	1,615,866
外来診療収益	1,315,506	1,337,231	1,376,525	1,386,760	1,386,174	1,730,671	1,527,755	1,394,831	1,350,739	1,260,113
室料差額収益	3,064	3,810	3,682	5,165	4,287	4,422	4,124	4,444	3,688	2,975
公衆衛生活動収益	65,909	74,245	72,293	83,182	84,062	86,904	86,809	82,110	79,084	84,654
その他医業収益	24,346	24,434	23,162	23,070	22,727	21,063	21,724	20,404	18,628	18,769
保険等査定減	-6,054	-3,498	-4,817	0	-6,284	-5,582	-6,700	-5,709	-5,179	-7,079
医業収益合計 A	3,514,099	3,443,424	3,465,976	3,563,805	3,472,918	3,667,876	3,397,034	3,144,010	3,180,699	2,975,300
医業その他営業収益	692,707	722,092	712,439	727,628	739,623	896,491	936,319	958,308	974,223	968,781
(うち)運営費負担金	660,163	687,847	674,967	682,873	692,012	840,954	874,849	894,962	915,473	899,734
営業収益合計 B	4,206,805	4,165,517	4,178,415	4,291,433	4,212,541	4,564,366	4,333,352	4,102,318	4,154,922	3,944,081
営業外収益 C	176,924	174,387	159,487	147,739	145,726	115,327	104,468	90,787	87,173	69,502
(うち)運営費負担金(利息分)	145,393	136,600	124,940	114,109	105,993	91,701	79,395	66,971	54,323	41,430
経常収益合計 D=B+C	4,383,729	4,339,904	4,337,902	4,439,172	4,358,267	4,679,694	4,437,820	4,193,105	4,242,095	4,013,583
費 用										
給与費	1,927,477	1,997,173	2,033,772	2,078,127	2,140,301	2,214,961	2,325,714	2,245,119	2,249,211	2,236,117
(うち)給料	752,548	776,505	788,140	807,028	834,566	846,296	872,857	842,808	855,940	848,054
(うち)手当	440,283	411,112	432,608	469,272	467,852	456,032	457,168	417,345	398,077	369,302
(うち)賞与	181,366	190,693	188,479	200,988	217,937	228,956	237,147	236,963	258,439	276,143
(うち)賞与引当金繰入額	97,118	106,702	100,863	102,729	108,215	113,611	117,442	117,302	120,811	125,333
(うち)報酬	142,331	171,605	165,405	174,072	171,079	174,768	227,278	223,723	194,984	206,798
(うち)賃金	43,431	40,650	34,558	36,832	38,104	35,030	36,451	39,410	36,669	24,537
(うち)退職給付引当金繰入額	78,697	87,282	102,974	46,967	56,714	86,565	77,305	77,122	94,755	93,858
(うち)法定福利費	191,703	212,623	220,747	240,240	245,834	273,702	300,067	290,447	289,536	292,092
材料費	949,150	917,103	890,286	949,625	913,736	1,177,423	933,644	790,631	750,067	669,931
(うち)薬品費	498,978	474,153	467,706	502,664	473,765	773,238	595,566	466,233	429,685	364,008
(うち)診療材料費	399,456	396,396	375,047	399,928	399,275	365,031	301,136	286,526	281,402	271,984
(うち)給食材料費	45,259	41,884	41,361	42,119	38,761	36,665	34,477	34,721	33,789	30,353
減価償却費	469,027	506,824	476,029	404,054	352,746	417,554	425,956	419,803	375,972	323,809
資産減耗費	11,783	9,046	0	289	182	715	0	309	0	0
経 費	568,263	546,781	604,409	591,262	617,161	593,445	574,360	605,035	601,727	589,145
(うち)光熱水費	60,157	62,398	66,953	71,923	79,879	72,040	63,847	66,679	67,668	65,330
(うち)修繕費	51,562	28,682	62,888	28,858	35,141	28,390	24,470	38,192	36,255	23,945
(うち)賃借料	64,119	62,865	64,530	70,258	88,701	64,289	60,283	60,408	58,980	58,425
(うち)委託料	287,172	276,190	289,633	299,929	290,319	335,109	331,643	338,251	339,154	346,315
(うち)貸倒引当金	573	3,809	2,586	0	0	702	0	0	0	0
研究研修費	13,043	11,735	10,676	15,038	14,212	10,526	11,531	8,889	9,187	8,916
雑支出	0	0	0	0	792	0	0	0	0	0
医業費用合計 E	3,938,742	3,988,661	4,015,172	4,038,395	4,039,131	4,414,624	4,271,205	4,069,786	3,986,164	3,827,919
医業事業損益 A-E	-424,644	-545,237	-549,196	-474,590	-566,214	-746,748	-874,171	-925,776	-805,465	-852,619
医業営業外費用	225,753	213,773	206,367	197,820	230,682	239,763	205,205	184,274	171,406	159,326
(うち)企業債支払利息	149,454	137,614	126,397	115,709	104,781	93,370	80,790	68,394	55,539	42,403
(うち)雑支出	72,656	70,210	72,523	74,798	120,872	138,910	117,501	108,027	108,597	110,673
経常費用合計 F	4,164,496	4,202,434	4,221,539	4,236,214	4,269,813	4,654,387	4,476,410	4,254,060	4,157,571	3,987,245
経常損益 G=D-F	219,233	137,470	116,363	202,957	88,454	25,306	-38,590	-60,955	84,524	26,338
臨時損益 H	-10,043	0	0	-7,347	-3,330	-3,893	0	0	-3	-1,666
純損益 G+H	209,190	137,470	116,363	195,610	85,124	21,414	-38,590	-60,955	84,521	24,672



●こども病院

(単位：千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収 益										
入院収益	4,066,940	4,366,921	4,669,142	4,727,004	4,960,272	4,923,651	5,120,626	5,121,784	5,387,718	5,405,108
外来診療収益	690,772	722,192	777,999	798,658	835,279	698,055	749,973	787,522	827,063	846,806
室料差額収益	4,338	5,517	6,493	8,357	10,853	12,168	10,006	9,969	10,112	14,413
公衆衛生活動収益	9,867	12,764	17,835	21,606	21,032	21,041	22,051	30,317	29,865	45,167
その他医業収益	17,012	18,509	19,792	28,645	26,216	25,880	26,527	27,049	23,979	21,589
保険等査定減	-22,245	-17,666	-15,369	-27,172	-23,296	-20,341	-20,658	-23,865	-9,548	-23,798
医業収益合計 A	4,766,683	5,108,236	5,475,892	5,557,097	5,830,356	5,660,454	5,908,524	5,952,776	6,269,189	6,309,286
医業その他営業収益	1,728,888	1,662,498	1,710,461	1,747,585	1,786,978	1,680,754	1,685,044	1,758,542	1,831,717	1,828,139
(うち)運営費負担金	1,603,536	1,549,412	1,595,200	1,583,632	1,609,670	1,547,834	1,528,968	1,602,818	1,620,470	1,655,092
営業収益合計 B	6,495,571	6,770,735	7,186,353	7,304,682	7,617,334	7,341,208	7,593,568	7,711,319	8,100,906	8,137,425
営業外収益 C	339,333	326,569	325,469	320,642	270,887	254,333	233,096	222,167	200,097	184,486
(うち)運営費負担金(利息分)	283,225	265,677	247,398	229,831	212,470	195,018	176,593	159,173	140,549	121,864
経常収益合計 D=B+C	6,834,905	7,097,303	7,511,822	7,625,324	7,888,221	7,595,542	7,826,665	7,933,486	8,301,002	8,321,911
費 用										
給与費	3,197,330	3,418,101	3,616,619	3,788,039	3,971,262	4,079,157	4,274,784	4,299,961	4,337,605	4,595,350
(うち)給料	1,179,153	1,228,147	1,314,567	1,393,960	1,475,418	1,466,501	1,516,005	1,532,738	1,544,057	1,595,086
(うち)手当	833,300	831,171	842,990	878,003	859,115	872,768	926,135	903,358	943,011	1,013,736
(うち)賞与	277,089	300,840	318,501	343,101	392,593	392,432	418,006	432,829	444,089	527,115
(うち)賞与引当金繰入額	154,393	165,284	169,611	173,508	189,503	193,502	207,698	208,720	218,035	233,761
(うち)報酬	284,711	342,264	381,962	380,406	344,633	377,007	356,598	370,169	357,020	410,957
(うち)賃金	46,826	71,710	68,018	74,155	75,816	86,754	95,428	101,617	104,445	69,575
(うち)退職給付引当金繰入額	106,173	111,713	126,567	109,628	173,239	187,774	202,388	204,643	181,683	156,898
(うち)法定福利費	315,685	366,972	394,403	435,278	460,945	502,420	552,526	545,886	545,265	588,221
材料費	1,306,825	1,350,150	1,386,223	1,371,996	1,280,965	1,179,700	1,277,561	1,256,702	1,365,701	1,406,046
(うち)薬品費	605,111	671,350	688,676	610,816	595,477	447,542	484,845	493,862	579,789	581,631
(うち)診療材料費	668,061	649,744	668,043	728,199	657,043	701,443	763,761	734,222	758,556	799,787
(うち)給食材料費	20,839	19,894	20,138	24,081	24,561	27,205	25,875	25,348	23,123	20,848
減価償却費	817,985	849,359	819,676	914,567	868,347	789,293	810,633	764,779	735,288	701,075
資産減耗費	0	150	0	109	202	3,595	21,896	2	0	0
経 費	878,588	917,769	946,731	1,096,667	1,029,311	1,062,940	1,039,198	1,095,676	1,113,172	1,144,622
(うち)光熱水費	93,291	99,032	106,391	109,588	112,199	102,394	88,857	92,966	98,054	97,337
(うち)修繕費	76,913	85,721	97,979	178,652	79,483	98,094	73,643	85,453	64,546	55,088
(うち)賃借料	109,243	127,167	133,820	160,981	173,656	173,209	175,600	179,926	191,145	223,833
(うち)委託料	456,018	447,532	442,537	463,486	501,364	548,443	573,065	584,656	602,373	618,905
(うち)貸倒引当金	3,395	2,078	933	0	455	1,485	496	0	0	0
研究研修費	22,196	21,443	33,461	30,831	36,120	34,161	31,299	27,895	28,431	27,992
雑支出	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0
医業費用合計 E	6,222,923	6,556,972	6,802,731	7,202,209	7,186,208	7,148,845	7,455,371	7,445,016	7,580,198	7,875,085
医業事業損益 A-E	-1,456,240	-1,448,736	-1,326,839	-1,645,112	-1,355,852	-1,488,391	-1,546,847	-1,492,240	-1,311,009	-1,565,799
医業営業外費用	406,604	383,042	374,816	387,490	405,111	381,124	364,911	351,318	347,077	350,647
(うち)企業債支払利息	295,184	266,072	248,814	231,737	214,601	196,008	177,196	160,952	142,442	123,341
(うち)雑支出	109,645	111,445	117,748	147,171	182,712	178,356	183,494	187,489	200,860	226,164
経常費用合計 F	6,629,527	6,940,015	7,177,547	7,589,699	7,591,319	7,529,969	7,820,282	7,796,334	7,927,275	8,225,732
経常損益 G=D-F	205,377	157,288	334,275	35,625	296,902	65,573	6,382	137,152	373,728	96,179
臨時損益 H	0	0	0	0	0	0	0	0	-437	-544
純損益 G+H	205,377	157,288	334,275	35,625	296,902	65,573	6,382	137,152	373,291	95,635

●病院会計

(単位：千円)

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収 益										
入院収益	10,882,977	11,024,917	11,374,473	11,615,566	11,669,226	11,962,262	12,004,970	12,063,886	12,481,914	12,402,744
外来診療収益	4,227,010	4,372,062	4,489,807	4,417,641	4,366,124	4,444,917	4,275,780	4,311,713	4,352,810	4,523,529
室料差額収益	27,831	27,858	28,256	27,996	29,156	32,341	27,325	32,053	31,894	48,117
公衆衛生活動収益	257,399	277,242	286,897	316,249	322,057	331,999	330,741	337,894	362,252	373,135
その他医業収益	96,253	107,085	97,928	113,946	108,016	107,315	105,522	106,642	101,363	98,794
保険等査定減	-32,039	-25,360	-27,403	-31,157	-36,697	-32,647	-34,198	-37,916	-26,483	-44,740
医業収益合計 A	15,459,430	15,783,803	16,249,958	16,460,242	16,457,882	16,846,188	16,710,140	16,814,272	17,303,748	17,401,578
医業その他営業収益	4,634,453	4,347,496	4,380,904	4,579,283	4,652,690	5,063,580	5,128,353	5,167,356	5,273,444	5,307,114
(うち)運営費負担金	4,429,081	4,098,395	4,136,046	4,265,963	4,319,519	4,771,555	4,813,738	4,849,862	4,904,175	4,941,553
営業収益合計 B	20,093,883	20,131,299	20,630,862	21,039,525	21,110,571	21,909,768	21,838,492	21,981,628	22,577,193	22,708,692
営業外収益 C	815,449	805,159	800,789	761,402	712,164	655,849	608,895	565,984	559,502	532,706
(うち)運営費負担金(利息分)	603,371	622,118	589,453	556,653	526,395	483,543	444,014	402,590	362,545	320,383
経常収益合計 D=B+C	20,909,332	20,936,458	21,431,651	21,800,927	21,822,735	22,565,618	22,447,387	22,547,612	23,136,695	23,241,398
費 用										
給与費	10,032,985	10,644,298	10,799,931	11,028,992	11,431,615	11,911,956	12,332,963	12,336,320	12,449,220	12,678,647
(うち)給料	3,949,674	4,098,775	4,168,084	4,315,404	4,503,358	4,556,962	4,668,287	4,703,321	4,710,760	4,686,448
(うち)手当	2,379,823	2,345,097	2,320,006	2,420,335	2,343,581	2,418,440	2,470,975	2,376,710	2,411,418	2,462,910
(うち)賞与	947,912	1,028,425	1,018,043	1,076,634	1,192,664	1,228,938	1,292,823	1,339,465	1,386,381	1,490,988
(うち)賞与引当金繰入額	503,520	535,080	526,898	537,237	577,146	600,218	640,494	648,189	664,460	684,378
(うち)報酬	662,949	828,546	885,782	885,271	869,115	912,979	901,367	924,874	873,297	1,020,579
(うち)賃金	178,275	218,533	207,285	207,362	195,167	210,370	245,834	264,300	261,534	181,123
(うち)退職給付引当金繰入額	395,117	437,048	486,712	288,963	395,352	497,352	499,592	484,069	546,018	499,672
(うち)法定福利費	1,015,714	1,152,795	1,187,121	1,297,785	1,355,233	1,486,697	1,613,591	1,595,392	1,595,352	1,652,549
材料費	4,116,472	4,076,512	4,113,918	4,125,432	3,781,632	3,897,960	3,748,535	3,688,267	3,817,198	4,036,619
(うち)薬品費	2,206,174	2,212,005	2,310,653	2,214,003	2,012,077	2,041,382	1,861,177	1,803,670	1,930,169	2,085,592
(うち)診療材料費	1,708,626	1,689,061	1,626,142	1,727,465	1,608,267	1,679,022	1,716,406	1,705,511	1,705,526	1,774,415
(うち)給食材料費	169,393	151,001	148,755	155,413	151,577	166,269	160,562	168,355	167,535	164,301
減価償却費	2,072,216	2,391,289	2,304,275	2,395,349	2,345,563	2,317,075	2,256,073	2,173,860	1,944,244	1,941,139
資産減耗費	15,962	19,976	18	429	406	4,740	22,179	490	0	0
経 費	2,859,043	2,784,071	2,797,079	3,061,519	3,023,446	2,994,209	2,926,182	3,112,123	3,182,899	3,314,198
(うち)光熱水費	263,211	278,198	296,087	317,162	335,398	304,096	270,841	297,162	313,117	301,925
(うち)修繕費	285,707	215,976	249,122	278,260	188,546	180,942	155,438	193,587	193,495	199,224
(うち)賃借料	281,397	299,189	315,452	356,195	387,549	368,102	362,068	367,112	381,123	423,925
(うち)委託料	1,412,507	1,352,694	1,357,017	1,446,701	1,513,844	1,632,653	1,662,307	1,708,682	1,743,834	1,808,934
(うち)貸倒引当金	10,369	18,404	4,960	698	3,240	7,273	1,796	0	682	4,337
研究研修費	72,070	66,349	70,958	83,623	78,700	71,200	68,790	63,847	65,284	63,793
雑支出	0	0	1,584	48	793	0	0	0	0	0
医業費用合計 E	19,168,747	19,982,496	20,087,764	20,695,392	20,662,154	21,197,140	21,354,722	21,374,907	21,458,844	22,034,396
医業事業損益 A-E	-3,709,317	-4,198,693	-3,837,806	-4,235,151	-4,204,272	-4,350,952	-4,644,582	-4,560,635	-4,155,096	-4,632,818
医業営業外費用	1,006,225	975,060	971,794	972,760	1,102,088	1,065,350	998,745	965,958	948,683	996,667
(うち)企業債支払利息	654,188	625,180	597,228	568,049	539,213	498,442	455,888	417,084	375,497	331,756
(うち)雑支出	337,757	329,282	344,846	372,414	535,036	537,710	519,793	528,760	552,482	650,390
経常費用合計 F	20,174,972	20,957,556	21,059,557	21,668,153	21,764,242	22,262,490	22,353,467	22,340,865	22,407,528	23,031,063
経常損益 G=D-F	734,360	-21,098	372,094	132,774	58,493	303,127	93,920	206,747	729,167	210,335
臨時損益 H	-203,744	-275,144	-264,686	-60,494	-3,330	-3,893	0	-6,958	-231	-4,841
純損益 G+H	530,616	-296,242	107,407	72,280	55,164	299,235	93,920	199,789	728,937	205,494



●阿南介護老人保健施設

(単位：千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収 益										
入所収益	173,038	182,170	167,754	154,453	157,617	154,430	147,448	141,933	135,413	133,969
通所収益	8,243	8,543	9,126	8,323	9,601	6,741	7,087	4,963	6,204	5,084
利用料収入	25,031	26,260	28,848	27,013	26,094	26,840	26,888	26,346	26,117	25,890
老健収益合計 A	206,312	216,972	205,728	189,790	193,312	188,010	181,422	173,242	167,734	164,944
老健その他営業収益	28,312	29,361	30,447	32,075	34,399	39,430	40,284	42,090	43,920	45,727
(うち)運営費負担金	28,312	29,361	30,447	32,075	34,399	39,082	40,284	42,090	43,920	45,706
営業収益合計 B	234,624	246,333	236,175	221,865	227,711	227,441	221,706	215,332	211,654	210,671
営業外収益 C	27,622	26,069	24,333	22,639	20,873	19,321	17,420	15,462	14,060	11,629
(うち)運営費負担金(利息分)	27,469	26,041	24,275	22,610	20,870	19,187	17,286	15,326	13,282	11,162
経常収益合計 D=B+C	262,246	272,402	260,508	244,503	248,584	246,762	239,127	230,794	225,714	222,300
費 用										
給与費	144,630	158,126	149,421	134,949	145,992	149,742	146,759	142,631	138,907	145,816
(うち)給料	66,951	65,666	67,701	53,656	60,802	61,919	60,200	58,200	52,447	58,172
(うち)手当	21,495	22,133	21,194	18,367	18,953	20,207	19,608	17,874	18,605	17,082
(うち)賞与	15,474	15,257	16,344	12,041	14,676	15,943	14,852	13,658	13,073	14,397
(うち)賞与引当金繰入額	9,463	9,938	8,531	6,390	8,637	9,338	9,787	8,811	9,780	9,910
(うち)報酬	8,883	11,542	5,800	15,198	10,904	9,448	8,655	9,160	11,996	15,198
(うち)賃金	1,173	1,157	1,157	1,131	1,977	4,288	3,138	2,459	3,630	3,117
(うち)退職給付引当金繰入額	5,870	14,811	11,636	11,481	11,705	7,977	9,742	13,483	10,293	8,190
(うち)法定福利費	15,321	17,622	17,057	16,685	18,338	20,621	20,775	18,984	19,083	19,749
材料費	16,961	17,024	17,554	16,768	15,932	15,618	14,378	14,244	13,439	14,034
(うち)薬品費	3,779	3,439	3,405	2,909	2,287	2,213	1,724	2,036	1,609	1,725
(うち)診療材料費	2,834	2,402	2,091	2,132	2,218	2,227	1,916	1,878	1,697	2,010
(うち)給食材料費	10,172	10,934	11,675	11,523	11,428	11,179	10,738	10,331	10,134	10,299
減価償却費	32,834	32,088	21,602	26,259	25,343	25,349	25,849	26,412	22,333	22,696
資産減耗費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経 費	32,169	30,770	33,924	32,864	31,346	34,000	30,709	31,193	33,131	32,078
(うち)光熱水費	2,614	2,417	2,469	2,483	2,647	2,489	2,185	2,261	2,559	2,700
(うち)修繕費	2,939	953	2,432	2,179	444	4,892	2,280	3,584	948	466
(うち)賃借料	2,509	2,594	2,551	2,455	2,460	2,591	2,541	2,488	2,423	2,387
(うち)委託料	16,508	16,777	18,638	18,435	18,369	17,732	17,973	16,427	20,152	18,665
(うち)貸倒引当金	73	77	0	0	0	0	0	0	0	414
研究研修費	120	230	191	247	320	90	218	87	206	80
雑支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
老健費用合計 E	226,715	238,239	222,692	211,088	218,934	224,799	217,912	214,567	208,016	214,704
老健事業損益 A-E	-20,403	-21,266	-16,964	-21,298	-25,622	-36,788	-36,489	-41,326	-40,282	-49,760
老健営業外費用	32,103	28,539	27,113	25,358	24,967	23,336	21,065	19,112	17,196	15,192
(うち)企業債支払利息	29,570	26,068	24,431	22,787	21,065	19,224	17,303	15,334	13,269	11,104
(うち)雑支出	2,532	2,471	2,683	2,571	3,902	4,113	3,763	3,778	3,927	4,088
経常費用合計 F	258,817	266,778	249,805	236,446	243,901	248,135	238,977	233,679	225,212	229,896
経常損益 G=D-F	3,428	5,624	10,703	8,058	4,682	-1,373	150	-2,886	502	-7,596
臨時損益 H	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
純損益 G+H	3,428	5,624	10,703	8,058	4,682	-1,373	150	-2,886	502	-7,596

●木曾介護老人保健施設

(単位：千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収 益										
入所収益	178,097	180,905	171,257	180,084	176,576	149,961	153,467	165,408	159,637	156,303
通所収益	8,904	10,224	11,659	10,503	10,758	10,977	10,130	7,737	6,983	7,273
利用料収入	24,395	23,086	23,794	24,782	24,065	24,447	25,809	28,983	27,374	26,558
老健収益合計 A	211,397	214,215	206,710	215,368	211,399	185,385	189,406	202,129	193,994	190,134
老健その他営業収益	19,360	20,267	21,214	22,383	23,423	28,987	31,838	33,087	34,415	36,696
(うち)運営費負担金	19,360	20,267	21,214	22,383	23,423	28,419	31,838	33,071	34,409	36,694
営業収益合計 B	230,757	234,482	227,924	237,751	234,822	214,371	221,244	235,215	228,410	226,830
営業外収益 C	28,340	26,658	25,077	23,683	22,171	20,704	19,256	19,929	16,323	15,136
(うち)運営費負担金(利息分)	27,958	26,598	25,046	23,625	22,090	20,598	18,885	17,084	15,200	13,228
経常収益合計 D=B+C	259,096	261,140	253,000	261,434	256,993	235,075	240,500	255,144	244,733	241,966
費 用										
給与費	146,005	158,674	140,989	151,270	152,494	148,587	162,084	144,501	153,600	157,328
(うち)給料	67,200	73,265	61,414	62,221	63,353	60,915	67,462	65,123	64,258	68,291
(うち)手当	22,584	20,880	21,129	22,253	18,654	19,928	21,364	17,128	15,905	19,220
(うち)賞与	16,221	17,758	12,788	13,637	14,921	13,942	17,328	16,147	17,622	18,923
(うち)賞与引当金繰入額	9,463	9,938	8,531	9,339	10,161	9,857	10,331	8,811	10,931	12,242
(うち)報酬	6,515	7,799	7,331	7,977	10,676	10,725	9,569	8,551	17,154	8,864
(うち)賃金	4,429	3,168	3,174	3,243	3,312	3,418	3,424	3,982	3,252	111
(うち)退職給付引当金繰入額	3,842	6,453	9,057	13,771	12,141	9,519	10,005	3,220	3,560	6,492
(うち)法定福利費	15,753	19,413	17,564	18,829	19,276	20,284	22,601	21,539	20,919	23,186
材料費	18,441	17,222	17,140	17,163	17,149	15,274	16,027	17,491	17,500	17,506
(うち)薬品費	2,531	2,572	2,173	2,284	2,123	1,414	1,802	2,151	2,617	1,956
(うち)診療材料費	2,932	2,278	2,589	2,515	2,726	2,699	2,785	3,084	2,928	3,040
(うち)給食材料費	12,456	11,710	11,853	12,194	12,299	11,161	11,440	12,257	11,955	12,510
減価償却費	26,984	26,997	15,832	17,283	18,039	17,761	17,811	17,909	14,398	14,284
資産減耗費	0	0	847	0	0	0	0	0	0	0
経 費	31,939	31,562	31,141	30,230	31,234	27,553	28,368	29,025	30,438	39,925
(うち)光熱水費	3,980	4,116	4,343	3,956	3,974	3,484	3,119	3,349	3,508	3,477
(うち)修繕費	1,073	1,683	1,070	1,682	3,994	1,430	3,388	3,119	2,766	1,614
(うち)賃借料	4,167	3,626	3,709	3,446	3,136	3,332	3,232	3,221	3,357	3,386
(うち)委託料	14,699	14,987	14,246	14,370	14,342	14,614	15,000	14,767	15,227	26,503
(うち)貸倒引当金	261	171	0	0	0	0	0	0	599	0
研究研修費	81	202	238	32	263	197	109	82	89	206
雑支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
老健費用合計 E	223,449	234,657	206,187	215,978	219,179	209,372	224,399	209,009	216,024	229,249
老健事業損益 A-E	-12,053	-20,442	523	-610	-7,780	-23,988	-34,993	-6,880	-22,030	-39,115
老健営業外費用	32,757	29,008	27,576	26,137	26,117	24,070	22,447	20,833	19,100	18,280
(うち)企業債支払利息	30,154	26,495	25,050	23,693	22,189	20,566	18,843	17,024	15,122	13,103
(うち)雑支出	2,603	2,513	2,527	2,444	3,928	3,505	3,604	3,809	3,978	5,176
経常費用合計 F	256,207	263,665	233,763	242,115	245,297	233,443	246,846	229,842	235,124	247,529
経常損益 G=D-F	2,890	-2,525	19,237	19,318	11,696	1,632	-6,346	25,302	9,609	-5,563
臨時損益 H	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
純損益 G+H	2,890	-2,525	19,237	19,318	11,696	1,632	-6,346	25,302	9,609	-5,563



●介護老人保健施設合計

(単位：千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収 益										
入所収益	351,135	363,075	339,011	334,537	334,193	304,390	300,914	307,341	295,050	290,272
通所収益	17,147	18,766	20,785	18,826	20,358	17,718	17,218	12,700	13,187	12,358
利用料収入	49,426	49,346	52,642	51,795	50,159	51,286	52,697	55,329	53,491	52,448
老健収益合計 A	417,709	431,187	412,438	405,158	404,711	373,395	370,829	375,370	361,728	355,078
老健その他営業収益	47,672	49,628	51,661	54,458	57,822	68,417	72,122	75,177	78,335	82,423
(うち)運営費負担金	47,672	49,628	51,661	54,458	57,822	67,501	72,122	75,161	78,329	82,400
営業収益合計 B	465,381	480,815	464,099	459,616	462,533	441,812	442,951	450,547	440,064	437,501
営業外収益 C	55,962	52,727	49,409	46,321	43,044	40,025	36,677	35,391	30,383	26,765
(うち)運営費負担金(利息分)	55,427	52,639	49,321	46,235	42,960	39,785	36,171	32,410	28,482	24,390
経常収益合計 D=B+C	521,342	533,542	513,508	505,937	505,577	481,837	479,627	485,938	470,447	464,266
費 用										
給与費	290,636	316,800	290,410	286,218	298,487	298,329	308,842	287,132	292,506	303,144
(うち)給料	134,151	138,931	129,115	115,877	124,155	122,834	127,662	123,323	116,705	126,463
(うち)手当	44,079	43,014	42,324	40,620	37,607	40,135	40,972	35,002	34,510	36,302
(うち)賞与	31,695	33,015	29,133	25,677	29,597	29,885	32,180	29,805	30,695	33,320
(うち)賞与引当金繰入額	18,926	19,876	17,061	15,729	18,798	19,195	20,117	17,623	20,710	22,152
(うち)報酬	15,398	19,341	13,131	23,175	21,580	20,174	18,224	17,711	29,149	24,062
(うち)賃金	5,602	4,325	4,331	4,374	5,290	7,706	6,563	6,441	6,882	3,228
(うち)退職給付引当金繰入額	9,712	21,264	20,693	25,252	23,846	17,495	19,747	16,703	13,853	14,682
(うち)法定福利費	31,073	37,035	34,622	35,514	37,614	40,905	43,376	40,523	40,002	42,934
材料費	35,401	34,246	34,694	33,931	33,081	30,892	30,405	31,735	30,939	31,540
(うち)薬品費	6,310	6,011	5,578	5,193	4,410	3,626	3,526	4,187	4,225	3,681
(うち)診療材料費	5,766	4,680	4,681	4,647	4,944	4,926	4,701	4,961	4,625	5,050
(うち)給食材料費	22,628	22,644	23,528	23,716	23,727	22,340	22,178	22,587	22,089	22,809
減価償却費	59,818	59,085	37,434	43,543	43,383	43,111	43,660	44,321	36,731	36,980
資産減耗費	0	0	847	0	0	0	0	0	0	0
経 費	64,108	62,332	65,065	63,094	62,579	61,552	59,077	60,218	63,569	72,003
(うち)光熱水費	6,594	6,533	6,812	6,439	6,621	5,973	5,303	5,609	6,067	6,177
(うち)修繕費	4,012	2,636	3,502	3,861	4,437	6,321	5,668	6,702	3,714	2,080
(うち)賃借料	6,676	6,220	6,260	5,901	5,597	5,923	5,772	5,709	5,780	5,774
(うち)委託料	31,208	31,764	32,884	32,806	32,711	32,346	32,973	31,194	35,379	45,167
(うち)貸倒引当金	333	248	0	0	0	0	0	0	599	414
研究研修費	201	432	430	280	583	287	326	170	295	286
雑支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
老健費用合計 E	450,164	472,896	428,879	427,066	438,113	434,171	442,311	423,576	424,040	443,952
老健事業損益 A-E	-32,456	-41,708	-16,441	-21,908	-33,402	-60,776	-71,482	-48,206	-62,312	-88,875
老健営業外費用	64,860	57,547	54,689	51,496	51,085	47,407	43,512	39,946	36,296	33,472
(うち)企業債支払利息	59,725	52,563	49,480	46,480	43,255	39,790	36,146	32,358	28,391	24,208
(うち)雑支出	5,135	4,984	5,209	5,015	7,830	7,617	7,367	7,587	7,905	9,264
経常費用合計 F	515,024	530,443	483,569	478,561	489,198	481,578	485,824	463,522	460,336	477,425
経常損益 G=D-F	6,318	3,099	29,939	27,376	16,379	259	-6,196	22,416	10,111	-13,159
臨時損益 H	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
純損益 G+H	6,318	3,099	29,939	27,376	16,379	259	-6,196	22,416	10,111	-13,159

●信州木曾看護専門学校

(単位：千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収 益										
授業料	-	-	-	-	6,500	11,000	15,700	14,833	14,650	14,800
入学料	-	-	-	-	1,850	1,450	1,300	1,400	1,350	1,600
受験料	-	-	-	-	980	600	640	680	850	720
施設整備費	-	-	-	-	813	1,375	1,963	1,854	1,834	1,850
その他看護師養成所収益	-	-	-	-	0	123	142	203	162	128
看護師養成所収益合計 A	-	-	-	-	10,143	14,548	19,744	18,970	18,846	19,098
看護師養成所その他営業収益	-	-	-	-	80,927	103,368	102,832	105,014	103,587	102,706
(うち)運営費負担金	-	-	-	-	72,201	93,441	92,557	94,996	93,712	94,862
営業収益合計 B	-	-	-	-	91,069	117,916	122,576	123,984	122,433	121,804
営業外収益 C	-	-	-	-	3,875	6,887	9,511	9,637	9,165	9,449
(うち)運営費負担金(利息分)	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
経常収益合計 D=B+C	-	-	-	-	94,945	124,803	132,087	133,621	131,598	131,253
費 用										
給与費	-	-	-	-	88,937	99,887	113,266	117,042	113,403	111,749
(うち)給料	-	-	-	-	43,794	45,039	49,863	49,977	46,883	45,946
(うち)手当	-	-	-	-	8,902	10,583	11,206	11,291	9,785	8,621
(うち)賞与	-	-	-	-	14,417	12,688	14,003	14,204	13,010	12,458
(うち)賞与引当金繰入額	-	-	-	-	4,064	4,669	4,893	5,507	5,753	6,995
(うち)報酬	-	-	-	-	2,432	3,199	3,604	3,297	3,331	6,720
(うち)賃金	-	-	-	-	993	3,774	4,226	4,152	7,079	6,230
(うち)退職給付引当金繰入額	-	-	-	-	1,402	6,395	10,140	13,181	12,710	10,033
(うち)法定福利費	-	-	-	-	12,933	13,539	15,331	15,434	14,852	14,744
材料費	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
(うち)薬品費	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
(うち)診療材料費	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
(うち)給食材料費	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
減価償却費	-	-	-	-	11,509	13,027	13,531	13,409	12,911	8,321
資産減耗費	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
経 費	-	-	-	-	18,154	26,146	29,657	28,404	28,440	30,300
(うち)光熱水費	-	-	-	-	858	1,189	1,155	876	836	805
(うち)修繕費	-	-	-	-	264	1,526	297	481	499	391
(うち)賃借料	-	-	-	-	6,919	11,850	14,378	14,276	14,331	14,866
(うち)委託料	-	-	-	-	1,490	1,301	1,532	1,701	1,770	2,394
(うち)貸倒引当金	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
研究研修費	-	-	-	-	993	926	312	330	153	1,607
雑支出	-	-	-	-	0	170	0	0	0	0
看護師養成所費用合計 E	-	-	-	-	119,593	140,156	156,767	159,185	154,907	151,977
看護師養成所事業損益 A-E	-	-	-	-	-109,451	-125,607	-137,022	-140,215	-136,061	-132,879
看護師養成所営業外費用	-	-	-	-	1,118	1,327	1,352	1,274	1,281	1,747
(うち)企業債支払利息	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
(うち)雑支出	-	-	-	-	1,118	1,327	1,351	1,273	1,281	1,747
経常費用合計 F	-	-	-	-	120,712	141,483	158,118	160,459	156,188	153,724
経常損益 G=D-F	-	-	-	-	-25,767	-16,680	-26,031	-26,838	-24,590	-22,471
臨時損益 H	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
純損益 G+H	-	-	-	-	-25,767	-16,680	-26,031	-26,838	-24,590	-22,471

※平成26年度 開校



●本部

(単位：千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収 益										
一般管理収益合計 A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般管理その他営業収益	144,203	277,977	276,469	205,627	156,639	27,558	24,737	27,361	17,708	22,149
(うち)運営費負担金	144,203	276,972	273,320	176,550	153,203	24,122	21,362	24,948	12,688	16,339
営業収益合計 B	144,203	277,977	276,469	205,627	156,639	27,558	24,737	27,361	17,708	22,149
営業外収益 C	4,213	1,323	3,454	20,634	25,661	22,156	10,673	6,260	6,595	3,900
(うち)運営費負担金(利息分)	246	248	199	141	101	53	36	33	69	73
経常収益合計 D=B+C	148,416	279,300	279,923	226,260	182,300	49,714	35,410	33,621	24,303	26,049
費 用										
給与費	231,414	252,415	262,579	259,032	223,028	230,714	274,278	271,756	254,735	280,464
(うち)給料	104,794	113,341	122,980	114,616	99,471	98,619	120,242	119,779	103,526	116,719
(うち)手当	34,134	37,683	30,573	24,923	20,275	24,344	31,282	28,082	24,390	27,573
(うち)賞与	27,122	31,427	34,163	31,022	25,465	27,873	36,460	36,590	34,244	36,940
(うち)賞与引当金繰入額	12,451	13,076	12,545	12,780	11,177	10,375	11,418	11,014	13,232	16,322
(うち)報酬	23,647	23,962	25,002	30,376	24,310	24,426	24,860	24,079	26,618	26,560
(うち)賃金	2,829	1,759	1,724	2,084	2,128	0	0	1,436	1,388	0
(うち)退職給付引当金繰入額	4,113	3,543	6,494	8,370	9,586	14,158	11,471	13,462	15,521	17,332
(うち)法定福利費	22,325	27,623	29,097	34,862	30,617	30,919	38,545	37,314	35,815	39,017
材料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(うち)薬品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(うち)診療材料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(うち)給食材料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	14,958	16,311	19,552	21,043	26,641	18,226	16,694	21,124	24,043	21,272
資産減耗費	0	0	0	0	0	0	63	0	0	0
経 費	35,388	46,157	46,614	69,424	40,018	36,566	52,423	49,915	35,031	34,105
(うち)光熱水費	0	0	0	190	0	0	0	0	0	0
(うち)修繕費	124	286	360	1,043	549	347	524	199	483	225
(うち)賃借料	3,535	1,909	1,581	1,694	1,948	1,647	1,652	1,486	1,708	2,009
(うち)委託料	10,615	16,828	18,142	17,476	16,259	16,638	26,877	27,153	14,175	15,169
(うち)貸倒引当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研究研修費	2,379	3,796	17,450	19,043	7,692	10,545	12,510	12,533	5,978	4,356
雑支出	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0
一般管理費用合計 E	284,139	318,679	346,195	368,542	297,398	296,052	355,969	355,327	319,787	340,197
一般管理事業損益 A-E	-284,139	-318,679	-346,195	-368,542	-297,398	-296,052	-355,969	-355,327	-319,787	-340,197
一般管理営業外費用	2,173	2,850	3,014	4,276	3,563	3,794	4,932	4,119	1,838	3,656
(うち)企業債支払利息	252	263	233	178	158	105	72	68	138	147
(うち)雑支出	1,922	2,587	2,781	4,099	3,404	3,689	4,860	4,051	1,700	3,509
経常費用合計 F	286,312	321,528	349,208	372,818	300,961	299,846	360,902	359,446	321,624	343,853
経常損益 G=D-F	-137,897	-42,228	-69,286	-146,558	-118,660	-250,131	-325,492	-325,826	-297,321	-317,804
臨時損益 H	0	0	0	0	0	0	0	0	-382	0
純損益 G+H	-137,897	-42,228	-69,286	-146,558	-118,660	-250,131	-325,492	-325,826	-297,703	-317,804

●機構全体

(単位：千円)

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収 益										
入院収益	10,882,977	11,024,917	11,374,473	11,615,566	11,669,226	11,962,262	12,004,970	12,063,886	12,481,914	12,402,744
外来診療収益	4,227,010	4,372,062	4,489,807	4,417,641	4,366,124	4,444,917	4,275,780	4,311,713	4,352,810	4,523,529
室料差額収益	27,831	27,858	28,256	27,996	29,156	32,341	27,325	32,053	31,894	48,117
公衆衛生活動収益	257,399	277,242	286,897	316,249	322,057	331,999	330,741	337,894	362,252	373,135
その他医業収益	96,253	107,085	97,928	113,946	108,016	107,315	105,522	106,642	101,363	98,794
保険等査定減	-32,039	-25,360	-27,403	-31,157	-36,697	-32,647	-34,198	-37,916	-26,483	-44,740
医業収益合計 A	15,459,430	15,783,803	16,249,958	16,460,242	16,457,882	16,846,188	16,710,140	16,814,272	17,303,748	17,401,578
老健収益合計 A	417,709	431,187	412,438	405,158	404,711	373,395	370,829	375,370	361,728	355,078
看護師養成所収益合計 A	0	0	0	0	10,143	14,548	19,744	18,970	18,846	19,098
その他営業収益	4,826,327	4,675,101	4,709,034	4,839,368	4,948,078	5,262,923	5,328,044	5,374,908	5,473,075	5,514,393
(うち)運営費負担金	4,620,956	4,424,995	4,461,027	4,496,971	4,602,745	4,956,619	4,999,779	5,044,967	5,088,904	5,135,154
営業収益合計 B	20,703,466	20,890,091	21,371,430	21,704,768	21,820,813	22,497,055	22,428,756	22,583,520	23,157,397	23,290,147
営業外収益 C	875,623	859,209	853,652	828,356	784,744	724,917	665,756	617,271	605,646	572,819
(うち)運営費負担金(利息分)	659,044	675,005	638,973	603,029	569,456	523,381	480,221	435,033	391,096	344,846
経常収益合計 D=B+C	21,579,089	21,749,301	22,225,082	22,533,124	22,605,557	23,221,972	23,094,512	23,200,791	23,763,042	23,862,966
費 用										
給与費	10,555,035	11,213,513	11,352,920	11,574,242	12,042,067	12,540,886	13,029,350	13,012,250	13,109,864	13,374,003
(うち)給料	4,188,618	4,351,047	4,420,180	4,545,897	4,770,777	4,823,454	4,966,055	4,996,399	4,977,875	4,975,576
(うち)手当	2,458,036	2,425,794	2,392,903	2,485,877	2,410,364	2,493,502	2,554,436	2,451,085	2,480,103	2,535,406
(うち)賞与	1,006,729	1,092,866	1,081,339	1,133,333	1,262,143	1,299,384	1,375,465	1,420,064	1,464,330	1,573,707
(うち)賞与引当金繰入額	534,897	568,032	556,504	565,746	611,185	634,457	676,922	682,333	704,155	729,848
(うち)報酬	701,993	871,849	923,914	938,822	917,438	960,777	948,054	969,961	932,395	1,077,922
(うち)賃金	186,706	224,617	213,339	213,820	203,578	221,850	256,622	276,329	276,883	190,580
(うち)退職給付引当金繰入額	408,942	461,855	513,900	322,585	430,186	535,400	540,950	527,415	588,102	541,719
(うち)法定福利費	1,069,113	1,217,453	1,250,840	1,368,161	1,436,396	1,572,061	1,710,844	1,688,663	1,686,021	1,749,245
材料費	4,151,873	4,110,759	4,148,612	4,159,363	3,814,712	3,928,853	3,778,940	3,720,002	3,848,137	4,068,158
(うち)薬品費	2,212,485	2,218,017	2,316,231	2,219,196	2,016,487	2,045,008	1,864,703	1,807,857	1,934,394	2,089,273
(うち)診療材料費	1,714,392	1,693,741	1,630,823	1,732,112	1,613,211	1,683,948	1,721,107	1,710,472	1,710,151	1,779,465
(うち)給食材料費	192,021	173,645	172,284	179,130	175,304	188,609	182,740	190,942	189,624	187,110
減価償却費	2,146,992	2,466,686	2,361,260	2,459,934	2,427,096	2,391,439	2,329,958	2,252,714	2,017,928	2,007,712
資産減耗費	15,962	19,976	865	429	406	4,740	22,242	490	0	0
経 費	2,958,539	2,892,560	2,908,759	3,194,037	3,144,198	3,118,474	3,067,340	3,250,660	3,309,939	3,450,607
(うち)光熱水費	269,805	284,731	302,899	323,790	342,877	311,258	277,299	303,648	320,019	308,908
(うち)修繕費	289,843	218,898	252,983	283,164	193,796	189,136	161,927	200,968	198,191	201,920
(うち)賃借料	291,608	307,318	323,293	363,791	402,013	387,521	383,870	388,582	402,941	446,574
(うち)委託料	1,454,329	1,401,286	1,408,043	1,496,983	1,564,304	1,682,938	1,723,689	1,768,730	1,795,159	1,871,665
(うち)貸倒引当金	10,702	18,651	4,960	698	3,240	7,273	1,796	0	1,281	4,751
研究研修費	74,650	70,577	88,838	102,947	87,968	82,958	81,938	76,879	71,710	70,042
雑支出	0	0	1,584	48	812	170	0	0	0	0
営業費用合計 E	19,903,050	20,774,071	20,862,838	21,491,000	21,517,259	22,067,519	22,309,769	22,312,996	22,357,578	22,970,522
営業事業損益 A-E	-4,025,911	-4,559,080	-4,200,442	-4,625,600	-4,644,524	-4,833,387	-5,209,056	-5,104,384	-4,673,256	-5,194,768
営業外費用	1,073,258	1,035,456	1,029,497	1,028,532	1,157,853	1,117,879	1,048,542	1,011,296	988,097	1,035,542
(うち)企業債支払利息	714,164	678,006	646,940	614,707	582,626	538,337	492,106	449,510	404,026	356,111
(うち)雑支出	344,814	336,854	352,837	381,528	547,389	550,343	533,372	541,671	563,367	664,910
経常費用合計 F	20,976,308	21,809,528	21,892,334	22,519,532	22,675,112	23,185,397	23,358,311	23,324,292	23,345,675	24,006,064
経常損益 G=D-F	602,782	-60,227	332,748	13,592	-69,555	36,575	-263,799	-123,501	417,367	-143,098
臨時損益 H	-203,744	-275,144	-264,686	-60,494	-3,330	-3,893	0	-6,958	-612	-4,841
純損益 G+H	399,038	-335,371	68,061	-46,902	-72,885	32,682	-263,799	-130,458	416,755	-147,940



2 貸借対照表

地方独立行政法人長野県立病院機構

●貸借対照表 (平成 23 年 3 月 31 日) (単位：円)

(単位：円)

科 目	金 額		
資産の部			
Ⅰ 固定資産			
有形固定資産			
土地		3,089,959,208	
建物	23,148,297,570		
建物減価償却累計額	1,055,461,228	22,092,836,342	
構築物	374,434,266		
構築物減価償却累計額	32,770,838	341,663,428	
器械備品	4,791,387,899		
器械備品減価償却累計額	1,033,376,427	3,758,011,472	
車両	36,939,545		
車両減価償却累計額	12,300,524	24,639,021	
その他有形固定資産		1,000,000	
建設仮勘定		88,209,816	
有形固定資産 合計		29,396,319,287	
無形固定資産			
借地権		47,517,500	
ソフトウェア		18,523,350	
電話加入権		184,000	
無形固定資産 合計		66,224,850	
投資その他の資産			
長期貸付金	32,340,000		
貸倒引当金	▲14,274,273	18,065,727	
固定資産 合計			29,480,609,864
Ⅱ 流動資産			
現金及び預金		6,322,554,094	
未収金	3,197,302,680		
貸倒引当金	▲77,638,720	3,119,663,960	
医薬品		136,565,271	
診療材料		500,522	
貯蔵品		12,790,685	
前渡金		7,431,270	
前払費用		2,940,213	
仮払金		315,000	
流動資産 合計			9,602,761,015
資産合計			39,083,370,879

科 目	金 額		
負債の部			
Ⅰ 固定負債			
資産見返負債			
資産見返補助金等	346,075,529		
資産見返物品受贈額	3,052,350	349,127,879	
長期借入金		3,180,200,000	
移行前地方債償還債務		23,443,151,447	
引当金			
退職給付引当金	6,006,221,102		
役員退職慰労引当金	850,000	6,007,071,102	
リース債務		317,399,880	
固定負債 合計			33,296,950,308
Ⅱ 流動負債			
寄附金債務		3,000,000	
1年以内返済予定移行前地方債償還債務		2,097,884,720	
1年以内支払予定リース債務		232,630,860	
未払金		2,077,174,474	
未払費用		30,823,508	
未払消費税等		10,769,700	
預り金		87,229,739	
賞与引当金		534,897,108	
仮受金		7,351,000	
流動負債 合計			5,081,761,109
負債合計			38,378,711,417
純資産の部			
Ⅰ 資本金			
設立団体出資金		305,621,763	
資本金 合計			305,621,763
Ⅱ 利益剰余金			
当期末処分利益		399,037,699	
(うち当期総利益)		(399,037,699)	
利益剰余金 合計			399,037,699
純資産 合計			704,659,462
負債純資産合計			39,083,370,879

●貸借対照表 (令和2年3月31日現在) (単位:円)

(単位:円)

科 目	金 額		
資産の部			
Ⅰ 固定資産			
有形固定資産			
土地		3,110,065,208	
建物	27,823,606,354		
建物減価償却累計額	▲11,648,651,720	16,174,954,634	
構築物	632,492,683		
構築物減価償却累計額	▲343,430,145	289,062,538	
器械備品	11,314,163,741		
器械備品減価償却累計額	▲8,450,725,334	2,863,438,407	
車両	135,442,823		
車両減価償却累計額	▲90,268,561	45,174,262	
その他有形固定資産	34,954,936		
その他有形固定資産減価償却累計額	▲536,491	34,418,445	
建設仮勘定		22,517,113,494	
有形固定資産 合計		23,537,994,338	
無形固定資産			
借地権		47,517,500	
ソフトウェア		2,408,023	
電話加入権		184,000	
無形固定資産 合計		50,109,523	
投資その他の資産			
長期貸付金	62,160,000		
貸倒引当金	▲38,992,281	23,167,719	
長期前払費用		4,951,720	
その他投資資産		1,000,118,000	
投資その他の資産 合計		1,028,237,439	
固定資産 合計			23,595,460,456
Ⅱ 流動資産			
現金及び預金		3,781,981,211	
未収金	3,460,478,690		
貸倒引当金	▲26,458,936	3,434,019,754	
医薬品		83,086,347	
診療材料		80,401,477	
貯蔵品		6,487,223	
前渡金		16,500	
前払費用		14,370,395	
未収収益		1,020,492	
立替金		1,116,447	
流動資産 合計			7,402,499,846
資産合計			30,997,960,302

科 目	金 額		
負債の部			
Ⅰ 固定負債			
資産見返負債			
資産見返補助金等	1,002,452,681		
資産見返物品受贈額	87,254,388	1,089,707,069	
長期借入金		7,071,328,127	
移行前地方債償還債務		9,937,271,457	
引当金			
退職給付引当金	6,848,940,826		
役員退職慰労引当金	5,950,000	6,854,890,826	
長期リース債務		70,611,630	
固定負債 合計			25,023,809,109
Ⅱ 流動負債		67,302,587	
寄附金債務		1,410,260,553	
1年以内返済予定長期借入金		1,462,645,187	
1年以内返済予定移行前地方債償還債務		36,692,856	
1年以内支払予定リース債務		1,868,601,899	
未払金		15,476,880	
未払費用		10,755,000	
未払消費税等		125,541,762	
預り金		729,847,552	
賞与引当金		2,118,373	
その他流動負債			5,729,242,649
流動負債 合計			30,753,051,758
負債合計			32,780,218,542
純資産の部			
Ⅰ 資本金			
設立団体出資金		305,621,763	
資本金 合計			305,621,763
Ⅱ 資本剰余金			
資本剰余金		20,106,000	
資本剰余金 合計			20,106,000
Ⅲ 利益剰余金			
積立金		67,120,333	
当期末処分利益		▲147,939,552	
(うち当期総利益)		▲147,939,552	
利益剰余金 合計			▲80,819,219
純資産 合計			244,908,544
負債純資産合計			30,997,960,302



3 資本的収入及び支出

●信州医療センター

(単位：千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
資本的収入										
企業債	83,225	894,000	179,800	110,000	99,900	117,352	453,843	567,477	657,066	287,299
国庫(県)補助金	0	0	0	0	420	394	38,930	37,871	0	0
不要資産売却収入	107	0	0	0	0	0	0	588	90,000	630
その他(長期貸付返還金)	0	300	2,100	600	1,200	3,600	4,800	1,800	0	0
資本的収入合計	83,333	894,300	181,900	110,600	101,520	121,346	497,573	607,735	747,066	287,929

資本的支出

建設工事費	6,405	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設改良工事費	0	14,847	17,924	4,956	0	0	278,441	417,679	58,239	108,833
医療器械購入費	65,793	860,184	157,738	83,913	87,286	115,753	214,630	181,880	691,512	178,013
備品購入費	10,444	18,596	5,053	18,906	2,026	346	257	4,776	1,609	1,344
車両購入費	0	868	2,399	2,447	1,261	1,183	0	1,498	2,544	1,690
ソフトウェア購入費	668	0	0	0	10,789	479	524	2	0	1,023
償還金償還額	694,649	676,082	588,841	753,779	746,466	720,024	734,955	550,528	571,589	599,421
長期貸付金等	6,000	15,850	21,300	16,653	13,600	14,800	7,200	1,265	3,000	0
資本的支出合計	783,960	1,586,427	793,255	880,653	861,428	852,585	1,236,006	1,157,630	1,328,494	890,324

●こころの医療センター駒ヶ根

(単位：千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
資本的収入										
企業債	2,175,425	587,700	1,500	16,500	1,200	47,595	5,372	5,689	221,657	10,526
国庫(県)補助金	350,482	37,826	140	4,339	0	833	238	0	0	0
不要資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	3,000	0	0
その他(長期貸付返還金)	0	0	0	0	0	1,200	0	1,800	128	0
資本的収入合計	2,525,907	625,526	1,640	20,839	1,200	49,628	5,610	10,489	221,785	10,526

資本的支出

建設工事費	2,427,462	359,458	0	0	0	0	0	0	0	0
建設改良工事費	0	6,300	0	0	0	0	0	0	6,310	0
医療器械購入費	88,076	157,653	1,301	19,176	968	40,464	5,903	4,403	215,357	6,077
備品購入費	10,905	556	247	832	325	1,966	0	2,029	0	1,600
車両購入費	0	0	1,579	884	0	6,167	0	5,108	0	3,413
ソフトウェア購入費	668	0	0	0	0	0	0	0	116	0
償還金償還額	53,181	16,220	35,106	69,356	144,666	164,945	182,289	165,105	168,280	167,819
長期貸付金等	0	600	3,602	3,516	2,155	715	340	0	0	0
資本的支出合計	2,580,292	540,788	41,836	93,765	148,113	214,257	188,532	176,645	390,064	178,908

●阿南病院

(単位：千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
資本的収入										
企業債	236,225	197,200	852,600	1,281,500	35,700	36,972	54,251	46,475	105,476	56,158
国庫(県)補助金	0	0	394,070	9,056	0	0	0	997	0	0
不要資産売却収入	0	0	0	0	0	32	0	0	0	0
その他(長期貸付返還金)	0	0	960	960	2,400	0	2,400	1,500	0	0
資本的収入合計	236,225	197,200	1,247,630	1,291,516	38,100	37,004	56,651	48,972	105,476	56,158

資本的支出

建設工事費	58,131	134,733	1,207,456	827,878	0	0	0	0	0	0
建設改良工事費	85,705	5,002	16,212	56,006	14,776	4,347	4,093	16,524	4,968	25,300
医療器械購入費	90,006	37,885	20,211	348,171	21,160	23,079	47,603	30,953	100,465	33,197
備品購入費	2,013	1,969	3,038	21,310	0	8,492	2,970	421	489	167
車両購入費	0	0	0	0	0	1,306	0	0	0	0
ソフトウェア購入費	668	0	0	0	0	0	0	0	0	0
償還金償還額	141,109	131,712	137,234	128,535	80,886	158,394	182,811	225,131	241,319	168,019
長期貸付金等	1,440	4,800	2,400	4,320	4,440	5,040	3,240	1,860	600	960
資本的支出合計	379,072	316,102	1,386,552	1,386,218	121,263	200,657	240,718	274,889	347,841	227,644

●木曽病院

(単位：千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
資本的収入										
企業債	324,225	146,800	132,100	244,000	574,000	179,389	275,416	56,247	29,615	104,499
国庫(県)補助金	0	4,203	14,546	70,349	49,412	11,332	11,289	3,695	1,239	55,356
不要資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(長期貸付返還金)	480	0	900	4,320	6,960	0	2,280	480	0	2,880
資本的収入合計	324,705	151,003	147,546	318,669	630,372	190,721	288,985	60,422	30,854	162,735

資本的支出

建設工事費	22,639	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設改良工事費	29,831	52,400	59,500	35,680	132,192	48,362	163,942	0	4,212	87,752
医療器械購入費	264,798	97,883	80,321	258,818	489,008	137,249	119,280	59,660	24,758	57,424
備品購入費	6,585	860	7,040	8,968	907	1,382	2,431	1,200	258	13,024
車両購入費	0	0	1,148	7,102	0	0	1,060	0	1,469	2,063
ソフトウェア購入費	668	0	0	0	0	0	0	0	0	0
償還金償還額	385,294	421,837	393,008	405,582	414,451	445,648	517,710	526,204	555,028	500,117
長期貸付金等	9,660	15,460	15,180	15,960	8,820	5,940	7,680	6,720	7,320	4,680
資本的支出合計	719,475	588,440	556,196	732,110	1,045,378	638,581	812,102	593,784	593,044	665,060



●こども病院

(単位：千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
資本的収入										
企業債	331,225	294,100	459,100	389,200	142,100	381,952	1,170,145	356,432	282,298	293,925
国庫(県)補助金	0	13,199	7,805	10,669	0	0	130,161	74,941	0	0
不要資産売却収入	0	0	0	0	0	470	20,488	57,429	1,377	32,248
その他(長期貸付返還金)	1,200	300	600	1,500	2,700	3,900	4,500	2,400	204	93
資本的収入合計	332,425	307,599	467,505	401,369	144,800	386,322	1,325,294	491,202	283,879	326,265
資本的支出										
建設工事費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設改良工事費	43,607	12,732	33,406	28,136	0	190,591	370,886	211,863	13,748	60,312
医療器械購入費	285,322	259,092	419,328	357,774	140,546	191,521	936,395	210,590	272,942	278,497
備品購入費	3,010	32,099	14,650	8,468	1,602	0	0	1,689	227	248
車両購入費	2,288	0	0	10,301	0	0	387	50,220	1,150	1,540
ソフトウェア購入費	668	3,444	173	8,652	0	0	0	0	0	799
償還金償還額	805,587	768,569	855,036	820,139	859,833	910,576	884,002	875,499	985,795	977,206
長期貸付金等	4,800	13,500	16,800	16,500	10,500	4,500	900	0	0	0
資本的支出合計	1,145,281	1,089,436	1,339,393	1,249,969	1,012,481	1,297,188	2,192,570	1,349,862	1,273,862	1,318,603

●阿南介護老人保健施設

(単位：千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
資本的収入										
企業債	24,300	2,100	7,100	7,900	3,900	1,436	12,598	1,900	2,100	6,100
国庫(県)補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不要資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(長期貸付返還金)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的収入合計	24,300	2,100	7,100	7,900	3,900	1,436	12,598	1,900	2,100	6,100
資本的支出										
建設工事費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設改良工事費	22,479	0	4,830	6,502	2,095	0	10,638	0	0	0
医療器械購入費	1,916	2,108	2,328	1,469	1,937	1,436	1,998	1,967	2,106	1,364
備品購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,024
車両購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,782
ソフトウェア購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
償還金償還額	42,467	44,040	46,146	48,363	52,428	54,620	56,912	59,250	61,396	63,657
長期貸付金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的支出合計	66,862	46,149	53,304	56,333	56,461	56,056	69,548	61,217	63,502	69,828

●木曾介護老人保健施設

(単位：千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
資本的収入										
企業債	0	1,400	16,000	21,400	3,500	928	0	0	1,300	0
国庫(県)補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不要資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(長期貸付返還金)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的収入合計	0	1,400	16,000	21,400	3,500	928	0	0	1,300	0

資本的支出

建設工事費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設改良工事費	0	0	16,045	20,288	3,590	0	0	0	1,350	0
医療器械購入費	0	1,428	0	1,241	0	929	907	0	0	0
備品購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	289
車両購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ソフトウェア購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
償還金償還額	29,040	30,399	31,822	33,662	35,222	37,155	43,482	45,174	47,351	49,034
長期貸付金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的支出合計	29,040	31,827	47,867	55,192	38,812	38,084	44,389	45,174	48,701	49,324

●信州木曾看護専門学校

(単位：千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
資本的収入										
企業債	-	-	-	-	300	297	0	0	0	0
国庫(県)補助金	-	-	-	-	35,725	8,896	0	0	0	0
不要資産売却収入	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
その他(長期貸付返還金)	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
資本的収入合計	-	-	-	-	36,025	9,193	0	0	0	0

資本的支出

建設工事費	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
建設改良工事費	-	-	-	-	39,360	10,945	0	0	0	0
医療器械購入費	-	-	-	-	336	0	0	0	0	0
備品購入費	-	-	-	-	0	298	0	0	0	0
車両購入費	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
ソフトウェア購入費	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
償還金償還額	-	-	-	-	0	0	75	149	149	149
長期貸付金等	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
資本的支出合計	-	-	-	-	39,696	11,243	75	149	149	149

※平成26年度 開校



●本部

(単位：千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
資本的収入										
企業債	5,573	10,800	5,300	20,100	19,000	1,579	10,775	47,380	22,588	67,993
国庫(県)補助金	0	5,401	2,685	100,974	0	0	0	0	0	0
不要資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(長期貸付返還金)	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0
資本的収入合計	5,573	16,201	7,994	121,074	19,000	1,579	10,775	47,380	22,588	67,993

資本的支出

建設工事費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設改良工事費	0	0	0	77,103	19,008	0	0	16,203	0	0
医療器械購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
備品購入費	5,577	16,638	8,058	41,083	0	1,705	9,828	31,212	22,825	68,005
車両購入費	0	0	0	11,294	0	0	1,698	0	1,887	0
ソフトウェア購入費	0	0	0	0	0	0	1,188	0	0	0
償還金償還額	0	9,025	10,418	13,118	14,443	10,443	13,800	11,495	12,864	15,634
長期貸付金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的支出合計	5,577	25,663	18,476	142,598	33,451	12,148	26,514	58,910	37,576	83,638

●機構全体

(単位：千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
資本的収入										
企業債	3,180,200	2,134,100	1,653,500	2,090,600	879,600	767,500	1,982,400	1,081,600	1,322,100	826,500
国庫(県)補助金	350,482	60,629	419,246	195,387	85,557	21,455	180,618	117,504	1,239	55,356
不要資産売却収入	107	0	0	0	0	502	20,488	61,017	91,377	32,878
その他(長期貸付返還金)	1,680	600	4,569	7,380	13,260	8,700	13,980	7,980	332	2,973
資本的収入合計	3,532,469	2,195,329	2,077,315	2,293,367	978,417	798,157	2,197,486	1,268,101	1,415,048	917,706

資本的支出

建設工事費	2,514,637	494,192	1,207,456	827,878	0	0	0	0	0	0
建設改良工事費	181,622	91,281	147,917	228,669	211,021	254,245	828,000	662,269	88,828	282,198
医療器械購入費	795,911	1,416,234	681,228	1,070,562	741,241	510,430	1,326,716	489,452	1,307,140	554,572
備品購入費	38,535	70,718	38,087	99,567	4,860	14,190	15,485	41,328	25,408	86,701
車両購入費	2,288	868	5,126	32,028	1,261	8,656	3,146	56,826	7,051	11,488
ソフトウェア購入費	3,339	3,444	173	8,652	10,789	479	1,712	2	116	1,822
償還金償還額	2,151,328	2,097,885	2,097,612	2,272,534	2,348,395	2,501,806	2,616,036	2,458,536	2,643,771	2,541,056
長期貸付金等	21,900	50,210	59,282	56,949	39,515	30,995	19,360	9,845	10,920	5,640
資本的支出合計	5,709,558	4,224,831	4,236,881	4,596,838	3,357,082	3,320,800	4,810,455	3,718,259	4,083,233	3,483,478

4 損益の推移

●信州医療センター

(単位：千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常収益	6,216,238	6,047,878	6,157,473	6,278,977	6,054,121	6,593,766	6,465,556	6,568,626	6,810,706	7,178,692
特別利益	2,483	0	0	0	0	0	0	30	43,064	40
収入計	6,218,722	6,047,878	6,157,473	6,278,977	6,054,121	6,593,766	6,465,556	6,568,656	6,853,771	7,178,732
経常費用	6,041,060	6,292,484	6,116,783	6,192,402	6,185,680	6,502,396	6,458,408	6,670,987	6,678,365	7,167,894
臨時損失	2,462	0	585	0	0	0	0	6,988	41,271	2,128
支出計	6,043,521	6,292,484	6,117,368	6,192,402	6,185,680	6,502,396	6,458,408	6,677,975	6,719,636	7,170,022
経常損益	175,178	-244,606	40,690	86,574	-131,559	91,371	7,148	-102,361	132,341	10,799
経常損益累積	175,178	-69,427	-28,737	57,837	-73,722	17,649	24,797	-77,564	54,777	65,576
純損益	175,200	-244,606	40,105	86,574	-131,559	91,371	7,148	-109,319	134,134	8,710
純損益累積	175,200	-69,405	-29,300	57,274	-74,285	17,086	24,234	-85,085	49,049	57,759
現金収支	9,107	-187,785	86,995	-29,284	-204,154	86,583	-51,072	-3,011	52,504	-129,710
現金収支累積	9,107	-178,678	-91,683	-120,967	-325,120	-238,537	-289,609	-292,620	-240,115	-369,826

●こころの医療センター駒ヶ根

(単位：千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常収益	1,769,826	1,778,883	1,839,273	1,894,266	2,044,368	1,979,873	1,934,035	2,000,712	1,987,337	2,016,780
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収入計	1,769,826	1,778,883	1,839,273	1,894,266	2,044,368	1,979,873	1,934,035	2,000,712	1,987,337	2,016,780
経常費用	1,688,129	1,863,592	1,942,488	1,965,704	2,063,120	1,943,513	1,975,141	1,975,527	2,021,044	2,026,972
臨時損失	193,723	113,726	12,592	19,241	0	0	0	0	130	461
支出計	1,881,853	1,977,319	1,955,080	1,984,945	2,063,120	1,943,513	1,975,141	1,975,527	2,021,174	2,027,434
経常損益	81,697	-84,710	-103,215	-71,437	-18,751	36,360	-41,106	25,185	-33,708	-10,192
経常損益累積	81,697	-3,013	-106,228	-177,665	-196,417	-160,057	-201,162	-175,977	-209,685	-219,877
純損益	-112,027	-198,436	-115,807	-90,679	-18,751	36,360	-41,106	25,185	-33,837	-10,653
純損益累積	-112,027	-310,463	-426,270	-516,948	-535,700	-499,340	-540,445	-515,260	-549,097	-559,751
現金収支	52,034	-117,901	67,657	-179	-25,921	53,721	-76,650	-8,815	-51,787	-45,451
現金収支累積	52,034	-65,867	1,790	1,610	-24,311	29,410	-47,240	-56,054	-107,841	-153,292

●阿南病院

(単位：千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常収益	1,704,634	1,672,490	1,585,181	1,563,188	1,477,758	1,716,743	1,783,312	1,851,682	1,795,555	1,710,432
特別利益	0	0	24,000	7,450	0	0	0	0	0	0
収入計	1,704,634	1,672,490	1,609,181	1,570,638	1,477,758	1,716,743	1,783,312	1,851,682	1,795,555	1,710,432
経常費用	1,651,759	1,659,030	1,601,200	1,684,133	1,654,310	1,632,226	1,623,226	1,643,957	1,623,273	1,623,220
臨時損失	0	161,418	275,509	41,356	0	0	0	0	1,455	82
支出計	1,651,759	1,820,448	1,876,709	1,725,489	1,654,310	1,632,226	1,623,226	1,643,957	1,624,728	1,623,301
経常損益	52,875	13,459	-16,019	-120,945	-176,552	84,517	160,086	207,725	172,282	87,212
経常損益累積	52,875	66,334	50,315	-70,630	-247,182	-162,665	-2,579	205,147	377,428	464,641
純損益	52,875	-147,958	-267,529	-154,851	-176,552	84,517	160,086	207,725	170,827	87,130
純損益累積	52,875	-95,084	-362,612	-517,463	-694,015	-609,498	-449,412	-241,686	-70,859	16,271
現金収支	-5,554	-35,937	54,468	-74,642	43,025	173,570	178,403	145,769	113,757	39,588
現金収支累積	-5,554	-41,491	12,976	-61,665	-18,641	154,929	333,332	479,101	592,858	632,445



●木曾病院

(単位：千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常収益	4,383,729	4,339,904	4,337,902	4,439,172	4,358,267	4,679,694	4,437,820	4,193,105	4,242,095	4,013,583
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収入計	4,383,729	4,339,904	4,337,902	4,439,172	4,358,267	4,679,694	4,437,820	4,193,105	4,242,095	4,013,583
経常費用	4,164,496	4,202,434	4,221,539	4,236,214	4,269,813	4,654,387	4,476,410	4,254,060	4,157,571	3,987,245
臨時損失	10,043	0	0	7,347	3,330	3,893	0	0	3	1,666
支出計	4,174,538	4,202,434	4,221,539	4,243,561	4,273,143	4,658,280	4,476,410	4,254,060	4,157,573	3,988,911
経常損益	219,233	137,470	116,363	202,957	88,454	25,306	-38,590	-60,955	84,524	26,338
経常損益累積	219,233	356,702	473,065	676,022	764,476	789,782	751,192	690,237	774,761	801,100
純損益	209,190	137,470	116,363	195,610	85,124	21,414	-38,590	-60,955	84,521	24,672
純損益累積	209,190	346,660	463,023	658,633	743,757	765,170	726,581	665,625	750,147	774,819
現金収支	61,812	92,021	60,571	67,677	28,895	25,621	-141,966	-199,572	-184,520	-195,851
現金収支累積	61,812	153,834	214,405	282,082	310,977	336,598	194,632	-4,940	-189,460	-385,311

●こども病院

(単位：千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常収益	6,834,905	7,097,303	7,511,822	7,625,324	7,888,221	7,595,542	7,826,665	7,933,486	8,301,002	8,321,911
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	159	0
収入計	6,834,905	7,097,303	7,511,822	7,625,324	7,888,221	7,595,542	7,826,665	7,933,486	8,301,162	8,321,911
経常費用	6,629,527	6,940,015	7,177,547	7,589,699	7,591,319	7,529,969	7,820,282	7,796,334	7,927,275	8,225,732
臨時損失	0	0	0	0	0	0	0	0	596	544
支出計	6,629,527	6,940,015	7,177,547	7,589,699	7,591,319	7,529,969	7,820,282	7,796,334	7,927,871	8,226,276
経常損益	205,377	157,288	334,275	35,625	296,902	65,573	6,382	137,152	373,728	96,179
経常損益累積	205,377	362,666	696,941	732,566	1,029,468	1,095,040	1,101,423	1,238,575	1,612,303	1,708,482
純損益	205,377	157,288	334,275	35,625	296,902	65,573	6,382	137,152	373,291	95,635
純損益累積	205,377	362,666	696,941	732,566	1,029,468	1,095,040	1,101,423	1,238,575	1,611,866	1,707,501
現金収支	261,891	294,114	371,347	181,204	409,754	72,648	71,197	74,175	186,912	-116,940
現金収支累積	261,891	556,005	927,352	1,108,556	1,518,309	1,590,957	1,662,154	1,736,329	1,923,241	1,806,301

●阿南介護老人保健施設

(単位：千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常収益	262,246	272,402	260,508	244,503	248,584	246,762	239,127	230,794	225,714	222,300
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収入計	262,246	272,402	260,508	244,503	248,584	246,762	239,127	230,794	225,714	222,300
経常費用	258,817	266,778	249,805	236,446	243,901	248,135	238,977	233,679	225,212	229,896
臨時損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支出計	258,817	266,778	249,805	236,446	243,901	248,135	238,977	233,679	225,212	229,896
経常損益	3,428	5,624	10,703	8,058	4,682	-1,373	150	-2,886	502	-7,596
経常損益累積	3,428	9,053	19,755	27,813	32,495	31,122	31,272	28,386	28,888	21,292
純損益	3,428	5,624	10,703	8,058	4,682	-1,373	150	-2,886	502	-7,596
純損益累積	3,428	9,053	19,755	27,813	32,495	31,122	31,272	28,386	28,888	21,292
現金収支	1,056	5,329	-52,725	-48,029	-18,566	-44,226	-24,315	-23,331	-27,709	-45,214
現金収支累積	1,056	6,385	-46,340	-94,369	-112,934	-157,160	-181,475	-204,805	-232,515	-277,729

●木曾介護老人保健施設

(単位：千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常収益	259,096	261,140	253,000	261,434	256,993	235,075	240,500	255,144	244,733	241,966
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収入計	259,096	261,140	253,000	261,434	256,993	235,075	240,500	255,144	244,733	241,966
経常費用	256,207	263,665	233,763	242,115	245,297	233,443	246,846	229,842	235,124	247,529
臨時損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支出計	256,207	263,665	233,763	242,115	245,297	233,443	246,846	229,842	235,124	247,529
経常損益	2,890	-2,525	19,237	19,318	11,696	1,632	-6,346	25,302	9,609	-5,563
経常損益累積	2,890	365	19,602	38,920	50,616	52,249	45,902	71,204	80,813	75,250
純損益	2,890	-2,525	19,237	19,318	11,696	1,632	-6,346	25,302	9,609	-5,563
純損益累積	2,890	365	19,602	38,920	50,616	52,249	45,902	71,204	80,813	75,250
現金収支	6,565	-28,438	11,522	16,483	13,722	-9,114	-42,594	-383	-17,116	-33,287
現金収支累積	6,565	-21,874	-10,352	6,131	19,854	10,740	-31,854	-32,237	-49,353	-82,640

●信州木曾看護専門学校

(単位：千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常収益	-	-	-	-	94,945	124,803	132,087	133,621	131,598	131,253
特別利益	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
収入計	-	-	-	-	94,945	124,803	132,087	133,621	131,598	131,253
経常費用	-	-	-	-	120,712	141,483	158,118	160,459	156,188	153,724
臨時損失	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
支出計	-	-	-	-	120,712	141,483	158,118	160,459	156,188	153,724
経常損益	-	-	-	-	-25,767	-16,680	-26,031	-26,838	-24,590	-22,471
経常損益累積	-	-	-	-	-25,767	-42,447	-68,478	-95,317	-119,907	-142,377
純損益	-	-	-	-	-25,767	-16,680	-26,031	-26,838	-24,590	-22,471
純損益累積	-	-	-	-	-25,767	-42,447	-68,478	-95,317	-119,907	-142,377
現金収支	-	-	-	-	10,293	-11,060	-15,166	-20,382	-31,930	-10,586
現金収支累積	-	-	-	-	10,293	-767	-15,932	-36,315	-68,245	-78,831

※平成26年度 開校

●本部

(単位：千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常収益	148,416	279,300	279,923	226,260	182,300	49,714	35,410	33,621	24,303	26,049
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収入計	148,416	279,300	279,923	226,260	182,300	49,714	35,410	33,621	24,303	26,049
経常費用	286,312	321,528	349,208	372,818	300,961	299,846	360,902	359,446	321,624	343,853
臨時損失	0	0	0	0	0	0	0	0	382	0
支出計	286,312	321,528	349,208	372,818	300,961	299,846	360,902	359,446	322,006	343,853
経常損益	-137,897	-42,228	-69,286	-146,558	-118,660	-250,131	-325,492	-325,826	-297,321	-317,804
経常損益累積	-137,897	-180,125	-249,410	-395,968	-514,628	-764,760	-1,090,251	-1,416,077	-1,713,398	-2,031,202
純損益	-137,897	-42,228	-69,286	-146,558	-118,660	-250,131	-325,492	-325,826	-297,703	-317,804
純損益累積	-137,897	-180,125	-249,410	-395,968	-514,628	-764,760	-1,090,251	-1,416,077	-1,713,780	-2,031,584
現金収支	-136,684	-46,245	-75,482	-134,453	-103,514	-258,720	-320,336	-310,378	-277,733	-297,284
現金収支累積	-136,684	-182,929	-258,411	-392,864	-496,377	-755,097	-1,075,433	-1,385,811	-1,663,543	-1,960,827



●機構全体

(単位：千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常収益	21,579,089	21,749,301	22,225,082	22,533,124	22,605,557	23,221,972	23,094,512	23,200,791	23,763,042	23,862,966
特別利益	2,483	0	24,000	7,450	0	0	0	30	43,224	40
収入計	21,581,573	21,749,301	22,249,082	22,540,574	22,605,557	23,221,972	23,094,512	23,200,821	23,806,266	23,863,006
経常費用	20,976,308	21,809,528	21,892,334	22,519,532	22,675,112	23,185,397	23,358,311	23,324,292	23,345,675	24,006,064
臨時損失	206,227	275,144	288,686	67,944	3,330	3,893	0	6,988	43,836	4,881
支出計	21,182,535	22,084,672	22,181,021	22,587,476	22,678,442	23,189,290	23,358,311	23,331,280	23,389,512	24,010,945
経常損益	602,782	-60,227	332,748	13,592	-69,555	36,575	-263,799	-123,501	417,367	-143,098
経常損益累積	602,782	542,555	875,302	888,895	819,339	855,914	592,115	468,615	885,982	742,883
純損益	399,038	-335,371	68,061	-46,902	-72,885	32,682	-263,799	-130,458	416,755	-147,940
純損益累積	399,038	63,667	131,728	84,826	11,941	44,623	-219,176	-349,634	67,120	-80,819
現金収支	250,228	-24,843	524,354	-21,223	153,535	89,023	-422,499	-345,927	-237,622	-834,735
現金収支累積	250,228	225,384	749,738	728,515	882,051	971,074	548,575	202,648	-34,974	-869,710

5 運営費負担金の推移

●信州医療センター

(単位：千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
法第85条第1項第1号経費	看護学校	看護教員等養成経費	610	610	610	610	610	0	0	0	0	
		講義等補充職員経費	15,068	15,068	15,068	15,068	15,068	26,739	26,739	26,739	26,739	
		看護学生臨床実習指導経費										
		看護師養成所経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	救急医療	診療時間外救急患者経費										
		医療技術者等当直待機経費	81,316	81,316	81,316	81,316	81,316	108,171	108,171	108,171	108,171	
		救急患者用空床確保経費										
	保健衛生	へき地訪問看護運営経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		医療相談等保健衛生経費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
	その他	防災対策経費	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	
		小児医療の後期臨床医受入経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		基礎年金拠出金公的負担経費	45,758	45,758	45,758	45,758	45,758	27,626	32,476	75,177	85,403	109,174
		病院機構本部経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小 計		147,752	147,752	147,752	147,752	147,752	167,536	172,386	215,087	225,313	249,084
同第85条第2号経費	高度特殊医療	リハビリテーション運営費	24,289	24,289	24,289	24,289	24,289	28,567	28,567	28,567	28,567	
		小児部門運営経費	29,008	29,008	29,008	29,008	29,008	16,800	16,800	16,800	16,800	
		新生児特定集中治療室運営費	16,892	16,892	16,892	16,892	16,892	21,804	21,804	21,804	21,804	
		結核病院運営	109,896	109,896	109,896	109,896	109,896	140,256	140,256	140,256	140,256	
		ICU運営費	97,664	97,664	97,664	97,664	97,664	105,200	105,200	105,200	105,200	
		看護師配置増高経費	54,000	0	0	0	0	0	0	0	0	
		特殊医療機器維持経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	精神	精神病院運営経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		児童思春期病棟運営経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		看護師配置増高経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		移転経費+初度備品等費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不採算	不採算部門増こう経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		阿南病院入院単価措置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	医師等の研究研修費	7,500	7,500	7,500	10,500	19,273	7,500	7,500	7,500	13,209	
		医師確保対策経費	54,610	54,610	54,610	54,610	54,610	50,132	50,132	50,132	50,132	
		電子カルテ導入増高経費	0	0	49,500	49,500	49,500	49,500	49,500	0	0	
		企業債利息	160,576	173,602	164,871	156,365	147,873	139,976	131,751	124,270	116,870	109,016
	資本的収入	企業債元金	380,075	417,864	356,373	440,004	437,609	425,600	434,299	343,345	355,159	370,384
	小 計		934,510	931,325	910,603	988,728	986,614	985,335	985,809	837,874	847,997	855,368
	合 計		1,082,262	1,079,077	1,058,355	1,136,480	1,134,366	1,152,871	1,158,195	1,052,961	1,073,310	1,104,452



●こころの医療センター駒ヶ根

(単位：千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
法第85条第1項第1号経費	看護学校	看護教員等養成経費	506	506	506	506	506	0	0	0	0	0
		講義等補充職員経費	13,528	13,528	13,528	13,528	13,528	12,168	12,168	12,168	12,168	12,168
		看護学生臨床実習指導経費										
		看護師養成所経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	救急医療	診療時間外救急患者経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		医療技術者等当直待機経費										
		救急患者用空床確保経費										
	保健衛生	へき地訪問看護運営経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		医療相談等保健衛生経費	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250
	その他	防災対策経費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		小児医療の後期臨床医受入経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		基礎年金拠出金公的負担経費	20,647	20,647	20,647	20,647	20,647	10,731	24,699	36,391	33,786	41,803
		病院機構本部経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計		36,931	36,931	36,931	36,931	36,931	25,149	39,117	50,809	48,204	56,221
同第85条第2号経費	高度特殊医療	リハビリテーション運営費	13,314	13,314	13,314	13,314	13,314	21,587	21,587	21,587	21,587	21,587
		小児部門運営経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		新生児特定集中治療室運営費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		結核病院運営	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ICU運営費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		看護師配置増高経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		特殊医療機器維持経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	精神	精神病院運営経費	482,690	252,642	252,642	252,642	252,642	295,815	295,815	295,815	295,815	295,815
		児童思春期病棟運営経費	30,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000
		看護師配置増高経費	52,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移転経費+初度備品等費用	55,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不採算	不採算部門増こう経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		阿南病院入院単価措置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	医師等の研究研修費	4,500	4,500	4,500	9,338	7,500	4,500	4,500	4,500	5,625	5,625
		医師確保対策経費	12,700	12,700	12,700	12,700	12,700	39,445	39,445	39,445	39,445	39,445
		電子カルテ導入増高経費	0	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	0	0	0	0
		企業債利息	8,296	40,675	47,024	46,864	46,431	45,151	43,555	41,438	39,227	37,139
	資本的収入	企業債元金	32,450	8,111	17,552	34,677	72,331	82,472	91,145	82,552	84,140	83,909
	小 計		690,950	439,942	455,732	477,535	512,918	596,970	586,047	575,337	575,839	573,520
	合 計		727,881	476,873	492,663	514,466	549,849	622,119	625,164	626,146	624,043	629,741

●阿南病院

(単位：千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
法第85条第1項第1号経費	看護学校	看護教員等養成経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		講義等補充職員経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		看護学生臨床実習指導経費										
		看護師養成所経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	救急医療	診療時間外救急患者経費										
		医療技術者等当直待機経費	81,316	81,316	81,316	81,316	81,316	108,171	108,171	108,171	108,171	108,171
		救急患者用空床確保経費										
	保健衛生	へき地訪問看護運営経費	2027	2027	2,027	2,027	2,027	1,515	1,515	1,515	1,515	1,515
		医療相談等保健衛生経費	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500
	その他	防災対策経費	1000	1000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		小児医療の後期臨床医受入経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		基礎年金拠出金公的負担経費	21522	21522	21,522	21,522	21,522	3,599	1,000	16,644	20,334	28,004
		病院機構本部経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計		106365	106365	106,365	106,365	106,365	114,785	112,186	127,830	131,520	139,190
同第85条第2号経費	高度特殊医療	リハビリテーション運営費	9158	9158	9,158	9,158	9,158	13,373	13,373	13,373	13,373	13,373
		小児部門運営経費	8288	8288	8,288	8,288	8,288	0	0	0	0	0
		新生児特定集中治療室運営費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		結核病院運営	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ICU運営費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		看護師配置増高経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		特殊医療機器維持経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	精神	精神病院運営経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		児童思春期病棟運営経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		看護師配置増高経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移転経費+初度備品等費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不採算	不採算部門増こう経費	319048	319048	319,048	319,048	319,048	165,155	165,155	165,155	165,155	165,155
		阿南病院入院単価措置	0	0	0	0	0	352,838	352,838	352,838	352,838	352,838
	その他	医師等の研究研修費	3000	3000	3,000	6,000	6,000	3,000	3,000	3,000	4,056	4,056
		医師確保対策経費	11430	11430	11,430	11,430	11,430	36,695	36,695	36,695	36,695	36,695
		電子カルテ導入増高経費	0	0	0	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000	0	0
		企業債利息	5881	5564	5,220	9,484	13,628	11,697	12,720	10,738	11,576	10,934
	資本的収入	企業債元金	95134	62174	69,467	64,452	40,637	80,058	91,621	112,792	123,339	87,382
	小 計		451939	418662	425,611	454,860	435,189	689,816	702,402	721,591	707,032	670,433
	合 計		558304	525027	531,976	561,225	541,554	804,601	814,588	849,421	838,552	809,623



●木曽病院

(単位：千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
法第85条第1項第1号経費	看護学校	看護教員等養成経費	279	279	279	279	279	0	0	0	0	0
		講義等補充職員経費	18,244	18,244	18,244	18,244	18,244	0	0	0	0	0
		看護学生臨床実習指導経費										
		看護師養成所経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	救急医療	診療時間外救急患者経費	81,316	81,316	81,316	81,316	81,316	108,171	108,171	108,171	108,171	108,171
		医療技術者等当直待機経費										
		救急患者用空床確保経費										
	保健衛生	へき地訪問看護運営経費	2,027	2,027	2,027	2,027	2,027	1,515	1,515	1,515	1,515	1,515
		医療相談等保健衛生経費	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250
	その他	防災対策経費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
		小児医療の後期臨床医受入経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		基礎年金拠出金公的負担経費	36,264	36,264	36,264	36,264	36,264	37,630	32,981	48,435	54,120	67,777
		病院機構本部経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計		144,380	144,380	144,380	144,380	144,380	153,566	148,917	164,371	170,056	183,713
同第85条第2号経費	高度特殊医療	リハビリテーション運営費	23,316	23,316	23,316	23,316	23,316	29,876	29,876	29,876	29,876	29,876
		小児部門運営経費	26,936	26,936	26,936	26,936	26,936	21,840	21,840	21,840	21,840	21,840
		新生児特定集中治療室運営費	8,446	8,446	8,446	8,446	8,446	10,902	10,902	10,902	10,902	10,902
		結核病院運営	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ICU運営費	48,832	48,832	48,832	48,832	48,832	52,600	52,600	52,600	52,600	52,600
		看護師配置増高経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		特殊医療機器維持経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	精神	精神病院運営経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		児童思春期病棟運営経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		看護師配置増高経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移転経費+初度備品等費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不採算	不採算部門増こう経費	164,000	164,000	164,000	164,000	164,000	260,362	260,362	260,362	260,362	260,362
		阿南病院入院単価措置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	医師等の研究研修費	7,000	7,000	7,000	7,000	10,000	7,000	7,000	7,000	7,149	7,149
		医師確保対策経費	22,860	22,860	22,860	22,860	22,860	43,007	43,007	43,007	43,007	43,007
		電子カルテ導入増高経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		企業債利息	145,393	136,600	124,940	114,109	105,993	91,701	79,395	66,971	54,323	41,430
	資本的収入	企業債元金	233,753	242,077	229,197	237,103	243,242	261,801	300,345	305,004	319,681	290,285
	小 計		680,536	680,067	655,527	652,602	653,625	779,089	805,327	797,562	799,740	757,451
	合 計		824,916	824,447	799,907	796,982	798,005	932,655	954,244	961,933	969,796	941,164

●こども病院

(単位：千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
法第85条第1項第1号経費	看護学校	看護教員等養成経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		講義等補充職員経費	5,416	5,416	5,416	5,416	5,416	8,347	8,347	8,347	8,347	
		看護学生臨床実習指導経費										
		看護師養成所経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	救急医療	診療時間外救急患者経費										
		医療技術者等当直待機経費	14,816	14,816	14,816	14,816	14,816	17,368	17,368	17,368	17,368	
		救急患者用空床確保経費										
	保健衛生	へき地訪問看護運営経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		医療相談等保健衛生経費	500	500	500	500	500	500	500	500	500	
	その他	防災対策経費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
		小児医療の後期臨床医受入経費	48,077	10,000	10,000	10,000	10,000	0	0	0	0	
		基礎年金拠出金公的負担経費	47,825	47,825	47,825	47,825	47,825	103,902	95,057	106,637	102,921	137,989
		病院機構本部経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計		118,634	80,557	80,557	80,557	80,557	132,117	123,272	134,852	131,136	166,204
同第85条第2号経費	高度特殊医療	リハビリテーション運営費	20,107	20,107	20,107	20,107	20,107	15,317	15,317	15,317	15,317	
		小児部門運営経費	281,792	281,792	281,792	281,792	281,792	203,280	203,280	203,280	203,280	
		新生児特定集中治療室運営費	190,035	190,035	190,035	190,035	190,035	220,776	220,776	220,776	220,776	
		結核病院運営	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		ICU運営費	170,912	170,912	170,912	170,912	170,912	184,100	184,100	236,700	215,660	215,660
		看護師配置増高経費	233,680	233,680	233,680	233,680	233,680	191,648	191,648	203,104	187,744	187,744
		特殊医療機器維持経費	29,404	29,404	29,404	29,404	29,404	0	0	0	0	0
	精神	精神病院運営経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		児童思春期病棟運営経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		看護師配置増高経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		移転経費+初度備品等費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不採算	不採算部門増こう経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		阿南病院入院単価措置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	医師等の研究研修費	11,000	11,000	11,000	14,225	17,657	11,000	11,000	11,000	16,347	16,347
		医師確保対策経費	67,310	67,310	67,310	67,310	67,310	42,632	42,632	42,632	42,632	
		電子カルテ導入増高経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		企業債利息	283,225	265,677	247,398	229,831	212,470	195,018	176,593	159,173	140,549	121,864
	資本的収入	企業債元金	480,662	464,615	510,403	495,610	518,216	546,964	536,943	535,157	587,578	587,132
	小計		1,768,127	1,734,532	1,762,041	1,732,906	1,741,583	1,610,735	1,582,289	1,627,139	1,629,883	1,610,752
	合計		1,886,761	1,815,089	1,842,598	1,813,463	1,822,140	1,742,852	1,705,561	1,761,991	1,761,019	1,776,956



●阿南介護老人保健施設

(単位：千円)

			平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
法第85条第1項 第1号経費	その他	基礎年金拠出金公的負担経費	0	0	0	0	0	3,283	3,024	3,335	3,754	4,059
	小 計		0	0	0	0	0	3,283	3,024	3,335	3,754	4,059
同第2号経費	その他	企業債利息	27,470	26,041	24,275	22,610	20,870	19,187	17,286	15,326	13,282	11,162
	資本的収入	企業債元金	0	29,361	30,447	32,075	34,399	35,799	37,260	38,755	40,166	41,647
	小 計		27,470	55,402	54,722	54,685	55,269	54,986	54,546	54,081	53,448	52,809
合 計			27,470	55,402	54,722	54,685	55,269	58,269	57,570	57,416	57,202	56,868

●木曾介護老人保健施設

(単位：千円)

			平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
法第85条第1項 第1号経費	その他	基礎年金拠出金公的負担経費	0	0	0	0	0	3,757	3,728	3,817	3,754	4,870
	小 計		0	0	0	0	0	3,757	3,728	3,817	3,754	4,870
同第2号経費	その他	企業債利息	27,958	26,598	25,046	23,625	22,090	20,598	18,885	17,084	15,200	13,228
	資本的収入	企業債元金	0	20,267	21,214	22,383	23,423	24,662	28,110	29,254	30,655	31,824
	小 計		27,958	46,865	46,260	46,008	45,513	45,260	46,995	46,338	45,855	45,052
合 計			27,958	46,865	46,260	46,008	45,513	49,017	50,723	50,155	49,609	49,922

●信州木曾看護専門学校

(単位：千円)

			平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
法第85条第1項 第1号経費	看護学校	看護師養成所経費	-	-	-	-	72,201	91,134	91,134	91,134	91,134	91,134
	その他	基礎年金拠出金公的負担経費	-	-	-	-	0	2,307	1,385	3,787	2,503	3,653
	小 計		-	-	-	-	72,201	93,441	92,519	94,921	93,637	94,787
同第2号経費	資本的収入	企業債元金	-	-	-	-	0	0	38	75	75	75
	小 計		-	-	-	-	0	0	38	75	75	75
合 計			-	-	-	-	72,201	93,441	92,557	94,996	93,712	94,862

※平成26年度 開校

●本部

(単位：千円)

			平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
法第85条第1項 第1号経費	その他	基礎年金拠出金公的負担経費	3,530	3,530	3,530	3,530	3,530	5,514	1,076	5,814	6,256	8,522
		病院機構本部経費	106,586	234,843	230,496	146,439	135,796	0	0	0	0	0
	小 計		110,116	238,373	234,026	149,969	139,326	5,514	1,076	5,814	6,256	8,522
同第2号経費	その他	医師等の研究研修費	34,086	34,086	34,086	20,023	6,656	13,386	13,386	13,386	0	0
		企業債利息	246	248	199	141	101	53	36	33	69	73
	資本的収入	企業債元金	0	4,513	5,208	6,558	7,221	5,222	6,900	5,748	6,432	7,817
	小 計		34,332	38,847	39,493	26,722	13,978	18,661	20,322	19,167	6,501	7,890
合 計			144,448	277,220	273,519	176,691	153,304	24,175	21,398	24,981	12,757	16,412

●機構全体

(単位：千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
法第85条第1項第1号経費	看護学校	看護教員等養成経費	1395	1395	1,395	1,395	1,395	0	0	0	0	
		講義等補充職員経費	52,256	52,256	52,256	52,256	52,256	47,254	47,254	47,254	47,254	
		看護学生臨床実習指導経費										
		看護師養成所経費	0	0	0	0	72,201	91,134	91,134	91,134	91,134	91,134
	救急医療	診療時間外救急患者経費	258,764	258,764	258,764	258,764	258,764	341,881	341,881	341,881	341,881	341,881
		医療技術者等当直待機経費										
		救急患者用空床確保経費										
	保健衛生	へき地訪問看護運営経費	4,054	4,054	4,054	4,054	4,054	3,030	3,030	3,030	3,030	3,030
		医療相談等保健衛生経費	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
	その他	防災対策経費	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
		小児医療の後期臨床医受入経費	48,077	10,000	10,000	10,000	10,000	0	0	0	0	0
		基礎年金拠出金公的負担経費	175,546	175,546	175,546	175,546	175,546	198,349	195,426	300,037	312,831	405,851
		病院機構本部経費	106,586	234,843	230,496	146,439	135,796	0	0	0	0	0
	小計		664,178	754,358	750,011	665,954	727,512	699,148	696,225	800,836	813,630	906,650
同第85条第2号経費	高度特殊医療	リハビリテーション運営費	90,184	90,184	90,184	90,184	90,184	108,720	108,720	108,720	108,720	
		小児部門運営経費	346,024	346,024	346,024	346,024	346,024	241,920	241,920	241,920	241,920	
		新生児特定集中治療室運営費	215,373	215,373	215,373	215,373	215,373	253,482	253,482	253,482	253,482	
		結核病院運営	109,896	109,896	109,896	109,896	109,896	140,256	140,256	140,256	140,256	
		ICU運営費	317,408	317,408	317,408	317,408	317,408	341,900	341,900	394,500	373,460	373,460
		看護師配置増高経費	287,680	233,680	233,680	233,680	233,680	191,648	191,648	203,104	187,744	187,744
		特殊医療機器維持経費	29,404	29,404	29,404	29,404	29,404	0	0	0	0	0
	精神	精神病院運営経費	482,690	252,642	252,642	252,642	252,642	295,815	295,815	295,815	295,815	295,815
		児童思春期病棟運営経費	30,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000
		看護師配置増高経費	52,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移転経費+初度備品等費用	55,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不採算	不採算部門増こう経費	483,048	483,048	483,048	483,048	483,048	425,517	425,517	425,517	425,517	425,517
		阿南病院入院単価措置	0	0	0	0	0	352,838	352,838	352,838	352,838	352,838
	その他	医師等の研究研修費	67,086	67,086	67,086	67,086	67,086	46,386	46,386	46,386	46,386	46,386
		医師確保対策経費	168,910	168,910	168,910	168,910	168,910	211,911	211,911	211,911	211,911	211,911
		電子カルテ導入増高経費	0	18,000	67,500	94,500	94,500	94,500	76,500	27,000	0	0
	資本的収入	企業債利息	659,045	675,005	638,973	603,029	569,456	523,381	480,221	435,033	391,096	344,846
		企業債元金	1,222,074	1,248,982	1,239,861	1,332,862	1,377,078	1,462,578	1,526,661	1,452,682	1,547,225	1,500,455
	小計		4,615,822	4,345,642	4,349,989	4,434,046	4,444,689	4,780,852	4,783,775	4,679,164	4,666,370	4,573,350
	合計		5,280,000	5,100,000	5,100,000	5,100,000	5,172,201	5,480,000	5,480,000	5,480,000	5,480,000	5,480,000



6 未収金の推移

●信州医療センター

(単位：千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
前年度以前分	32,632	27,912	21,624	23,448	24,129	19,305	13,021	12,570	10,516	13,816
当年度末 個人分			26,366	29,013	13,115	25,703	21,101	27,151	20,797	20,929
当年度末 団体分	794,891	867,365	727,342	759,286	730,280	927,411	838,272	841,417	1,028,521	951,838
当年度末 未決算分			44,985	19,019	11,411	8,843	17,822	16,062	24,975	19,865
未収金額計	827,523	895,277	820,317	830,766	778,935	981,263	890,215	897,199	1,084,809	1,006,449
貸倒損失額	9,095	9,964	11,005	832	4,276	7,068	5,392	9	0	4,977

●こころの医療センター駒ヶ根

(単位：千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
前年度以前分	9,725	8,003	7,114	5,605	7,583	7,180	6,177	5,454	5,413	3,202
当年度末 個人分			10,447	12,791	9,729	11,847	12,693	13,112	15,459	12,446
当年度末 団体分	182,577	233,533	233,830	233,858	247,165	214,638	228,516	225,999	230,987	238,995
当年度末 未決算分			1,330	427	694	1,609	721	1,385	1,433	4,361
未収金額計	192,302	241,537	252,721	252,680	265,170	235,274	248,107	245,951	253,293	259,003
貸倒損失額	1,516	2,165	677	953	436	696	1,284	972	535	0

●阿南病院

(単位：千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
前年度以前分	1,052	1,012	749	677	289	179	128	272	252	557
当年度末 個人分			2,926	3,584	3,009	3,159	4,595	4,683	4,181	6,170
当年度末 団体分	182,453	166,325	152,900	145,400	129,159	132,339	141,982	144,687	138,754	123,460
当年度末 未決算分			1,126	1,552	1,011	1,524	1,233	3,399	1,632	2,330
未収金額計	183,504	167,337	157,701	151,213	133,468	137,201	147,938	153,041	144,818	132,517
貸倒損失額	737	88	295	22	196	0	0	0	0	2,151

●木曽病院

(単位：千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
前年度以前分	25,723	24,420	26,680	23,756	19,876	19,387	19,053	17,272	15,508	13,995
当年度末 個人分			24,272	25,374	24,155	34,335	19,102	18,163	15,561	11,895
当年度末 団体分	560,662	635,050	536,482	608,778	542,339	685,472	536,926	509,987	502,330	485,404
当年度末 未決算分			3,704	5,573	6,310	4,881	4,895	6,043	3,341	2,890
未収金額計	586,384	659,470	591,139	663,482	592,681	744,075	579,976	551,464	536,739	514,184
貸倒損失額	1,123	940	890	1,810	3,157	982	40	16	0	6,250

●こども病院

(単位：千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
前年度以前分	12,455	8,941	5,906	5,033	4,461	6,701	7,200	6,374	5,019	2,826
当年度末 個人分			8,644	4,146	7,407	6,858	4,019	3,704	1,792	1,104
当年度末 団体分	1,195,048	1,188,449	1,000,542	1,126,478	1,155,973	1,060,184	1,382,961	1,179,663	1,295,103	1,260,345
当年度末 未決算分			214,365	223,906	385,708	331,256	221,971	266,513	203,447	185,232
未収金額計	1,207,503	1,197,389	1,229,458	1,359,564	1,553,550	1,404,999	1,616,151	1,456,253	1,505,360	1,449,507
貸倒損失額	5,672	5,772	3,363	1,355	781	84	133	71	201	1,142

介護老人保健施設の状況



1 利用者の状況

① 入所・通所の状況

区分	年度	入所利用実数		3月31日 現在 在所者数	通所利用 実数	入所利用のべ数		通所利用のべ数	
		入所者	退所者			合計	1日当り	合計	1日当り
阿南病院	平成27年度	255	211	44	20	15,644	42.7	807	3.3
	平成28年度	239	198	41	15	15,166	41.6	849	3.6
	平成29年度	265	226	39	15	14,729	40.4	564	3.0
	平成30年度	232	196	36	12	14,026	38.5	710	2.9
	令和元年度	236	202	34	17	13,700	37.4	549	2.3
木曾病院	平成27年度	391	392	40	23	14,475	39.7	1157	4.7
	平成28年度	398	355	43	17	14,531	39.8	1037	4.3
	平成29年度	416	378	38	19	15,822	43.3	835	3.4
	平成30年度	431	392	39	22	15,378	42.1	791	3.2
	令和元年度	445	411	34	17	14820	40.5	807	3.3

② 性別・年齢階級別の状況（令和元年度）

●阿南介護老人保健施設

区分	利用者数（人）					構成割合（%）					
	総数	入所者数		通所者数	総数	入所者数		通所者数			
		3/31在所者	退所者			在所者	退所者				
合計	253	236	34	202	17	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
性別	男	63	52	6	46	11	24.9	22.0	17.7	22.8	64.7
	女	190	184	28	156	6	75.1	78.0	82.4	77.2	35.3
年齢階級別	～69歳	3	1	0	1	2	1.2	0.4	0.0	0.5	11.8
	70～79歳	10	6	2	4	4	4.0	2.5	5.9	2.0	23.5
	80～89歳	80	76	11	65	4	31.7	32.2	32.4	32.2	23.5
	90歳以上	160	153	21	132	7	63.2	64.8	61.8	65.4	41.2

●木曾介護老人保健施設

区分	利用者数（人）					構成割合（%）					
	総数	入所者数		通所者数	総数	入所者数		通所者数			
		3/31在所者	退所者			在所者	退所者				
合計	462	445	34	411	17	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
性別	男	112	104	10	94	8	24.2	23.4	29.4	22.9	47.1
	女	350	341	24	317	9	75.8	76.6	70.6	77.1	52.9
年齢階級別	～69歳	18	14	1	13	4	3.9	3.1	2.9	3.2	23.5
	70～79歳	85	79	2	77	6	18.4	17.8	5.8	18.7	35.3
	80～89歳	182	178	13	165	4	39.4	40.0	38.2	40.2	23.6
	90歳以上	177	174	18	156	3	38.3	39.1	52.9	38.0	17.7

③ 退所者の入所期間状況

(単位：人、%)

病院名	年度	区分	計	1~7日	8~14日	15~30日	31~90日	91~180日	181~1年	1年超
阿南病院	平成27年度	人数	211	18	15	34	49	79	16	0
		構成比	100.0	8.53	7.11	16.11	23.22	37.44	7.58	0.0
	平成28年度	人数	198	26	15	20	45	71	21	0
		構成比	100.0	13.13	7.58	10.1	22.73	35.86	10.61	0.0
	平成29年度	人数	226	24	37	30	51	66	18	0
		構成比	100.0	10.62	16.37	13.27	22.57	29.2	7.96	0.0
	平成30年度	人数	196	16	17	31	57	63	12	0
		構成比	100.0	8.16	8.67	15.82	29.08	32.14	6.12	0.0
	令和元年度	人数	202	23	16	32	61	51	19	0
		構成比	100.0	11.4	7.9	15.8	30.2	25.3	9.4	0.0
木曽病院	平成27年度	人数	392.0	109.0	118.0	49.0	49.0	55.0	12.0	0
		構成比	100.0	27.8	30.1	12.5	12.5	14.0	3.1	0.0
	平成28年度	人数	355.0	76.0	95.0	74.0	33.0	64.0	13.0	0
		構成比	100.0	21.4	26.8	20.9	9.3	18.0	3.7	0.0
	平成29年度	人数	378.0	115.0	112.0	36.0	40.0	57.0	18.0	0
		構成比	100.0	30.4	29.6	9.5	10.6	15.1	4.8	0.0
	平成30年度	人数	392.0	100.0	146.0	32.0	58.0	47.0	8.0	1
		構成比	100.0	25.5	37.2	8.2	14.8	12.0	2.0	0.3
	令和元年度	人数	411	151	109	37	41	56	16	1
		構成比	100.0	36.7	26.5	9.0	10.0	13.6	3.9	0.2



④ 退所者の入退所の経路（令和元年度）

● 阿南介護老人保健施設

入所前の場所（どこから）		退所後の行先（どこへ）		構成割合
退所者総数 202人 (100.0%)		総数 202人 100.0%		
⇒		⇒	家庭	73 36.1
			社会福祉施設	82 40.6
			阿南病院	27 13.4
			他の医療機関	5 2.5
			他の老健施設	13 6.4
			その他	2 1.0
家庭 71人 (35.1%)		総数 71人 100.0%		
⇒		⇒	家庭	55 77.5
			社会福祉施設	8 11.3
			阿南病院	6 8.5
			他の医療機関	2 2.8
			他の老健施設	0 0
			その他	0 0
社会福祉施設 53人 (26.2%)		総数 53人 100.0%		
⇒		⇒	家庭	4 7.5
			社会福祉施設	41 77.4
			阿南病院	8 15.1
			他の医療機関	0 0
			他の老健施設	0 0
			その他	0 0
阿南病院 47人 (23.3%)		総数 47人 100.0%		
⇒		⇒	家庭	9 19.1
			社会福祉施設	26 55.3
			阿南病院	8 17.0
			他の医療機関	1 2.1
			他の老健施設	2 4.3
			その他	1 2.1
他の医療機関 14人 (6.9%)		総数 14人 100.0%		
⇒		⇒	家庭	5 35.7
			社会福祉施設	4 28.6
			阿南病院	2 14.3
			他の医療機関	1 7.1
			他の老健施設	2 14.3
			その他	0 0
他の老健施設 17人 (8.4%)		総数 17人 100.0%		
⇒		⇒	家庭	0 0
			社会福祉施設	3 17.6
			阿南病院	3 17.6
			他の医療機関	1 5.9
			他の老健施設	9 52.9
			その他	1 5.9

介護老人保健施設
アイライフあなん

※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

● 木曾介護老人保健施設



介護老人保健施設 アイライフきそ

※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。





※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

看護師養成所の状況



1 学生の状況

① 令和元年度在席状況（平成31年4月1日現在）

（単位：人）

		1 学年	2 学年	3 学年
学生数		27	22	27
内 訳	既 卒	2	-	-
	新 卒	24	-	-
	原級留置	1	1	0
	女 子	23	20	22
	男 子	4	2	5

② 入学選考状況の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
試験回数	2回	3回	3回	3回	3回
出願者	98名	60名	64名	68名	85名
受験者	86名	56名	60名	65名	81名
合格者	34名	29名	31名	33名	34名
入学者	23名	26名	27名	24名	26名

③ 令和元年度卒業生の進路状況

（単位：人）

		病院名	人数（うち県立病院機構）
就職	県内病院		24 (8)
	地域別内訳	諏 訪	5
		上伊那	3
		木 曾	2
		松 本	5
		大 北	8
		長 野	1
	県外病院		3
	そ の 他		0
合 計		27	

④ 看護師国家試験の状況

	受験者数 （人）	合格者数 （人）	信州木曾看護専門学校 合格率（%）	全国合格率 （%）
第106回看護師国家試験 （平成29年2月19日実施）	第1期生 29	29	100.0%	89.0%
第107回看護師国家試験 （平成30年2月18日実施）	第2期生 21	21	100.0%	91.0%
第108回看護師国家試験 （平成31年2月17日実施）	第3期生 23	23	100.0%	89.0%
第109回看護師国家試験 （令和2年2月16日実施）	第4期生 27	26	96.2%	89.2%

研修・研究の状況



1 県立病院等合同研究会の状況

第16回県立病院等合同研究会

会 期：令和元年12月7日（土）

幹事病院：阿南病院

研究会会長：田中 雅人（長野県立阿南病院長）

会 場：阿南文化会館 多目的ホール

参加者数：175名

特別講演

演 題：「街中の自治体病院の生き残り策と過疎地型自治体病院の経営・課題」

講 師：天草市病院事業管理者

（全国自治体病院協議会 副会長） 竹中 賢治 先生

● 一般演題（15 演題）

演 題 名	所 属 機 関	演 者
支援部（障がい者支援施設）における園芸活動の取り組み ～作業療法の視点から農福連携の可能性を見据えた一考察～	総合リハビリテーションセンター	福田 文康
理学療法士による退院後訪問指導の取り組み	信州医療センター	青沼 良実
アルコール離脱時におけるベンゾジアゼピン系薬剤の処方量調査	こころの医療センター駒ヶ根	山本 和幸
病院・施設間での食事形態連携に向けた取り組み	阿南病院	神山 正春
統合実習の現状と課題	信州木曽看護専門学校	滝沢 真平
医学生対象長野県立病院機構病院説明会の試み	本部研修センター	岩下ちひろ
高校生医療体験を開催して ～将来の医療スタッフ獲得のための種まき～	木曽病院	藤澤 美香
信州大学との連携大学院への進学を通じた仕事と研究・学習の並立	こども病院	大塚 彩香
骨粗鬆症治療薬の在宅自己注射をしている患者に関する実態調査 ～治療継続に向けた支援について～	総合リハビリテーションセンター	傳田 和美
上部内視鏡検査時におけるプロポフォル鎮静についての現状と今後の課題	信州医療センター	村山佳織理
手術室、中央材料室の新たな体制への取り組み	木曽病院	宮原 涉央
小児アレルギーエドューケーターによるスキンケア講習が保健師などの知識に与える変化	こども病院	百瀬 麻未
患者のストレスに着目した関わりの効果	こころの医療センター駒ヶ根	三村 ふき
混合病棟における看護師が抱く陰性感情 ～B病棟の調査より～	阿南病院	金田 衣純
看護師と患者の相互作用が及ぼす効果 ～不安・焦燥感のある患者に“寄り添う”看護～	信州木曽看護専門学校	白鳥夏菜子

※発表順

2 公開講座の開催状況

テーマ（病院等）	開催日場所	病院等	講師	参加者数 (人)
「あなたの肺は大丈夫ですか？ 気になる肺の病気あれこれ」	2019.5.25 須坂市 (須坂市文化会館メセナ ホール小ホール)	信州医療センター	山崎 善隆先生 坂口 幸治先生	197
「地域の合意形成を核とした 事前指示書の導入について」 ～いのちの終わりについて 話し合いをはじめる～	2019.7.8 阿南町 (阿南病院2階講堂)	阿南病院 下伊那南部 保険医療協議会	医療・介護コーディネーター 岡村 律子氏（松本市医師会）	38
「もっと知りたい！糖尿病」	2019.7.31 木曽町 (木曽病院2階講堂)	木曽病院	小林 由紀先生	18
「とにかく簡単♪誰でもできる！ アレルギー料理教室」	2019.9.7 松本市 (松本市中央公民館 (Mウイング南棟) 4階 料理実習室)	こども病院	徳永 舞先生	10
「信州ドクターヘリ松本の1日」	2019.10.26 阿南町 (阿南病院2階講堂)	阿南病院	信州大学医学部附属病院 高度救命救急センター 岡田 まゆみ先生	71
「地域にやさしい木曽の医療 ～木曽地域の医療について 共に考えよう～」	2019.11.9 木曽町 (木曽病院2階講堂)	木曽病院	川島 実先生 (フリーランス医師)	60
「口唇裂・口蓋裂のはなし」	2019.12.8 上田市 (上田創造館コミュニ ティホール (大))	こども病院 (長野県口唇裂口蓋裂 センター公開講座)	矢口貴一朗先生（こども病院） 佐藤梨里子先生（こども病院） 寺島さつき言語聴覚士（信大病院） 平川美穂子言語聴覚士（こども病院） 影山 徹先生（松本歯科大学） 水野 均先生（水野矯正歯科医院） 丸山 昌子医療ソーシャルワーカー （こども病院）	75
「さあ、風疹を止めよう！」	2019.12.14 安曇野市 (こども病院)	こども病院 (予防接種センター 公開講座)	南 希成先生（こども病院） 大畑 茂子氏 (風疹をなくそうの会『hand in hand』) 西村麻依子氏 (風疹をなくそうの会『hand in hand』共同代表) 可児 佳代氏 (風疹をなくそうの会『hand in hand』共同代表)	23
参加者計				492



3 出前講座の状況

● 信州医療センター

講座名	講師	開催日	依頼先	参加者数
感覚のでこぼこと発達のでこぼこ	南 勇樹	2019.4.2	須坂市教育委員会・こども課	30
		2019.11.26		100
一次救命処置	玉木 善光	2019.5.17	グリーンアルム福祉会	20
		2019.6.12	子育て支援センター	30
		2019.6.19	須坂市東部児童センター	20
		2019.7.3	北部児童センター	10
		2019.7.10	南部児童センター	10
		2019.7.12	川田小学校	59
摂食嚥下障害について	北田 将大	2019.5.17	飯綱町立飯綱病院	25
		2019.5.28	特別養護老人ホーム 香風園	10
		2019.6.3	特別養護老人ホーム 杏寿荘	20
		2019.6.11	デイサービスセンターすえひろ	20
		2019.7.4	地域密着型 特別養護老人ホームぬくもり園	20
		2019.7.10	須坂悠生寮	15
		2019.7.11	地域密着型 特別養護老人ホームぬくもり園	20
		2019.8.21	信越病院	25
		2019.11.21	須坂市身体障害者福祉協会	50
		2019.12.12	信越病院	20
応急処置	宮崎 ゆか 古村 英稔	2019.6.13	(株) マナテック	120
家庭でできる応急手当	北原 祐樹	2019.6.20	須坂市ファミリー・サポート・センター	15
		2019.11.21		20
熱中症	坂口 幸治	2019.6.21	小布施町社会福祉協議会	10
		2019.7.13	長野県トライアスロン協会	40
楽しく子育て、スマホの影響 他	南 勇樹	2019.6.27	須坂市ファミリー・サポート・センター	15
性教育について	鈴木麻衣加	2019.7.4	長野東部中学校	197
		2019.7.18	東北中学校	143
		2019.10.10	長野東北中学校	163
		2019.11.21	長野東部中学校	187
		2020.1.17	須坂東中学校	210
		2020.2.21		122

講座名	講師	開催日	依頼先	参加者数
性教育について	東 千枝	2019.7.10	墨坂中学校	53
		2019.11.25	篠ノ井東中学校	104
		2019.12.19	須坂東中学校	46
		2019.12.23	相森中学校	150
		2020.2.4		107
		2020.2.7		90
朝起きられない子どもたち	南 勇樹	2019.7.11	穀町育成会	20
オムツについて (スキントラブル)	柴本 幸子	2019.7.19	特別養護老人ホーム 須坂荘	20
		2019.7.26	信濃町立信越病院	5
		2019.7.29	特別養護老人ホーム 須坂荘	20
認知症のお話	山岸 明広	2019.7.29	須高・こもれび 訪問看護ステーション	9
糖尿病ケア、インスリンによる 患者指導のポイント	千脇 洋子	2019.7.31	下鳥内科クリニック	3
マスメディアとのかかわり、スマホの影響 他	南 勇樹	2019.8.1	三校合同地域学校保健委員会	60
医療と情報	市川 徹郎	2019.8.22	中野市中央公民館	60
感染対策について	目黒 美紀	2019.10.8	デイサービスセンターすえひろ	20
		2019.11.12	特別養護老人ホームふるさと苑	20
		2019.12.16	グループホーム 愛ランドわたうち	16
		2019.12.18	介護老人福祉施設 愛ランドはるかぜ	20
家庭看護	小坂 ユミ	2019.11.14	須坂市ファミリー・サポート・ センター	20
子どもを健やかに育むために	南 勇樹	2019.11.22	須坂市ファミリー・サポート・ センター	20
KYT 研修	富井 直美	2019.12.4	朝日病院	60
		2019.12.12		60
living will って何ですか？	上沢 修	2019.12.21	須坂市地域包括支援センター	30
褥瘡予防と初期対応について	柴本 幸子	2020.1.29	特別養護老人ホーム小布施荘	30
正しい薬の飲み方、使い方	田中 健二	2020.2.25	須坂市精神障がい者家族会 「ときわ会」	10



● こころの医療センター駒ヶ根

講座名	講師	開催日	依頼先	参加者数
薬の正しい使い方	五味 和彦	2019.6.14	上伊那保健師連絡協議会	30
保護者への配慮について	熊谷 照美	2019.7.30	南箕輪村教育委員会	95
精神障害を抱える方への接し方	稲垣 佑輔	2019.11.16	長野県作業療法士会	20
親子で使える感情のコントロールとリラクゼーション	多々良恭子	2019.11.20	駒ヶ根市立東伊那小学校 PTA	30
アルコール依存症の病棟ってどんなところ？ ～地域連携と病棟の関わりについて～	高橋たか子 佐藤みづき	2019.12.3	諏訪中央病院	70
SST（認知行動療法）について	多々良恭子 富田 雅俊	2020.1.16	箕輪町精神障がい者当事者の会 「もみじ会」	6
統合失調症について学ぶ	黒川めぐみ	2020.2.14	箕輪町	10

● 阿南病院

講座名	講師	開催日	依頼先	参加者数
認知症の方を理解する	西森 則子	2019.4.23	天龍村老人クラブ	79
低栄養を防ぐための食事について	神山 正春	2019.11.22	泰阜村村民	30
低栄養を防ぐための食事について	神山 正春	2020.2.4	泰阜村国保被保険者	15
薬との正しい付き合い方	増田 硬三	2020.3.16	阿南町健康推進委員	60

● 木曽病院

講座名	講師	開催日	依頼先	参加者数
性教育講話	吉岡 郁郎	2019.6.4 ～5	木曽青峰高校定時制 (1～4年生)	7
性教育講話	吉岡 郁郎	2019.6.5	木曽青峰高校(全学年)	419
性教育講話	吉岡 郁郎	2019.7.22	蘇南高校(1年生)	51
性教育講話	吉岡 郁郎	2019.7.22	蘇南高校(2年生)	64
性教育講話	吉岡 郁郎	2019.7.22	蘇南高校(3年生)	68
性教育講話	吉岡 郁郎	2019.7.30	木曽郡思春期連絡会議	20
性教育講話	吉岡 郁郎	2019.9.12	木曽青峰高校(3年生)	146
性教育講話	吉岡 郁郎	2019.9.26	木曽青峰高校(1年生)	125
性教育講話	吉岡 郁郎	2019.10.17	開田中学校(1年生)	9
性教育講話	吉岡 郁郎	2019.10.17	開田中学校(2年生)	10
性教育講話	吉岡 郁郎	2019.10.17	開田中学校(3年生)	10
性教育講話	吉岡 郁郎	2019.11.14	南木曽中学校(1年生)	27
性教育講話	吉岡 郁郎	2019.11.14	南木曽中学校(3年生)	23

講座名	講師	開催日	依頼先	参加者数
性教育講話	吉岡 郁郎	2020.1.16	木曾郡思春期連絡会議	20
性教育講話	吉岡 郁郎	2020.1.30	木曾青峰高校（2年生）	148
性教育講話	吉岡 郁郎	2020.2.14	上松中学校（1年生）	33
性教育講話	吉岡 郁郎	2020.2.14	上松中学校（2年生）	34
性教育講話	吉岡 郁郎	2020.2.27	王滝中学校（1年生）	6
性教育講話	吉岡 郁郎	2020.2.27	王滝中学校（2年生）	6
性教育講話	吉岡 郁郎	2020.2.27	王滝中学校（3年生）	6
テレビ撮影（健康ばんざい）	吉岡 郁郎	2019.10.8	長野放送 11月23日放映	-
夏こそ大事なスキンケア	仲澤 幸恵	2019.7.10	病院地域連携会議	33
夏のスキンケア	仲澤 幸恵	2019.7.31	大桑村社会福祉協議会	25
皮膚ケア・ストーマケア	仲澤 幸恵	2019.9.12	木曾広域連合	43
褥瘡予防の基本 スキンケア	仲澤 幸恵	2019.9.18	なんてんの里	25
褥瘡のアセスメントと局所治療・ケア	仲澤 幸恵	2019.10.18	こころの医療センター駒ヶ根	20
感染対策の実践	巾崎 秀樹	2019.10.25	養護老人ホーム木曾寮	20
感染の予防と対策	巾崎 秀樹	2019.10.28	特別養護老人ホーム なんてんの里	30
感染予防と対策	巾崎 秀樹	2019.11.1	上松荘	20
感染の予防と対策	巾崎 秀樹	2019.11.8	特別養護老人ホーム あすなる荘	20
病院薬剤管理	丸山 起人	2020.2.3	信州木曾看護専門学校	26
病院薬剤師の役割	丸山 起人	2020.2.10	信州木曾看護専門学校	26
自殺・企図者支援関係者研修会	生駒 樹里	2019.8.2	県精神保健福祉センター	50
移乗・移送研修会	神村 諒 横山 智和	2019.5.23	木曾広域連合健康福祉課	28
腰痛予防	山本 駿輔	2019.9.25	木曾広域連合	21
筋力とバランスの維持（難病交流会）	小田切淳也	2019.9.26	木曾地域振興局福祉課	19
歯あわせ健康・口腔体操	中澤 修也	2019.10.31	長野県介護福祉士会	21



4 学会等における研究発表状況

● 信州医療センター

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第93回 日本感染症学会総会・学術講演会	2019.4.4 ～6	愛知県 名古屋市	○高橋 夕子 山崎 善隆	長野県北信地域における肺炎球菌荚膜抗原血清型の疫学調査
第132回 中部日本整形外科災害外科学会・学術集会	2019.4.5 ～6	三重県 津市	○渡邊 憲弥 三井 勝博 臼井 悠 根本 和明	人口股関節全置換術後のカップ前方開角は単純X線による計測では過少評価される
第132回 中部日本整形外科災害外科学会・学術集会	2019.4.5 ～6	三重県 津市	○渡邊 憲弥 三井 勝博 臼井 悠 根本 和明	Ring 加工した K-wire による tension band wiring の有用性
第132回 中部日本整形外科災害外科学会・学術集会	2019.4.5 ～6	三重県 津市	○渡邊 憲弥 三井 勝博 臼井 悠 根本 和明	大腿骨顆上骨折後偽関節に対してスクリューを顆間部に貫通させて固定し骨癒合を得た1例
第44回 日本超音波検査学会	2019.4.26 ～28	神奈川県	柴田 綾	当院における下肢レジスタンス運動負荷心エコーの取り組み
第30回 日本医学会総会 2019 中部ランチョンセミナー	2019.4.28	愛知県 名古屋市	山崎 善隆	高齢者に対する肺炎菌ワクチン接種の実際 ～健康寿命延伸をめざして～
第68回 日本医学検査学会	2019.5.10 ～12	山口県 下関市	柴田 綾	当院における糖尿病性神経障害検査の実施状況について
第68回 日本医学検査学会	2019.5.10 ～12	山口県 下関市	柴田 綾	当院における糖尿病性神経障害検査としての下肢神経伝導速度検査について
第10回 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会	2019.5.17 ～19	京都府 京都市	蜜澤 邦洋	救急カート標準化が救急物品準備時間の短縮に与える影響
DDW2019 (米国消化器病学会週間)	2019.5.18 ～21	SanDiego, US	Hiroyuki Uehara	Helicobacter Pylori infection among young people and their characteristic endoscopic images.
第62回 日本糖尿病学会年次学術集会	2019.5.23 ～25	宮城県 仙台市	小林 永幸	当院糖尿病患者の電気刺激に対するストレス反応について
第62回 日本糖尿病学会年次学術集会	2019.5.23 ～25	宮城県 仙台市	柴田 綾	当院糖尿病患者の電気刺激に対するストレス反応について
第17回 日本ヘルニア学会学術集会	2019.5.24 ～25	三重県 四日市市	久保 直樹	当院における大腸癌切除後の腹壁癒痕ヘルニアの検討
県立病院薬剤師研修会	2019.5.25	松本市	香川 貴亮	リファンピシン投与がステロイド効果減弱を招くと考えられた肺結核合併リウマチ性多発筋痛症の一症例

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第94回 日本結核病学会総会	2019.6.7 ～8	大分県 大分市	山崎 善隆	非結核性抗酸菌症治療における AST 活動の意義と課題
長野県栄養士会医療事業部研修会	2019.6.23	松本市	美谷島 司	須高地域栄養サマリーの取り組みに ついて
第59回 日本リンパ網内系学会総会	2019.6.27 ～29	島根県 出雲市	○貝梅 紘子 小泉 正幸 浅野 直子 市川 徹郎	高度肝障害、DIC を認め、急激な経過を辿った EBV 陽性 T 細胞リンパ腫の一例
第140回 信州産婦人科連合会総会・学術講演会	2019.6.29	松本市	○飯高満三芳 堀田 大輔 春日美智子 豊田 友子 南郷 周児	当科における骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨脛固定術導入の初期経験
第25回 日本日本心臓リハビリテーション学会学術集会	2019.7.13 ～14	大阪府 大阪市	柴田 もも	高齢慢性心不全患者の運動負荷量について負荷心エコーを用いて検討・指導を行った症例
第74回 日本消化器外科学会総会	2019.7.17 ～19	東京都	増尾 仁志	閉塞性大腸癌に対する術前腸管減圧処置の短期治療成績比較
第21回 日本女性骨盤底医学会	2019.7.20 ～21	愛知県 名古屋市	飯高満三芳	当科での仙骨子宮靭帯挙上術 Shull 法
第60回 人間ドック学会学術集会	2019.7.25 ～26	岡山県 岡山市	千葉あかね	ロコモ度テスト導入の現状報告
第60回 人間ドック学会学術集会	2019.7.25 ～26	岡山県 岡山市	村山佳緒里	上部内視鏡検査時におけるプロポフォル鎮静についての現状と今後の課題
第5回 地域包括ケア病棟研究大会口頭発表	2019.7.27	東京都	三澤 貴美	薬剤管理指導から退院支援を考える
第5回 地域包括ケア病棟研究大会	2019.7.27	東京都	青沼 良実	理学療法士による退院後訪問指導の取り組み
日病薬関東ブロック 第49回学術大会	2019.8.24	山梨県 甲府市	笠原 幸子	院外処方箋における疑義照会簡素化プロトコルとその効果
日病薬関東ブロック 第49回学術大会	2019.8.24	山梨県 甲府市	香川 貴亮	リファンピシン投与がステロイド効果減弱を招くと考えられた肺結核合併リウマチ性多発筋痛症の一症例
20th Annual Scientific Meeting of Asia Pacific Arthroplasty Society	2019.8.28 ～9.1	Fujian, China	○Kenya Watanabe Katsuhiro Mitsui Yukiko Komatsu Shinji Sasao	An increase in the risk of excessive femoral anteversion for relatively younger age and types of femoral morphology in total hip arthroplasty with direct anterior approach



学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
令和元年度 県立病院機構臨床検査技師研修会	2019.8.31	木曽町	石合めぐみ	人間ドックの腹部超音波検査にて発見されたGISTの1例
第19回 信州骨折治療フォーラム	2019.9.7	松本市	三井 勝博	Juvenile Tillaux 骨折の経験
第59回 日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	2019.9.12 ～14	京都府 京都市	飯高満三芳	腹腔鏡併用した仙骨子宮靭帯挙上術 Shull 法の当科での経験
ヘルスプロモーション	2019.9.19	長野市	上澤 菜織	人工妊娠中絶に対する手術室看護師 の葛藤
ヘルスプロモーション	2019.9.19	長野市	小山かおり	予期せぬ死を迎えた家族と係る看護師 のエンゼルケア時の対応
ヘルスプロモーション	2019.9.19	長野市	山田千恵子	交流集会：最近のHIV・エイズにつ いての情報をしていますか？ ～U=Uは何？～
ヘルスプロモーション	2019.9.19	長野市	笹岡 真有	検査・処置を受ける子供に付き添う 親への支援の現状と課題
ヘルスプロモーション	2019.9.19	長野市	小林真理子	外来で結核と診断された患者の思い
第176回 日本結核病学会関東支部学会 第236回 日本呼吸器学会関東地方会 合同学会	2019.9.21	東京都	○荒木 太亮 岩波 直弥 小澤 亮太 廣田 周子 山本 学 増淵 雄 倉石 博 山崎 善隆 小山 茂	悪性リンパ腫との鑑別が問題とな った重症結核性リンパ節炎の1例
UEGW 2019 (第27回欧州消化器病週間)	2019.10.19 ～23	Barcelona, Spain	Hiroyuki Uehara	THE EFFICACY OF LOW-DOSE RADIATION THERAPY IN PATIENTS WITH HELICOBACTER PYLORI-NEGATIVE OR ERADICATION THERAPY-RESISTANT LOCALIZED GASTRIC MUCOSA-ASSOCIATED LYMPHOID TISSUE LYMPHOMA
日本作業療法士協会 現職者共通研修事例報告	2019.10.19	伊那市	矢澤 こと	頭痛に固執する症例に対しこだわ りの改善を目指した1例
第58回 全国自治体病院学会 ポスター発表	2019.10.23	徳島県 徳島市	三澤 貴美	地域包括ケア病棟における薬剤師の 役割
第29回日 本医療薬学会年会内 令和元年度 日本病院薬剤師会病院 薬局協議会学術フォーラム	2019.11.2	福岡県 福岡市	三澤 貴美	薬剤師が退院後の服薬管理を見据 え、処方提案や服薬管理方法の提案、 かかりつけ薬局との相互連携を行っ た事例

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第81回 日本臨床外科学会総会	2019.11.14 ～16	高知県 高知市	久保 直樹	腸重積により小腸軸捻転をきたした空腸消化管重複症の1例
第81回 日本臨床外科学会総会	2019.11.14 ～16	高知県 高知市	増尾 仁志	十二指腸濾胞性リンパ腫の経過観察中に小腸イレウスを発症した1例
IOACON2019 (第64回インド整形外科学会年次総会)	2019.11.19 ～24	Kolkata, India	○Kenya Watanabe Katsuhiko Mitsui Jun Sasaki Yukiko Komatsu Shinji Sasao	An increase in the risk of excessive femoral anteversion for relatively younger age and types of femoral morphology
日本看護科学会	2019.11.30	石川県 金沢市	猪瀬紗都子	産科混合病棟の看護師長が捉える病棟運営上の課題
第32回 日本内視鏡外科学会総会	2019.12.5 ～7	神奈川県 横浜市	増尾 仁志	大腸癌手術時の吻合部トラブルにて再吻合を要した2症例
第32回 日本内視鏡外科学会総会	2019.12.5 ～7	神奈川県 横浜市	飯高満三芳	腹腔鏡併用した仙骨子宮靭帯挙上術 Shull 法の当科での経験
第16回 県立病院等合同研究会	2019.12.7	阿南町	村山佳緒里	上部内視鏡検査時におけるプロポフォル鎮静についての現状と今後の課題
第125回 信州整形外科懇談会	2020.2.15	松本市	○三井 勝博 渡邊 憲弥 佐々木 純 小松 幸子 笹尾 真司	Bipolar型人工骨頭置換術後に inner head 脱転および大腿骨ステム損傷をきたした1例
第177回 日本結核病学会関東支部学会 第238回 日本呼吸器学会関東地方合同学会	2020.2.15	東京都	○小坂 充 坂口 幸治 吉池 文明 平井 一也 山崎 善隆	肺癌治療中に併発した肺結核の1例
第50回 日本人工関節学会	2020.2.21 ～22	福岡県 福岡市	○渡邊 憲弥 三井 勝博 小松 幸子 笹尾 真司	RAO後の臼蓋前後壁骨欠損を伴う変形性股関節症に対して塊状骨移植とKT plateで臼蓋形成を行ったTHAの1例
第50回 日本人工関節学会	2020.2.21 ～22	福岡県 福岡市	○渡邊 憲弥 三井 勝博 小松 幸子 笹尾 真司	恒久性膝蓋骨脱臼を伴う変形性膝関節症の人工膝関節全置換術後に生じた創壊死に対して陰圧閉鎖療法により治癒を得た1例
第35回 日本臨床栄養代謝学会学術集会	2020.2.27 ～28	京都府	美谷島 司	当院における肺炎入院患者の現状



● こころの医療センター駒ヶ根

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第5回 CEPD 研究会	2019.5.11	東京都小平市	稲垣 佑輔	統合失調症患者の認知機能障害と主観的困難感
第35回 長野県作業療法学会大会	2019.6.9	松本市	稲垣 佑輔	一般労働を希望する摂食障害患者との課題共有のために箱作り法検査を実施した一例
日本精神保健看護学会	2019.6.8 ～2019.6.9	愛知県名古屋市	鈴木 千穂	成長発達を見据えた思春期・青年期のこころのケア検討会ファシリテーター
日本病院薬剤師会 関東ブロック 第49回学術大会	2019.8.24 ～8.25	山梨県甲府市	山本 和幸	アルコール離脱時におけるベンゾジアゼピン系薬剤の処方量調査
第53回 全国作業療法学会大会	2019.9.6 ～9.8	福岡県福岡市	稲垣 佑輔	統合失調症患者の認知機能と認知的困難感の関連性
日本音楽療法学会 第19回 学術大会	2019.9.20 ～9.22	大阪府大阪市	池上 和代	精神科病院における連携についての一考察
第38回 信州精神神経学会	2019.10.19	松本市	藁和 路子	小学生の自殺企図の調査
		松本市	廣田聡一郎 須藤 奈美	当院における「地方公共団体による精神障がい者の退院支援に関するガイドライン」の取り組みについて
第29回 医療薬学会	2019.11.2 ～11.4	福岡県福岡市	五味 和彦	統合失調症患者への服薬指導に関する意識調査～精神科薬剤師はどのように捉えているのか？
日本精神科看護教授会長野支部 第6回 看護研究・看護実践発表会	2019.12.14	安曇野市	岩本 久美	デイケア紹介とマインドフルネスについて デイケア勤務を通して学んだ実践報告
第27回 精神科看護管理研修会	2020.1.23	大町市	須藤 奈美	「退院後支援に関するガイドライン」の実践報告
第27回 精神科看護管理研修会	2020.1.24 ～1.26	大町市	米山 美穂	行政施策と精神科看護 措置入院患者ガイドライン
第27回 精神科看護管理研修会	2020.1.24 ～1.26	大町市	大蔵 真理	強度行動障害を持つ方への支援 ～病院と地域サービスにおける役割～
全国児童青年精神科医療施設協議会 第50回 研修会	2020.2.7 ～2.8	三重県津市	古幡こずえ 加納 久子	自閉症スペクトラム障害・注意欠陥多動性障害・反抗挑戦性障害を抱える児の二者関係構築までの関わりを振り返る
長野県精神科病院協会職員研修会	2020.2.22	安曇野市	須藤 奈美	「地方公共団体による精神障害者の退院後支援に関するガイドライン」の取り組みにおける現状と課題

● 阿南病院

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第10回 日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会	2019.5.19	京都府 京都市	藤岡 文夫 関 匡史 蜜澤 邦洋	救急カート標準化が救急物品準備時間の短縮に与える影響
第7回 日本シミュレーション医療教育学会 学術大会	2019.9.21	東京都 (日本医科大学)	大塩 誠司	医療者はBLSインストラクターの経験からどのような変容を遂げているか

● 木曽病院

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第119回 日本外科学会	2019.4.18 ~4.20	大阪府 大阪市	加賀谷文紘 小出 直彦 小山 佳紀	抗血小板薬・抗凝固薬が大腸癌の診断、術後の長期成績に及ぼす検討
第119回 日本外科学会	2019.4.18 ~4.20	大阪府 大阪市	小出 直彦 加賀谷文紘 小山 佳紀	80歳以上の切除不能進行胃癌症例に対するパクリタキセル・ラムシルマブ療法
県立病院機構薬剤師研修会	2019.5.25	松本市	有賀 敦	マグネシウム製剤服用患者において血清マグネシウム濃度上昇に寄与するリスク因子の検討
第121回 信州外科集談会	2019.6.6	中野市	小山 佳紀 小出 直彦 加賀谷文紘 他	同時性に小腸 GIST と膵 NET を認めた1例
第73回 日本食道学会	2019.6.6 ~6.7	福岡県	小出 直彦 加賀谷文紘 小山 佳紀	食道胃接合部の表在型パレット腺癌と扁平上皮癌の臨床病理学的因子の違い
第64回 日本消化器病学会 甲信越支部例会	2019.6.8	山梨県 甲府市	小山 佳紀 小出 直彦 加賀谷文紘 他	真性多血症による脾腫を伴った虫垂粘液嚢腫の1例



学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第137回 関東連合産婦人科医会	2019.6.15 ～6.16	東京都	吉岡 郁郎 窪田 文香 藤森 美音	不定愁訴外来における愁訴数の少ない患者の傾向
第140回 信州産婦人科連合会	2019.6.29	松本市	吉岡 郁郎 窪田 文香 藤森 美音	当院不定愁訴外来における高齢者女性の特徴
第48回 日本女性心身医学会	2019.6.30	東京都	吉岡 郁郎 窪田 文香 藤森 美音	傾聴の必要性を数値化する試み
日本病院薬剤師会関東ブロック 第49回学術大会	2019.8.24 ～8.25	山梨県 甲府市	横山 恵理	マグネシウム製剤服用患者において血清マグネシウム濃度上昇に寄与するリスク因子の検討
令和元年度県立病院機構 臨床検査技師研修会	2019.8.31	木曾町	青木 由香 荻原 悠 鬼頭喜美代	「質問苦情要望トラブル等記録簿」の有用性について
第39回 産婦人科漢方研究会	2019.9.1	大阪府	吉岡 郁郎 窪田 文香 藤森 美音	加味逍遙散における服用方法の検討
第44回 日本足の外科学会学術集会	2019.9.27	北海道 札幌市	樋口 祥平 中曾根 潤	糖尿病性足趾壊疽に対する灌流式持続陰圧洗浄療法の実験
第65回 日本消化器病学会 甲信越支部例会	2019.11.2 ～11.3	山梨県 甲府市	加賀谷文紘 小出 直彦 小山 佳紀	ニボルマブによる治療中に血小板減少症を発症した胃癌に1例
第34回 日本女性医学学会	2019.11.2 ～11.3	福岡県 博多市	吉岡 郁郎 窪田 文香 藤森 美音	女性高齢患者の『夫源病』を考える
第44回 長野県臨床検査学会	2019.12.1	長野市	青木 由香 荻原 悠 鬼頭喜美代	「質問苦情要望トラブル等記録簿」の有用性について

● こども病院

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第122回 日本小児科学会学術集会	2019.4.19 ~21	石川県 金沢市	樋口 司 大森 教雄 小池 由美 南 希成 竹内 浩一	小児専門病院における地域に根ざした入院総合診療
第122回 日本小児科学会学術集会	2019.4.19 ~21	石川県 金沢市	南 希成 佐藤 公則 大森 教雄 小池 由美 竹内 浩一 樋口 司	大腸菌による菌血症の検討、2011年~2018年
第122回 日本小児科学会学術集会	2019.4.19 ~21	石川県 金沢市	宗像 俊 大西 健仁 藤森 充帆 糸島 亮 大井田憲泰 田中 明里 小川 亮 小田 新 小久保雅代 廣間 武彦 中村 友彦	超低出生体重児における晩期溶血性黄疸の原因検索
第122回 日本小児科学会学術集会	2019.4.19 ~21	石川県 金沢市	小川 亮 廣間 武彦 稲葉 雄二 中村 友彦	早産児・極低出生体重児における経母乳サイトメガロウイルス感染症に関する検討
第122回 日本小児科学会学術集会	2019.4.19 ~21	石川県 金沢市	倉田 敬 内田恵理子 小森 一寿 佐藤 公則 武居 裕子 南 希成 廣間 武彦 坂下 一夫	小児における持続皮下注射による鎮静の有効性についての検討
European Society for Paediatric Infectious Diseases annual meeting	2019.5.6 ~11	Ljubljana, Slovenia	Minami K, Omori N, Sato M, Otsuka A, Kubota N, Hidaka E, Yokoyama Y, Ishii K, Suzuki E, Hori K.	Incidence and Significance of Klebsiella oxytoca infections in a Japanese Pediatric Hospital (e-poster)
3rd Congress of Asian - Australasian Society for Pediatric Neurosurgery	2019.5.10 ~12	Incheon, Korea	Yosuke M, Shigeta H.	Novel evaluation with an enhanced phase contrast MR angiography for cerebrovascular stenosis and postoperative neoangiogenesis in Moyamoya Disease
第30回 日本心エコー図学会	2020.5.10 ~12	松本市	瀧間 浄宏	先天性心疾患の3D心エコー
第30回 日本心エコー図学会	2020.5.10 ~12	松本市	瀧間 浄宏	先天性心疾患における心房機能解析
第30回 日本心エコー図学会学術集会	2019.5.10 ~12	松本市	武井 黄太 安河内 聡 瀧間 浄宏	小児期のエプスタイン病の臨床像と治療戦略
第30回 日本心エコー図学会学術集会	2019.5.10 ~12	松本市	武井 黄太 安河内 聡	症例から学ぶ画像診断のpit fall-合併症を予見するために 完全房室ブロック



学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第30回 日本心エコー図学会学術集会	2019.5.10 ~12	松本市	Takei K, Yasukochi S, Takigiku K, Tanaka N, Koyama S, Yonehara K, Obinata H, Numata R, Masamoto M, Yamada Y.	A Case with Successful Relocation of The Left Ventricle Lead Position of Cardiac Resynchronization Therapy for Infantile Dilated Cardiomyopathy
第30回 日本心エコー図学会学術集会	2019.5.10 ~12	松本市	田中 登 瀧間 浄宏 殿村 玲 沼田 隆佑 米原 恒介 大日方春香 小山 智史 山田有希子 武井 黄太 岡村 達 安河内 聡	左心低形成症候群の TCPC術後遠における右 室機能の推移
第30回 日本心エコー図学会	2019.5.10 ~12	松本市	沼田 隆佑 瀧間 浄宏 武井 黄太 田中 登 小山 智史 大日方春香 米原 恒介 斎川 祐子 安河内 聡	2D speckle tracking 法 (2DS法)を用いた総肺 静脈還流異常症の左房機 能評価
第30回 日本心エコー図学会	2019.5.11	松本市	安河内 聡	発達心臓病学と心エコー 図法 : lifelong echocardiography
第62回 日本形成外科学会総会・学術集会	2019.5.15 ~17	北海道 札幌市	野口 昌彦 矢口貴一郎 星野 夕紀	Nuss法術後のバー挿入 肋間の拡大予防に対する ケーブルワイヤー固定の 効果
第29回 日本臨床工学会	2019.5.18 ~19	岩手県 盛岡市	児野 徹 佐藤 直紀 峯村奈津希 金子 克	当院における新卒者教育 プログラムについて
第56回 日本小児外科学会総会	2019.5.23 ~25	福岡県 久留米市	野口 昌彦 長谷川 航 一ノ瀬規世	漏斗胸バー抜去後の再陥 凹に関する胸郭モデル (THUMS®)を用いた検討
第14回 小児耳鼻咽喉科学会学術講演会	2019.5.24	福岡県 福岡市	佐藤梨里子 工 穰 宇佐美真一	当科における18トリソ ミー児の聴力と補聴の検 討(ポスター)
日本超音波医学会 第92回学術集会	2019.5.24 ~26	東京都	米原 恒介 瀧間 浄宏 大日方春香 沼田 隆佑 小山 智史 田中 登 斎川 祐子 武井 黄太 安河内 聡	小児心臓腫瘍;横紋筋腫 が左室ストレインに及ぼ す影響
第11回 日本小児科学会 長野地方会	2019.5.26	長野市	小池 由美 大森 教雄 南 希成 竹内 浩一 樋口 司	ハイリスク症例に対する 少量食物経口負荷試験 (OFC) 263件の検討
第11回 日本小児科学会 長野地方会	2019.5.26	長野市	市野みどり 岸蔭 貴裕	小児間欠性水腎症の診断

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第11回 日本小児科学会 長野地方会	2019.5.26	長野市	中嶋 英子 稲葉 雄二 山内 翔子 竹内史穂子 本林 光雄 三澤 由佳	当院発達障害専門外来を受診した学童の現状
第11回 日本小児科学会 長野地方会	2019.5.26	長野市	武田 良淳 山口 智美 荒川 経子 湊川 真理 高野 亨子 涌井 敬子 古庄 知己	長野県立こども病院における先天性・遺伝性疾患を対象とした臨床的遺伝子解析(クリニカルシーケンス)の実施状況
第43回 日本口蓋裂学会	2019.5.30 ~31	新潟県 新潟市	矢口貴一郎 杠 俊介 永井 史緒 山田 一尋 星野 夕紀 野口 昌彦	GPP 後に骨架橋形成を認めた顎裂に追加で実施する口腔前庭側切開からの顎裂骨移植術
第4回 小児免疫性神経筋疾患研究会	2019.5.31	東京都	稲葉 雄二 酒井 慧 塚原 孝典 神谷 素子 小林 桂子 山口 智美 古庄 知己 北村 裕梨 齋藤加代子	異なる年齢で治療開始したラプシン異常症2症例の経過
第61回 日本小児神経学会学術集会	2019.5.31 ~6.2	愛知県 名古屋市	本林 光雄 山内 翔子 渥美 香奈 竹内史穂子 中嶋 英子 佐藤 公則 黒坂 了正 三澤 由佳 北村 真友 稲葉 雄二	急性期にケトン食療法を導入した難治頻回部分発作重積型急性脳炎の2例における臨床経過の比較
第30回 日本手術看護学会 関東甲信越地区	2019.6.6	神奈川県 横浜市	滝 綾香 塚田真由美 栗山 美鈴	A 病院手術室看護師の術後訪問に対する患者・家族の思い
日本泌尿器科学会 甲信越合同学術大会 (第195回 信州地方会)	2019.6.8	新潟県 新潟市	岸蔭 貴裕 市野みどり 大澤絵都子	高度排尿障害を来した小児 BXO (閉塞性乾燥性亀頭包皮炎)の経験
第47回 日本小児神経外科学会	2019.6.14 ~15	新潟県 新潟市	重田 裕明 宮入 洋祐 神谷 圭介	脊髄脂肪腫における尿流動態検査の有用性: 初回手術前後の検討
第47回 日本小児神経外科学会	2019.6.14 ~15	新潟県 新潟市	宮入 洋祐 神谷 圭介 重田 裕明	小児水頭症に対する第三脳室底開窓術の治療成績と適応についての検討
第47回 日本小児神経外科学会	2019.6.14 ~15	新潟県 新潟市	神谷 圭介 宮入 洋祐 重田 裕明	小児の meningeal melanomatosis に対するニボルマブの有効性と課題: 症例報告
第68回 日本アレルギー学会学術大会	2019.6.14 ~16	東京都	小池 由美 徳永 舞 村井 健美 南 希成 竹内 浩一 樋口 司	小麦即時歴を有する症例に対する少量食物負荷試験の検討



学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第 68 回 日本アレルギー学会学術集会	2019.6.14 ~ 16	東京都	小池 由美 大森 教雄 南 希成 竹内 浩一 樋口 司	食物アレルギー：食物経 口負荷試験 - 少量負荷と 予後 小麦即時歴を有す る症例に対する少量食物 負荷試験の検討
第 55 回 日本小児循環器学会総会・学術集会	2019.6.27 ~ 29	北海道 札幌市	田中 登 瀧間 浄宏 殿村 玲 沼田 隆佑 米原 恒介 大日方春香 小山 智史 山田有希子 武井 黄太 岡村 達 安河内 聡	左心低形成症候群の TCPC 術後遠隔期におけ る右室機能評価右心型単 心室症例との比較
第 55 回 日本小児循環器学会総会・学術集会	2019.6.27 ~ 29	北海道 札幌市	田中 登 瀧間 浄宏 殿村 玲 沼田 隆佑 米原 恒介 大日方春香 小山 智史 山田有希子 武井 黄太 岡村 達 安河内 聡	動脈管依存性心疾患に対 する PGE1 製剤投与中の morbidity についての検討
第 55 回 日本小児循環器学会総会・学術集会	2019.6.27 ~ 29	北海道 札幌市	大日方春香 沼田 隆佑 米原 恒介 小山 智史 田中 登 武井 黄太 瀧間 浄宏 安河内 聡 殿村 玲 山田有希子 岡村 達 齊川 祐子	大動脈弁形成「尾崎法」 施行後の大動脈弁形態変 化について 一思春期例における検討一
第 55 回 日本小児循環器学会総会・学術集会	2019.6.27 ~ 29	北海道 札幌市	沼田 隆佑 瀧間 浄宏 武井 黄太 田中 登 小山 智史 大日方春香 米原 恒介 殿村 玲 瀧口 洋司 岡村 達 原 英彦 安河内 聡	三尖弁置換術後の人工弁 周囲逆流 (paravalvular leakage: PVL) に対し、経 カテーテル的 PVL 閉鎖術 を施行した、Fontan 術後 左心低形成症候群の 1 例
第 55 回 日本小児循環器学会総会・学術集会	2019.6.27 ~ 29	北海道 札幌市	沼田 隆佑 瀧間 浄宏 武井 黄太 田中 登 小山 智史 大日方春香 米原 恒介 安河内 聡	左右肺動脈圧不均衡症例 における Glenn 循環成立 へのリスク因子の検討
第 55 回 日本小児循環器学会総会・学術集会	2019.6.27 ~ 29	北海道 札幌市	沼田 隆佑 瀧間 浄宏 武井 黄太 田中 登 小山 智史 大日方春香 米原 恒介 殿村 玲 瀧口 洋司 岡村 達 安河内 聡	二心室修復が可能であっ た unbalanced AVSD, hypoplastic LV の一症例
第 55 回 日本小児循環器学会学術集会	2019.6.27 ~ 29	北海道 札幌市	武井 黄太 安河内 聡 瀧間 浄宏 齊川 祐子	動脈管開存症に対するデ バイス塞栓術後に生じた 左肺動脈狭窄
第 55 回 日本小児循環器学会学術集会	2019.6.27 ~ 29	北海道 札幌市	武井 黄太 安河内 聡 瀧間 浄宏 田中 登 米原 恒介 大日方春香 沼田 隆佑 小山 智史	多断面マイクロ経食道エ コープロープの小児先天 性心疾患に対する有用性 の検討

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第55回 日本小児循環器学会学術集会	2019.6.27 ～29	北海道 札幌市	武井 黄太 池田 智明 加地 剛 河津由紀子 川崎 有希 稲村 昇 瀧間 浄宏	レベルⅡ胎児心臓超音波 検査オンライン多施設間 全国登録の解析
第55回 日本小児循環器学会総会・学術集会	2019.6.28	北海道 札幌市	桑山 美鈴 武井 黄太 瀧間 浄宏 安河内 聡	多部署・多職種の連携強 化のための一考察 ～緊急カテーテル治療に 至った症例を通して～
第55回 日本小児循環器学会総会・学術集会	2019.6.28	北海道 札幌市	前田 奈美 桑山 美鈴	A病院における先天性心 疾患術後の患児・家族に 対して行う術後訪問の意 義
第55回 日本小児循環器学会総会・学術集会	2019.6.28	北海道 札幌市	石原 克真 山崎 由香 西沢 博子	PICU看護師に対する心臓 血管外科術後の退院指導 の意識付け ～勉強会前後の意識調査 から～
第55回 日本小児循環器学会、シンポジウム	2019.6.28	北海道 札幌市	安河内 聡 瀧間 浄宏 武井 黄太	良好な Fontan 循環の確立 —心機能の面から—
第55回 日本小児循環器学会、シンポジウム	2019.6.28	北海道 札幌市	安河内 聡 元木 博彦 瀧間 浄宏 武井 黄太	移行医療支援体制の充実 に向けて：地域モデル構 築から：長野モデル
第58回 日本小児股関節研究会	2019.6.28	長崎県 長崎市	中西 真也	ペルテス病の早期画像診 断
第58回 日本小児股関節研究会	2019.6.29	長崎県 長崎市	酒井 典子	DDH に対する FACT の短 期治療成績
第58回 日本小児股関節研究会	2019.6.29	長崎県 長崎市	泉水 康洋	DDH 治療後 再脱臼・側 方化の予測因子
第124回 信州脳神経外科集談会	2019.6.29	松本市	縣 正大 宮入 洋祐 重田 裕明	小児における軽微な頭部 外傷後の脳虚血病態
第58回 日本小児股関節研究会	2019.6.30	長崎県 長崎市	松原 光宏	乳児期の臼蓋形成不全を エコーでスクリーニング できるか？
第28回 日本小児泌尿器科学会総会	2019.7.4	佐賀県 佐賀市	岸蔭 貴裕 市野みどり 井川 靖彦 西澤 秀治 関 聡	女兒の遠位尿道狭窄 OAB・UTIの原因疾患



学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第27回 信州小児神経研究会	2019.7.6	安曇野市	西岡 誠 本林 光雄 齊藤 真規 山内 翔子 竹内史穂子 渥美 香奈 小森 一寿 中嶋 英子 今井 憲 倉田 敬 坂下 一夫 稲葉 雄二	ニボルマブによる自己免疫性脳炎を合併した髄膜悪性黒色腫症の一例
第55回 日本周産期・新生児医学会総会	2019.7.13	松本市	中村 友彦	これからの日本の新生児医療
第55回 日本周産期・新生児医学会学術集会	2019.7.13 ~ 15	松本市	糸島 亮 小田 新 小川 亮 廣間 武彦 中村 友彦	当院における Neonatal Early-Onset Sepsis Calculator の有用性
第55回 日本周産期・新生児医学会学術集会	2019.7.13 ~ 15	松本市	小川 亮 辻 誠 大井田憲泰 藤森 充帆 武居 裕子 糸島 亮 田中 明里 小田 新 宗像 俊 小久保雅代 廣間 武彦 中村 友彦	Babylog VN500 における HFOV の I:E 比に関する検討
第55回 日本周産期・新生児医学会学術集会	2019.7.13 ~ 15	松本市	辻 誠 小川 亮 大井田憲泰 藤森 充帆 武井 裕子 前澤身江子 糸島 亮 田中 明里 小田 新 宗像 俊 小久保雅代 廣間 武彦 中村 友彦	胸水を伴う非免疫性胎児水腫 29 例の周産期予後に関する検討
第55回 日本周産期・新生児医学会学術集会	2019.7.13 ~ 15	松本市	森田 一輝 吉田 志朗 佐藤麻梨恵 高野 宏太 寺尾美代子 高木紀美代	胎児乳び胸に無動および横隔膜低形成を伴い、胎児胸腔-羊水腔シャント術を施行するも救命し得なかった2例
第16回 日本血管腫血管奇形学会	2019.7.14	三重県 津市	矢口貴一郎 杠 俊介 永井 史緒 星野 夕紀 野口 昌彦	退縮期乳児血管腫における外科的治療法の検討
学校心臓検診研究会	2019.7.20	長野市	小山 智史 瀧間 浄宏 武井 黄太 田中 登 米原 恒介 沼田 隆佑 大日方春香 正本 雅斗 山田優里子 安河内 聡	長野県立こども病院への学校心臓検診紹介患者の近年の動向について
集中治療医学会 第3回 関東甲信越支部学術集会	2019.7.27	山梨県 甲府市	山田有希子 鹿田 文昭 岡村 達 瀧間 浄宏 安河内 聡	小児心臓手術後の血管透過性亢進による胸腹水貯留に対してバソプレシンが有効であった一例
第36回 日本小児臨床アレルギー学会	2019.7.29	和歌山県 和歌山市	百瀬 麻未 橋本美由起 小池 由美	小児アレルギーエデュケーターによるスキンケア講習が保健師などの知識に与える変化

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第26回 日本遺伝子診療学会大会	2019.8.2 ～4	北海道 札幌市	久保田紀子 涌井 敬子 小林 純 日高恵以子 戸塚 実	マイクロアレイ染色体検査の CNVs 検出条件を変更した効率的再解析方法に関する検討
第124回 信州整形外科懇談会	2019.8.17	松本市	畑 広樹	自然消退した骨軟骨腫の1例
第124回 信州整形外科懇談会	2019.8.18	松本市	野口 武昭	乳幼児の大腿骨骨折に対する治療法の工夫
第124回 信州整形外科懇談会	2019.8.19	松本市	中西 真也	ペルテス病の早期画像診断
第124回 信州整形外科懇談会	2019.8.20	松本市	松原 光宏	是非 聞いて欲しい小児整形外科の現状
第55回 中部日本小児科学会	2019.8.20	富山県 富山市	小山 智史 瀧間 浄宏 武井 黄太 田中 登 米原 恒介 沼田 隆佑 大日方春香 正本 雅斗 山田優里子 安河内 聡	長野県立こども病院への学校心臓検診紹介患者の動向
第40回 長野県手術研究会	2019.8.24	中野市	古池 仁美 前田 奈美 栗山 美鈴	自閉症があり手術の受け入れが困難である患児に対する支援
日本病院薬剤師会 関東ブロック学術大会	2019.8.24 ～25	山梨県 甲府市	小林 愛 鈴木 英二 小林 恵子 堀 勝幸	小児専門病院におけるブリアボイド事例の解析
日本病院薬剤師会 関東ブロック学術大会	2019.8.24 ～25	山梨県 甲府市	熊谷 静香 鈴木 英二 小口 真実 堀 勝幸	小児長期 TPN・HPN の現状とこれからの課題
PICS-ACIS 2019	2019.9.1	San Diego, USA	Yasukochi S, Takigiku K, Takei K, Numata R, Tanaka N, Koyama S, Yonehara K, Obinata H, Yamada E, Masamoto M, Takagi K, Okamura M.	Successful coil embolization for Huge pulmonary arteriovenous fistula immediately after elective caesarean section on the basis of prenatal diagnosis (poster)
2019年 小児腫瘍分類委員会・症例検討会	2019.9.6	東京都	小木曾嘉文	胸膜肺芽腫 III 型の1例
日本麻酔科学会 関東甲信越・東京支部 第59回 合同学術集会	2019.9.7	東京都	市野 隆 相場 一馬 桃崎 美香 阿部 世紀 大畑 淳	出生前診断で肺動静脈奇形と診断した新生児に対する肺動脈塞栓術の麻酔経験



学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第26回 日本排尿機能学会	2019.9.12	東京都	市野みどり 井川 靖彦 関 聡	神経因性膀胱小児に対するミラベグロン使用経験
第2回 日本アレルギー学会関東地方会	2019.9.14	東京都	小池 由美 徳永 舞	ハイリスク症例に対する少量食物経口負荷試験の検討
第50回 日本看護協会 ヘルスプロモーション学術集会	2019.9.20	長野市	高嶋紗也香	気管切開・喉頭気管分離を要する患児の主な養育者が抱える在宅での気管切開管理の実態と課題
第50回日本看護協会 ヘルスプロモーション学術集会	2019.9.20	長野市	長谷川絵里 横山由香里	A病棟の特性を考慮したMRSA感染対策マニュアル作成及び教育活動 ～教育前後での知識調査からみえた効果と課題～
第45回 日本重症心身障害学会学術集会	2019.9.20 ～21	岡山県 岡山市	福島 華子 樋口 司 三間真理子	地域中核病院・地域病院・小児専門病院による短期入所連絡会の取り組み
第133回 中部整形外科災害外科	2019.9.20	兵庫県 神戸市	中西 真也	ペルテス病の早期画像診断
第133回 中部整形外科災害外科	2019.9.21	兵庫県 神戸市	泉水 康洋	DDH 治療後 再脱臼・側方化の予測因子
第133回 中部整形外科災害外科	2019.9.22	兵庫県 神戸市	松原 光宏	乳児期臼蓋形成不全のスクリーニング方法
第59回 日本臨床化学学会学術集会	2019.9.27 ～29	宮城県 仙台市	二木亜希子 日高恵以子 日高 宏哉 石嶺 南生 菅野 光俊 戸塚 実	リポ蛋白 X 陽性検体がビウレット法による血清総蛋白測定に及ぼす影響
第19回 中部小児がんトータルケア研究会	2019.9.28	愛知県 名古屋市	矢野 恵理 林部 麻美 倉田 敬 坂下 一夫	予後不良な小児がんにおける意思決定の過程での家族の気持ちの揺らぎに関する一考察
第81回 日本血液学会	2019.10.10 ～13	東京都	小林 純 川上 徹 関口 和 山根 拓 酒井 均 仁科さやか 日高恵以子 久保田紀子 棚橋 高大 樋口由美子 中沢 洋三 中澤 英之 石田 文宏	Tリンパ芽球性白血病/リンパ腫におけるSTAT5B 変異とクローン進展との関係

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第81回 日本血液学会	2019.10.12	東京都	Kubota N, Sakashita K, Yoshuda N, Akahane K, Mori T, Takahashi N, Kikuta A, Kobayashi J, Kurata T, Hidaka E.	MRD assessmesent of juvenile myelomonocytick leukemia using next-generation sequencing.
第33回 日本手術看護学会	2019.10.12	岡山県 岡山市	森本奈々恵 前田 奈美 兼山 美鈴	ラダー段階別にみた手術室での倫理的問題に対する看護師の倫理的思考と行動
第29回 国際超音波産婦人科学会	2019.10.12 ~ 16	Berlin, Germany	Takigiku K, Ikeda T, Takei K, Kaji T, Kawazu Y, Kawasaki Y, Inamura N.	Multicenter registration for fetal echocardiography in Japan
第126回 中信医学会	2019.10.19	塩尻市	中村 友彦	こども病院の外来・入院患者の最近の動向と今後の課題
中信医学会	2019.10.19	塩尻市	松原 光宏	是非聞いて欲しい こどもの下肢痛
第28回 小児心筋疾患学会	2019.10.19	大阪府 大阪市	正本 雅斗 瀧間 浄宏 武井 黄太 沼田 隆佑 田中 登 小山 智史 大日方春香 米原 恒介 山田優里子 安河内 聡	不整脈を初発症状とした拡張相肥大型心筋症の1例
第23回 小児神経甲信越地方会	2019.10.19 ~ 20	新潟県 柏崎市	齊藤 真規 稲葉 雄二 西岡 誠 渥美 香奈 今井 憲 中嶋 英子 本林 光雄 嶋田沙矢香 黒坂 了正 小木曾嘉文	腸軸捻転を合併したCOL4A1 遺伝子変異を有する女兒例
第23回 日本小児科学会甲信越地方会	2019.10.19 ~ 20	新潟県 柏崎市	今井 憲 西岡 誠 斎藤 真規 渥美 香奈 山内 翔子 竹内史穂子 中嶋 英子 本林 光雄 稲葉 雄二 三澤 由佳	当院におけるヌシネルセン髄注療法の現状と課題
第23回 日本小児神経学会甲信越地方会	2019.10.19 ~ 20	新潟県 柏崎市	三澤 由佳	小児のリハビリテーションの現状、課題、展望 ～長野県立こども病院のリハビリテーションを中心に～
第141回 信州産婦人科連合会	2019.10.26	松本市	翠川あゆみ 矢野絵里子 小西 久也 寺尾美代子 高木紀美代 吉田 志朗	羊水過少を伴った多発胎盤血管腫の1例
第51回 日本小児感染症学会学術集会	2019.10.26 ~ 27	北海道 旭川市	村井 健美 大森 教雄 南 希成	小児病院の医療従事者を介したと思われる human metapneumovirus のアウトブレイク



学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第51回 日本小児感染症学会学術集会	2019.10.26 ~27	北海道 旭川市	南 希成 村井 健美 大森 教雄	Klebsiella oxytoca による 菌血症のまとめ、大腸菌 菌血症との比較
第51回 日本小児感染症学会学術集会	2019.10.26 ~27	北海道 旭川市	村井 健美 大森 教雄 南 希成	小児病院の医療従事者を 介したと思われる human metapneumovirus のアウ トブレイク
第22回 長野県母性衛生学会	2019.10.27	松本市	近藤 由佳 山崎 美穂	総合周産期母子医療セン ターにおけるグリーンケ アチームの取り組み
第37回 日本頭蓋顎顔面外科学会	2019.10.31 ~11.1	東京都	野口 昌彦 星野 夕紀 矢口貴一郎 一之瀬優子	ただ拡大すればいいのか？ unfavorable result case を通じた瞼裂狭小症治 療の現状
第37回 日本頭蓋顎顔面外科学会	2019.10.31 ~11.1	東京都	矢口貴一郎 杠 俊介 永井 史緒 山田 一尋 星野 夕紀 野口 昌彦	GPP、SABG 後に骨架橋 形成を認めた顎裂に追加 で実施する口腔前庭側切 開からの顎裂骨移植術
第46回 日本小児栄養消化器肝臓学会	2019.11.1 ~3	奈良県 奈良市	樋口 司 好沢 克 中山 佳子	早期発症炎症性腸疾患を 合併した先天性ミオパ チーの1例
第56回 日本小児アレルギー学会学術大会	2019.11.2 ~3	千葉県 千葉市	小池 由美 徳永 舞	当院で経験した Solid food protein induced enterocolitis syndrome の まとめ
第37回 日本こども病院神経外科医会	2019.11.2 ~3	山口県 宇部市	宮入 洋祐 神谷 圭介 重田 裕明	V-P シャント再建術後に 魚骨による小腸穿孔を起 こした症例
第29回 日本医療薬学会	2019.11.2 ~4	福岡県 福岡市	尾坂 早苗 鈴木 英二 小林 恵子 堀 勝幸	地域フォーミュラリーを 見据えた医薬品在庫管理 業務におけるシステムの 再構築と課題
第29回 日本医療薬学会	2019.11.2 ~4	福岡県 福岡市	松澤麻紀子 鈴木 英二 西條 純 堀 勝幸	NICU の TPN 処方監査に 係る薬剤師の役割
第43回 日本死の臨床研究会年次大会	2019.11.4	兵庫県 神戸市	矢野 恵理	脳幹神経膠腫で余命告知 を受けた児の母にとって の子の成長と母子のつな がり
第64回 日本人類遺伝学会学術集会	2019.11.6 ~9	長崎県 長崎市	武田 良淳 荒川 経子 高野 亨子 古庄 知己	長野県立こども病院にお ける遺伝科外来の診療状 況

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
日本臨床麻酔学会 第39回大会	2019.11.7 ~9	軽井沢町	市野 隆 相場 一馬	胎児娩出後に突然意識消失を来した妊婦の帝王切開術の麻酔経験
日本臨床麻酔学会 第39回大会	2019.11.7 ~9	軽井沢町	相場 一馬 市野 隆	Microcuff®気管チューブを片肺挿管によって麻酔管理を行った新生児の先天性肺気道奇形の肺切除の1症例
日本泌尿器科学会 第196回 信州地方会	2019.11.9	長野市	市野みどり 岸蔭 貴裕 大澤絵都子 井川 靖彦	思春期に発症した脊髄係留症候群
第10回 成人移行期支援フォローアップ講座	2019.11.9	東京都	林部 麻美	長野県立こども病院における10年間の取り組み
第10回 成人移行期支援フォローアップ講座	2019.11.10	東京都	倉科美穂子	当院における成人移行期支援の実際と今後の課題
第125回 日本小児科学会甲信地方会	2019.11.10	山梨県 甲府市	大森 教雄 小池 由美 南 希成 竹内 浩一 内田恵理子 坂下 一夫 宮入 洋祐 重田 裕明 樋口 司	高Na血症で発症し3か月後の頭部MRI再検で診断できた脳腫瘍の1例
第61回 日本小児血液がん学会学術集会	2019.11.11 ~16	広島県 広島市	Uchida E, Komori K, Kurata T, Sakashita K.	終末期小児がん患者への非侵襲的換気療法の使用経験
第61回 日本小児血液がん学会学術集会	2019.11.11 ~16	広島県 広島市	Ozono S, Sakashita K, Yoshida N, Kakuda H, Hyakuna N, Nakayama H.	若年性骨髄単球性白血病における晩期合併症全国調査
第61回 日本小児血液がん学会学術集会	2019.11.11 ~16	広島県 広島市	小森 一寿 内田恵里子 倉田 敬 武田 良淳 古庄 知己 坂下 一夫	DICER1の生殖細胞変異を検索した胸膜胚芽腫の1例
第61回 日本小児血液がん学会学術集会	2019.11.11 ~16	広島県 広島市	大倉 絵梨 中沢 洋三 坂下 一夫 大槻 憲吾 唐澤 芽唯 大森 早貴 小泉 知展	北信がんプロ・地域がんデータベースを用いた小児・AYA世代のがん罹患の実態把握
第50回 日本看護学会慢性期看護	2019.11.14	鹿児島県 鹿児島市	下畑みづ紀 関口 久美 橋本美由起	A病院の退院前外来オリエンテーションの現状と課題 ー 外来看護師と病棟看護師の意識調査から見てきたことー
第28回 日本形成外科学会基礎学術集会	2019.11.14 ~15	宮城県 仙台市	野口 昌彦 長谷川 航 一ノ瀬規世	漏斗胸パー抜去後の再陥凹に関する胸郭モデル(THUMS®)を用いた検討



学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第17回 日本小児がん看護学会学術集会	2019.11.16	広島県 広島市	平林 梨奈 赤羽衣里子 宮下 智子 塚田 織会 林部 麻美	抗がん剤暴露対策に対する認識の変化 －付き添う家族への改訂版パンフレットを用いた再指導から－
第28回 長野県小児腎臓病研究会	2019.11.16	松本市	市野みどり	水腎症の診断と治療－非典型的な症例
American Heart Association 2020	2019.11.16 ～18	Philadelphia, USA	Takei K, Yasukochi S, Takigiku K, Tanaka N, Yonehara K, Obinata H, Koyama T.	2D speckle tracking echocardiography derived strain in normal fetus.
日本小児麻酔学会 第25回大会 シンポジウム	2019.11.17	鳥取県 米子市	前田 奈美	小児専門病院と急性期総合病院における小児周術期看護について 発達障がい児、家族に対する周術期看護
第30回 日本小児整形外科学会	2019.11.21	大阪府 大阪市	松原 光宏	エコーで乳児期の白蓋形成不全をスクリーニングする
第30回 日本小児整形外科学会	2019.11.22	大阪府 大阪市	中西 真也	ペルテス病の早期画像診断
第30回 日本小児整形外科学会	2019.11.22	大阪府 大阪市	酒井 典子	青年期の二分脊椎による麻痺性内反足に対する三関節固定術
第30回 日本小児整形外科学会	2019.11.23	大阪府 大阪市	泉水 康洋	DDH 治療後再脱臼・側方化の予測因子
第19回 Nuss 法漏斗胸手術手技研究会	2019.11.23	群馬県 前橋市	黒岩 諒 藤森 伸江 武田 浩子 野口 昌彦	当院における術後疼痛管理の実態
第19回 Nuss 法漏斗胸手術手技研究会	2019.11.23	群馬県 前橋市	野口 昌彦 星野 夕紀 矢口貴一郎 一之瀬優子	Nuss 法バー抜去時の胸骨位置の後戻りに対する取り組み
第19回 Nuss 法漏斗胸手術手技研究会	2019.11.23	群馬県 前橋市	野口 昌彦 星野 夕紀 矢口貴一郎 一之瀬優子	優しさにも通じる漏斗胸治療における最近の工夫
令和元年度 長野県薬剤師会病診部会及び 長野県病院薬剤師会 学術大会	2019.11.24	長野市	鈴木 英二	長野県立こども病院におけるプレアボイド事例

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第 64 回 日本新生児成育医学会・学術集会	2019.11.27 ～29	鹿児島県 鹿児島市	森川 友樹 小川 亮 小田 新 宗像 俊 廣間 武彦 中村 友彦	NAVA 管理に変更し繰り返す気胸・気腫性嚢胞が改善した 1 例
第 29 回 日本新生児看護学会学術集会	2019.11.29	鹿児島県 鹿児島市	滝澤 瑤子 原口 絵史 百瀬 弓子	A 病院における気管内挿管中の児のカンガルーケア導入に向けたスタッフの意識調査
第 79 回 信州形成外科学会	2019.11.30	長野市	鷹木 佳祐 加藤 勇輝 山崎 浩 野口 昌彦	Nuss 法における胸部矯正の力学的解析
第 125 回 信州脳神経外科集談会	2019.12.7	長野市	千葉 晃裕 宮入 洋祐 重田 裕明	低出生体重児脳出血後水頭症に合併した孤立性第四脳室に対する内視鏡治療 ～症例報告～
第 12 回 植込みデバイス関連 冬季大会	2020.1.6 ～8	愛知県 名古屋市	瀧間 浄宏	デバイスリード位置トラブル
第 22 回 日本成人先天性心疾患学会総会 ・学術集会	2020.1.17 ～19	東京都	大日方春香 瀧間 浄宏 山田優里子 正本 雅斗 沼田 隆佑 米原 恒介 小山 智史 田中 登 武井 黄太 安河内 聡	たこつぼ心筋症を発症した Fontan 術後若年女性の一例
第 31 回 日本 Pediatric Interventional	2020.1.23	沖縄県 那覇市	小山 智史 武井 黄太 瀧間 浄宏 沼田 隆佑 田中 登 大日方春香 米原 恒介 正本 雅斗 安河内 聡	逆行性アプローチによる上大静脈 - 肺静脈側副血管コイル塞栓術を行った一例
JPIC	2020.1.23 ～25	沖縄県 那覇市	沼田 隆佑 安河内 聡 瀧間 浄宏 武井 黄太 田中 登 小山 智史 大日方春香 米原 恒介 正本 雅斗 山田優里子	出生前診断に基づいた巨大先天性肺動静脈瘻に対する戦略的コイル塞栓術
第 31 回 JPIC 学会	2020.1.25	沖縄県 那覇市	安河内 聡 齊川 祐子 武井 黄太 瀧間 浄宏 沼田 隆佑 田中 登 米原 恒介 正本 雅斗 大日方晴香 小山 智史	経皮的心房中隔欠損閉鎖術遠隔期における心房機能 - 3D エコーによる評価
第 21 回 東京大学周産期研究会	2020.1.25	東京都	横川 裕亮 中島 啓輔 小西 久也 寺尾美代子 高木紀美代 吉田 志朗	発達障害やコミュニケーション障害が疑われる妊婦への対応



学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第14回 ASD, PDA デバイス閉鎖術 症例検討会	2020.1.25	沖縄県 沖縄市	大日方春香 武井 黄太 山田優里子 正本 雅斗 沼田 隆佑 米原 恒介 小山 智史 田中 登 瀧間 浄宏 安河内 聡 山本 隆平 山田有希子 鹿田 文昭 岡村 達 竹内 敬昌	ADO の下行大動脈への migration により外科的摘 除が必要となった一例
日本泌尿器科学会 第197回 信州地方会	2020.2.1	松本市	市野みどり 岸蔭 貴裕 大澤絵都子 井川 靖彦 西澤 秀治	腎盂尿管移行部狭窄に合 併する膀胱尿管移行部狭 窄
第8回 日本小児診療多職種研究会	2020.2.1	静岡県 静岡市	松原 光宏	是非聞いて欲しいこども の下肢痛
第26回 日本小児肺循環研究会	2020.2.8	東京都	米原 恒介 安河内 聡 大日方春香 正本 雅斗 沼田 隆佑 小山 智史 田中 登 武井 黄太 瀧間 浄宏	進行した肺高血圧合併の 完全大血管転位に対する 外科治療 Palliative Jatene vs Senning
日本小児肺循環研究会	2020.2.8	東京都	沼田 隆佑 瀧間 浄宏 安河内 聡 武井 黄太 田中 登 小山 智史 大日方春香 米原 恒介 正本 雅斗 山田優里子	チーム連携による Treprostinil 持続皮下投与 の導入・継続が奏功した 21 trisomy、完全型房室 中隔欠損症術後肺動脈性 肺高血圧の1例
令和元年度 長野県立病院機構 診療放射線技師研修会	2020.2.8	塩尻市	伊藤 翼 栗津原信一	MR I 検査時間短縮に向け た圧縮センシングの使用 経験
第20回 食物アレルギー研究会	2020.2.9	神奈川県 横浜市	小池 由美 徳永 舞	当院で経験した Solid food protein induced enterocolitis syndrome の 症例集積研究
第22回 新生児呼吸療法 モニタリングフォーラム	2020.2.13	大町市	深尾 有紀	看護の視点で Eid をお得 に活用する
第22回 新生児呼吸療法 モニタリングフォーラム	2020.2.13 ~ 15	大町市	丸山 求 宗像 俊他 有賀さゆり	企画セッション 呼吸器ついていても遊ん じゃおう！ ~人工呼吸器管理下にお けるお子さんとの関わり~
第22回 新生児呼吸療法 モニタリングフォーラム	2020.2.13 ~ 15	大町市	小田 新 深尾 有紀 他	企画セッション 侵襲呼吸モニタリング フォーラム~ NAVA、Edi をおトクに使おう~
第22回 新生児呼吸療法 モニタリングフォーラム	2020.2.13 ~ 15	大町市	廣間 武彦 他	企画セッション PI カテーテルのつまらな い話III

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第22回 新生児呼吸療法 モニタリングフォーラム	2020.2.13 ～15	大町市	小川 亮 他	企画セッション ONE TEAM ～VN500、もう奇跡とは 言わせない～
第22回 新生児呼吸療法 モニタリングフォーラム	2020.2.15	大町市	有賀さゆり	NICUにおける呼吸器管 理中の児のケアについて
第125回 信州整形外科懇談会	2020.2.15	松本市	松原 光宏	小児の創外固定器からブ レートへのコンバージョ ン手術の適応基準
第125回 信州整形外科懇談会	2020.2.15	松本市	小田切優也	脛骨遠位骨端線損傷後の 神経障害
第125回 信州整形外科懇談会	2020.2.15	松本市	土屋 良真	『小児の発熱と関節痛』 鑑別診断は？
第125回 信州整形外科懇談会	2020.2.15	松本市	酒井 典子	浅大腿動脈断裂後の阻 血性拘縮に対し Taylor Spatial Frame による矯正 を行った1例

● 本部事務局

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第21回 日本医療マネジメント学会学術総会	2019.7.19 ～20	愛知県 名古屋市	中条 善則 本藤美奈子 関澤 正	看護職場の数値化による 適正人員数の検討
第58回 全国自治体病院学会	2019.10.24 ～25	徳島県 徳島市	中条 善則 本藤美奈子 関澤 正	看護職場の数値化による 適正人員数の検討

● 本部研修センター

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
日本小児看護学会 第29回 学術集会	2019.8.3 ～8.4	北海道 札幌市	斎藤 依子	限りある人材を有効に活 用する働き方改革への取 り組み
第58回 全国自治体病院学会	2019.10.24 ～10.25	徳島県 徳島市	岩下ちひろ 久保 恵嗣 吉岡 郁郎 稲葉 雄二 山崎 善隆 坂口 幸治 原田 謙 伊東 一博 小出 直彦	医学生対象長野県立病院 機構病院説明会の試み
第14回 医療の質安全学会学術集会	2019.11.29 ～11.30	京都府 京都市	芳賀 了 林 真由美 青木 健郎 斎藤 依子	小児専門病院の苦情対応 研修にロールプレイ観察 を用いた研修の一例



5 研究論文について

● 信州医療センター

著者名	題名	著者・雑誌・集録名・発行年・出版社名・発表者
赤松 泰次 下平 和久 宮島 正行 中村真一郎 植原 啓之 木畑 穰 長屋 匡信 菅 智明	小腸腫瘍（総論）	消化器・肝臓内科 第5巻 第4号 2019年4月発行 科学評論社
臼田 悠 根本 和明 渡辺 憲弥 三井 勝博	診断と治療に難渋した結核性肩関節炎の1例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌 62巻5号 Page893-894
赤松 泰次 下平 和久 宮島 正行 中村真一郎 植原 啓之 木畑 穰	胃潰瘍・胃ポリープ	消化器内視鏡 第31巻 第4巻 2019年4月 東京医学社
赤松 泰次 下平 和久 宮島 正行 中村真一郎 植原 啓之 木畑 穰	消化管感染症における内視鏡の感染管理と院内感染対策	消化器内視鏡 第31巻 増刊号 2019年10月 東京医学社
上原 尚也 植原 啓之 赤松 泰次 勝山 翔太 下平 和久 宮島 正行 中村真一郎 木畑 穰 久保 直樹 古澤 徳彦 増尾 仁志 寺田 克	白苔で覆われた1型大腸癌を先進部とした成人腸重積症の1例	ENDOSCOPIC FORUM for digestive disease Vol.35 No.1 pp.23-28,2019
赤松 泰次	未成年者に対する Helicobacter pylori 感染症対策の現状と問題点	ENDOSCOPIC FORUM for digestive disease Vol.35 No.2 pp.95-101,2019
赤松 泰次 下平 和久 宮島 正行 中村真一郎 植原 啓之 木畑 穰 松澤 正浩 北村 静信 金児 泰明 立岩 信之 下鳥 正博	山間部を含む地域における対策型胃内視鏡検診の導入 ー長野県須高地区における試みー	消化器内視鏡 第31巻 第12号 2019年12月 東京医学社
赤松 泰次 長屋 匡信 三枝 久能 徳武康二郎 小島 英吾	粘膜下腫瘍様の形態を示す胃癌	消化器内視鏡 第32巻 第1号 2020年1月 東京医学社
渡辺 憲弥 三井 勝博 臼田 悠 根本 和明	人工股関節全置換術後のカップ前方開角は単純X線による計測では過小評価される	中部日本整形外科災害外科学会雑誌 62巻6号 Page1007-1008
渡辺 憲弥 三井 勝博 臼田 悠 根本 和明	Ring加工したK-wireによる tension band wiring の有用性	中部日本整形外科災害外科学会雑誌 62巻6号 Page1047-1048
岩波 直弥 荒木 太亮 山崎 善隆	HIV治療による免疫再構築症候群により頸部・縦隔リンパ節結核が増悪し、気道狭窄を生じた1例	結核 2019, 94, 461-465.
Kosaka M, Yasuo M, Kinota F, Machida R, Kitaguchi Y, Ushiki A, Yamamoto H, Uehara T, Hamanaka K, Kawakami S, Hanaoka M.	Probe-based optical fiberscopy for the direct observation of peripheral pulmonary lesions.	Respir Investig 2019, 57, 481-489.
Ikuyama Y, Ushiki A, Akahane J, Kosaka M, Kitaguchi Y, Urushihata K, Yasuo M, Yamamoto H, Hanaoka M.	Comparison of clinical characteristics of patients with Mycobacterium avium complex disease by gender.	Epidemiol Infect 2019, 147, e108.

著者名	題名	著者・雑誌・集録名・発行年・出版社名・発表者
Kohno K, Sakakibara A, Iwakoshi A, Hasegawa M, Adachi S, Ishikawa E, Suzuki Y, Shimada S, Nakaguro M, Shimoyama Y, Takahara T, Takahashi E, Ohashi A, Satou A, Kato S, Asano N, Nakamura S.	Syncytial variant of classic Hodgkin lymphoma: Four cases diagnosed with the aid of CD274/programmed cell death ligand 1 immunohistochemistry.	Pathol Int. 2020 Feb;70 (2) :108-115.
Sakakibara A, Kohno K, Iwakoshi A, Moritani S, Fujishiro A, Kito K, Suzuki Y, Shimada S, Nakaguro M, Shimoyama Y, Takahara T, Takahashi E, Ohashi A, Satou A, Kato S, Asano N, Nakamura S.	Diagnostic utility of programmed cell death ligand 1 (clone SP142) in mediastinal composite lymphoma: A report of two cases.	Pathol Int. 2020 Feb;70 (2) :116-122.
Megahed NA, Kohno K, Sakakibara A, Eladl AE, Elsayed AA, Wu CC, Suzuki Y, Takahara T, Kato S, Nakamura S, Satou A, Asano N.	Anaplastic variant of diffuse large B-cell lymphoma: Reappraisal as a nodal disease with sinusoidal involvement.	Pathol Int. 2019 Dec;69 (12) :697-705.
Miyazaki K, Asano N, Yamada T, Miyawaki K, Sakai R, Igarashi T, Nishikori M, Ohata K, Sunami K, Yoshida I, Yamamoto G, Takahashi N, Okamoto M, Yano H, Nishimura Y, Tamaru S, Nishikawa M, Izutsu K, Kinoshita T, Suzumiya J, Ohshima K, Kato K, Katayama N, Yamaguchi M; CD5+ DLBCL Treatment Study Group.	DA-EPOCH-R combined with high-dose methotrexate in patients with newly diagnosed stage II-IV CD5-positive diffuse large B-cell lymphoma: a single-arm, open-label, phase 2 study.	Haematologica. 2019 Oct 24. [Epub ahead of print]
Yamaguchi M, Suzuki R, Miyazaki K, Amaki J, Takizawa J, Sekiguchi N, Kinoshita S, Tomita N, Wada H, Kobayashi Y, Niitsu N, Ando T, Maeda T, Saito B, Matsuoka H, Sakai R, Kubota N, Masaki Y, Kameoka Y, Asano N, Oguchi M, Katayama N.	Improved prognosis of extranodal NK/T cell lymphoma, nasal type of nasal origin but not extranasal origin.	Ann Hematol. 2019 Jul;98 (7) :1647-1655.
箕輪恵美子	障がいを持った患者の入退院支援と在宅支援における障がい福祉との連携の具体策～「須高地域入退院時連携調整ルール」を活用して地域連携入院と在宅支援	地域連携入退院と在宅支援 第12巻 第3号 2019年7月 p74～81
田中健二他	消毒薬	治療薬ハンドブック 2020 P1475-1489, じほう



● こころの医療センター駒ヶ根

著者名	題名	著者・雑誌・集録名・発行年・出版社名・発表者
原田 謙	「キレル」はこころのSOS ：発達障害の二次障害の理解から	星和書店 2019年5月1日
原田 謙	反抗挑発症／素行症	小児内科 2019年12月号
山田 慎二 原田 謙	うつ	小児内科 2019年10月増大号

● 木曽病院

著者名	題名	著者・雑誌・集録名・発行年・出版社名・発表者
Katsuya Nakamura, Kunihiro Yoshida, Akira Matsushima, Yusaku Shimizu, Shunichi Sato, Hiroyuki Yahikozawa, Shinji Ohara, Masanobu Yazawa, Masao Ushiyama, Mitsuto Sato, Hiroshi Morita, Atsushi Inoue, Shu-ichi Ikeda	Natural History of Spinocerebellar Ataxia Type 31:a 4-Year Prospective Study	Cerebellum (2017) 16:518-524 Doi 10.1007/s12311-016-0833-6
加賀谷丈紘 小出 直彦 小山佳紀	切除不能進行胃癌の化学療法中に幽門ステントが破損した1例	日本消化器病学会雑誌 2019; 116: 1049-52
吉岡 郁郎 窪田 文香 中島 雅子	不登校の中学女兒への真武湯（TJ-30）の使用経験	産婦人科 漢方研究の歩み No36 2019年 診断と治療社
吉岡 郁郎 窪田 文香 宮下 昭太	当院不定愁訴外来での最多愁訴である『易疲労感』を訴える患者の特徴	女性心身医学第24巻 第3号 2019年
中曽根 潤 樋口 祥平	創外固定手技を応用した腰椎破裂骨折の治療経験 -創外固定から創内固定へ-	日本創外固定・骨延長学会雑誌 31: 75-82 2020

● こども病院

著者名	題名	著者・雑誌・集録名・発行年・出版社名・発表者
村井 健美 松井 基浩 東間 未来 小森 広嗣 湯坐 有希 堀越 裕歩	繰り返す重症感染症のため臍帯血移植で治療した慢性肉芽腫症の1例	小児科臨床 2019;72(9):1403-1407
村井 健美	【小児の救急・搬送医療】 病態と疾患 感染症 ブドウ球菌皮膚熱傷様症候群 (解説/特集)	小児内科 51巻増刊 2019;693-695
小池 由美	【知っておきたいアナフィラキシー】 アドレナリン自己注射薬に関するトピック	小児科臨床 2020;73(2):163-168
Akahane K, Watanabe A, Furuichi Y, Somazu S, Oshiro H, Goi K, Sakashita K, Muramatsu H, Hama A, Takahashi Y, Koike K, Kojima S, Sugita K, Inukai T	Successful hematopoietic stem cell transplantation from an HLA-mismatched parent for engraftment failure after unrelated cord blood transplantation in patients with juvenile myelomonocytic leukemia: Report of two cases.	Pediatr Transplant. 2019;23(3):e13378.
Shigemura T, Matsuda K, Kurata T, Sakashita K, Okuno Y, Muramatsu H, Yue F, Ebihara Y, Tsuji K, Sasaki K, Nakahata T, Nakazawa Y, Koike K	Essential role of PTPN11 mutation in enhanced haematopoietic differentiation potential of induced pluripotent stem cells of juvenile myelomonocytic leukaemia.	Br J Haematol. 2019;187(2):163-173.
Shigemura T, Yanagisawa R, Komori K, Morita D, Kurata T, Tanaka M, Sakashita K, Nakazawa Y	Prevention of transfusion-transmitted cytomegalovirus infection using leukoreduced blood components in patients receiving seronegative umbilical cord blood transplantation.	Transfusion. 2019;59(10):3065-3070.
Yanagisawa R, Tatsuzawa Y, Ono T, Kobayashi J, Tokutake Y, Hidaka E, Sakashita K, Nakamura T	Analysis of clinical presentations of allergic transfusion reactions and febrile non-haemolytic transfusion reactions in paediatric patients.	Vox Sang. 2019;114(8):826-834.
Ide Y, Yanagisawa R, Kubota N, Sakashita K, Tozuka M, Nakamura T, Honda T	Analysis of the clinical characteristics of pediatric patients who experience ifosfamide-induced encephalopathy.	Pediatr Blood Cancer. 2019;66(12):e27996.
Thanh Nha Uyen L, Amano Y, Ai-Kzayer LFY, Kubota N, Kobayashi J, Nakazawa Y, Koike K, Sakashita K	PCDH17 functions as a common tumor suppressor gene in acute leukemia and its transcriptional downregulation is mediated primarily by aberrant histone acetylation, not DNA methylation.	Int J Hematol. 2020;111(3):451-462.
Saito S, Yanagisawa R, Minami K, Uchida E, Watanabe T, Komori K, Kurata T, Nakamura T, Sakashita K	Prophylactic piperacillin administration in pediatric patients with solid tumors following different intensities of chemotherapy.	Pediatr Int. 2020;62(2):158-168.
Motoki N, Inaba Y, Shibasaki T, Misawa Y, Ohira S, Kanai M, Kurita H, Nakazawa Y, Tsukahara T, Nomiya T, Japan Environment and Children's Study Group	Maternal Exposure to Housing Renovation During Pregnancy and Risk of Offspring with Congenital Malformation: The Japan Environment and Children's Study	Scientific Reports 2019;9(1):11564.
Yamaguchi T, Takano K, Inaba Y, Morikawa M, Motobayashi M, Kawamura R, Wakui K, Nishi E, Hirabayashi SI, Fukushima Y, Kato H, Takahashi J, Kosho T.	PIEZO2 deficiency is a recognizable arthrogyposis syndrome: A new case and literature review.	Am J Med Genet A 2019;179(6):948-957



著者名	題名	著者・雑誌・集録名・発行年・出版社名・発表者
Ohira S, Motoki N, Shibasaki T, Misawa Y, Inaba Y, Kanai M, Kurita H, Shiozawa T, Nakazawa Y, Tsukahara T, Nomiya T, Japan Environment and Children's Study Group	Alcohol Consumption During Pregnancy and Risk of Placental Abnormality: The Japan Environment and Children's Study	Scientific Reports 2019;9(1):10259.
Iida A, Takano K, Takeshita E, Abe-Hatano C, Hirabayashi S, Inaba Y, Kosugi S, Kamatani Y, Momozawa Y, Kubo M, Nakagawa E, Inoue K, Goto YI.	A novel PAK3 pathogenic variant identified in two siblings from a Japanese family with X-linked intellectual disability: case report and review of the literature.	Cold Spring Harb Mol Case Stud 2019;5(6):a003988
Sado T, Nakata S, Tsuno T, Sato M, Misawa Y, Yamauchi S, Inaba Y, Kobayashi D, Wada K.	Concentrations of various forms of vitamin B6 in ginkgo seed poisoning.	Brain Dev 2019;41(3):292-295
Morikawa M, Motobayashi M, Hara Y, Inaba Y, Nakazawa Y	Usefulness of continuous glucose monitoring for prevention and early detection of hypoglycemia caused by a ketogenic diet and late dumping syndrome	Pediatric Neurology 2020;105:65-66
酒井 慧 稲葉 雄二 斎間 陽子 山内 翔子 中嶋 英子 福山 哲広 三澤 由佳 塚原 孝典 神谷 素子 古庄 知己	在宅高流量鼻カニユラで在宅移行した先天性筋無力症候群の乳児例	日本小児科学会雑誌 2019;123(8):1255-1260.
中嶋 英子 稲葉 雄二 山内 翔子 渥美 香奈 竹内史穂子 本林 光雄 三澤 由佳 日詰恵里子 平林 伸一	発達障害専門外来の利用状況の推移	長野県立こども病院医学雑誌 2019;2(1):30-36.
本林 光雄 稲葉 雄二	小児の急性脳症： 中枢神経疾患と管理；ICU治療指針 I	救急・集中治療 2019;31(2):281-286
稲葉 雄二 本林 光雄	小児の急性脳炎： 中枢神経疾患と管理；ICU治療指針	救急・集中治療 2019;31(2):277-280
佐藤 公則 稲葉 雄二	小児の細菌性髄膜炎： 中枢神経疾患と管理；ICU治療指針	救急・集中治療 2019;31(2):273-276
稲葉 雄二	末梢の病態 GBS、CIDP、MGの理解と実践； 小児神経と炎症	小児神経学の進歩 2019; 48:41-55
稲葉 雄二	胃瘻からのケトンフォーミュラ注入を要したグルコーストランスポーター 1 欠損症の女児例	特殊ミルク情報 2019;55:26-29
稲葉 雄二	重症筋無力症、先天性筋無力症； 神経筋疾患、新たな治療の時代へ	小児科診療 2020;83(1): 81-86.
米原 恒介 小川 亮 小久保雅代 廣間 武彦 中村 友彦	当院における Potter's sequence 児の生存退院に関連する予測因子の検討	日本周産期・新生児医学会雑誌 2019;55(1):41-45
小田 新	NHF は早産児の呼吸補助の Weaning において横隔膜の負荷を軽減する EAdi を用いた NHF 治療の評価	福田記念医療技術振興財団情報 2019;32:9-15

著者名	題名	著者・雑誌・集録名・発行年・出版社名・発表者
宗像 俊	新生児搬送 その後を決める!判断ポイント (第4回) 嘔吐、腹部膨満	with NEO 2019;32(4):602-603
小川 亮	【比べてわかる根拠と極意 新生児の Care & Cure むかし・いま・みらい】 呼吸管理 慢性肺疾患へのステロイド使 用の変遷 全身投与の功罪と吸入療法	with NEO 2020;33(1):90-94
大西 健仁 岡部 稔枝	【直伝!超・極低出生体重児のケア】 在胎 23 週 500g の赤ちゃんの管理	with NEO 2020;33(2):250-260
廣間 武彦	【直伝!超・極低出生体重児のケア】 超・極低出生体重児の発達予後と外来 フォロー	with NEO 2020;33(2):286-292
小田 新	【換気モードから評価まで まるっと!新 生児の人工呼吸管理】 換気モード VTV、NAVA Source :	with NEO 2020;33(3)416-423
宗像 俊	【送る・迎える・運ぶ・戻す 新生児搬 送 A to Z】 バクトランスファー(長野方式)	with NEO 2020;33(4):537-542
大西 健仁	【病態・ケアマップでわかる!きほんの新 生児疾患(21)】 (2章) 病態・ケアマップでわかる!新生 児疾患 21 呼吸器系の疾患 呼吸窮迫 症候群 (RDS)	with NEO 別冊るNEO きほんの新生児疾患21 2020;20-25
亀井 良哉	【新生児の生理と対応のポイント 生後 すぐから 1 ヶ月健診まで助産師・お母さ んの悩みもスッキリ解決】 《出生直後~生後 72 時間の症状》心雑音	ペリネイタルケア 2020;39(4):353-357
吉田 志朗	パルボウイルス感染	ペリネイタルケア 2019;38(8):772-775
Umez K , Harada Y , Sakamoto T , Okamura T , Shintomi S , Takigiku K , Yasukochi S .	Neo-aortic insufficiency late after staged reconstruction for hypoplastic left heart syndrome: impact of differences in initial palliative procedures.	Heart Vessels. 2019;34(9):1456-1463. doi: 10.1007/s00380-019-01376-3. Epub 2019 Mar 27.
Zoghbi WA , Asch FM , Bruce C , Gillam LD , Grayburn PA , Hahn RT , Inglessis I , Islam AM , Lerakis S , Little SH , Siegel RJ , Skubas N , Slesnick TC , Stewart WJ , Thavendiranathan P , Weissman NJ , Yasukochi S , Zimmerman KG .	Guidelines for the Evaluation of Valvular Regurgitation After Percutaneous Valve Repair or Replacement: A Report from the American Society of Echocardiography Developed in Collaboration with the Society for Cardiovascular Angiography and Interventions, Japanese Society of Echocardiography, and Society for Cardiovascular Magnetic Resonance.	J Am Soc Echocardiogr. 2019 Apr;32(4):431-475. doi: 10.1016/j.echo.2019.01.003. Epub 2019 Feb 20.



著者名	題名	著者・雑誌・集録名・発行年・出版社名・発表者
Motoki H, Yasukochi S, Takigiku K, Takei K, Okamura T, Kimura K, Minamisawa M, Okada A, Saigusa T, Ebisawa S, Seto T, Shoda M, Okada K, Kuwahara K.	Establishment of a Healthcare System for Patients With Adult Congenital Heart Disease in Collaboration With Children's Hospital - The Nagano Model.	Circ J. 2019 Jan 25;83(2):424-431. doi: 10.1253/circj.CJ-18-0705. Epub 2018 Dec 20.
安河内 聡 瀧間 浄宏 武井 黄太	日本循環器学会： 先天性心疾患並びに小児期発症心疾患の 診断検査と薬物療法ガイドライン (2018年改訂版) 2019.8.7 発行	https://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2020/02/JCS_2018_Yasukochi.pdf
安河内 聡	【小児慢性疾患の移行期医療とリハビリテーション】 小児循環器疾患の移行医療	Journal of Clinical Rehabilitation 2019;28(13):1253-1260
安河内 聡	【指定難病ペディア 2019】 個別の指定難病 循環器系 完全大血管転位症 [指定難病 209]	日本医師会雑誌 2019;148巻特別1:S211-S212
安河内 聡	胎児心エコーによる先天性心疾患の診断 ②胎児心エコーで検出可能な疾患とは	Fetal & Neonatal medicine 2019;11(1):5-6
安河内 聡 杉山 央 金 成海 北野 正尚	新生児のカテーテル治療最前線	Fetal & Neonatal medicine 2019;11(1):39-41
安河内 聡	未来につなげた生命と生涯ともに挑戦し続ける	Fetal & Neonatal medicine 2019;11(1):8-16
松原 光宏	新たな乳児股関節健診の取り組み	中部整災誌 2019;62:13-14
白山 輝樹	こどもの下肢痛 成長痛で良いのか？	日小整会誌 2019;28(1):63-65
松原 光宏	斜頸	周産期医学 2020;50(2):247-249
Noguchi M, Hoshino Y, Yaguchia K, Hizumeb E, Yuzuriha S.	Does aggressive respiratory rehabilitation after primary Nuss procedure improve pulmonary function?	J Pediatr Surg. 20. pii: S0022-3468(19)30408-7. 2019
野口 昌彦	【形成外科の治療指針 update 2019】 皮膚・軟部組織疾患 母斑・神経皮膚症候群 扁平母斑、ベッカー母斑	形成外科 62巻増刊:S78
野口 昌彦	【形成外科の治療指針 update 2019】 頭頸部疾患 眼瞼下垂症 先天性眼瞼下垂 (解説/特集)	形成外科 62巻増刊:S105

著者名	題名	著者・雑誌・集録名・発行年・出版社名・発表者
矢口貴一郎 杠 俊介 永井 史緒 山田 一尋 星野 夕紀 野口 昌彦	就学前に行う顎裂骨移植に関する臨床的検討	形成外科 2019;62(9):1003-1007
市野 隆 田中 聡	術中反回神経損傷を防止するためのモニタリング	臨床麻酔 2020;44(2):161-167
小木曾嘉文 坂下 一夫 倉田 敬 小森 一寿 内田恵理子	横紋筋肉腫様成分を伴った低分化型 Sertoli-Leydig 細胞腫	日本小児血液・がん学会雑誌 2019;55:84
小木曾嘉文 黒坂 了正	上腸間膜動脈の狭小化による腸管壊死を発症した 18 トリソミーの 2 歳女児	長野県立こども病院医学雑誌 2019;2(1):37-40
Oda H, Miyakawa M, Mizuki M, Misawa Y, Tsukahara T, Tanaka M, Yamauchi K, Abe F, Nomiyama T.	Effects of Lactoferrin on Subjective Skin Conditions in Winter: A Preliminary, Randomized, Double-Blinded, Placebo-Controlled Trial.	Clin Cosmet Investig Dermatol. 2019;12:875-880
佐藤梨里子 工 穰	小児アレルギー性鼻炎	小児内科 2019;51(10):1388-1392
大塚 彩香 日高恵以子 久保田紀子	Malassezia spp. の検出を目的とした検体直接塗抹グラム染色の感度向上のための基礎的検討	長野県立こども病院医学雑誌. 2019, Vol2 No1:15-22
Lai SJ, Ohkawa R, Horiuchi Y, Kubota T, Tozuka M.	Red blood cells participate in reverse cholesterol transport by mediating cholesterol efflux of high-density lipoprotein and apolipoprotein A-I from THP-1 macrophages	Biol Chem. 2019; 400(12): 1593-1602.
Ide Y, Yanagisawa R, Kubota N, Sakashita K, Tozuka M, Nakamura T, Honda T.	Analysis of the clinical characteristics of pediatric patients who experience ifosfamide-induced encephalopathy	Pediatr Blood Cancer. 2019 Dec;66(12):e27996. doi: 10.1002/pbc.27996.
小田 新 宮川 純子	退院後に不安を抱える家族のギモン	with NEO 2019;32(6):867-873

● 本部事務局

著者名	題名	著者・雑誌・集録名・発行年・出版社名・発表者
関澤 正 大野 達也 田中 将之 原 広司 中部 貴央 今中 雄一	多職種・部門横断プロジェクトチームによる組織文化向上への取り組み	日本医療マネジメント学会雑誌 第20巻 第4号 2020年3月1日 特定非営利活動法人 日本医療マネジメント学会



6 本部研修センターによる研修会開催状況

研修名	研修対象者	研修目的	日程	参加者数 (人)
新規採用職員研修Ⅰ	新規採用職員	機構職員として必要な基礎知識と態度を身につけ、職場と仕事について理解を深める。	2019.4.11 ～12	56(新卒)
			2019.4.11	36(既卒)
				計92
新規採用職員研修Ⅱ	新規採用職員(新卒)	入職してからの3カ月を振り返り、仕事に取り組む意欲の向上を図る。	2019.7.12	55(新卒)
勤務3年目研修	新卒勤務後 3年目の職員	県立病院機構の役割と使命を理解し、自分の役割を考える。 入職してから今までを振り返り、自分の能力や考え方を明確にする。	2019.10.4	34
キャリア形成研修①	資格取得又は 最終卒年から 5年目の職員	県立病院機構の役割を再認識し、地域に安心して質の高い医療サービスを安定的に提供するため、自身の能力向上を主体的かつ計画的に考える。 5年目職員として目指すべき職員像を理解する。	2019.7.26	27
			2019.8.2	21
				計48
キャリア形成研修②	資格取得又は 最終卒年から 10年目の職員	県立病院機構の役割を再認識し、地域に安心して質の高い医療サービスを安定的に提供するため、自身の能力向上を主体的かつ計画的に考える。 10年目職員として目指すべき職員像を理解する。	2019.9.6	30
キャリア形成研修③	資格取得又は 最終卒年から 15年目の職員	県立病院機構の役割を再認識し、地域に安心して質の高い医療サービスを安定的に提供するため、自身の能力向上を主体的かつ計画的に考える。 15年目職員として目指すべき職員像を理解する。	2019.11.8	18
キャリア形成研修④	資格取得又は 最終卒年から 20年目及び 30年目の職員	県立病院機構の役割を再認識し、地域に安心して質の高い医療サービスを安定的に提供するため、自身の能力向上を主体的かつ計画的に考える。 20年目以上の職員として目指すべき職員像を理解する。	2019.10.23	39
リーダー研修Ⅰ フォロワーシップ研修	勤務4～7年目の職員	上司の補佐役としての中堅職員の役割とフォロワーシップを学ぶ。 フォロワーとして、必要な能力を身につける。等	2019.6.14	40
リーダー研修Ⅱ リーダーシップ研修		同僚、後輩を巻き込み、目標達成に向けリーダーシップを発揮する力を磨く。 上司部下を含め、周りとの信頼関係の構築を学ぶ。等	2019.7.19	37
新管理職研修	職場内で管理的役割を担う役職に就いて2年以内の職員 医師：診療科部長 看護職：看護師長 医療技術職：科長 薬剤部：部長 事務職：課長 以上	県立病院機構の労務管理を学ぶ。 管理職に必要なマネジメントの知識や技術を学ぶ。	2019.6.7	21

研修名		研修対象者	研修目的	日程	参加者数 (人)
選択研修	公文書の書き方・ 扱い方、労働条件・ 服務研修	全職種職員	公文書の意義や書き方を学び、公文書を理解して、作成できる力を身につける。 それぞれの職種の役割、知っておくべき労働条件や服務等を学び、機構職員としての自覚を身につける。	2019.9.13	12
	OJT研修	新規採用者等の指導・ 育成に係る職員等	OJTの意義を理解し、OJTによる育成計画の策定方法を学ぶとともに、具体的な進め方を習得し実践力を高める。	2020.2.21	26
シミュレーション研修	シミュレーション 教育指導 スキルアップ シリーズ①	長野県内の医療従事者 でシミュレーション教 育指導に関心のある者	シミュレーション教育の基礎と シナリオ作成	2019.9.12 2019.9.27	機構内15 機構外30
	シミュレーション 教育指導 スキルアップ シリーズ②		オリエンテーションとファシリテーション(学習者の思考や行為を支援する方法)	2019.10.18 2019.10.24	機構内17 機構外30
	シミュレーション 教育指導 スキルアップ シリーズ③		デブリーフィング(学習者の振り返りと学びを支援する方法)と総合演習	2019.11.22 2019.12.13	機構内17 機構外29
	シミュレーション 教育指導 スキルアップ シリーズ④	シナリオを用いたシミュレーション教育を行っている看護職・看護教員	シナリオ・ブラッシュアップ	中止	
	第6回 NPEC 長野小児救急セミナー	初期・後期研修医	重篤小児疾患の初期対応と三次医療機関への搬送基準を学ぶ。	2019.6.8	機構外13



●本部研修センターによる研修会開催状況（平成27年度から令和元年度）

研修名	研修対象者	参加者数（人）					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
課程別研修	新規採用職員研修Ⅰ	新規採用職員	90	99	75	64	92
	新規採用職員研修Ⅱ （フォローアップ研修）	新規採用職員（新卒）	66	65	44	34	55
	コミュニケーション 研修	勤務2～5年目前後の 職員	68	-	-	-	-
	勤務3年目研修	新卒勤務後3年目の 職員	58	55	51	53	34
	キャリア形成研修① （5年目）	資格取得又は最終卒年 から5年目の職員	-	-	-	49	48
	キャリア形成研修② （10年目）	資格取得又は最終卒年 から10年目の職員	-	-	-	28	30
	キャリア形成研修③ （15年目）	資格取得又は最終卒年 から15年目の職員	-	-	-	19	18
	キャリア形成研修④ （20年目以上）	資格取得又は最終卒年 から20年目及び30 年目の職員	-	-	-	26	39
	リーダーシップ研修	勤務4年目以降の職員	21	18	-	-	-
	リーダー研修Ⅰ フォロワーシップ研修	勤務4～7年目の職員	-	-	32	45	40
	リーダー研修Ⅱ リーダーシップ研修		-	-	27	44	37
	コーチング研修	勤務5～10年目の職員	30	20	28	15	-
	目標管理研修		30	24	-	-	-
	管理職研修Ⅰ 問題解決研修	職場内で管理的役割を 担う者	-	-	20	-	-
	管理職研修Ⅱ 目標管理研修		-	-	17	-	-
	キャリアサポート研修		-	-	-	17	-
	新管理職研修	職場内で管理的役割を 担う役職に就いて2年 以内の職員	-	-	-	22	21
選択研修	モチベーションアップ 研修	中堅職員 （概ね10年目以降）	16	16	-	-	-
	プレゼンテーション 研修		-	14	-	-	-

研修名	研修対象者	参加者数（人）					
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
選択研修	プレゼンテーション研修	全職種職員	-	-	30	13	-
	コミュニケーション研修	コミュニケーションに苦手意識を持っている者	-	10	16	-	-
	ビジネス文書研修	全職種職員	-	8	-	-	-
	分かりやすい文書作成研修	全職種職員	-	-	21	-	-
	公文書の書き方・扱い方、労働条件・サービス研修	全職種職員	-	-	-	37	12
	レジリエンス研修	職場内で管理的役割を担う者	59	43	-	-	-
	発信力向上研修	広報担当者等	21	-	-	-	-
	OJT研修	新規採用者等の指導・育成に係る職員等	24	14	20	17	26
シミュレーション研修	ハワイ SimTiki フォローアップ研修	SimTiki 研修受講者等	47	-	-	-	-
	シミュレーション指導者研修	教育担当者、シミュレーション教育に関心がある者	98	-	-	-	-
	シミュレーション教育指導スキルアップシリーズ①		-	27	33	29	45
	シミュレーション教育指導スキルアップシリーズ②	長野県内の医療従事者でシミュレーション教育指導に関心のある者	-	54	33	29	47
	シミュレーション教育指導スキルアップシリーズ③		-	25	29	28	46
	シミュレーション教育指導スキルアップシリーズ④	シミュレーション教育を行っている看護職等	-	59	24	25	(中止)
	長野小児救急セミナー NPEC	初期・後期研修医	18	15	17	12	13
合計		646	566	517	606	603	

(注) 1 「研修対象者」は、年度により範囲が異なる場合がある。

2 「参加者数」は、機構外の参加者を含む。



●主なシミュレータリスト

	シミュレータ名	説明	数量	製造元
1	Sim Man 3G	成人患者のシミュレーション	1	レールダルメディカルジャパン(株)
2	Sim Junior シムジュニア	小児患者のシミュレーション	1	レールダルメディカルジャパン(株)
3	Sim New B シムニューボーン	新生児患者のシミュレーション	1	レールダルメディカルジャパン(株)
4	フィジカルアセスメントトレーニングモデル “Physiko”	フィジカルアセスメント 手技トレーニング等	1	(株) 京都科学
5	ALS シミュレータ (アドバンス)	高度救命トレーニング	1	レールダルメディカルジャパン(株)
6	レサシアン With QCPR	CPRトレーニング	1	レールダルメディカルジャパン(株)
7	レサシベビー With QCPR	乳児のCPRトレーニング	1	レールダルメディカルジャパン(株)
8	AED リトルアクトトレーニングシステム	CPR-AEDトレーニング	10	レールダルメディカルジャパン(株)
9	心臓超音波トレーニングシュミレータ ハートワークス	経胸壁・経食道心臓超音波バーチャル トレーニング	1	日本ライトサービス(株)
10	産婦人科用超音波シミュレータ バイメディックス	妊婦超音波検査トレーニング	1	ガデリウスメディカル(株)
11	外傷・救急用超音波診断トレーニング ファントム “FAST/ER FAN”	超音波画像診断トレーニング	1	(株) 京都科学
12	AIRSIM ブロンコ	気管挿管、気管支鏡のトレーニング	1	日本ライトサービス(株)
13	気道管理トレーナー	気道確保、気管挿管、胃管挿入の トレーニング	3	レールダルメディカルジャパン(株)
14	DAMシミュレータトレーニングモデル	DAM(気道困難確保症例)の気道確保、 気管挿管トレーニング	1	(株) 京都科学
15	乳児気道管理トレーナー	乳児の気道確保、気管挿管、 胃管挿入のトレーニング	1	レールダルメディカルジャパン(株)
16	気管切開トレーナー	気管切開手技トレーニング	1	日本ライトサービス(株)
17	内視鏡手術トレーナー	腹腔鏡手術のトレーニング	1	(株) 平和医療器械
18	気管支内視鏡トレーニングモデル	気管支内視鏡トレーニング	1	(株) 高研
19	マーゲンシミュレータ	上部消化管内視鏡トレーニング	2	(株) 京都科学

	シミュレータ名	説明	数量	製造元
20	大腸内視鏡モデルⅠ－B型	大腸内視鏡トレーニング	1	(株)高研
21	縫合練習キット	創傷縫合トレーニング	5	日本ライトサービス(株)
22	縫合手技評価シミュレータ	創傷縫合トレーニング(評価)	1	(株)京都科学
23	産科シミュレータ ソフィー	分娩トレーニング	1	日本ライトサービス(株)
24	婦人科診察シミュレータ 腹腔鏡対応	婦人科診察のトレーニング	1	日本スリーピーサイエンティフィック(株)
25	婦人科診察トレーナー	婦人科診察のトレーニング	1	日本スリーピーサイエンティフィック(株)
26	会陰縫合シミュレータ(3個セット)	会陰縫合のトレーニング	1	日本スリーピーサイエンティフィック(株)
27	M75B 万能型成人実習モデル さくらⅡ	看護技術のトレーニング	2	(株)京都科学
28	まあちゃん(小児医療ケアモデル)	小児医療看護ケア	1	(株)京都科学
29	万能トレーニングベビー	生後4週の乳児の看護技術トレーニング	1	(株)京都科学
30	採血静脈注射シミュレータ “シンジョーⅡ”	採血・静脈注射のトレーニング	3	(株)京都科学
31	点滴静注シミュレータ Vライン	末梢静脈ラインの確保、薬剤投与の練習	4	(株)京都科学
32	センシティブ	採血・静脈注射練習キット	2	ビー・ブラウンエスクラップ(株)
33	手背の静脈注射シミュレータ Aセット	採血・静脈注射のトレーニング	1	(株)京都科学
34	小児の手背静脈注射シミュレータ	採血・静脈注射のトレーニング	1	(株)京都科学
35	吸引シミュレータ “Qちゃん”	口腔・鼻腔・気切からの吸引トレーニング	5	(株)京都科学
36	経管栄養シミュレータ	経鼻、胃ろうからの栄養剤注入、カテーテル挿入の練習	3	(株)京都科学
37	導尿・浣腸シミュレータ(男性)	男性の導尿、留置カテーテル挿入、浣腸のトレーニング	2	(株)京都科学
38	導尿・浣腸シミュレータ(女性)	女性の導尿、留置カテーテル挿入、浣腸のトレーニング	2	(株)京都科学



7 医療の質の評価指標

長野県立病院機構では、病院を利用される方が病院の診療相談を容易入手できるように、臨床評価指標（クリニカルインディケーター）を作成し、平成24年度からホームページにおいて公開しています。

また、県立病院が担う役割を示すとともに、その充実を図ることを目指し、平成27年度より、医療の質の評価指標（クリニカルインディケーター）を公開しています。

（地域医療や精神医療等の項目を多く選定した自治体病院固有の指標である、全国自治体病院協議会の医療の質の評価・公表等推進事業の指標を基本としています。）

① 紹介率

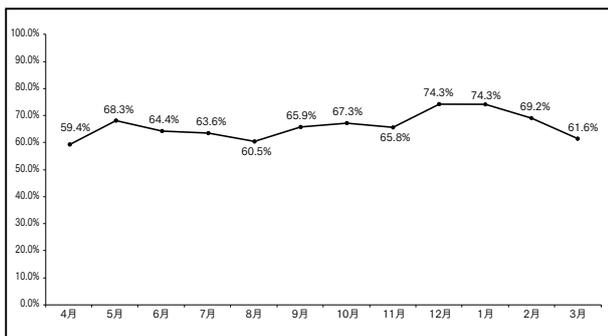
初診患者のうち、他の医療機関から当機構病院への紹介状を持参して受診した患者数の割合を示します。

他の医療機関から紹介状をお持ちにならずに受診された場合は「特別初診料」を初診料に加えて患者様に負担していただきます。これは、地域医療連携を推進するために、国（厚生労働省）から出された指針です。

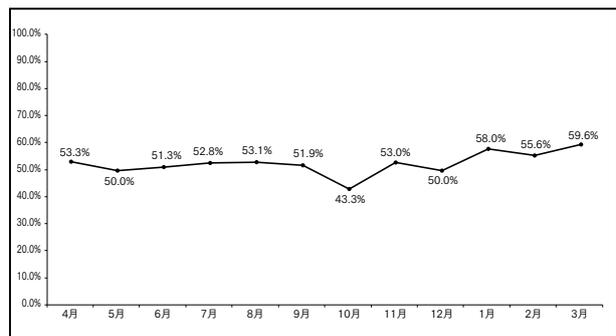
阿南病院、木曽病院など、地域に他の医療機関が少なく、当機構病院が地域住民の健康管理を直接担っている場合には、紹介率が低くなります。

算出法 分子：紹介初診患者数 + 初診救急患者数
分母：初診患者数

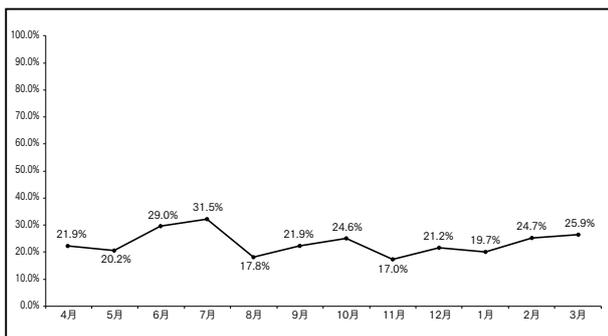
●信州医療センター



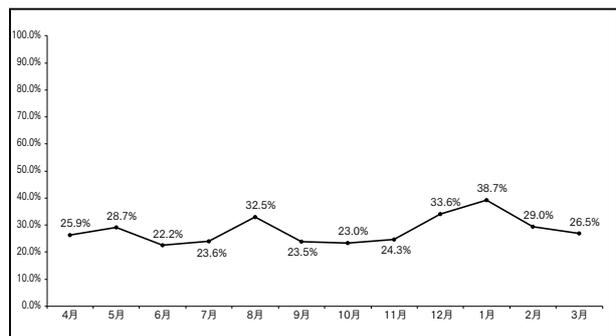
●こころの医療センター駒ヶ根



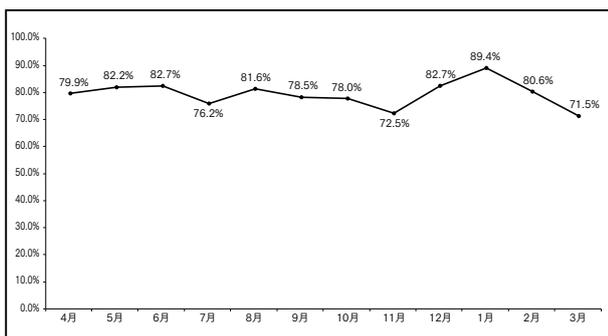
●阿南病院



●木曽病院



●こども病院



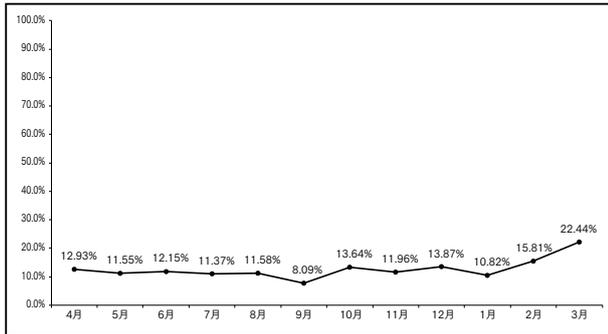
② 逆紹介率

診療が継続している患者さんを他の医療機関（かかりつけ医）に紹介することを逆紹介といいます。かかりつけ医からの紹介により、当機構病院で専門的な検査や高度な医療設備で治療などを行った後、病状が安定した場合は、紹介元のかかりつけ医へ逆紹介します。

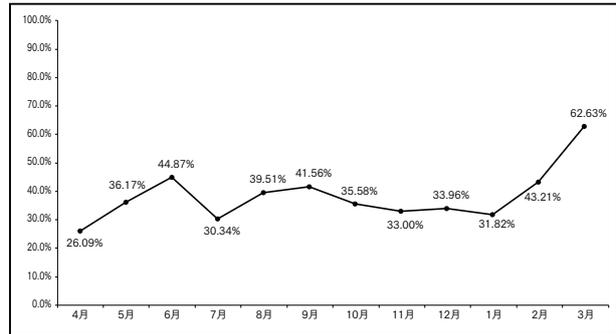
紹介率と同様、もともと地域医療機関が少ない阿南病院、木曽病院は、当機構病院がかかりつけ医としての役割を担っているため逆紹介率が低くなります。

算出法 分子：逆紹介患者数
分母：初診患者数

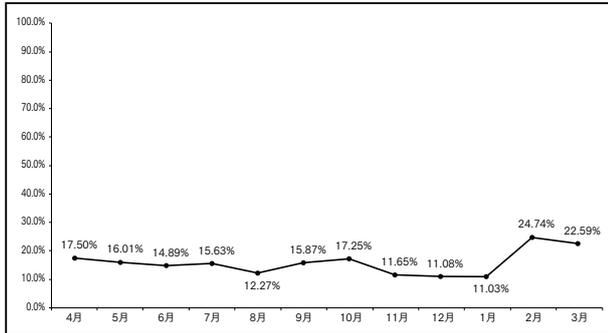
●信州医療センター



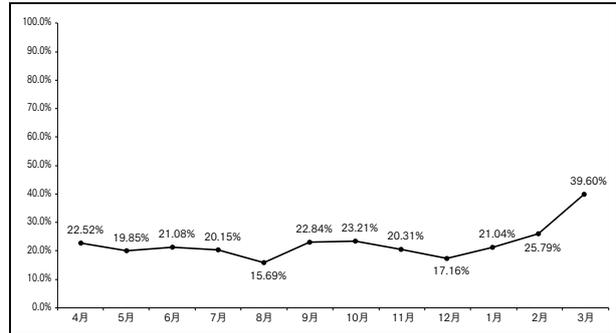
●こころの医療センター駒ヶ根



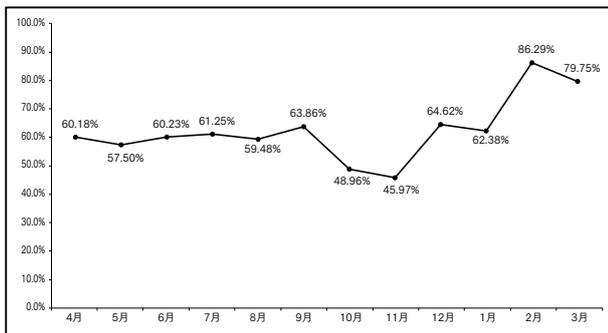
●阿南病院



●木曽病院



●こども病院



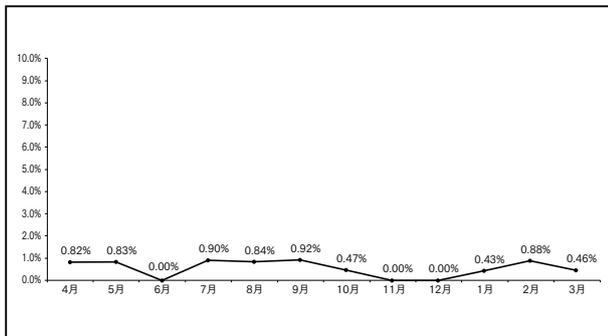
③ 褥瘡（じょくそう）推定発生率

褥瘡とは、寝たきりなどによって、体重で圧迫されている場所の血流が悪くなったり滞ることで、皮膚の一部が赤い色味をおびたり、ただれたり、傷ができてしまうことです。一般的に「床ずれ」ともいわれています。自分で体位変換ができず長時間寝たきりで、栄養状態が悪い、皮膚が弱くなっている人が、圧迫だけでなく摩擦やずれなどの刺激が繰り返されている場合は褥瘡になりやすいといえます。

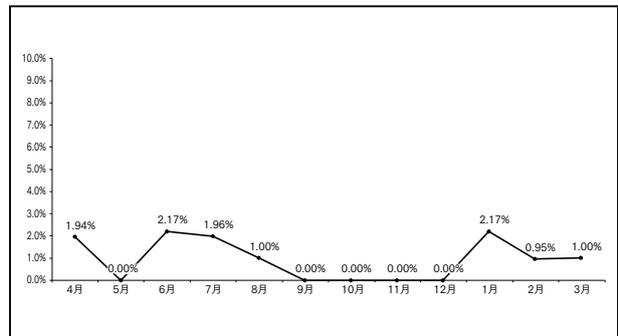
患者さんのQOL（生活の質）の低下をきたし、結果的に在院日数の長期化や医療費の増大にもつながるため、褥瘡予防対策は患者さんに提供されるべき医療の重要な項目のひとつとなります。褥瘡の発生は患者さんの全身状態の良し悪しと密接な関係があり、患者さんの状態を把握し、予防対策を講じていく必要があり、その発生率は全身管理や局所ケアなど看護ケアの質を表す重要な指標です。

算出法 分子：入院時に褥瘡なく調査日に褥瘡を保有する患者数 + 入院時に褥瘡あり他部位に新規褥瘡発生の患者数
分母：調査日の施在院数（人）

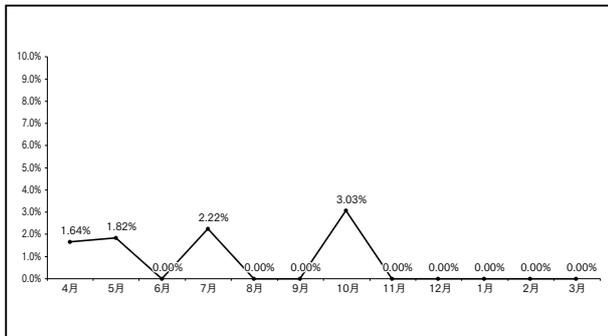
●信州医療センター



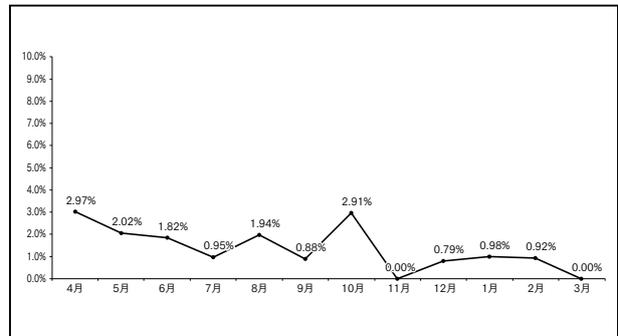
●こころの医療センター駒ヶ根



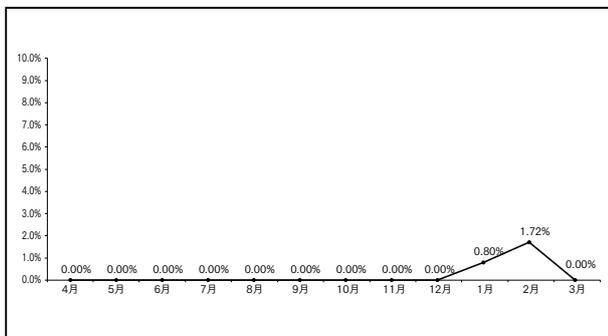
●阿南病院



●木曽病院



●こども病院



④ 転倒・転落レベル2以上発生率

転倒転落により、骨折などが発生した場合、患者さんのQOL（生活の質）の低下をきたし、結果的に在院日数の長期化や医療費の増大にもつながります。歩行困難な方や認知症の方、高齢者の多い病院など、病院機能によって発生比率も違います。また、職員が予防に全力をつくしても、危険因子（転倒転落を引き起こす原因）を多く持つ患者さんにおいては、予防が困難な場合があります。

しかし、転倒・転落の既往・ADL（日常生活動作）のチェック、定期的な物品・設備の点検と整備、転倒に関する危険因子のチェックなど、転倒防止策を講じることにより、危険を回避する対応が求められます。

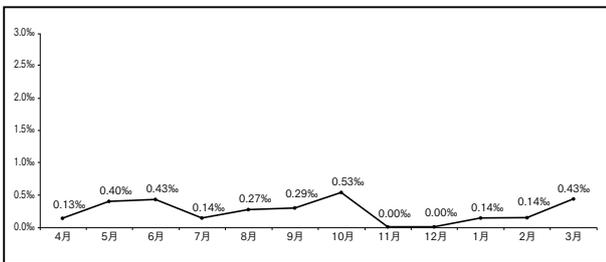
レベル2以上とは、検査や処置などが必要になった場合を意味します。（表1）

算出法 分子：インシデント・アクシデントレポートの入院患者転倒転落数【レベル2以上】
分母：入院延べ数

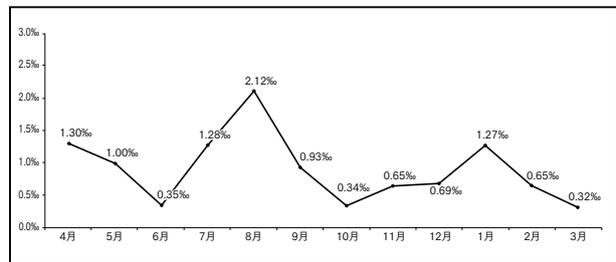
※単位：‰（パーミル）

レベル	障害の内容	障害の継続性	障害の程度
5	死亡（原疾患の自然経過によるものを除く）	死亡	
4	永続的な障害や後遺症が残った	永続的	軽度～高度
3b	濃厚な処置や治療を要した（バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院数の延長、外来患者の入院、骨折など）	一過性	高度
3a	簡単な処置や治療を要した（消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など）	一過性	中等度
2	処置や治療は行わなかった（患者観察の強化、バイタルサインの経度変化、安全確認のための件さなどの必要性は生じた）	一過性	軽度
1	患者への実害はなかった（なんらかの影響を与えた可能性は否定できない）	なし	
0	エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった	—	

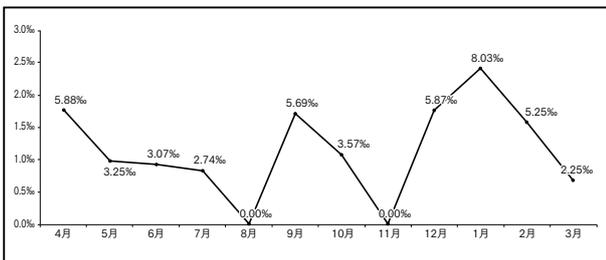
●信州医療センター



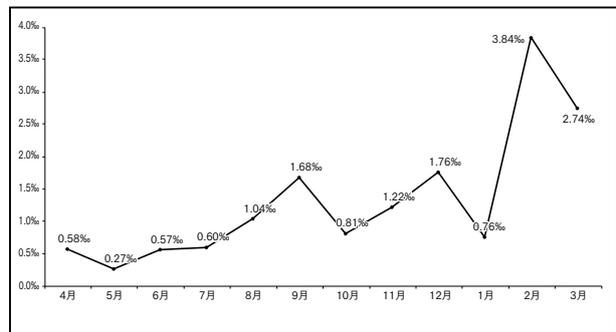
●こころの医療センター駒ヶ根



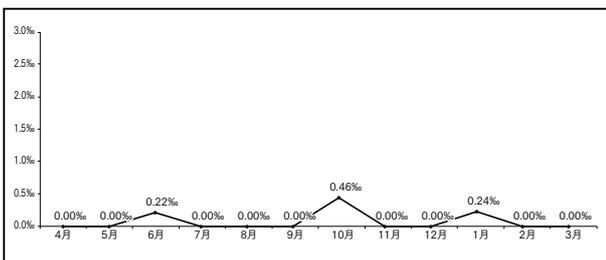
●阿南病院



●木曽病院



●こども病院



地方独立行政法人長野県立病院機構年報

**令和元年度（平成31年度）第5号
（2019年度）**

令和3年1月発行

発行者 長野県立病院機構理事長 久保 恵嗣

編集 長野県立病院機構広報担当者会議

発行所 長野県立病院機構本部事務局

長野市大字南長野字幅下692-2

電話 026-235-7160 FAX 026-235-7161

印刷 社会福祉法人 ながのココニー長野福祉工場